

高齢者等実態調査報告書

令和5年3月

岐阜市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象及び方法等	1
3 調査票の回収結果	2
4 調査結果をみる上での注意事項	2
第2章 調査対象者の属性	3
1 性別・年齢	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	6
2 家族構成	8
3 住まい等	10
4 居住地区	13
第3章 介護の実態	14
1 介護の状況について	14
(1) 要支援・要介護度	14
(2) 介護が必要になった主な原因	17
(3) 家族等による介護の状況	22
(4) 主な介護者と介護等の状況	25
2 主な介護者の状況について	32
(1) 主な介護者の就労状況等	32
(2) 主な介護者の困りごと等	39
(3) 主な介護者の健康状態等	44
(4) 主な介護者の相談相手	47
3 認知症について	48
(1) 認知症状の有無	48
(2) 認知症に関する相談窓口等の周知状況	51
4 介護（予防）サービスの利用等について	55
(1) サービスの利用状況	55
(2) 利用しているサービスの満足度	62
(3) サービスの利用後の変化	64
(4) サービスの充実に向けて	66
(5) 今後の暮らし方	72

第4章 生活の実態	80
1 運動・閉じこもりについて	80
(1) 運動器の状況	80
(2) 外出の状況	92
2 口腔・栄養について	106
(1) 身長・体重	106
(2) 食事、口腔の状況	113
3 物忘れ等について	124
(1) 物忘れ	124
(2) 認知症への対策	128
4 日常生活について	132
(1) 買い物等	132
(2) 金銭管理	138
5 社会参加等について	142
(1) グループ活動等への参加状況	142
(2) グループ活動等への参加意向	146
(3) たすけあい	150
(4) 友人・知人とのつきあい	166
(5) 生きがい	174
6 健康について	176
(1) 健康状態	176
(2) 幸福感	192
(3) フレイル予防	194
7 福祉サービス等の利用について	196
(1) 介護保険制度の認知度等	196
(2) 介護保険サービス以外のサービスの利用等	199
8 生活全般について	216
(1) 暮らしの状況	216
(2) 新型コロナウイルスの感染拡大による生活の変化	219
(3) 今後不安に思うこと	226

本調査は、多種、多項目にわたるため、本報告書では、厚生労働省が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」等の調査項目を中心に、結果の概要を取りまとめています。本報告書に掲載していない調査項目の結果については、岐阜市ホームページに掲載等している「岐阜市高齢者等実態調査結果（詳細版）」をご参照ください。

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、65歳以上の高齢者等の日常生活の実態、福祉サービス及び介護保険サービスに対する要望等を把握し、「第9期岐阜市高齢者福祉計画」（計画期間：令和6年度～令和8年度）を策定するための基礎資料とすることを目的としています。

2 調査の対象及び方法等

○調査対象

区分	一般高齢者	事業対象者	在宅要支援・要介護認定者		
			無受給者	要支援利用者	要介護利用者
対象者	要支援・要介護に認定または事業対象者と判定されていない65歳以上の市民 [無作為抽出]	介護予防・日常生活支援総合事業の対象者と判定されている市民 [無作為抽出]	要支援・要介護認定者で介護（予防）サービスを受けていない市民 [無作為抽出]	在宅で介護予防サービスを利用している市民 [無作為抽出]	在宅で介護サービスを利用している市民 [無作為抽出]

区分	在宅要介護・要支援認定者		施設等入居・入所者	
	（看護）小規模多機能型居宅介護利用者	定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者	グループホーム入居者	介護保険施設入所者
対象者	（看護）小規模多機能型居宅介護を利用している市民[全数]	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用している市民 [無作為抽出]	市内のグループホームに入居している市民 [全数]	市内の介護保険施設に入所している市民 [無作為抽出]

区分	支援者	
	介護支援専門員	地域包括支援センター職員
対象者	市内の居宅介護支援事業所で介護（予防）サービス計画を作成している介護支援専門員[全数]	市内の地域包括支援センターで介護予防サービス計画を作成している職員[全数]

○調査方法 介護保険施設入所者（聞き取り調査）を除き、調査票を郵送により配布・回収

○調査期間 令和4年11月1日（基準日）～30日

3 調査票の回収結果

区 分	一般高齢者	事業対象者	在宅要支援・要介護認定者					施設等入居・入所者		支援者	
			無受給者	要支援利用者	要介護利用者	(看護) 小規模多機能型居宅介護利用者	定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者	グループホーム入居者	介護保険施設入所者	介護支援専門員	地域包括支援センター職員
配布数	4,000	500	1,000	1,000	2,400	275	50	577	384	491	121
有効回答数	2,932	382	681	692	1,319	123	24	352	384	362	99
有効回答率	73.3	76.4	68.1	69.2	55.0	44.7	48.0	61.0	100.0	73.7	81.8

単位：配布数・有効回答数：件、有効回答率：%

4 調査結果をみる上での注意事項

- ① 選択式回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、すべてパーセント(%)で表しています。
- ② 選択式回答の比率(%)は、小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。したがって、パーセントの合計が100%にならないこともあります。
- ③ 複数回答が可能な設問の回答の比率(%)は、すべての比率(%)を合計すると100%を超えます。なお、複数回答が可能なものは、図表のタイトル名に明示しています。したがって、その明示がないものは、単数回答です。
- ④ クロス集計や分析にあたって、便宜上以下のように表記しています。

区 分	調査票	本報告書
年 齢	「65～69歳」「70～74歳」	65～74歳
	「75～79歳」「80～84歳」「85～89歳」「90歳以上」	75歳以上
サービス	(看護)小規模多機能型居宅介護	小規模多機能
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応
施 設	介護保険施設 (特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院)	施設
	グループホーム	GH

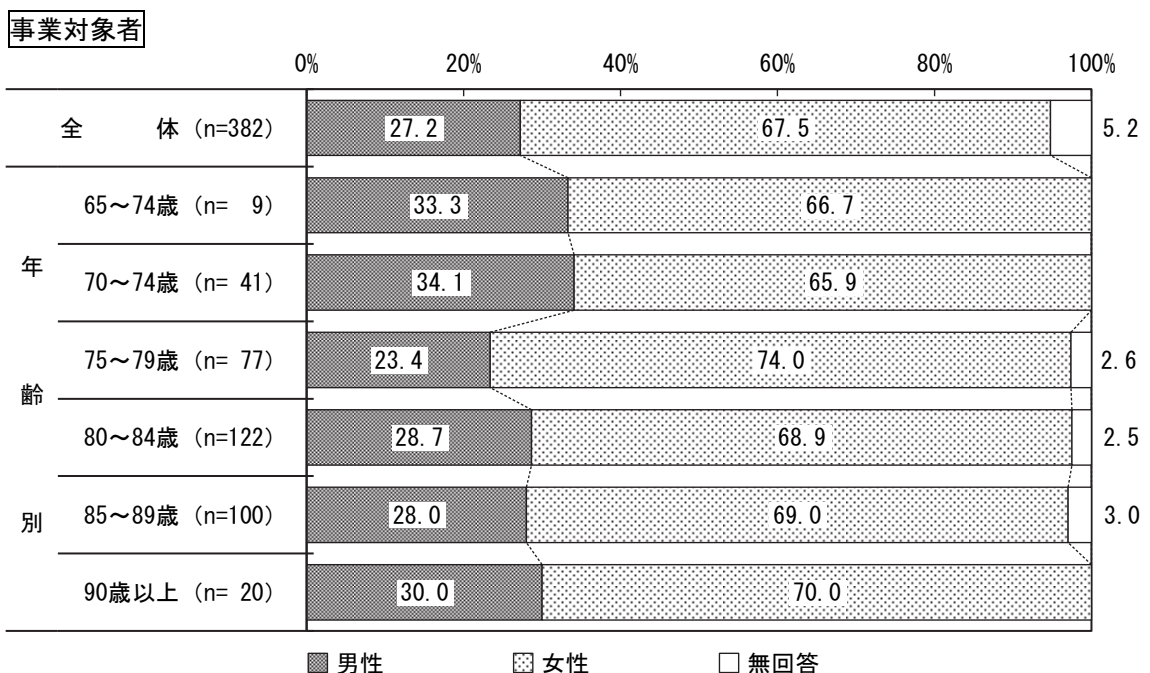
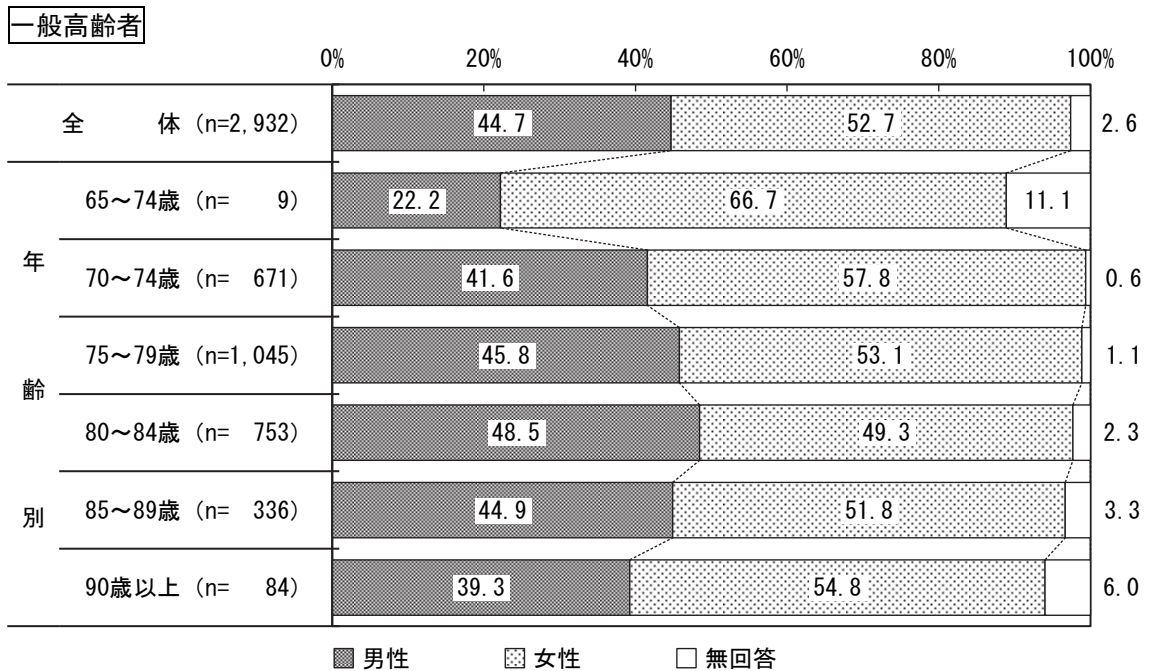
第2章 調査対象者の属性

1 性別・年齢

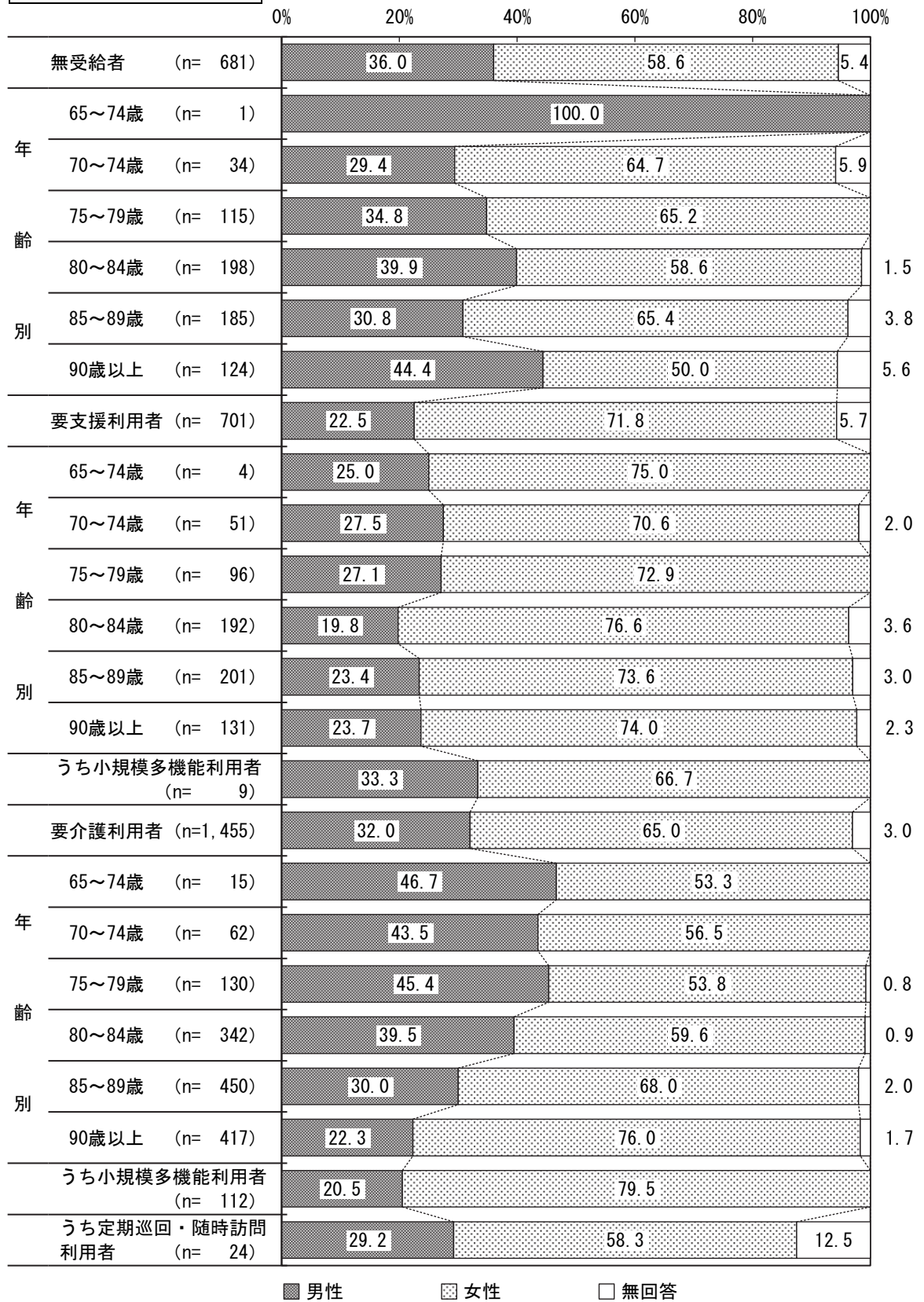
(1) 性別

調査対象者の性別は、一般高齢者、事業対象者、在宅要支援・要介護認定者、施設等入居・入所者のいずれにおいても、女性が50%を超えて男性に比べて高い割合となっています。

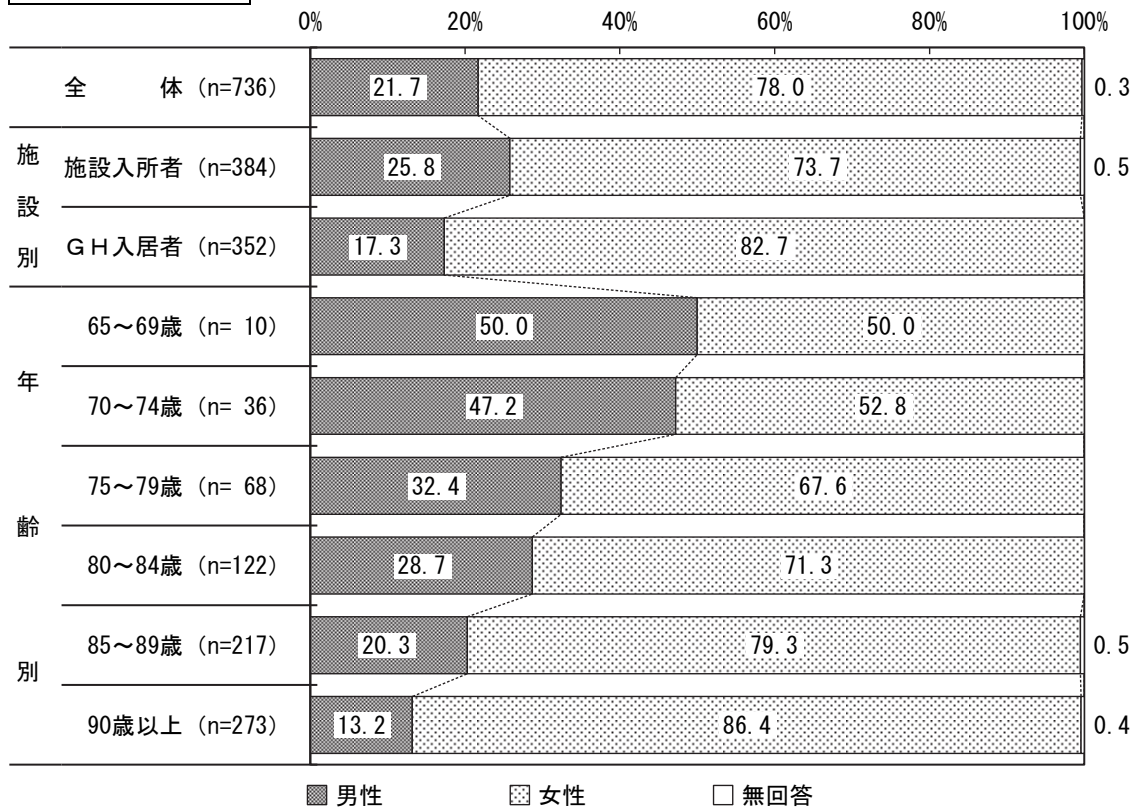
図表2-1 性別



在宅要支援・要介護認定者



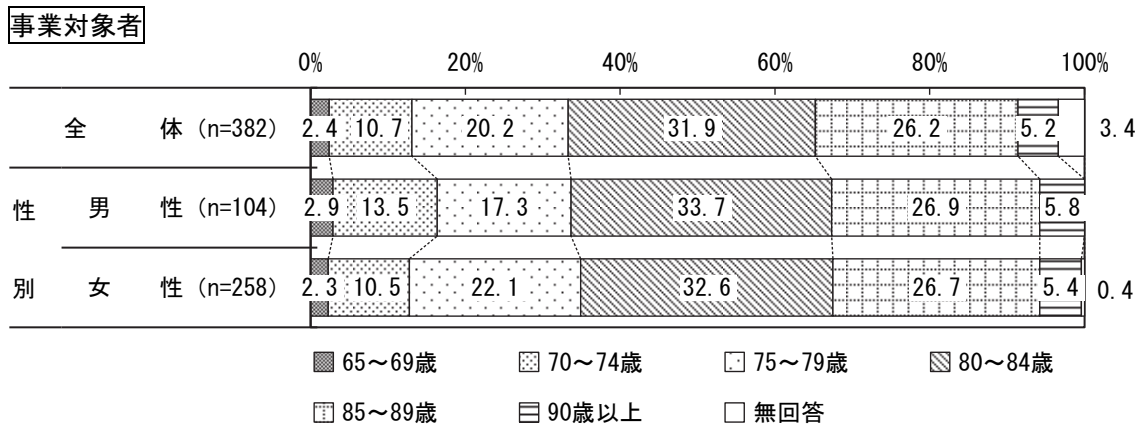
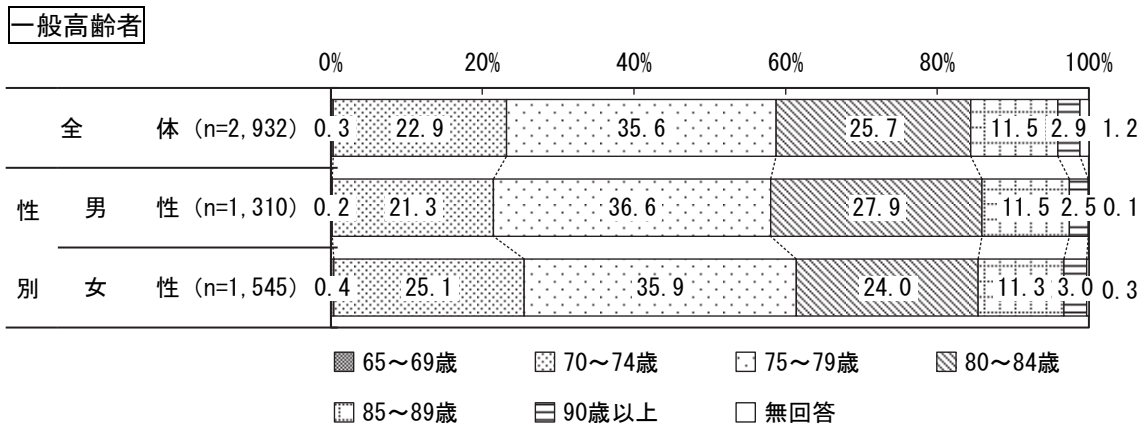
施設等入居・入所者



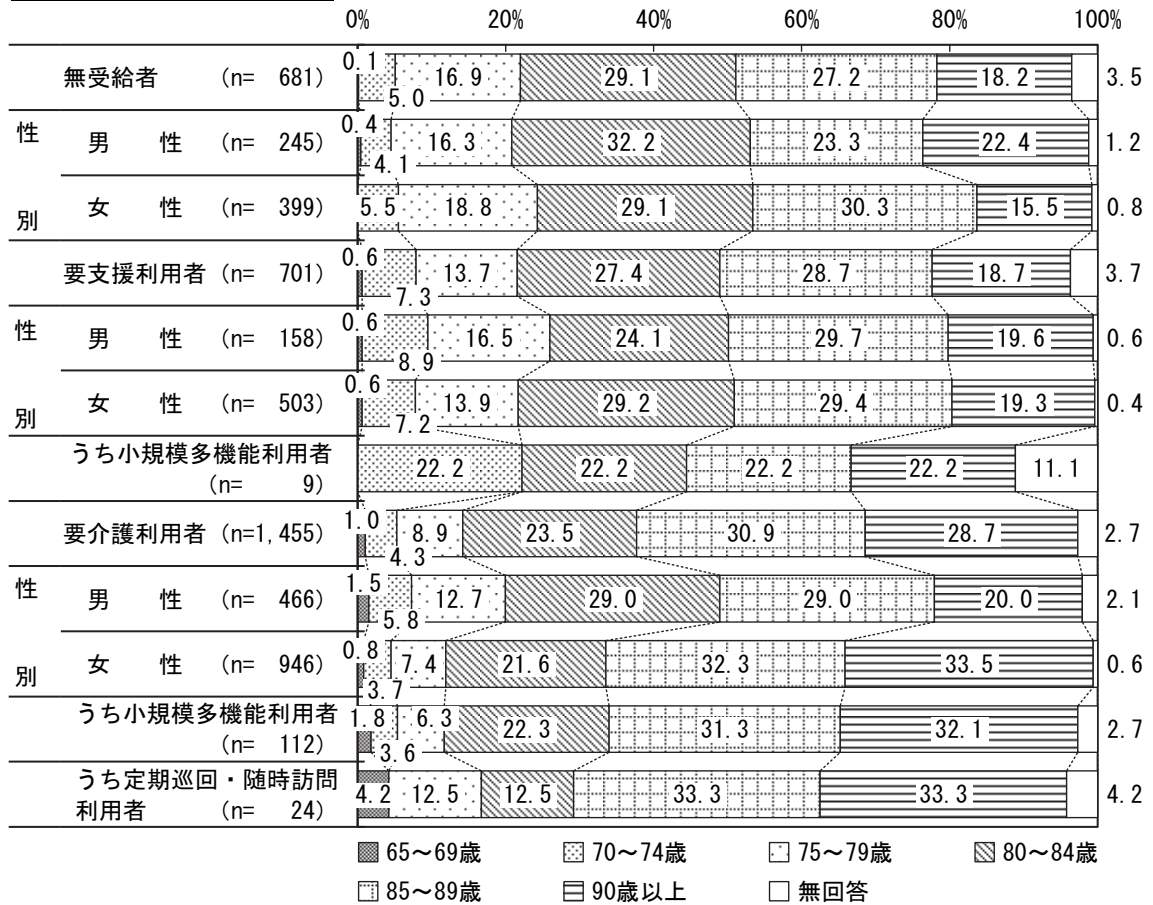
(2) 年齢

調査対象者の年齢は、一般高齢者では、「65～69歳」と「70～74歳」を合わせた「65～74歳」の前期高齢者が20%程度となっています。事業対象者と在宅要支援・要介護認定者、施設等入居・入所者では、75歳以上の後期高齢者が80%以上を占めています。

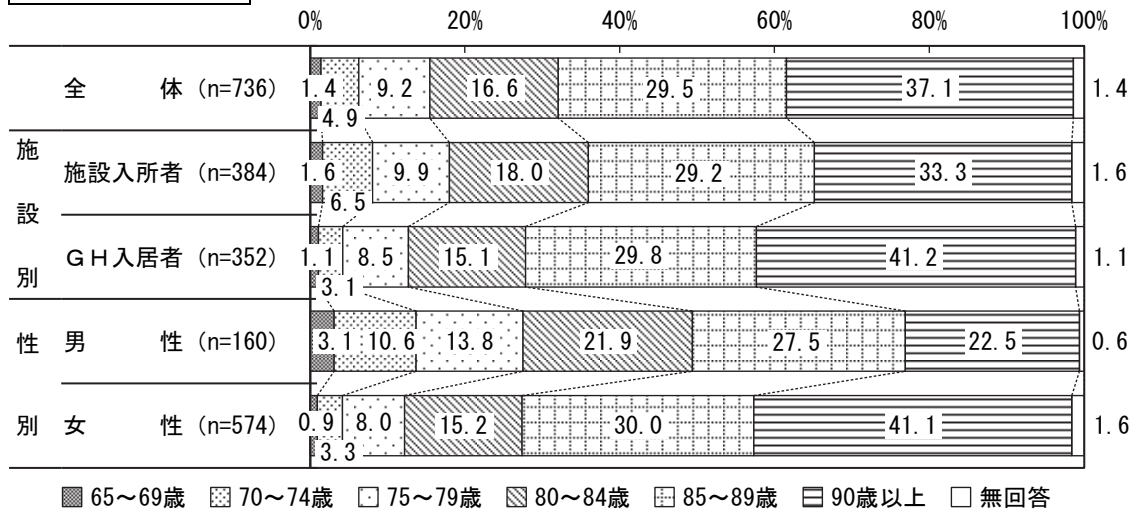
図表2-2 年齢



在宅要支援・要介護認定者



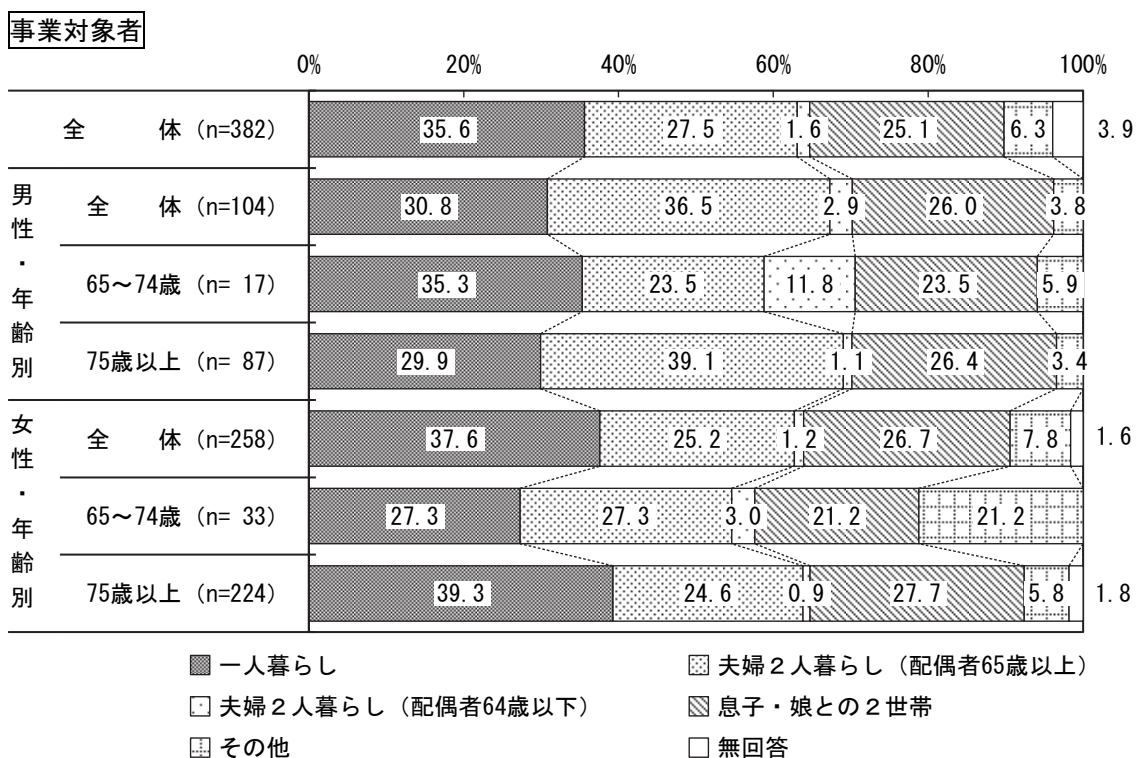
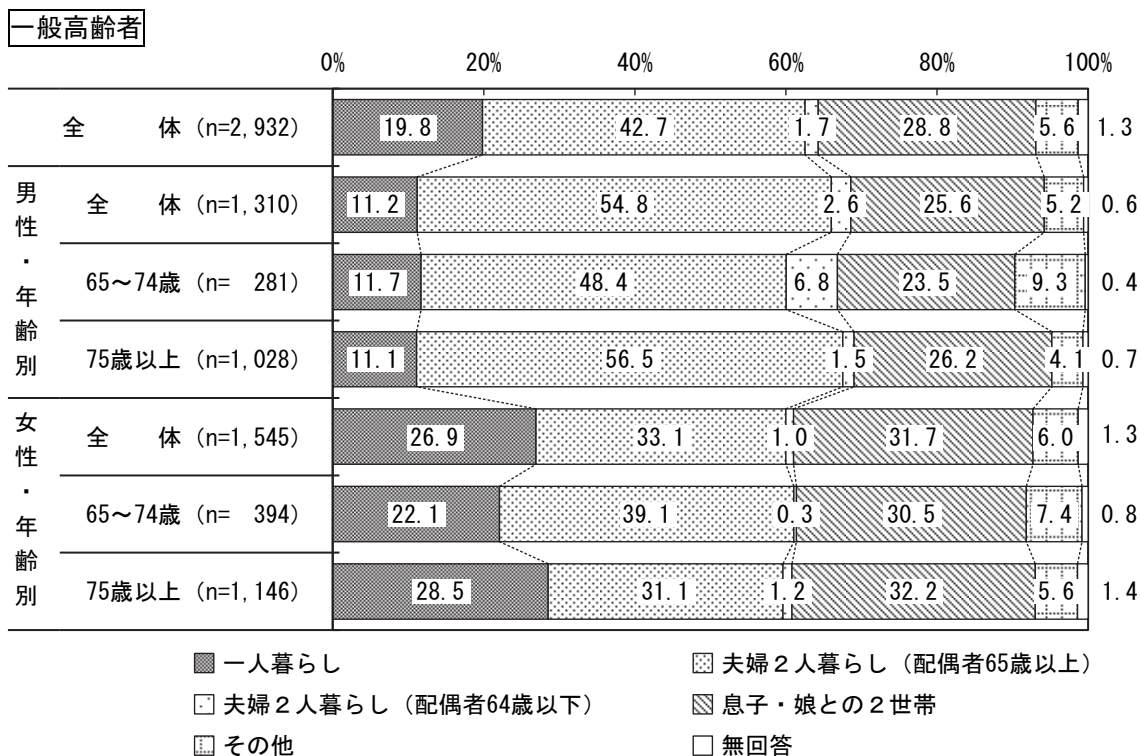
施設等入居・入所者



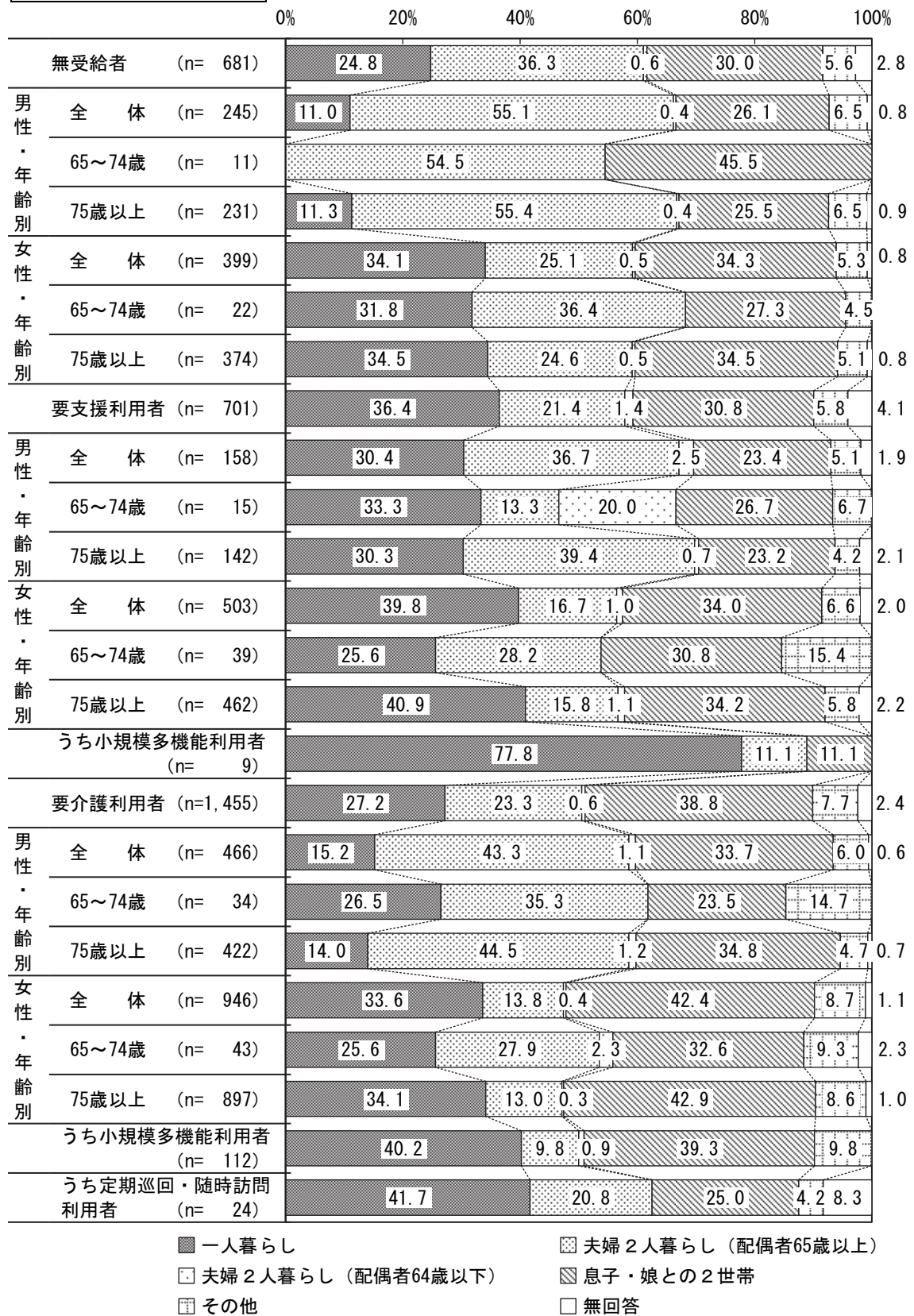
2 家族構成

家族構成については、事業対象者と要支援利用者では「一人暮らし」、一般高齢者介護保険サービスの無受給者ではともに65歳以上の「夫婦2人暮らし」、要介護利用者では「息子・娘との2世帯」が、それぞれ最も高い割合となっています。

図表2-3 家族構成



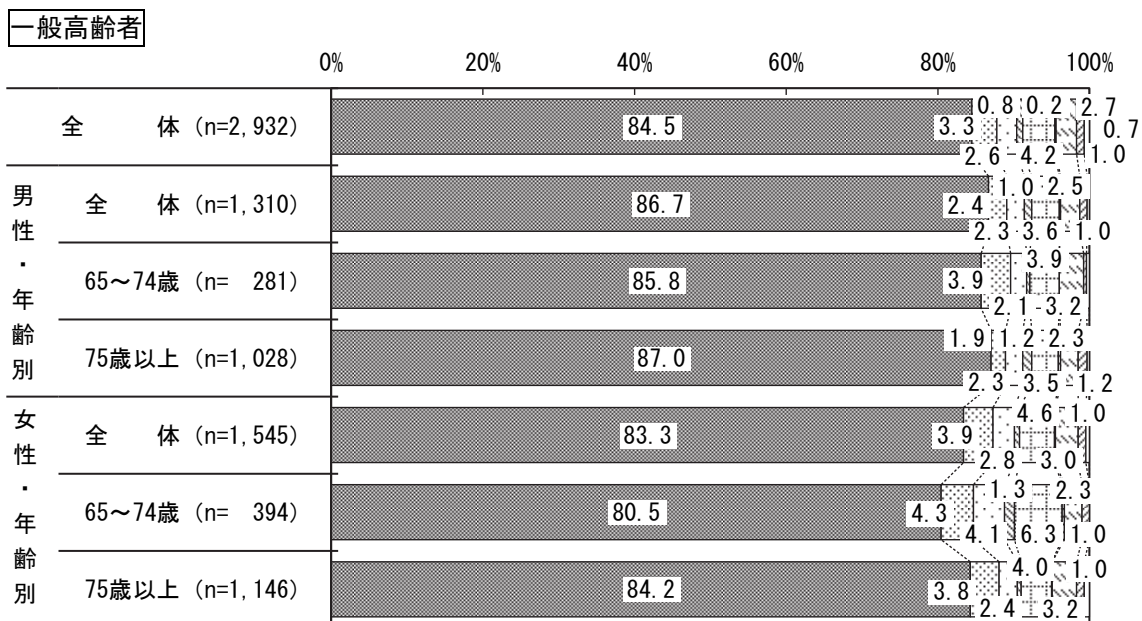
在宅要支援・要介護認定者



3 住まい等

住まいについては、一般高齢者、事業対象者、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、一戸建ての「持家」が80%程度を占めて非常に高くなっています。

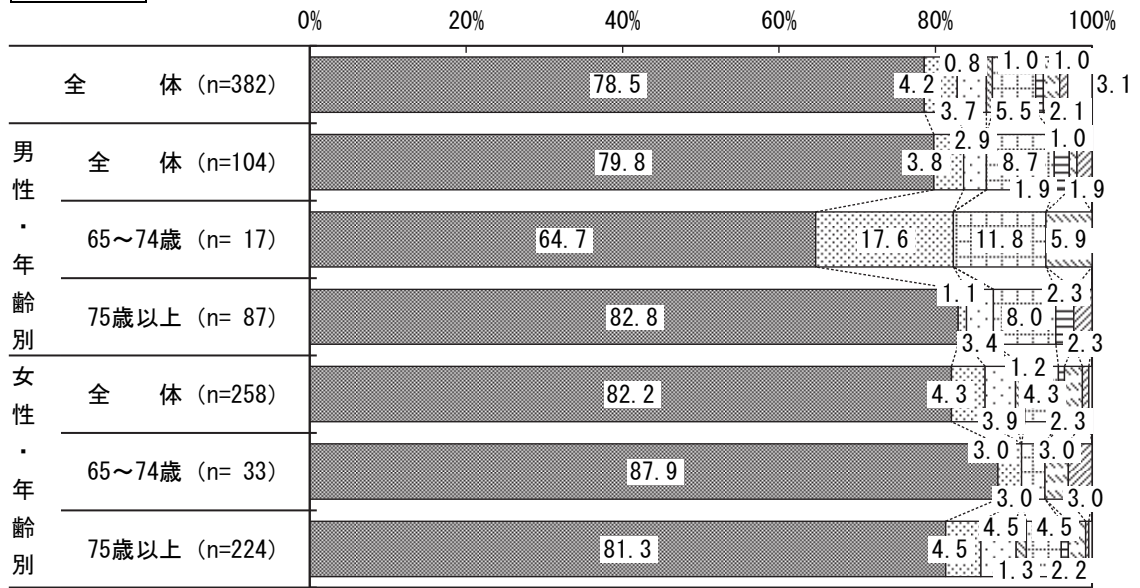
図表2-4 住まい



- 持家（一戸建て）
- 公営賃貸住宅
- ▨ 民間賃貸住宅（集合住宅）
- ▩ 借家
- 無回答
- ▨ 持家（集合住宅）
- ▩ 民間賃貸住宅（一戸建て）
- ▨ サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム
- ▩ その他

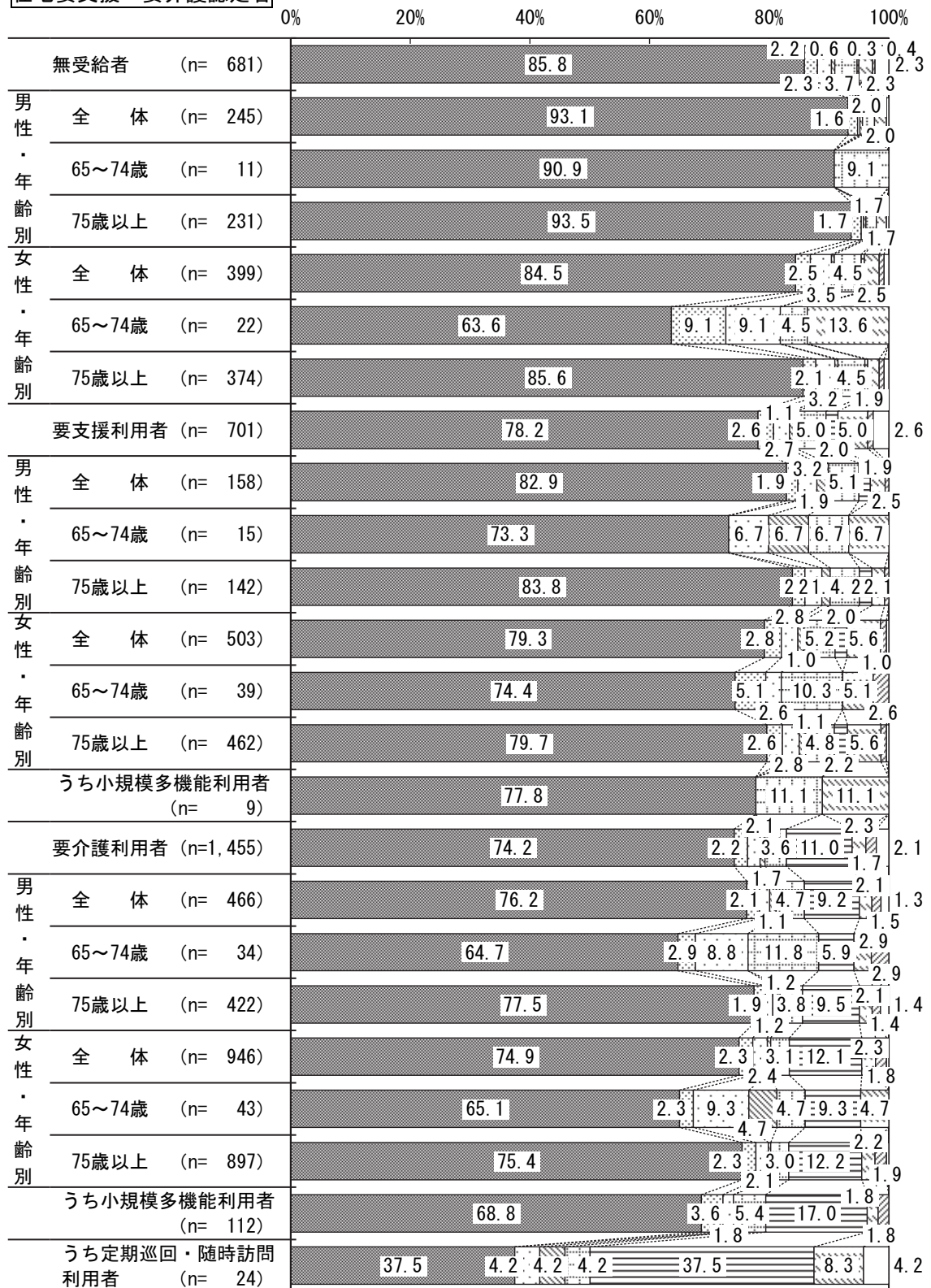
(注) 全体以外の1%未満の数値は省略しました。

事業対象者



- 持家 (一戸建て)
 - 持家 (集合住宅)
 - 公営賃貸住宅
 - ▨ 民間賃貸住宅 (集合住宅)
 - ▨ 借家
 - 無回答
 - ▨ 民間賃貸住宅 (一戸建て)
 - ▨ サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム
 - ▨ その他
- (注) 全体以外の1%未満の数値は省略しました。

在宅要支援・要介護認定者



- 持家 (一戸建て)
- 公営賃貸住宅
- ▨ 民間賃貸住宅 (集合住宅)
- ▩ 借家
- 無回答
- ▨ 持家 (集合住宅)
- ▩ 民間賃貸住宅 (一戸建て)
- ▨ サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム
- ▩ その他

(注) 全体以外の1%未満の数値は省略しました。

4 居住地区

調査対象者のうち、一般高齢者と事業対象者、在宅要支援・要介護認定者（（看護）小規模多機能型居宅介護・定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者を除く）の分布を地域包括支援センター担当地域（19 地域）別にみると、図表 2-6 のとおりとなります。

図表 2-5 居住地区

区分	地域包括支援センター名	地区	一般高齢者 (n=2,932)	事業対象者 (n=382)	在宅要支援・要介護認定者		
					無受給者 (n=681)	要支援利用者 (n=692)	要介護利用者 (n=1,319)
中央	中央北	金華・京町 明德・本郷	6.1	6.1	7.3	5.9	5.7
	中央西	徹明・木之本	3.2	3.3	3.2	3.5	3.3
	白梅華	梅林・白山 華陽	6.1	6.1	5.9	6.5	5.9
西部	島城西	島・城西	4.3	4.1	2.9	4.6	4.5
	清流	早田・則武	4.3	3.7	1.8	3.6	4.5
	西部	木田・七郷 合渡	4.6	4.4	5.4	4.0	3.9
	岐北	黒野・方県 西郷・網代	6.9	6.3	6.0	6.8	6.0
北部	長良	長良・長良西 長良東	7.4	7.4	8.2	6.9	7.2
	北部	鷺山・常磐	4.7	5.0	5.7	4.9	5.0
	岩野田	岩野田 岩野田北	3.9	3.9	3.8	3.8	3.9
	北東部	藍川・三輪南 三輪北	5.2	5.5	5.6	4.9	5.4
南部	三里本荘	本荘・三里	5.4	5.2	5.0	4.8	5.4
	精華	市橋・鏡島	5.3	4.9	4.8	5.2	5.1
	境川	鶉・日置江 柳津町	5.6	5.1	4.4	5.1	5.5
	南部	加納東 加納西・茜部	6.6	6.1	5.6	6.2	6.0
	厚見	厚見	3.3	3.1	2.8	2.6	3.6
東部	長森南	長森南	3.1	2.8	2.6	2.9	3.0
	長森	日野・長森北 長森東・長森西	6.6	7.1	8.2	7.9	6.5
	東部	岩・芥見 芥見東・芥見南	6.2	6.1	7.2	5.9	5.5
無回答			1.1	4.0	3.4	3.9	4.2

第3章 介護の実態

1 介護の状況について

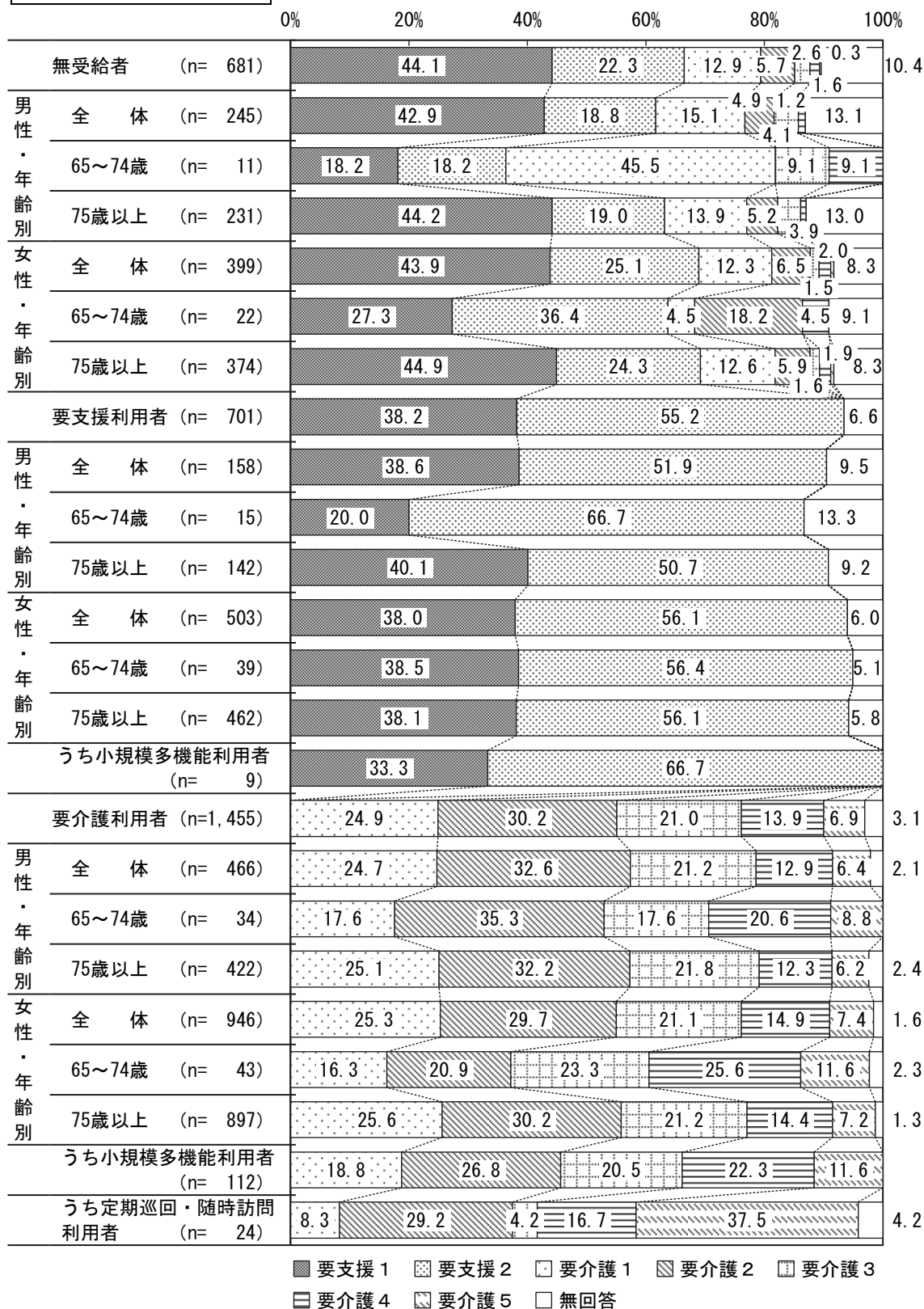
(1) 要支援・要介護度

要支援・要介護度については、介護保険サービスの無受給者では、「要支援1」が最も高く、「要支援2」と合わせると、60%以上を占めています。また、要支援利用者では「要支援2」が55.2%、要介護利用者では「要介護2」が30.2%と、それぞれにおいて最も高くなっています。なお、要介護利用者では、次いで、「要介護1」(24.9%)、「要介護3」(21.0%)、「要介護4」(13.9%)、「要介護5」(6.9%)の順となっています。

一方、施設等入居・入所者では、「要介護3」が36.4%と最も高く、次いで、「要介護4」(26.1%)、「要介護2」(17.1%)、「要介護1」(10.5%)、「要介護5」(9.4%)の順となっています。施設別にみると、「要介護1」と「要介護2」、「要介護5」は施設入所者に比べてグループホーム入居者が、「要介護3」と「要介護4」はグループホーム入居者に比べて施設入所者が高くなっています。

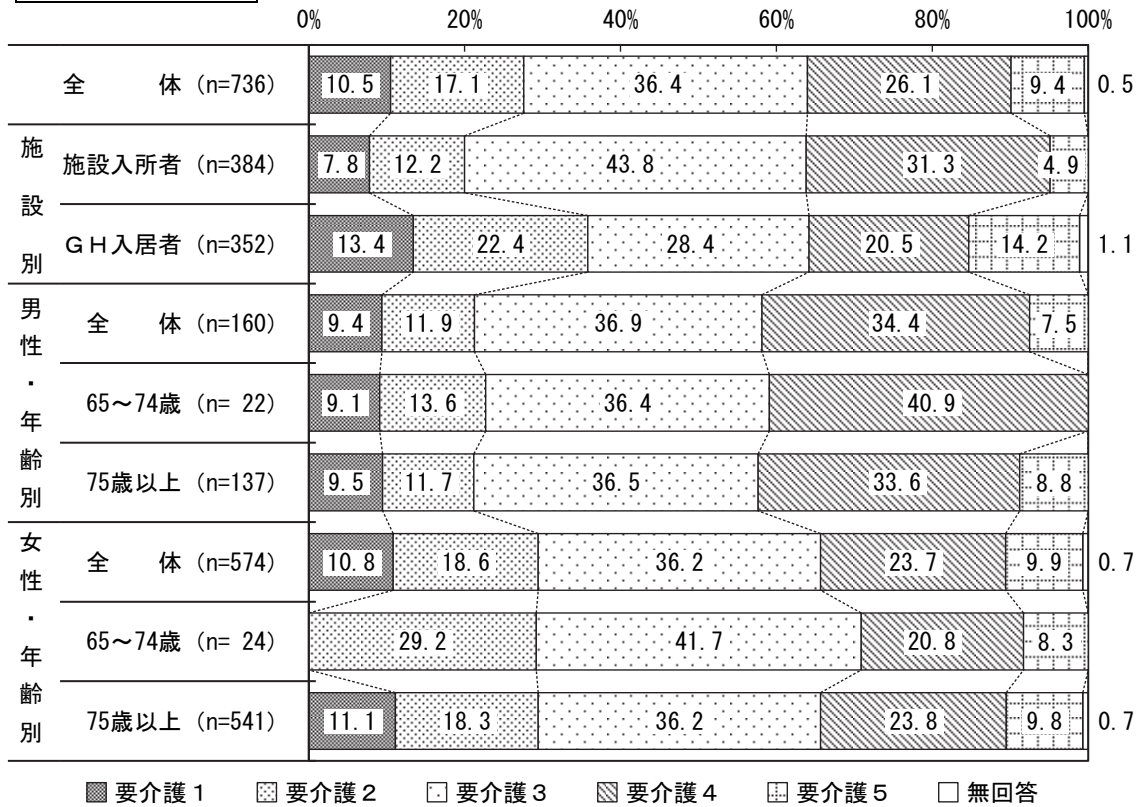
図表3-1 要支援・要介護度

在宅要支援・要介護認定者



(注) 全体以外の1%未満の数値は省略しました。

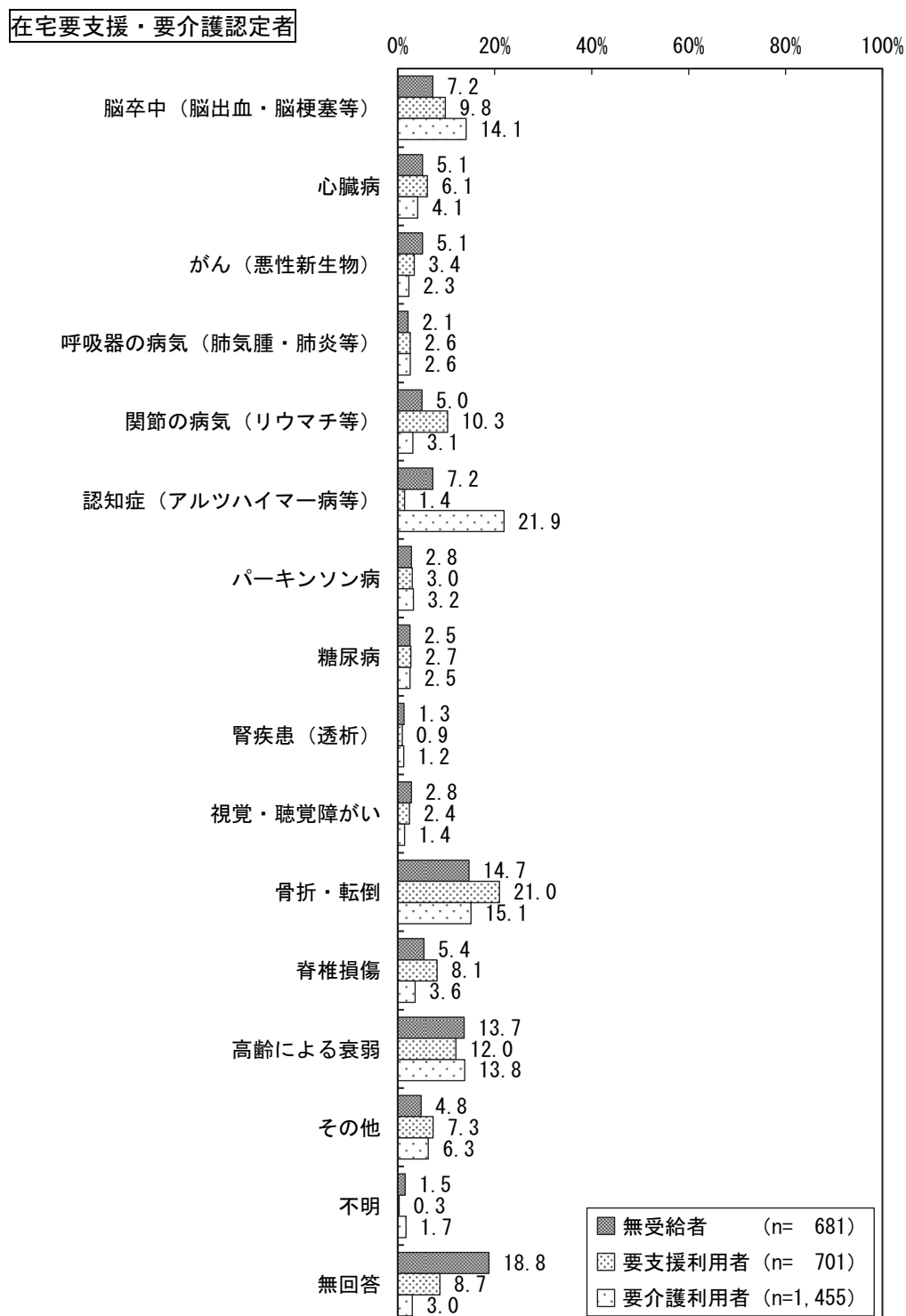
施設等入居・入所者



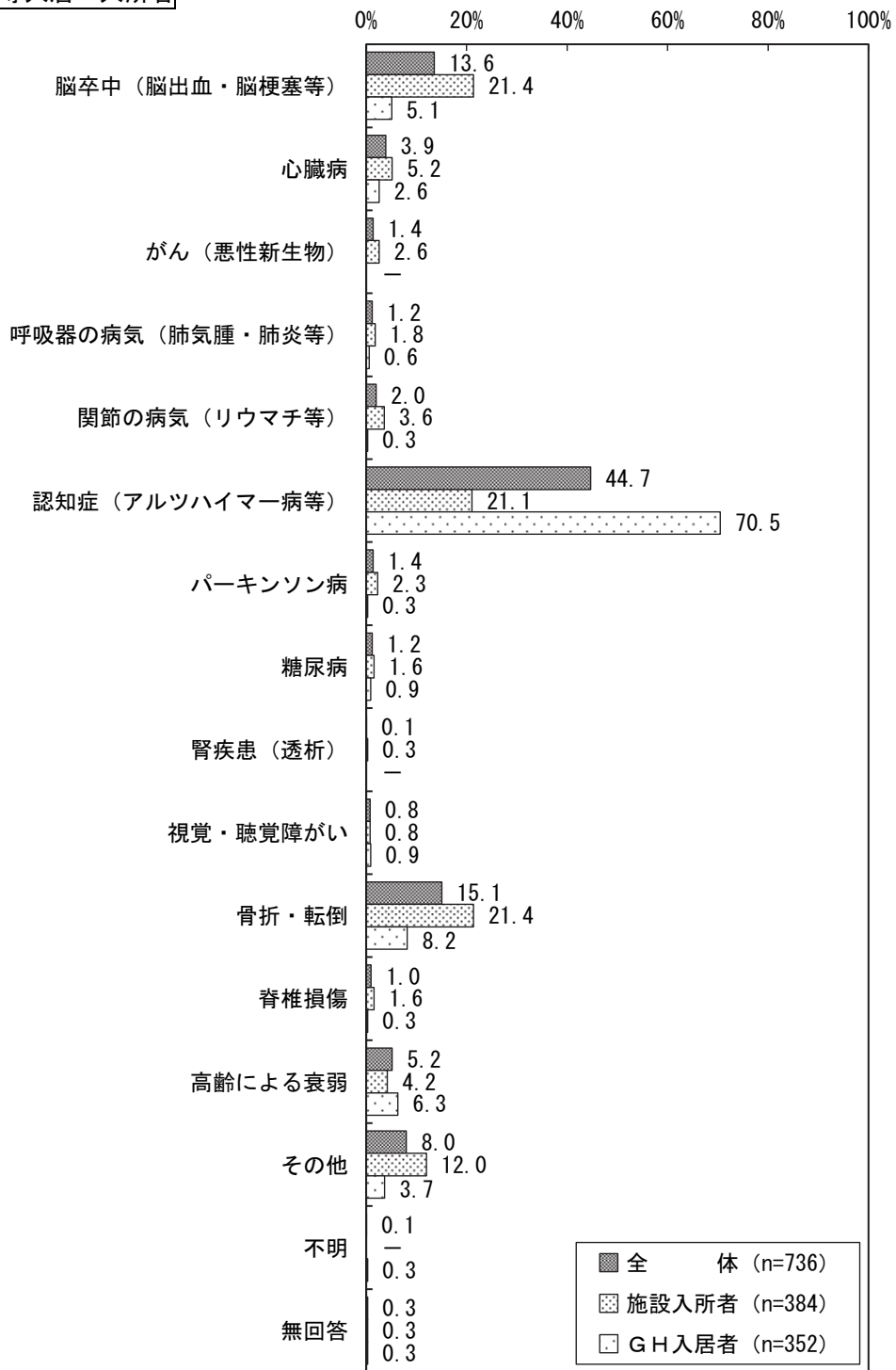
(2) 介護が必要になった主な原因

介護が必要になった主な要因としては、「無回答」を除き、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では「骨折・転倒」(14.7%と 21.0%)、要介護利用者ではアルツハイマー病等による「認知症」(21.9%)が最も高くなっています。また、施設入所者では脳出血、脳梗塞等の「脳卒中」と「骨折・転倒」(ともに 21.4%)、グループホーム入居者では「認知症」(70.5%)が最も高くなっています。

図表 3-2 介護が必要になった主な原因



施設等入居・入所者



介護が必要になった主な要因を要支援・要介護度別にみると、「脳卒中」は、在宅要支援・要介護認定者、施設等入居・入所者のいずれにおいても、重度ほど高い傾向にあります。

図表 3-3 介護が必要になった主な原因（要支援・要介護度別）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)
無受給者	要支援 1 (n=300)	4.3	7.0	4.7	2.3	5.0	3.0	2.3	3.0	0.7
	要支援 2 (n=152)	5.3	3.3	5.9	3.3	7.2	2.6	5.9	2.0	2.0
	要介護 1 (n= 88)	12.5	3.4	8.0	1.1	4.5	27.3	2.3	3.4	1.1
	要介護 2 (n= 39)	20.5	10.3	5.1	-	5.1	12.8	-	2.6	2.6
	要介護 3 (n= 18)	22.2	-	11.1	-	5.6	11.1	-	5.6	-
	要介護 4 (n= 11)	18.2	9.1	-	-	-	36.4	-	-	-
	要介護 5 (n= 2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要利用者	要支援 1 (n=268)	9.0	7.8	3.4	3.4	11.2	1.5	1.5	2.6	0.7
	要支援 2 (n=387)	10.9	5.2	3.6	2.1	10.3	1.3	4.4	2.8	0.8
うち小規模多機能利用者 (n= 9)		11.1	-	-	-	-	11.1	11.1	11.1	-
要介護利用者	要介護 1 (n=362)	8.0	3.9	1.4	2.5	3.0	25.4	0.8	3.3	1.1
	要介護 2 (n=440)	14.3	4.8	2.7	3.2	3.2	17.3	2.5	3.2	1.1
	要介護 3 (n=305)	15.4	4.6	3.3	2.0	2.6	29.8	4.6	2.0	1.0
	要介護 4 (n=202)	18.8	4.0	1.0	3.5	4.0	18.3	5.9	1.5	1.5
	要介護 5 (n=101)	23.8	2.0	5.0	1.0	2.0	21.8	5.0	1.0	2.0
うち小規模多機能利用者 (n=112)		12.5	1.8	1.8	1.8	4.5	37.5	1.8	-	1.8
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 24)		-	4.2	-	4.2	-	25.0	12.5	-	4.2

(単位：%)

区 分		視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
無受給者	要支援 1 (n=300)	4.3	15.3	7.0	16.0	4.3	2.0	18.7
	要支援 2 (n=152)	3.3	22.4	7.9	13.2	3.9	0.7	11.2
	要介護 1 (n= 88)	-	5.7	2.3	13.6	9.1	2.3	3.4
	要介護 2 (n= 39)	-	12.8	2.6	17.9	5.1	-	2.6
	要介護 3 (n= 18)	-	27.8	-	11.1	-	5.6	-
	要介護 4 (n= 11)	-	9.1	-	9.1	9.1	-	9.1
	要介護 5 (n= 2)	-	-	-	-	100.0	-	-
要利用者	要支援 1 (n=268)	3.0	19.4	6.3	14.9	8.2	0.4	6.7
	要支援 2 (n=387)	2.1	23.0	9.6	10.3	6.7	0.3	6.7
うち小規模多機能利用者 (n= 9)			11.1	22.2	11.1	11.1	-	-
要介護利用者	要介護 1 (n=362)	1.4	16.3	3.6	16.0	8.3	2.8	2.2
	要介護 2 (n=440)	1.6	16.8	4.1	14.5	8.0	1.6	1.1
	要介護 3 (n=305)	1.3	12.8	3.3	11.8	3.3	1.0	1.3
	要介護 4 (n=202)	2.0	13.9	4.0	15.3	5.0	1.0	0.5
	要介護 5 (n=101)	1.0	12.9	3.0	9.9	6.9	2.0	1.0
うち小規模多機能利用者 (n=112)			13.4	1.8	13.4	4.5	1.8	-
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 24)			12.5	4.2	20.8	8.3	-	-

施設等入居・入所者

(単位：%)

区 分	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)
要介護1 (n= 77)	6.5	2.6	-	3.9	1.3	42.9	-	-	-
要介護2 (n=126)	8.7	2.4	0.8	0.8	2.4	53.2	1.6	0.8	-
要介護3 (n=268)	16.0	6.0	1.9	0.4	2.6	41.8	1.5	1.5	-
要介護4 (n=192)	16.1	3.1	1.6	1.0	2.1	38.5	2.1	2.1	0.5
要介護5 (n= 69)	14.5	2.9	1.4	2.9	-	59.4	-	-	-

区 分	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
要介護1 (n= 77)	2.6	16.9	1.3	10.4	7.8	1.3	2.6
要介護2 (n=126)	0.8	16.7	0.8	6.3	4.8	-	-
要介護3 (n=268)	-	15.7	-	5.2	7.5	-	-
要介護4 (n=192)	1.0	15.6	2.6	3.1	10.4	-	-
要介護5 (n= 69)	1.4	7.2	-	1.4	8.7	-	-

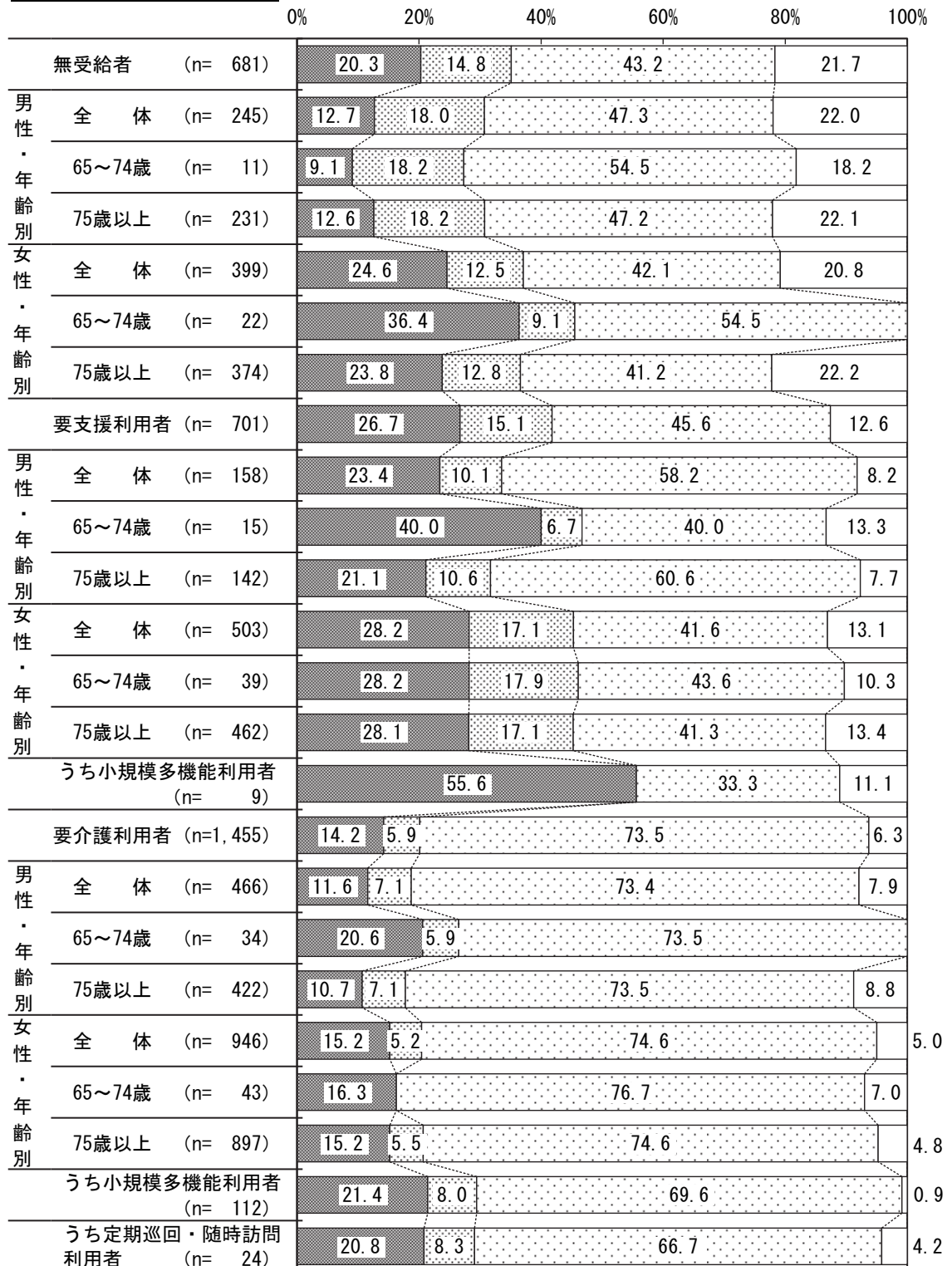
(3) 家族等による介護の状況

家族や親族などから「介護を受けている」のは、介護保険サービスの無受給者では43.2%、要支援利用者では45.6%、要介護利用者では73.5%を占めている一方、事業対象者では16.8%、一般高齢者では3.1%と低くなっています。

なお、「介護を受けている」割合が高い要介護利用者について、性別にみても、あまり差異はありませんが、(看護)小規模多機能型居宅介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用者では家族等の「介護を受けている」が70%を下回り、やや低くなっています。

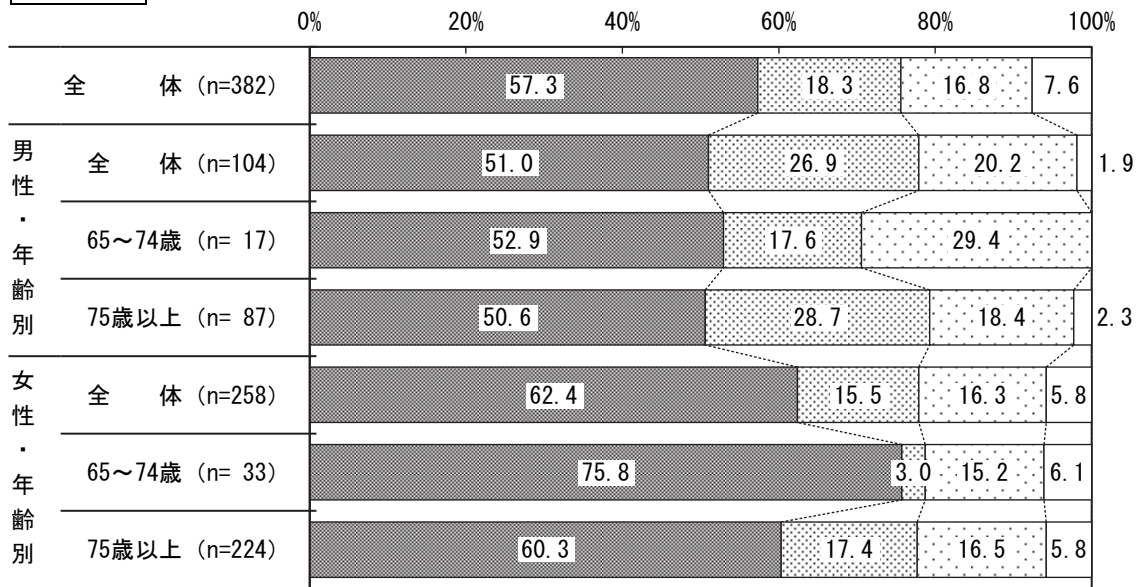
図表 3-4 家族等から介護を受けているか

在宅要支援・要介護認定者



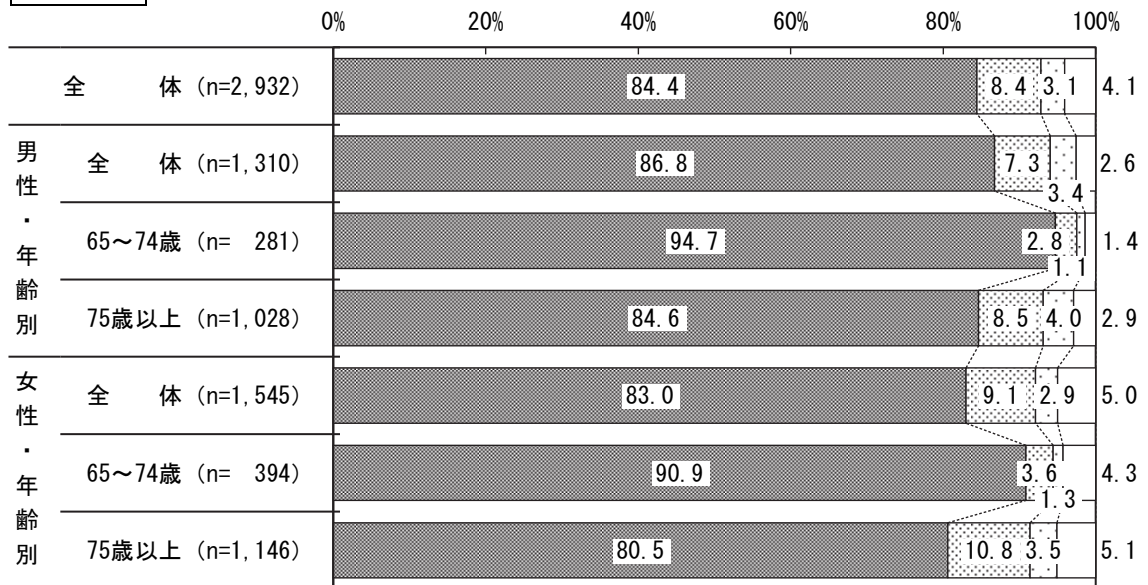
- 介護・介助者はいない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 家族や親族などの介護を受けている
- 無回答

事業対象者



- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▩ 現在、何らかの介護を受けている
- 無回答

一般高齢者



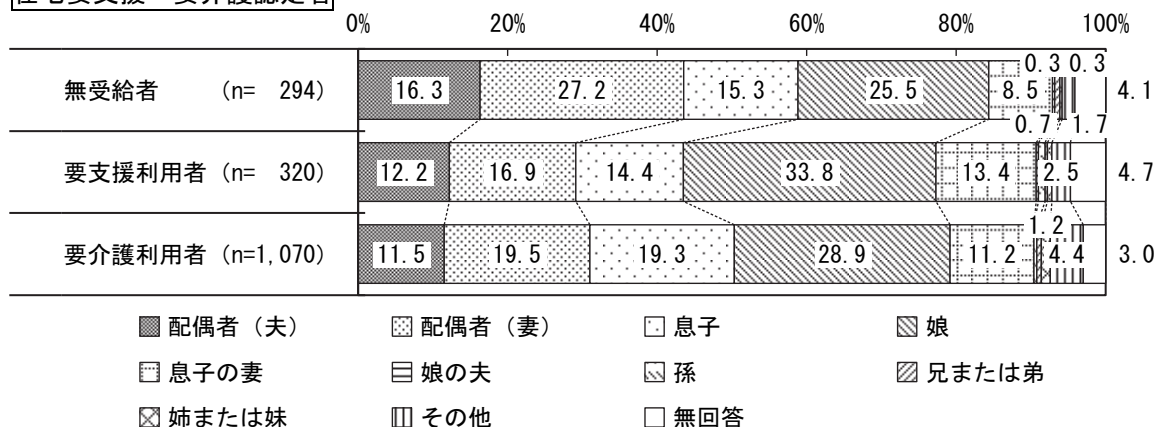
- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▩ 現在、何らかの介護を受けている
- 無回答

(4) 主な介護者と介護等の状況

主な介護者は、介護保険サービスの無受給者では「配偶者（妻）」、要支援利用者と要介護利用者では「娘」が、それぞれ最も高くなっています。

図表 3-5 主な介護者

在宅要支援・要介護認定者

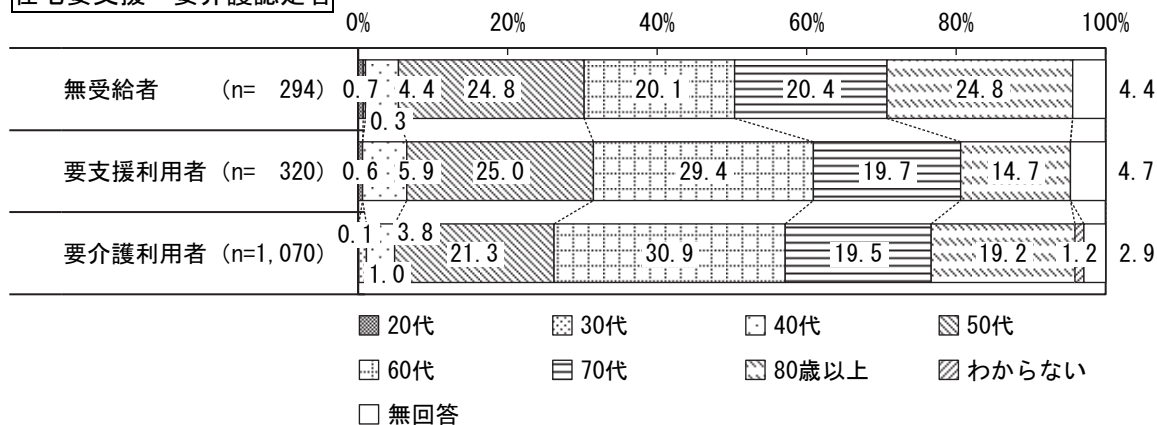


(注) 全体以外の1%未満の数値は省略しました。

主な介護者の年齢は、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「50代」から「70代」までが、それぞれ20%程度から30%程度を占めています。

図表 3-6 主な介護者の年齢

在宅要支援・要介護認定者

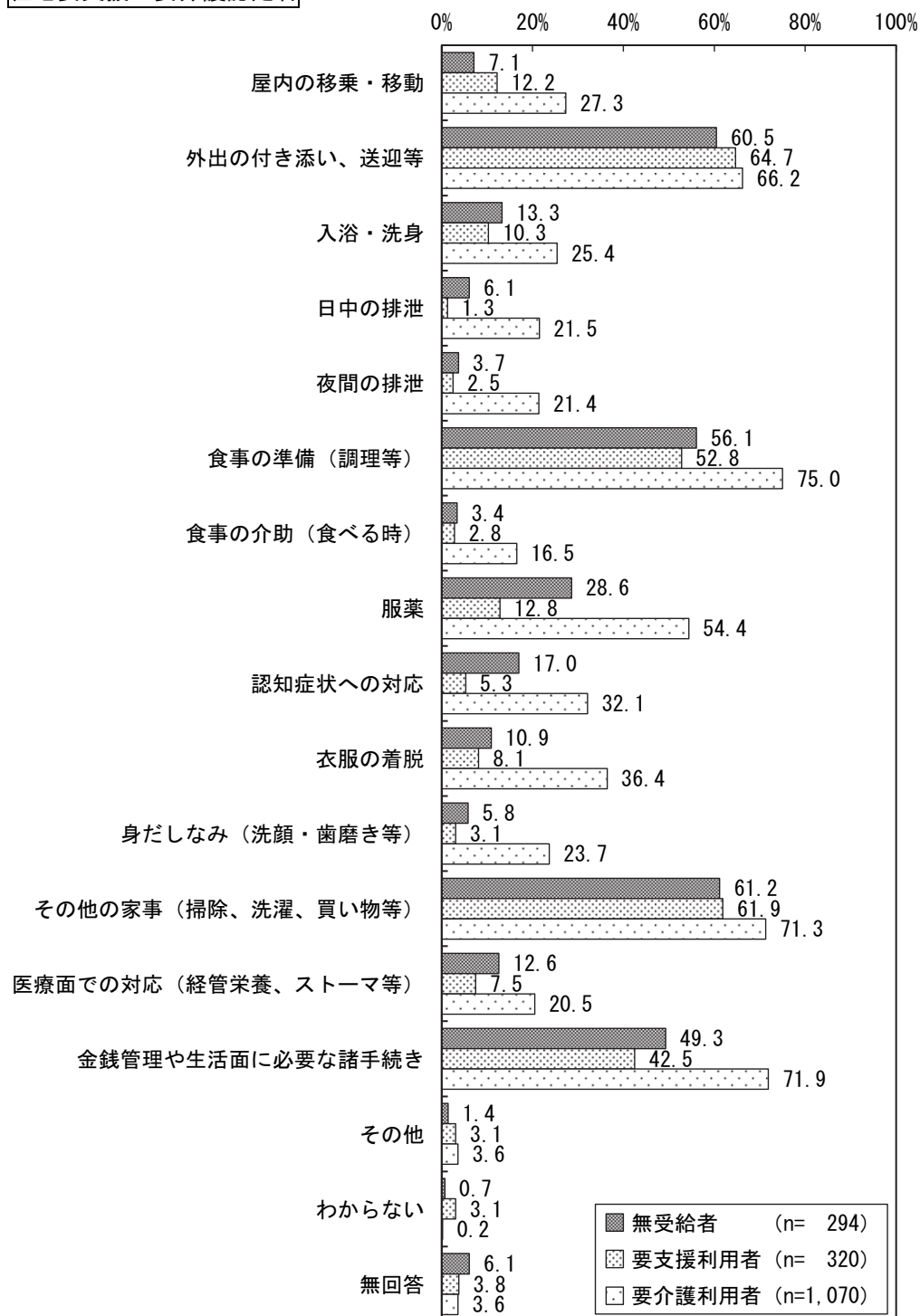


介護の内容としては、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「外出の付き添い、送迎等」と調理等の「食事の準備」、掃除、洗濯、買い物等の「その他の家事」が50%を超え、比較的高くなっています。

このほか、要介護利用者では「服薬」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」も50%を超えています。

図表3-7 介護の内容（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



介護の内容を要支援・要介護度別にみると、要介護利用者では、「服薬」や「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」等以外でも、「屋内の移乗・移動」や「排泄」、「衣服の着脱」等は、要介護4・5で50%を超えています。

図表3-8 介護の内容（要支援・要介護度別、複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	入浴・洗身	日中の排泄	夜間の排泄	食事の準備(調理等)	食事の介助(食べる時)	服薬	認知症状への対応
無受給者	要支援1 (n=109)	4.6	60.6	6.4	1.8	-	45.0	2.8	14.7	6.4
	要支援2 (n=71)	7.0	66.2	12.7	4.2	2.8	54.9	-	18.3	8.5
	要介護1 (n=56)	8.9	55.4	14.3	8.9	3.6	66.1	1.8	51.8	35.7
	要介護2 (n=29)	3.4	62.1	13.8	-	3.4	72.4	6.9	37.9	17.2
	要介護3 (n=12)	16.7	58.3	50.0	25.0	16.7	66.7	8.3	58.3	41.7
	要介護4 (n=7)	42.9	71.4	57.1	42.9	28.6	71.4	42.9	57.1	71.4
	要介護5 (n=1)	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
要支援利用者	要支援1 (n=113)	11.5	64.6	8.8	2.7	2.7	40.7	2.7	14.2	5.3
	要支援2 (n=190)	12.6	65.8	11.6	0.5	2.6	60.5	3.2	12.1	5.8
うち小規模多機能利用者 (n=3)			33.3	-	-	-	66.7	-	33.3	33.3
要介護利用者	要介護1 (n=255)	12.9	62.4	18.0	5.9	4.7	69.0	6.3	42.0	32.5
	要介護2 (n=349)	16.3	70.5	29.2	9.7	12.3	77.4	6.9	48.1	27.8
	要介護3 (n=231)	32.9	71.9	29.4	26.0	22.9	76.2	16.0	64.1	38.1
	要介護4 (n=135)	56.3	63.7	27.4	51.9	52.6	80.7	37.8	69.6	33.3
	要介護5 (n=78)	56.4	51.3	17.9	60.3	57.7	73.1	56.4	70.5	32.1
うち小規模多機能利用者 (n=78)			70.5	15.4	26.9	25.6	71.8	20.5	55.1	51.3
うち定期巡回・随時対応利用者 (n=16)			12.5	-	12.5	12.5	50.0	25.0	50.0	25.0

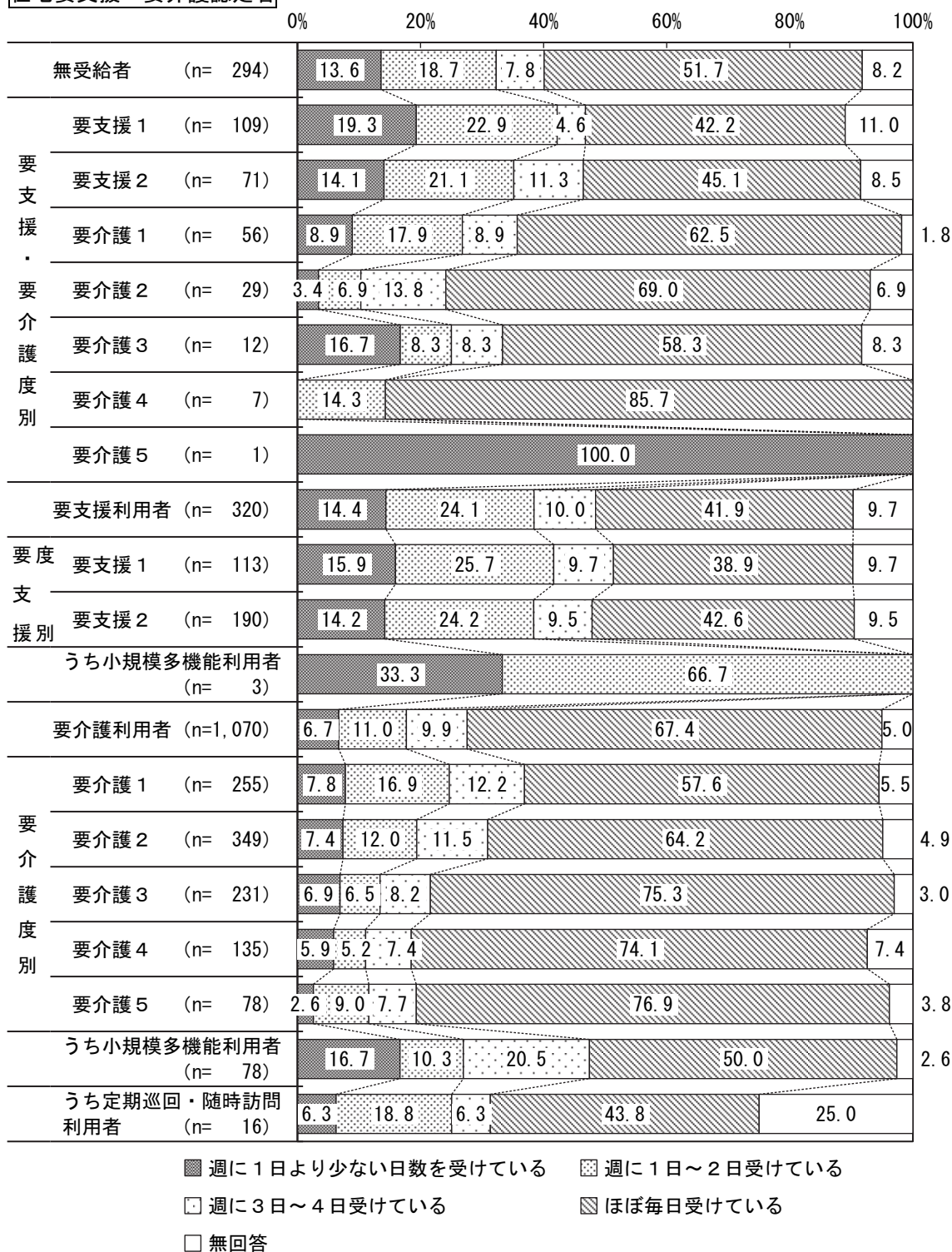
(単位：%)

区 分		衣服の着脱	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	医療面での対応 (経管栄養、 ストーマ等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
無受給者	要支援 1 (n=109)	3.7	2.8	53.2	9.2	33.9	2.8	1.8	9.2
	要支援 2 (n= 71)	12.7	4.2	66.2	11.3	43.7	-	-	4.2
	要介護 1 (n= 56)	7.1	5.4	64.3	8.9	71.4	1.8	-	3.6
	要介護 2 (n= 29)	13.8	6.9	72.4	24.1	58.6	-	-	6.9
	要介護 3 (n= 12)	25.0	16.7	66.7	33.3	66.7	-	-	8.3
	要介護 4 (n= 7)	71.4	42.9	71.4	28.6	85.7	-	-	-
	要介護 5 (n= 1)	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
要利用者	要支援 1 (n=113)	8.0	5.3	55.8	8.0	43.4	6.2	4.4	3.5
	要支援 2 (n=190)	7.9	1.6	66.8	6.8	42.6	1.6	2.1	3.7
うち小規模多機能 利用者 (n= 3)			-	100.0	-	33.3	-	-	-
要介護利用者	要介護 1 (n=255)	15.3	7.5	65.5	13.7	68.2	2.4	0.4	4.3
	要介護 2 (n=349)	26.9	14.3	76.2	19.8	71.9	3.2	0.3	2.3
	要介護 3 (n=231)	47.2	29.0	71.4	23.8	74.5	6.9	-	2.6
	要介護 4 (n=135)	68.1	48.9	70.4	24.4	75.6	1.5	-	6.7
	要介護 5 (n= 78)	65.4	62.8	70.5	32.1	75.6	3.8	-	3.8
うち小規模多機能 利用者 (n= 78)			26.9	73.1	14.1	88.5	1.3	1.3	-
うち定期巡回・ 随時対応利用者 (n= 16)			18.8	62.5	6.3	68.8	-	-	18.8

介護の頻度については、「ほぼ毎日」が、要介護利用者が67.4%、要支援利用者が41.9%となっており、介護保険サービスの無受給者でも51.7%に及んでいます。これを要支援・要介護度別にみると、要介護利用者では重度ほど高い傾向にあります。

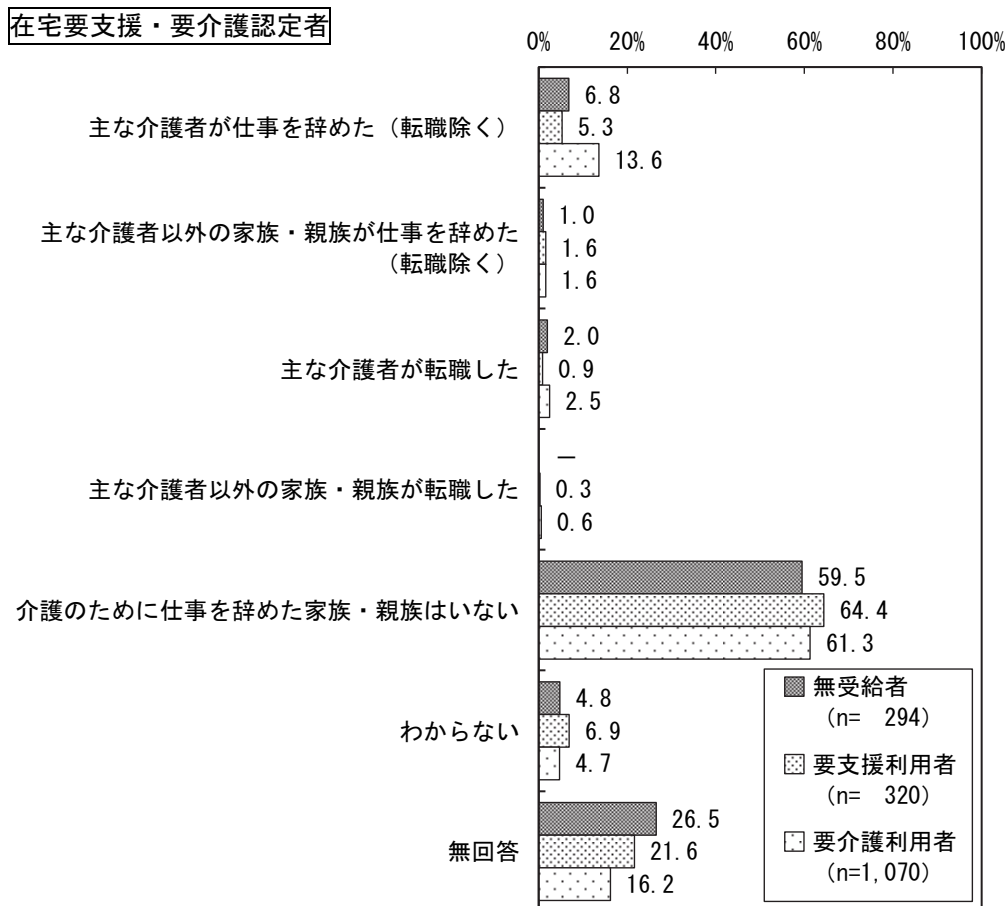
図表3-9 介護の頻度

在宅要支援・要介護認定者



介護による家族等の就労への影響については、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が60%程度を占めています。なお、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」以外では、要介護利用者の「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」が13.6%と比較的高くなっています。

図表3-10 介護による家族等の就労への影響（複数回答）



介護による家族等の就労への影響について、要支援・要介護度別にみると、要介護利用者では、重度ほど「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」が高い傾向にあります。

図表3-11 介護による家族等の就労への影響（要支援・要介護度別、複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族 が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族 が転職した	介護のために仕事を辞めた 家族・親族はいない	わからない	無回答
無受給者	要支援1 (n=109)	6.4	-	1.8	-	56.9	5.5	29.4
	要支援2 (n=71)	7.0	-	1.4	-	59.2	4.2	28.2
	要介護1 (n=56)	5.4	3.6	3.6	-	60.7	5.4	23.2
	要介護2 (n=29)	3.4	-	3.4	-	62.1	3.4	27.6
	要介護3 (n=12)	8.3	-	-	-	66.7	8.3	16.7
	要介護4 (n=7)	42.9	14.3	-	-	57.1	-	-
	要介護5 (n=1)	-	-	-	-	100.0	-	-
要利用者	要支援1 (n=113)	6.2	1.8	2.7	0.9	58.4	9.7	22.1
	要支援2 (n=190)	5.3	1.6	-	-	66.3	4.7	22.6
うち小規模多機能 利用者 (n=3)		-	-	-	-	100.0	-	-
要介護利用者	要介護1 (n=255)	7.8	2.0	3.1	-	63.9	6.7	16.9
	要介護2 (n=349)	13.5	1.1	1.7	0.3	62.8	4.3	16.9
	要介護3 (n=231)	15.2	2.2	2.6	1.7	61.9	3.0	13.9
	要介護4 (n=135)	16.3	1.5	3.7	0.7	55.6	4.4	17.8
	要介護5 (n=78)	21.8	1.3	1.3	-	61.5	5.1	9.0
うち小規模多機能 利用者 (n=78)		11.5	2.6	1.3	-	78.2	3.8	2.6
うち定期巡回・ 随時対応利用者 (n=16)		6.3	-	-	-	62.5	6.3	25.0

2 主な介護者の状況について

(1) 主な介護者の就労状況等

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対して就労状況をたずねたところ、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた《働いている》は、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では 20%に満たないのに対し、要介護利用者では 30%を超えています。一方、「働いていない」も、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では 20%台であるのに対し、要介護利用者では 30%を超えています。

図表3-12 主な介護者の就労状況等

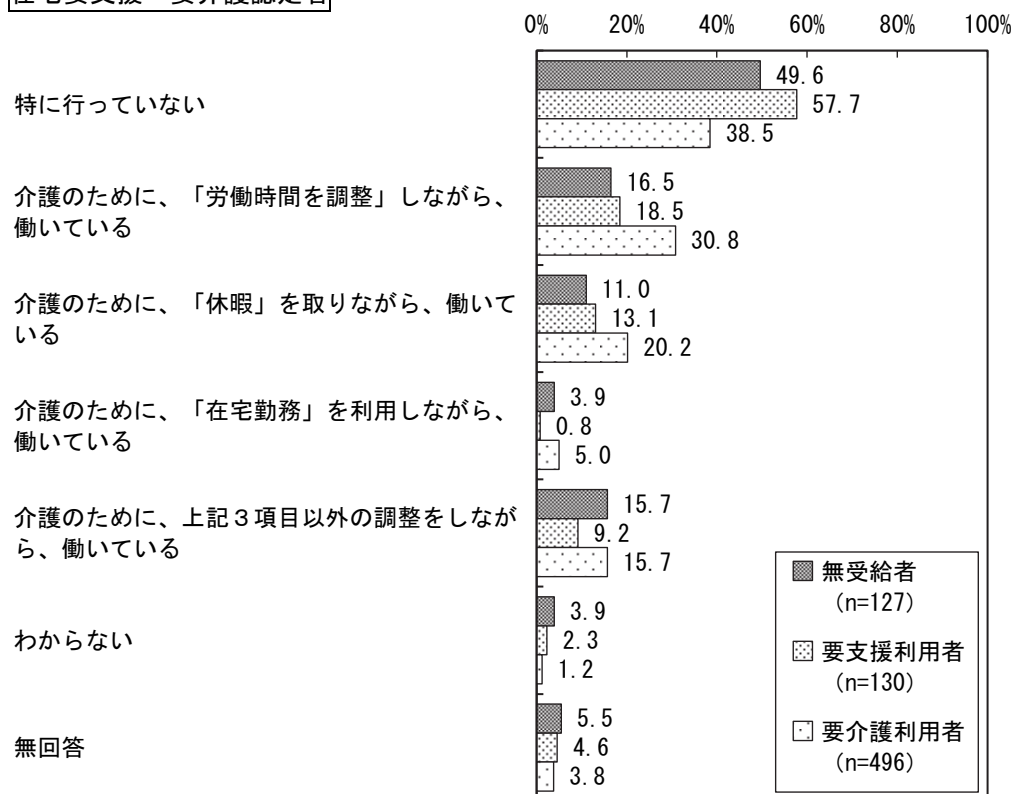
在宅要支援・要介護認定者



《働いている》と答えた主な介護者に対し、働き方を調整しているかたずねたところ、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「特に行っていない」が最も高くなっています。なお、「特に行っていない」に次いで、いずれにおいても、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が高くなっています。

図表3-13 主な介護者の就労調整の状況（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



図表 3-14 主な介護者の就労調整の状況（要支援・要介護度別、複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

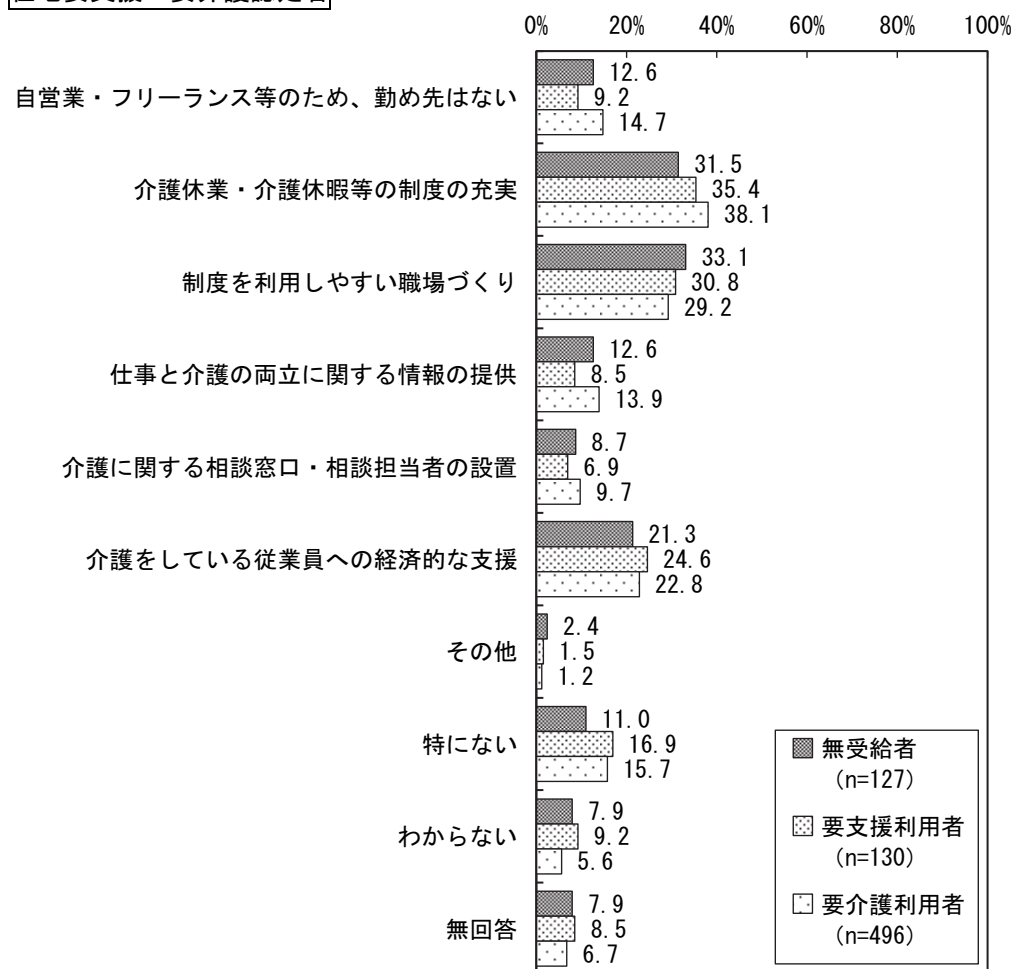
(単位：%)

区 分		特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている	介護のために、「休暇」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、左記3項目以外の調整をしながら、働いている	わからない	無回答
無受給者	要支援 1 (n= 47)	55.3	10.6	14.9	4.3	10.6	2.1	8.5
	要支援 2 (n= 30)	56.7	10.0	6.7	3.3	16.7	6.7	-
	要介護 1 (n= 17)	52.9	17.6	11.8	5.9	17.6	-	5.9
	要介護 2 (n= 13)	15.4	61.5	15.4	-	30.8	-	-
	要介護 3 (n= 8)	75.0	-	-	-	12.5	12.5	-
	要介護 4 (n= 5)	20.0	20.0	-	20.0	-	-	40.0
	要介護 5 (n= 2)	50.0	-	-	-	-	50.0	-
要利用者 要支援	要支援 1 (n= 41)	53.7	17.1	9.8	-	12.2	4.9	2.4
	要支援 2 (n= 81)	61.7	17.3	13.6	1.2	7.4	1.2	6.2
うち小規模多機能利用者 (n= 2)		50.0	-	50.0	-	-	-	-
要介護利用者	要介護 1 (n=136)	43.4	25.0	16.9	3.7	13.2	2.2	4.4
	要介護 2 (n=151)	37.7	34.4	20.5	4.0	16.6	0.7	2.6
	要介護 3 (n=101)	28.7	34.7	24.8	10.9	15.8	2.0	5.9
	要介護 4 (n= 70)	45.7	25.7	21.4	4.3	14.3	-	1.4
	要介護 5 (n= 29)	34.5	37.9	10.3	-	27.6	-	6.9
うち小規模多機能利用者 (n= 44)		34.1	31.8	18.2	6.8	18.2	-	-
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 9)		44.4	33.3	22.2	-	22.2	11.1	-

《働いている》と答えた主な介護者に対し、仕事と介護を両立するために勤務先からあるとよい効果的な支援についてたずねたところ、介護保険サービスの無受給者では「制度を利用しやすい職場づくり」、要支援・要介護利用者では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高くなっています。

図表3-15 仕事と介護を両立するために勤務先からあるとよい効果的な支援（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



図表 3-16 仕事と介護を両立するために勤務先からあるとよい効果的な支援（要支援・要介護度別、複数回答）

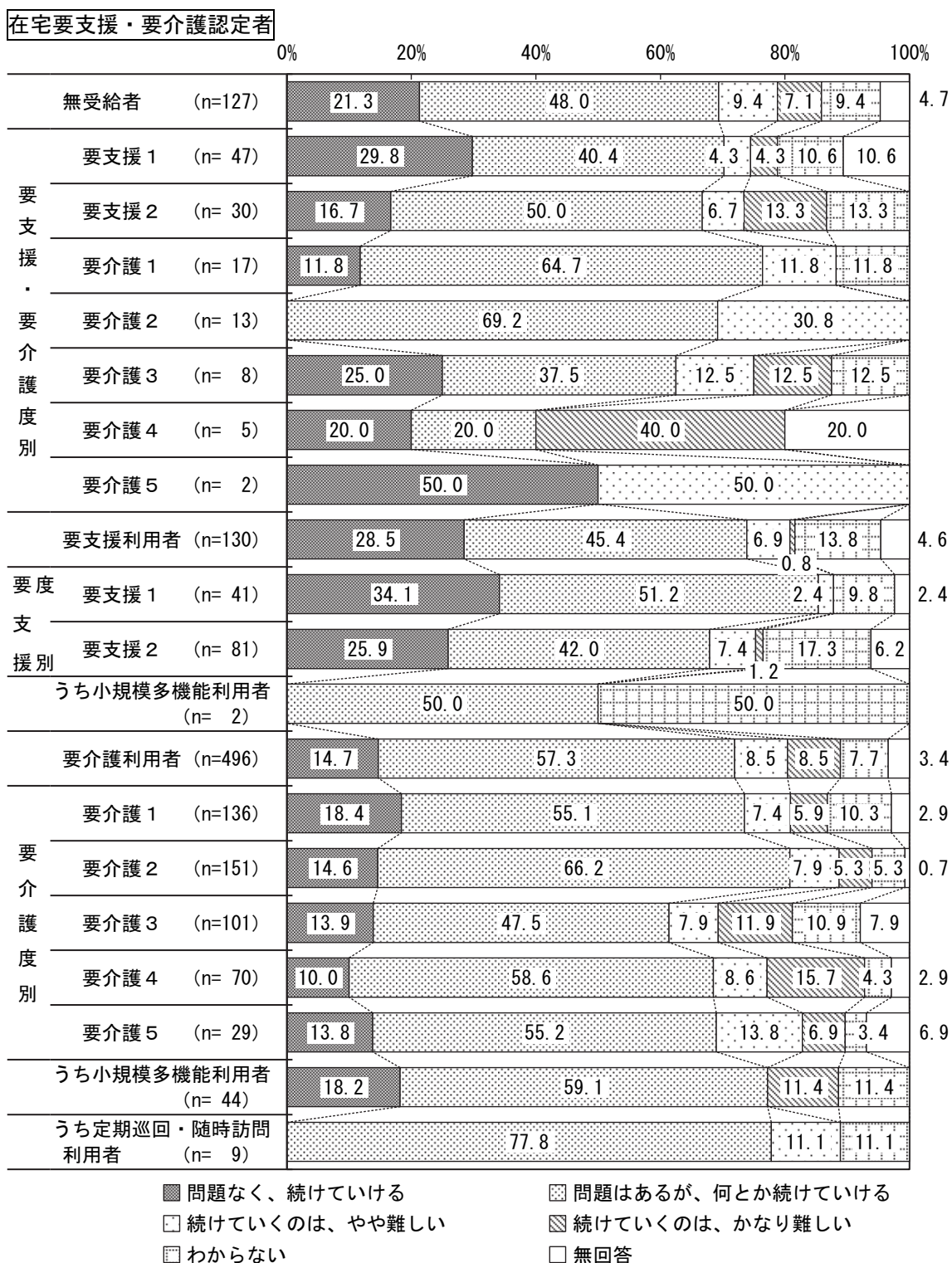
在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	わからない	無回答
無受給者	要支援 1 (n= 47)	12.8	25.5	27.7	8.5	6.4	14.9	-	12.8	10.6	12.8
	要支援 2 (n= 30)	13.3	33.3	33.3	13.3	3.3	40.0	6.7	10.0	3.3	3.3
	要介護 1 (n= 17)	5.9	47.1	35.3	5.9	17.6	17.6	5.9	5.9	11.8	5.9
	要介護 2 (n= 13)	15.4	30.8	38.5	15.4	7.7	7.7	-	23.1	7.7	-
	要介護 3 (n= 8)	12.5	12.5	37.5	12.5	-	25.0	-	-	12.5	12.5
	要介護 4 (n= 5)	40.0	-	-	-	-	20.0	-	20.0	-	20.0
	要介護 5 (n= 2)	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
要支援利用者	要支援 1 (n= 41)	9.8	31.7	29.3	7.3	9.8	26.8	2.4	24.4	9.8	7.3
	要支援 2 (n= 81)	8.6	38.3	33.3	8.6	4.9	23.5	-	13.6	8.6	9.9
うち小規模多機能利用者 (n= 2)		-	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-
要介護利用者	要介護 1 (n=136)	13.2	35.3	28.7	14.0	8.1	16.9	1.5	18.4	8.8	4.4
	要介護 2 (n=151)	17.9	43.0	28.5	15.2	9.9	26.5	-	10.6	5.3	5.3
	要介護 3 (n=101)	8.9	39.6	30.7	14.9	10.9	22.8	1.0	20.8	2.0	9.9
	要介護 4 (n= 70)	15.7	31.4	27.1	8.6	10.0	21.4	1.4	20.0	7.1	7.1
	要介護 5 (n= 29)	20.7	37.9	34.5	20.7	13.8	34.5	6.9	3.4	-	13.8
うち小規模多機能利用者 (n= 44)		9.1	43.2	36.4	22.7	25.0	27.3	2.3	15.9	13.6	4.5
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 9)		-	33.3	33.3	22.2	11.1	33.3	-	11.1	22.2	-

《働いている》と答えた主な介護者に対し、今後も働きながら介護を続けられそうかたずねたところ、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた《続けていける》は、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、70%程度を占めています。「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」割合（30頁参照）が比較的高い要介護利用者を要介護度別にみると、《続けていける》は、要介護2で80%を超えて高い一方、要介護3では61.4%と比較的低くなっています。

図表3-17 今後も就労しながら介護を続けられそうか

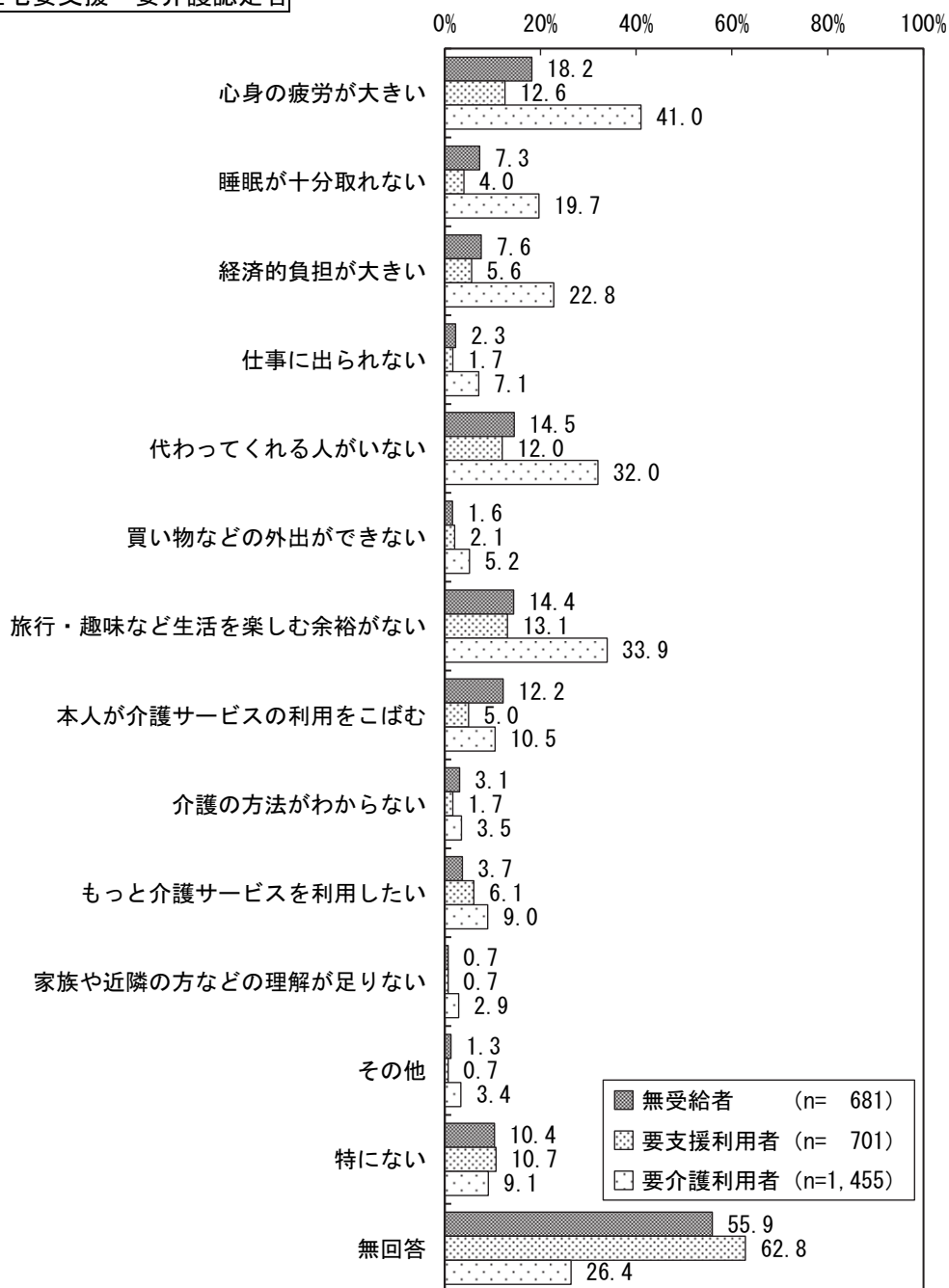


(2) 主な介護者の困りごと等

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、介護する上で困っていることをたずねたところ、「無回答」を除く高い項目としては、要介護利用者は「心身の疲労が大きい」が41.0%、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」が33.9%、「代わってくれる人がいない」が32.0%となっています。

図表3-18 主な介護者が介護する上で困っていること（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



介護する上で困っていることについて要支援・要介護度別にみると、「本人が介護サービスの利用をこぼむ」は、介護保険サービスの無受給者のうち要介護認定を受けている人が要介護利用者に比べて高い傾向にあります。

図表3-19 主な介護者が介護する上で困っていること（要支援・要介護度別、複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

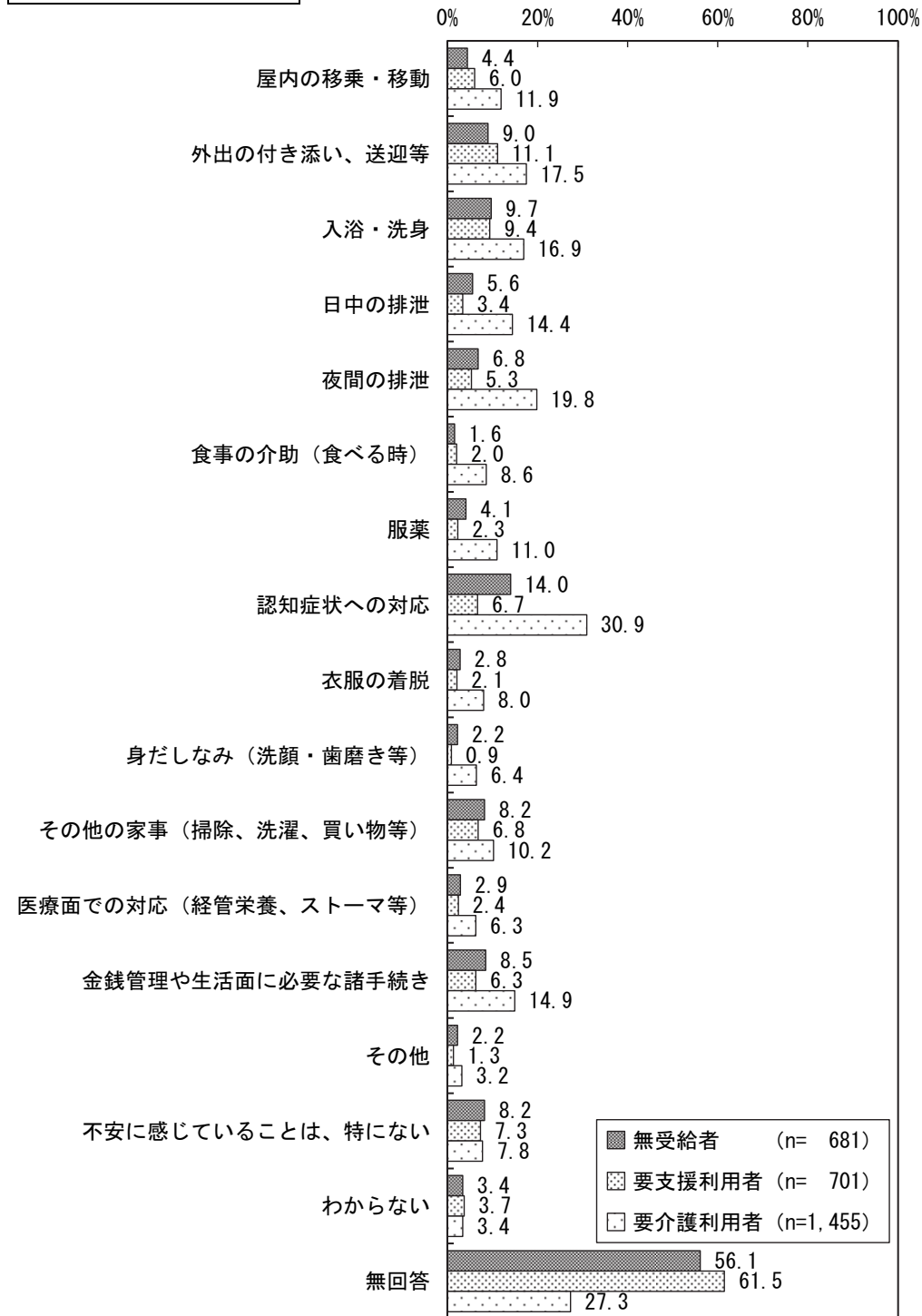
(単位：%)

区 分		心身の疲労が大きい	睡眠が十分取れない	経済的負担が大きい	仕事に出られない	代わってくれる人がいない	買い物などの外出ができない	旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない	本人が介護サービスの利用をこぼむ	介護の方法がわからない	もっと介護サービスを利用したい	家族や近隣の方などの理解が足りない	その他	特にない	無回答
無受給者	要支援1 (n=300)	14.3	3.7	6.7	1.7	11.7	2.0	11.7	8.0	1.7	3.7	0.3	1.7	12.0	59.3
	要支援2 (n=152)	17.8	5.9	5.9	2.6	17.1	-	16.4	13.8	3.3	2.6	2.0	1.3	10.5	56.6
	要介護1 (n=88)	23.9	13.6	10.2	1.1	18.2	2.3	18.2	20.5	5.7	4.5	-	1.1	9.1	44.3
	要介護2 (n=39)	41.0	23.1	12.8	2.6	30.8	-	35.9	23.1	5.1	5.1	-	2.6	10.3	25.6
	要介護3 (n=18)	33.3	11.1	16.7	-	5.6	-	11.1	27.8	5.6	-	-	-	27.8	33.3
	要介護4 (n=11)	36.4	36.4	27.3	36.4	36.4	18.2	45.5	18.2	-	-	-	-	-	36.4
	要介護5 (n=2)	50.0	-	50.0	-	100.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
要支援利用者	要支援1 (n=268)	9.7	3.7	4.9	1.9	10.4	2.2	10.8	2.6	1.5	4.5	0.7	0.4	8.2	70.1
	要支援2 (n=387)	14.0	4.1	6.5	1.6	13.4	2.3	14.7	7.0	2.1	7.8	0.8	1.0	13.4	57.1
うち小規模多機能利用者 (n=9)		33.3	33.3	11.1	-	22.2	-	22.2	-	-	-	-	-	-	66.7
要介護利用者	要介護1 (n=362)	36.5	11.6	16.9	5.8	29.0	2.5	27.6	11.9	2.8	8.8	2.8	5.5	11.0	29.3
	要介護2 (n=440)	40.9	16.8	19.1	5.5	30.7	3.9	35.5	10.9	3.9	8.9	2.3	2.0	10.0	24.3
	要介護3 (n=305)	46.9	24.3	31.1	8.9	35.4	7.9	37.7	12.8	4.9	12.8	5.6	3.0	8.2	23.0
	要介護4 (n=202)	44.1	30.2	25.7	10.4	31.7	7.4	35.1	8.4	2.5	5.4	2.0	3.0	6.4	28.7
	要介護5 (n=101)	41.6	30.7	31.7	6.9	41.6	7.9	40.6	4.0	2.0	4.0	-	4.0	4.0	21.8
うち小規模多機能利用者 (n=112)		46.4	21.4	28.6	4.5	30.4	9.8	32.1	7.1	6.3	8.0	1.8	3.6	9.8	25.9
うち定期巡回・随時対応利用者 (n=24)		33.3	20.8	29.2	-	33.3	-	20.8	4.2	-	-	4.2	-	12.5	37.5

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、今の生活を継続していく上で不安を感じる介護等についてたずねたところ、「無回答」を除き最も高い項目は、要介護利用者の「認知症への対応」(30.9%)となっています。

図表3-20 主な介護者が今後不安を感じる介護等(3つまで回答)

在宅要支援・要介護認定者



図表 3-21 主な介護者が今後不安に感じる介護等（要支援・要介護度別、3つまで回答）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	入浴・洗身	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	服薬	認知症状への対応	衣服の着脱
無受給者	要支援 1 (n=300)	4.7	10.0	7.0	5.0	4.3	1.0	2.0	10.7	2.3
	要支援 2 (n=152)	3.3	6.6	13.2	4.6	9.9	2.0	3.3	8.6	1.3
	要介護 1 (n= 88)	4.5	5.7	12.5	6.8	8.0	2.3	12.5	29.5	2.3
	要介護 2 (n= 39)	7.7	28.2	17.9	7.7	5.1	2.6	10.3	28.2	10.3
	要介護 3 (n= 18)	11.1	-	27.8	11.1	22.2	-	5.6	22.2	5.6
	要介護 4 (n= 11)	9.1	9.1	-	27.3	18.2	9.1	-	27.3	9.1
	要介護 5 (n= 2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要利用者	要支援 1 (n=268)	4.1	7.1	6.7	2.6	5.2	1.1	1.9	5.6	1.5
	要支援 2 (n=387)	7.8	13.7	11.1	3.9	5.7	2.6	2.6	7.8	2.3
うち小規模多機能利用者 (n= 9)		11.1	22.2	-	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
要介護利用者	要介護 1 (n=362)	6.9	17.7	15.5	13.3	17.7	5.2	12.2	34.0	4.7
	要介護 2 (n=440)	10.7	18.2	19.8	13.4	17.5	9.1	13.2	29.5	9.5
	要介護 3 (n=305)	19.3	20.0	18.7	14.8	22.0	8.9	13.1	37.0	11.1
	要介護 4 (n=202)	12.9	17.3	15.8	18.8	26.2	10.4	5.9	28.2	6.4
	要介護 5 (n=101)	9.9	9.9	7.9	12.9	16.8	14.9	4.0	17.8	4.0
うち小規模多機能利用者 (n=112)		9.8	16.1	11.6	16.1	17.9	8.9	9.8	35.7	7.1
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 24)		-	8.3	8.3	12.5	16.7	8.3	4.2	12.5	4.2

(注) 次頁に続きます。

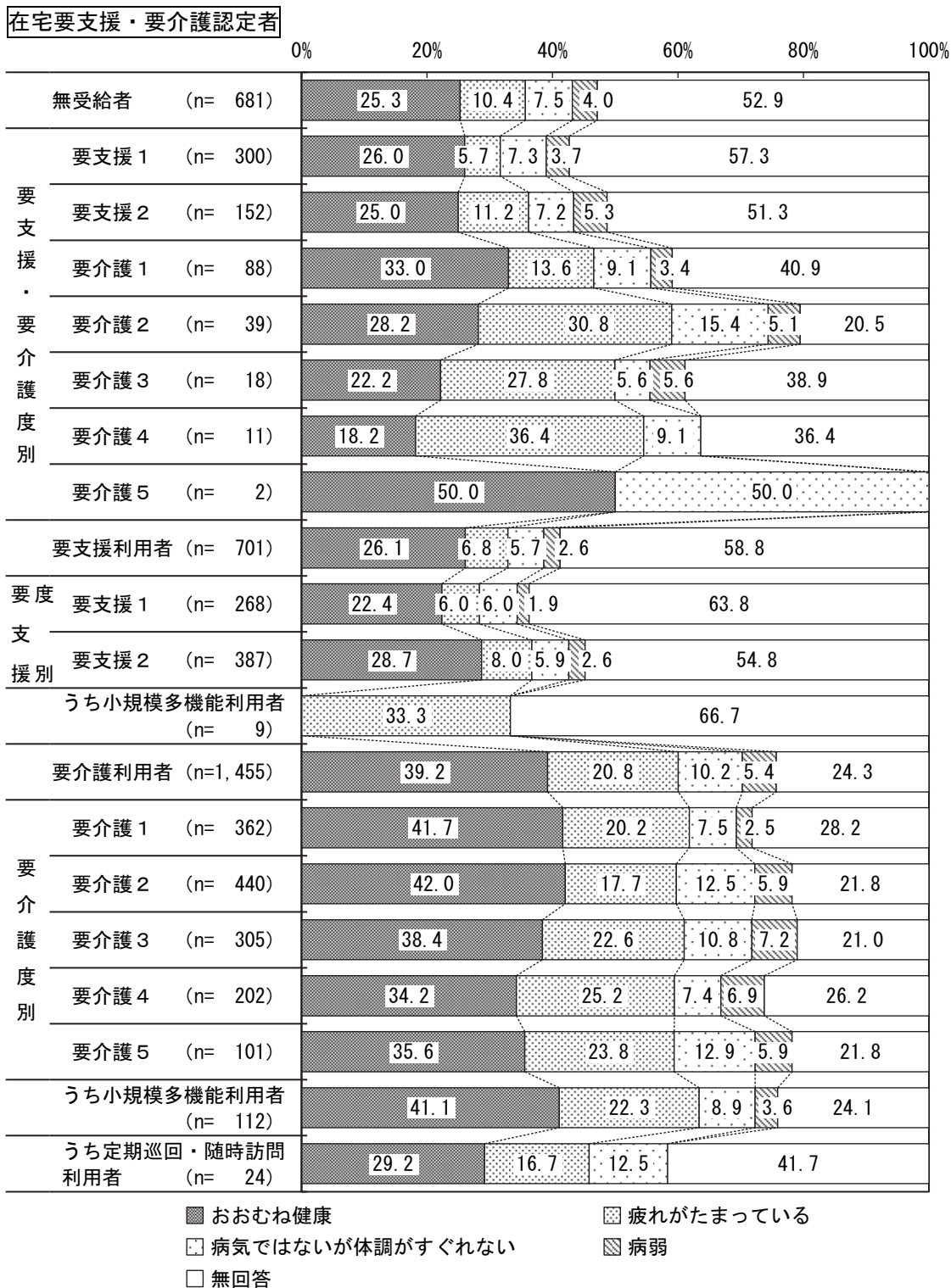
(単位：%)

区 分		身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	わからない	無回答
無受給者	要支援 1 (n=300)	1.0	6.3	3.7	7.3	2.3	8.0	4.7	58.7
	要支援 2 (n=152)	2.6	7.2	0.7	6.6	1.3	8.6	3.3	58.6
	要介護 1 (n= 88)	4.5	12.5	6.8	14.8	2.3	10.2	1.1	43.2
	要介護 2 (n= 39)	5.1	20.5	5.1	17.9	-	10.3	-	28.2
	要介護 3 (n= 18)	5.6	5.6	-	5.6	-	16.7	11.1	33.3
	要介護 4 (n= 11)	9.1	18.2	-	9.1	18.2	-	-	36.4
	要介護 5 (n= 2)	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-
要利用者	要支援 1 (n=268)	1.5	3.4	1.5	6.3	0.4	6.0	4.1	69.4
	要支援 2 (n=387)	0.5	9.6	2.8	6.5	2.1	8.5	3.6	55.3
うち小規模多機能利用者 (n= 9)		-	22.2	11.1	22.2	-	-	-	66.7
要介護利用者	要介護 1 (n=362)	5.8	10.8	4.4	13.0	2.5	7.5	3.0	29.6
	要介護 2 (n=440)	7.3	13.6	6.6	17.5	2.7	8.0	3.2	24.5
	要介護 3 (n=305)	9.5	8.9	8.5	16.1	3.6	6.2	3.9	24.3
	要介護 4 (n=202)	3.0	3.5	5.9	12.9	4.0	6.4	3.5	30.7
	要介護 5 (n=101)	3.0	7.9	7.9	10.9	6.9	16.8	3.0	25.7
うち小規模多機能利用者 (n=112)		2.7	3.6	6.3	17.9	4.5	9.8	1.8	27.7
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 24)		-	8.3	-	12.5	4.2	8.3	8.3	37.5

(3) 主な介護者の健康状態等

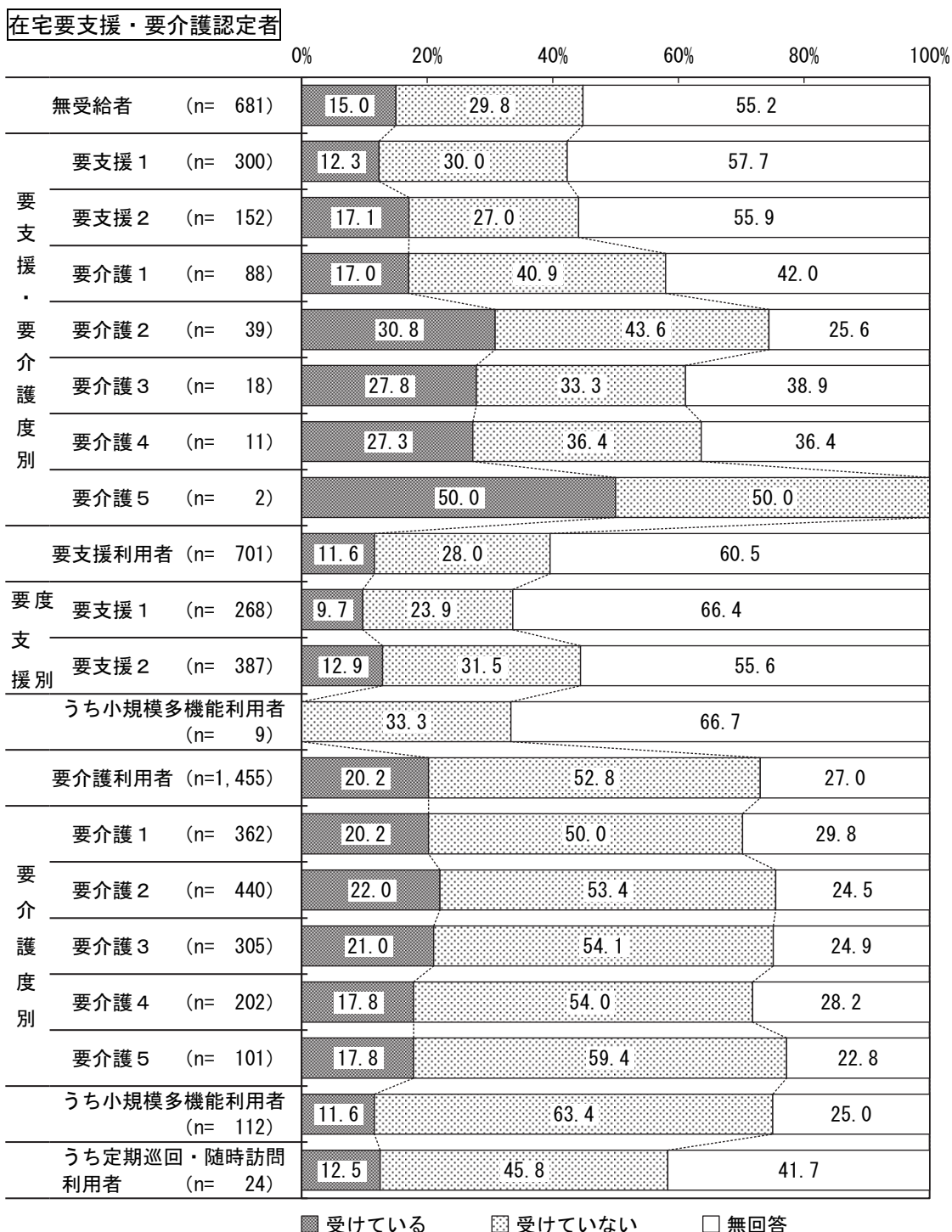
在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対して健康状況をたずねたところ、「おおむね健康」は、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者の20%台に対し、要介護利用者では40%程度となっています。

図表3-22 主な介護者の健康状態



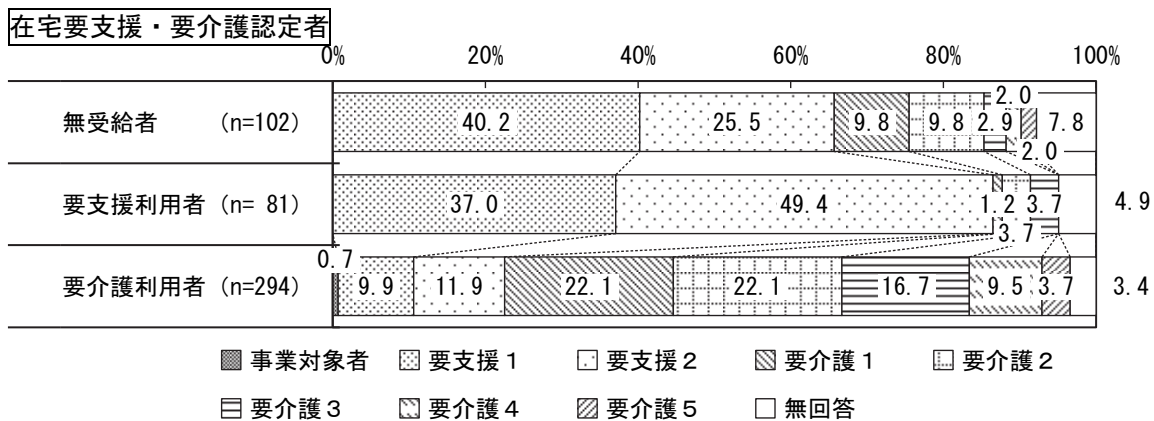
調査対象者を主に介護している人の要支援、要介護の認定状況をたずねたところ、「受けている」は、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者の10%台に対し、要介護利用者では20%程度となっています。

図表3-23 主な介護者の要支援・要介護認定の有無



要支援・要介護認定を「受けている」介護をしている人の要支援・要介護認定度については、「要支援1」と「要支援2」が、介護保険サービスの無受給者の60%以上、要支援利用者の80%以上を占めています。要介護利用者では、「事業対象者」から「要介護2」までで60%以上を占めています。

図表3-24 主な介護者の要支援・要介護度

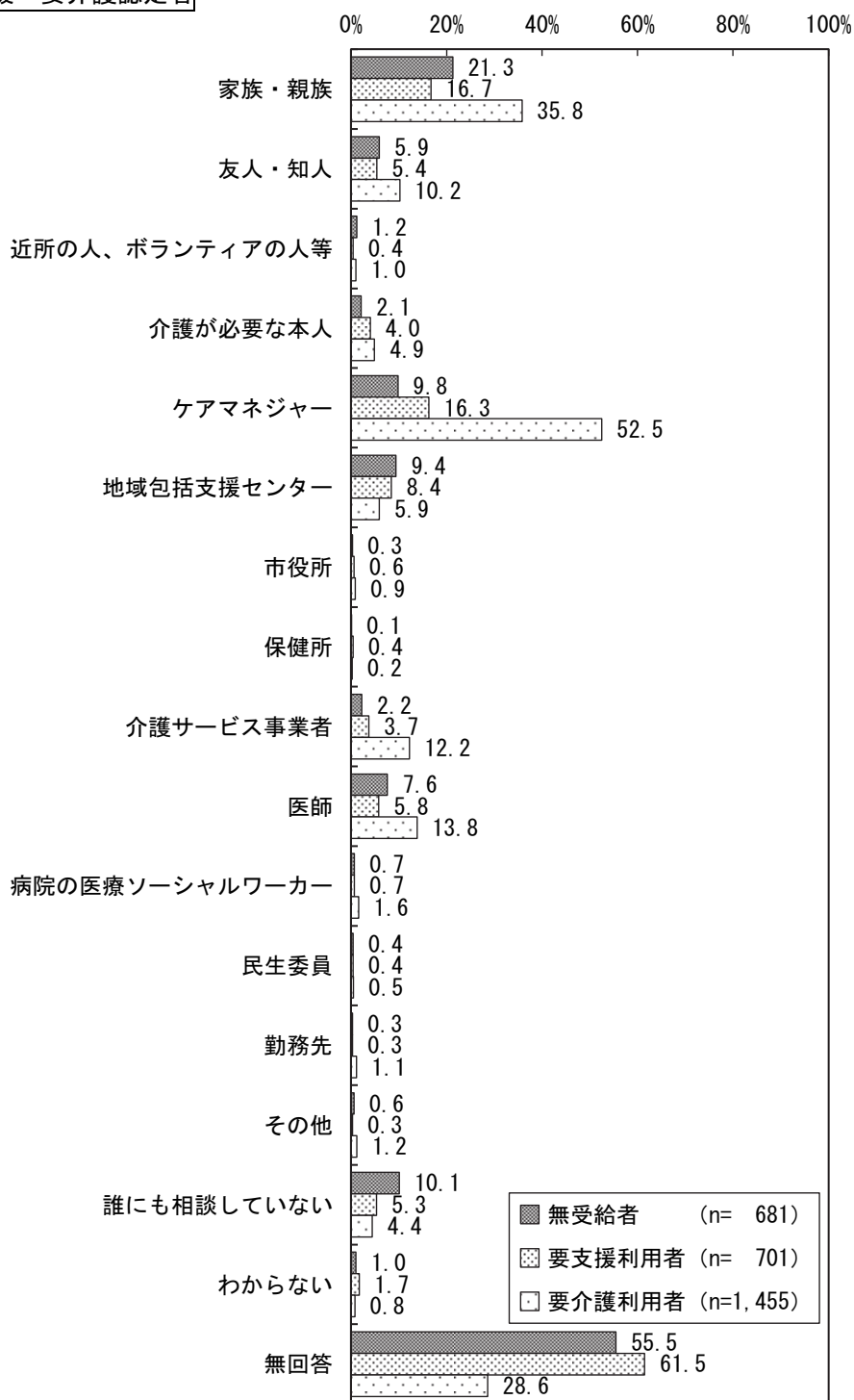


(4) 主な介護者の相談相手

調査対象者を主に介護している人の介護についての相談相手としては、要介護利用者では、「ケアマネジャー」が52.5%と最も高く、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では、「無回答」を除くと、「家族・親族」が最も高くなっています。

図表3-25 主な介護者の介護についての相談相手（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

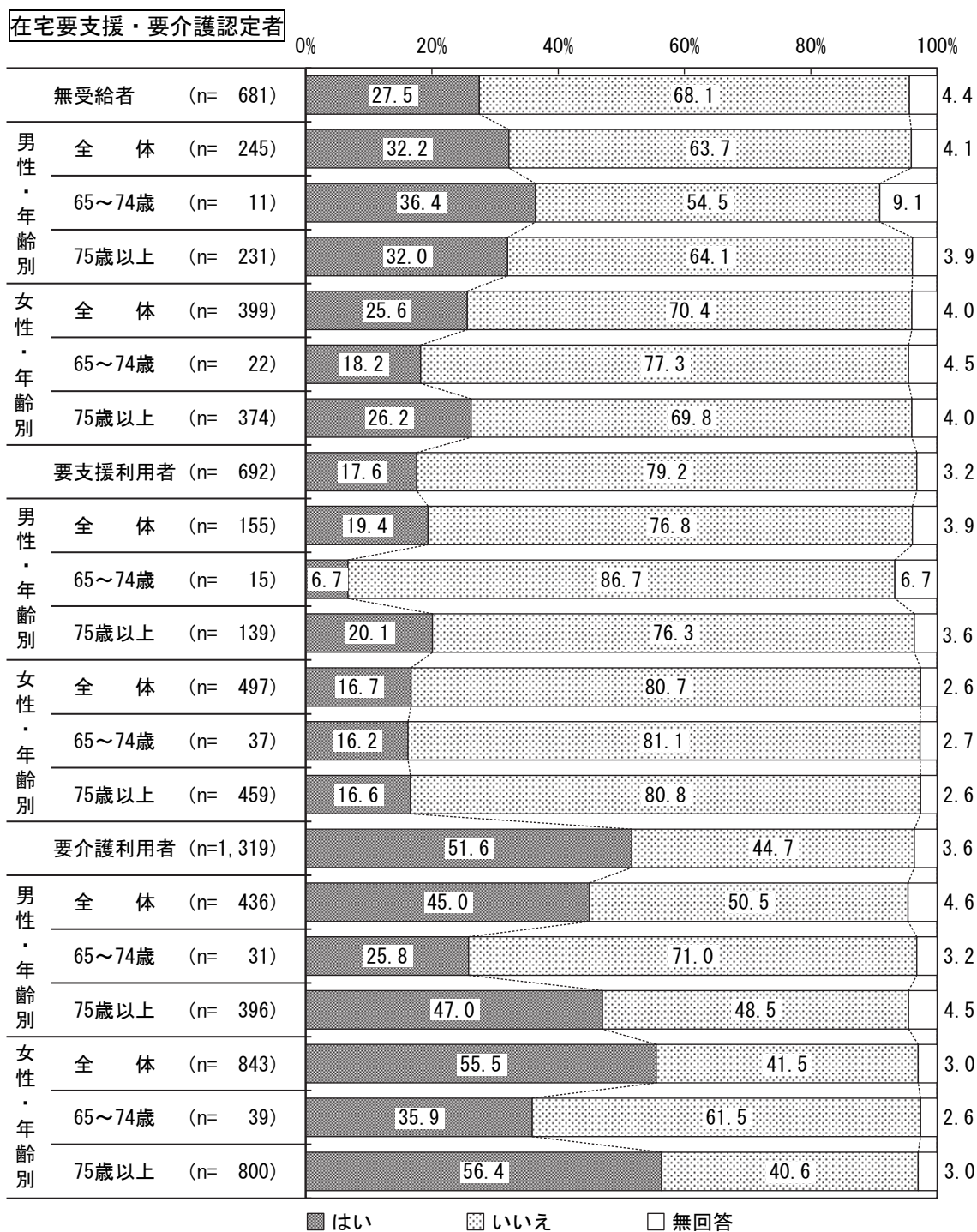


3 認知症について

(1) 認知症状の有無

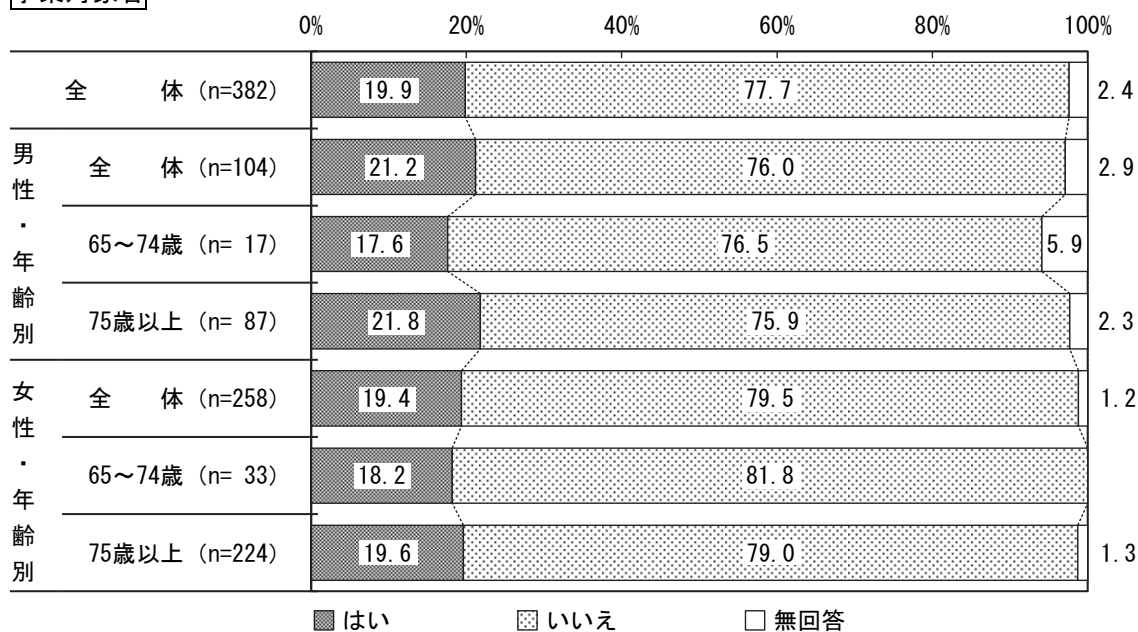
調査対象者を主に介護している人が今後不安に感じる「認知症」(41頁参照)について、要介護利用者では、51.6%が自分や家族に症状がある(「はい」と答えており、男性に比べて女性が10ポイント程度高くなっています。一方、介護保険サービスの無受給者では、ある(「はい」)が27.5%で、女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

図表3-26 自分や家族に認知症の症状があるか

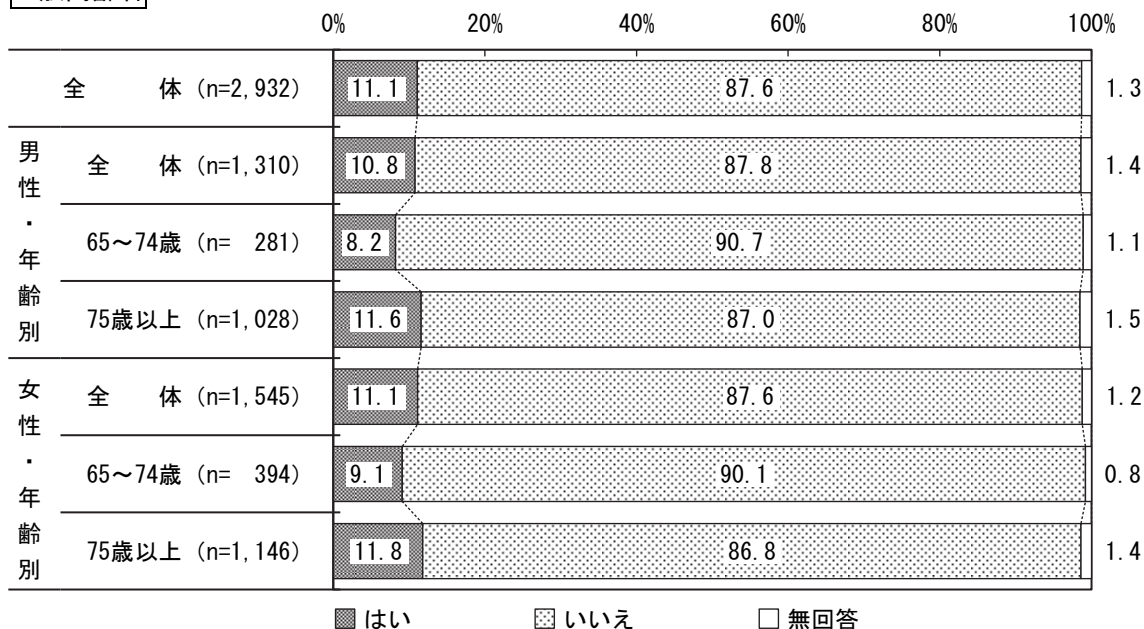


また、ある（「はい」）は、要支援利用者では 17.6%、事業対象者では 19.9%、一般高齢者では 11.1%となっており、いずれにおいても性別であまり差異はみられません。

事業対象者

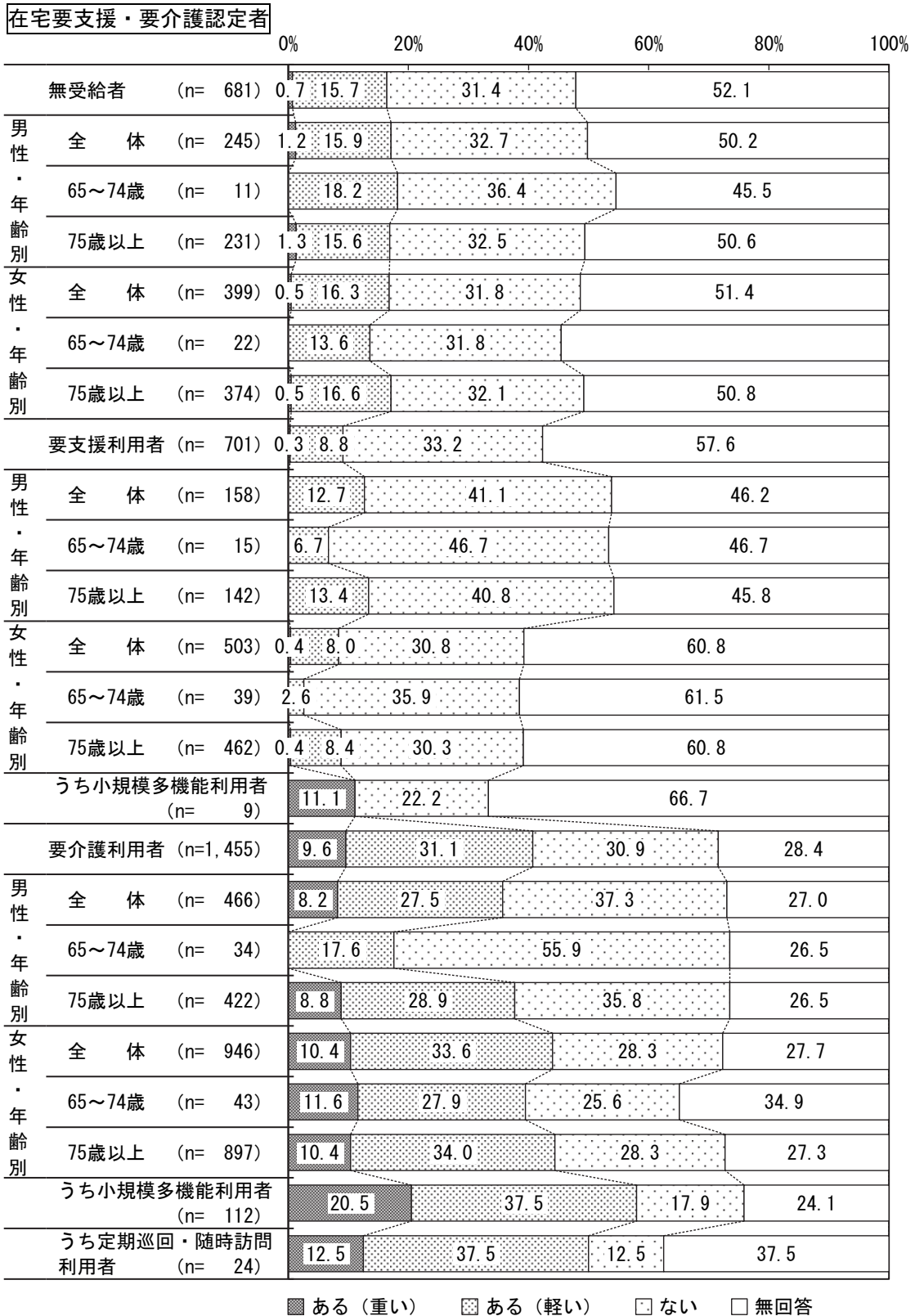


一般高齢者



在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、調査対象者に認知症の症状があるかたずねてみても、要介護利用者では、「ある」（重い+軽い）は40.7%を占め、男性に比べて女性が10ポイント弱高くなっています。なお、介護保険サービスの無受給者で16.4%、要支援利用者で9.1%となっています。

図表3-27 調査対象者に認知症の症状はあるか

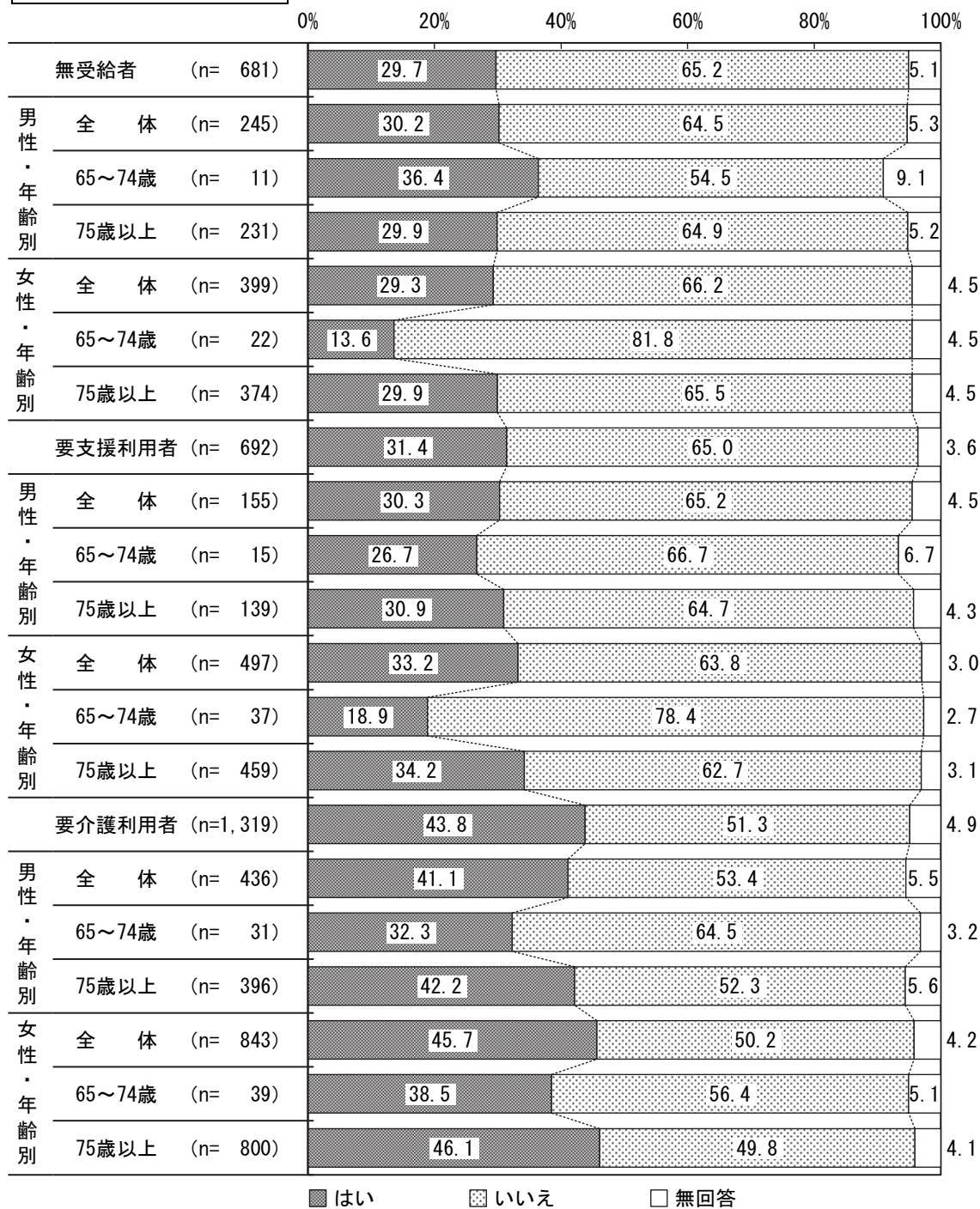


(2) 認知症に関する相談窓口等の周知状況

認知症に関する相談窓口について、知っている(「はい」)は、要介護利用者が43.8%、要支援利用者が31.4%、無受給者が29.7%にとどまっています。

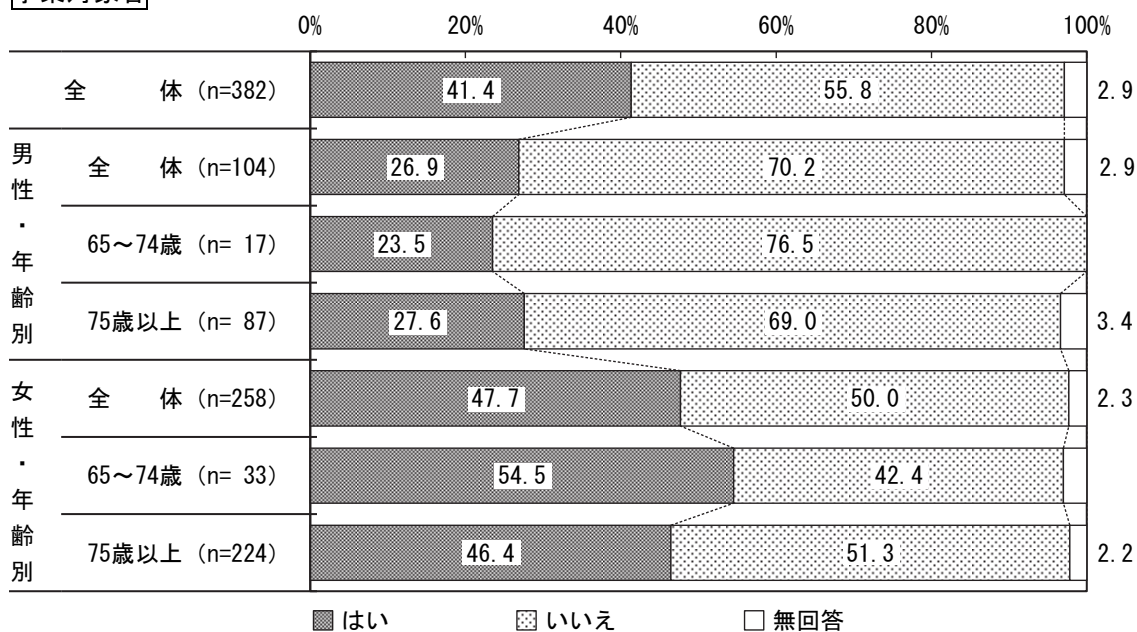
図表3-28 認知症に関する相談窓口の周知度

在宅要支援・要介護認定者

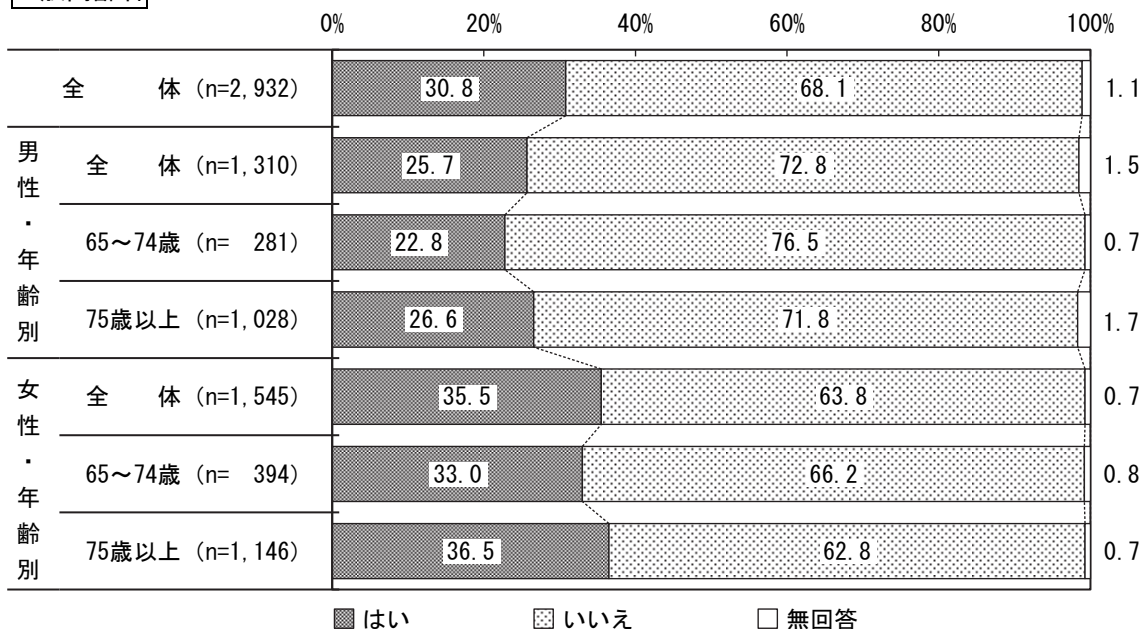


なお、知っている（「はい」）は、事業対象者では 41.4%と比較的高く、一般高齢者では 30.8%となっていますが、いずれにおいても女性に比べて男性の周知度が低くなっています。

事業対象者

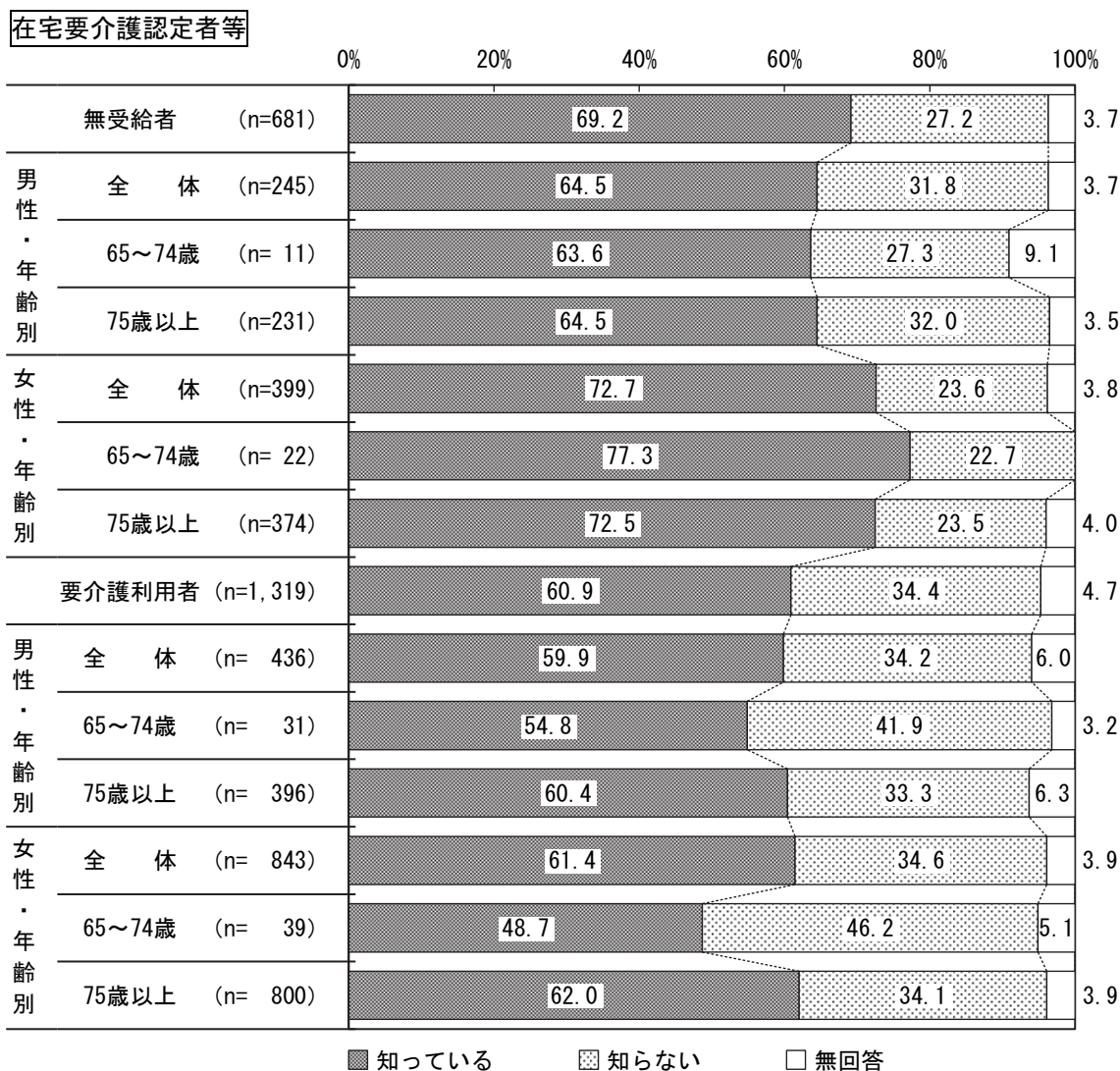


一般高齢者



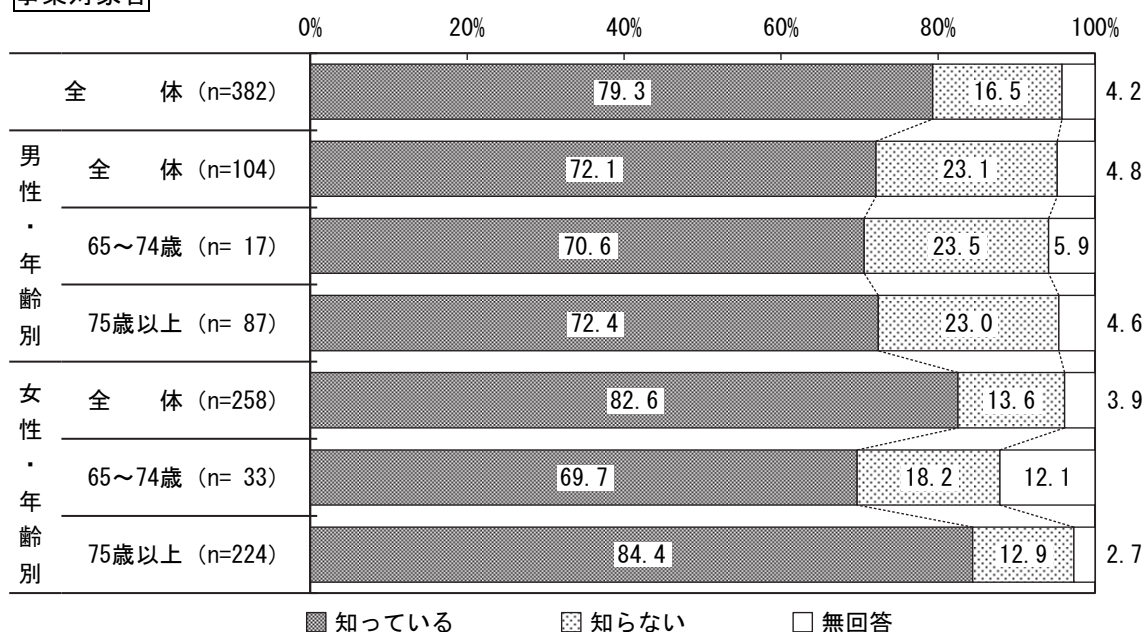
認知症の相談窓口でもある地域包括支援センターが、高齢者の総合相談窓口であることについて、「知っている」は、介護保険サービスの無受給者では69.2%、要介護利用者では60.9%を占めています。なお、無受給者では、男性に比べて女性の周知度が高くなっています。

図表3-29 高齢者の総合相談窓口としての地域包括の周知度

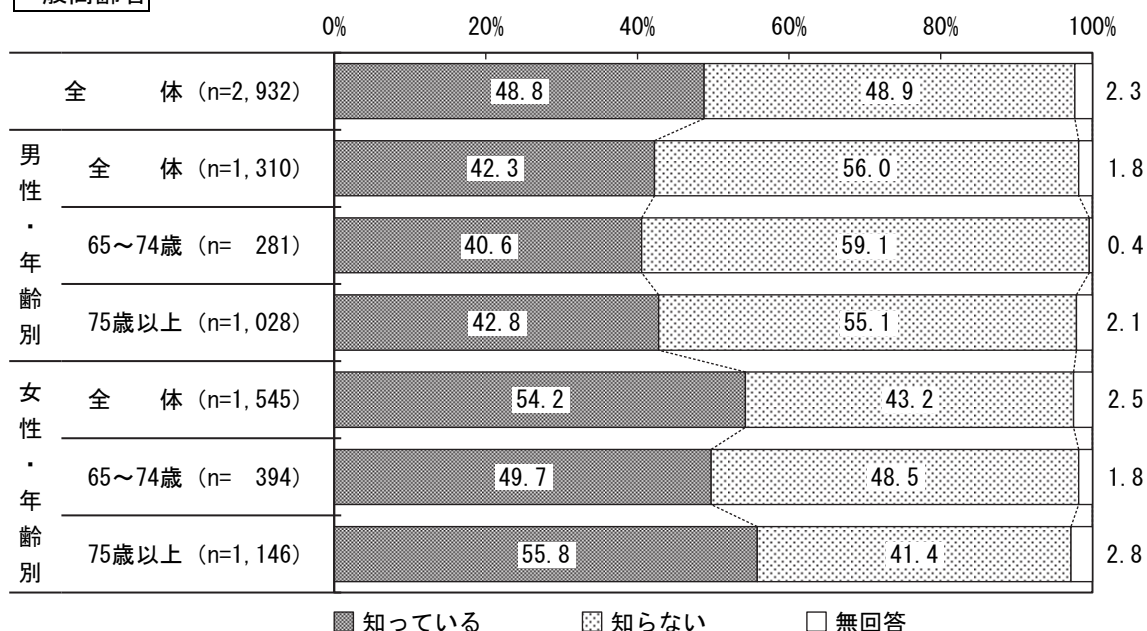


なお、「知っている」は、事業対象者では79.3%と高く、一般高齢者では48.8%となっています。いずれにおいても、男性に比べて女性の周知度が高く、事業対象者の女性では80%、一般高齢者の女性では50%を超えています。

事業対象者



一般高齢者



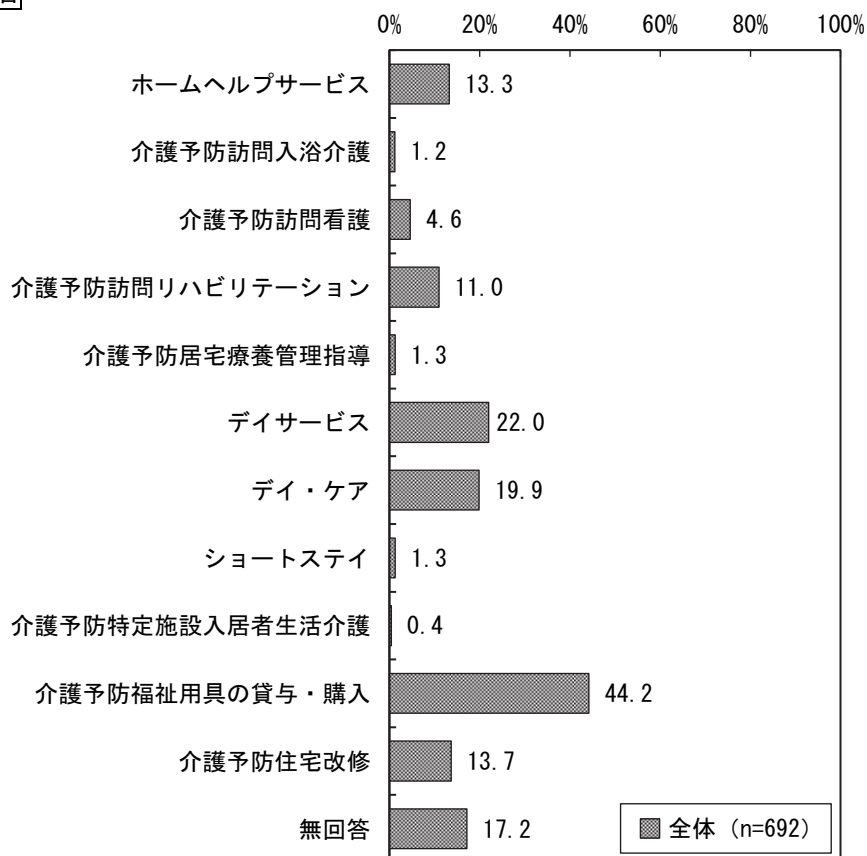
4 介護（予防）サービスの利用等について

(1) サービスの利用状況

利用している介護予防サービスは、「介護予防福祉用具の貸与・購入」が44.2%と最も高く、次いで、「デイサービス」(22.0%)、「デイ・ケア」(19.9%)の順となっています。

図表3-30 利用している介護予防サービス（複数回答）

要支援利用者



利用している介護予防サービスを要支援度別にみると、「デイサービス」では、要支援1に比べて要支援2が10ポイント以上高くなっています。

図表3-31 利用している介護予防サービス（要支援度別、複数回答）

要支援利用者

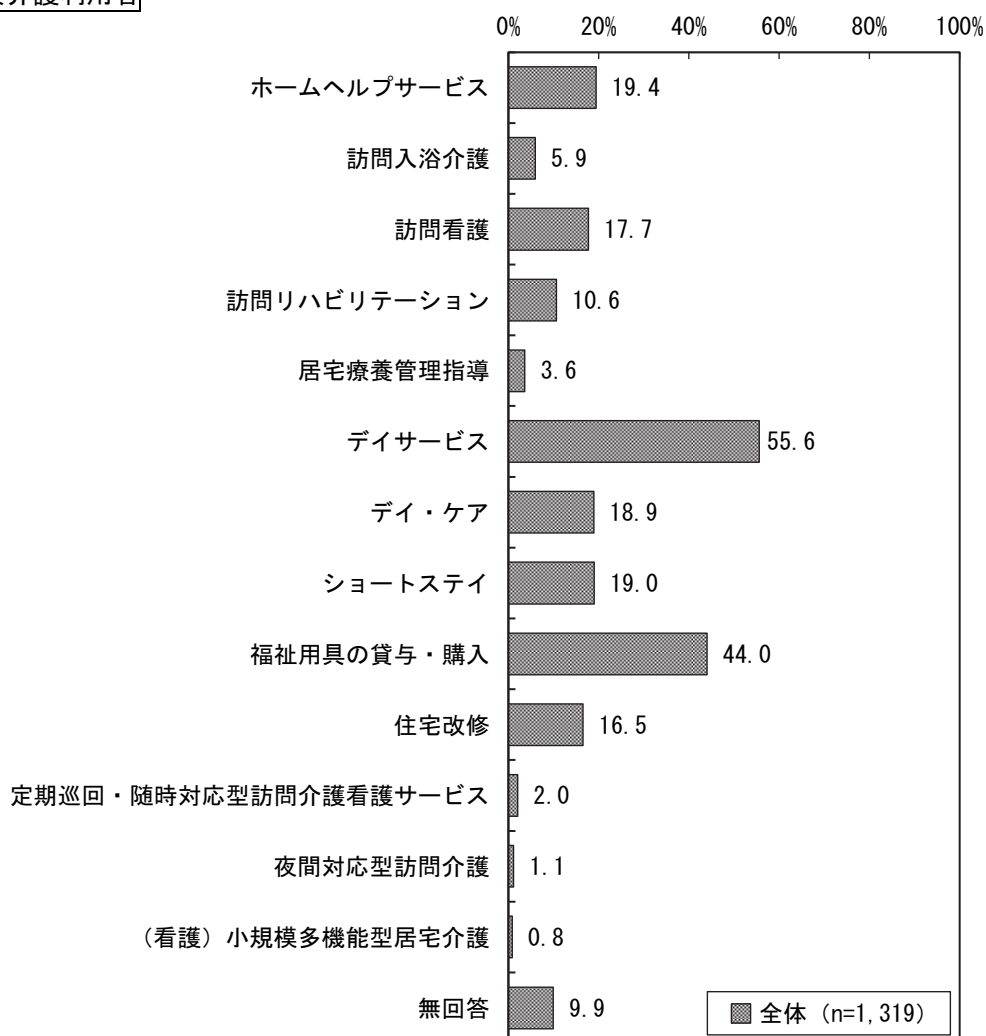
(単位：%)

区 分	ホームヘルプサービス	介護予防訪問入浴介護	介護予防訪問看護	介護予防訪問リハビリテーション	介護予防居宅療養管理指導	デイサービス	デイ・ケア	ショートステイ	介護予防特定施設入居者生活介護	介護予防福祉用具の貸与・購入	介護予防住宅改修	無回答
要支援1 (n=265)	12.1	0.8	3.8	7.9	1.9	15.5	21.5	0.8	-	43.8	10.9	18.9
要支援2 (n=381)	14.2	1.0	5.2	13.1	1.0	26.8	19.4	1.6	0.8	45.9	16.0	14.4

利用している介護サービスは、「デイサービス」が 55.6%と最も高く、次いで、「福祉用具の貸与・購入」(44.0%)、「ホームヘルプサービス」(19.4%)、「ショートステイ」(19.0%)、「デイ・ケア」(18.9%)、「訪問看護」(17.7%)の順となっています。

図表 3-32 利用している介護サービス（複数回答）

要介護利用者



利用している介護サービスを要介護度別にみると、「デイサービス」と「デイ・ケア」は重度ほど低く、「福祉用具の貸与・購入」や「ホームヘルプサービス」、「訪問看護」、「ショートステイ」など多くのサービスは重度ほど高い傾向にあります。

図表3-33 利用している介護サービス（要介護度別、複数回答）

要介護利用者

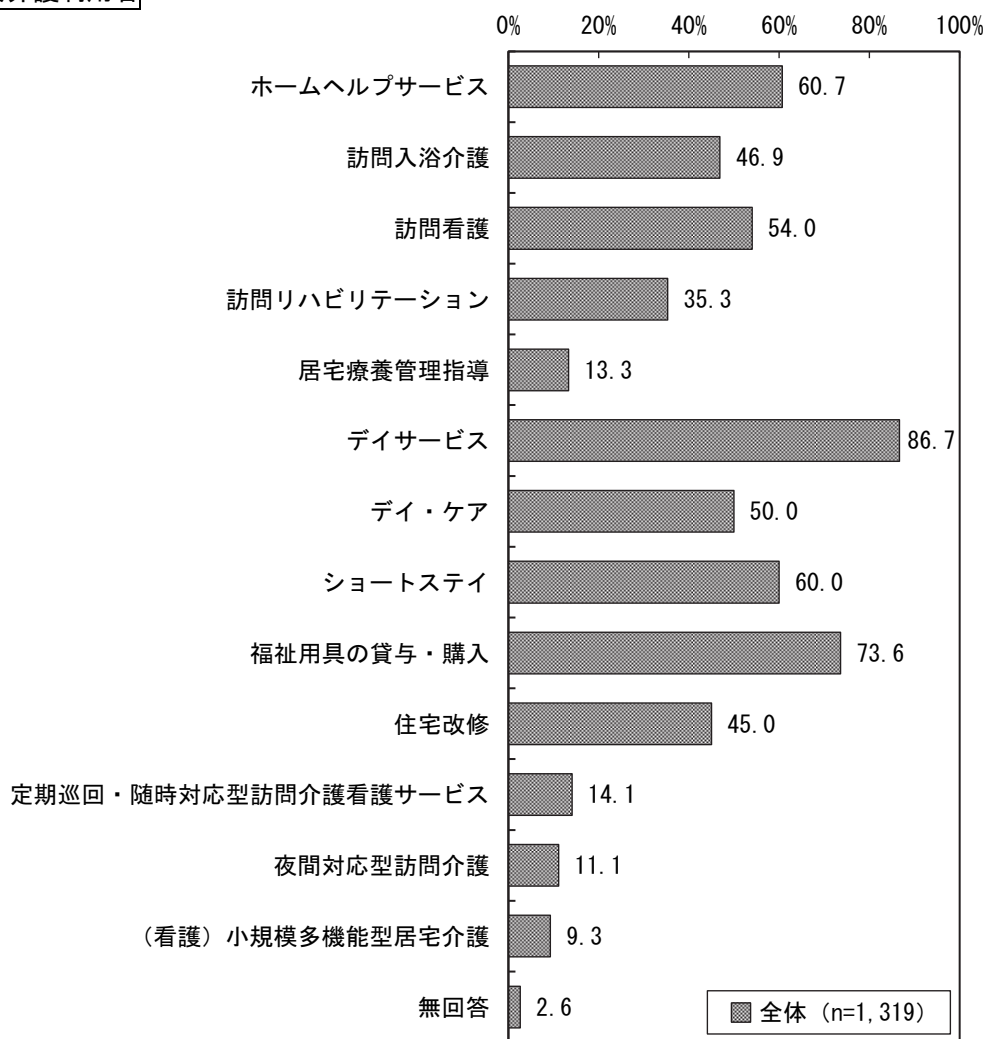
(単位：%)

区 分	ホームヘルプサービス	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	デイサービス	デイ・ケア	ショートステイ	福祉用具の貸与・購入	住宅改修	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス	夜間対応型訪問介護	(看護)小規模多機能型居宅介護	無回答
要介護1 (n=339)	15.6	3.2	12.7	5.3	1.2	61.4	23.6	6.5	31.0	10.0	1.2	0.6	-	8.6
要介護2 (n=403)	18.1	4.7	13.4	9.4	2.2	54.6	20.1	14.9	44.7	17.6	1.5	0.2	0.5	8.7
要介護3 (n=281)	19.9	7.5	18.5	12.1	3.9	54.1	14.9	28.8	49.5	19.6	4.3	1.1	1.4	8.5
要介護4 (n=173)	21.4	6.4	27.2	15.6	6.9	56.6	15.6	32.9	54.3	19.1	0.6	1.7	2.9	8.7
要介護5 (n=79)	34.2	16.5	41.8	26.6	13.9	46.8	16.5	30.4	62.0	26.6	2.5	5.1	-	17.7

知っている介護サービスとしても、「デイサービス」(86.7%)が最も高く、次いで、「福祉用具の貸与・購入」(73.6%)、「ホームヘルプサービス」(60.7%)、「ショートステイ」(60.0%)、「訪問看護」(54.0%)、「デイ・ケア」(50.0%)の順となっています。

図表3-34 知っている介護サービス（複数回答）

要介護利用者



知っている介護サービスを要介護度別にみると、利用しているものと同様、「デイサービス」と「デイ・ケア」以外は、重度ほど高い傾向にあります。

図表 3-35 知っている介護サービス（要介護度別、複数回答）

要介護利用者

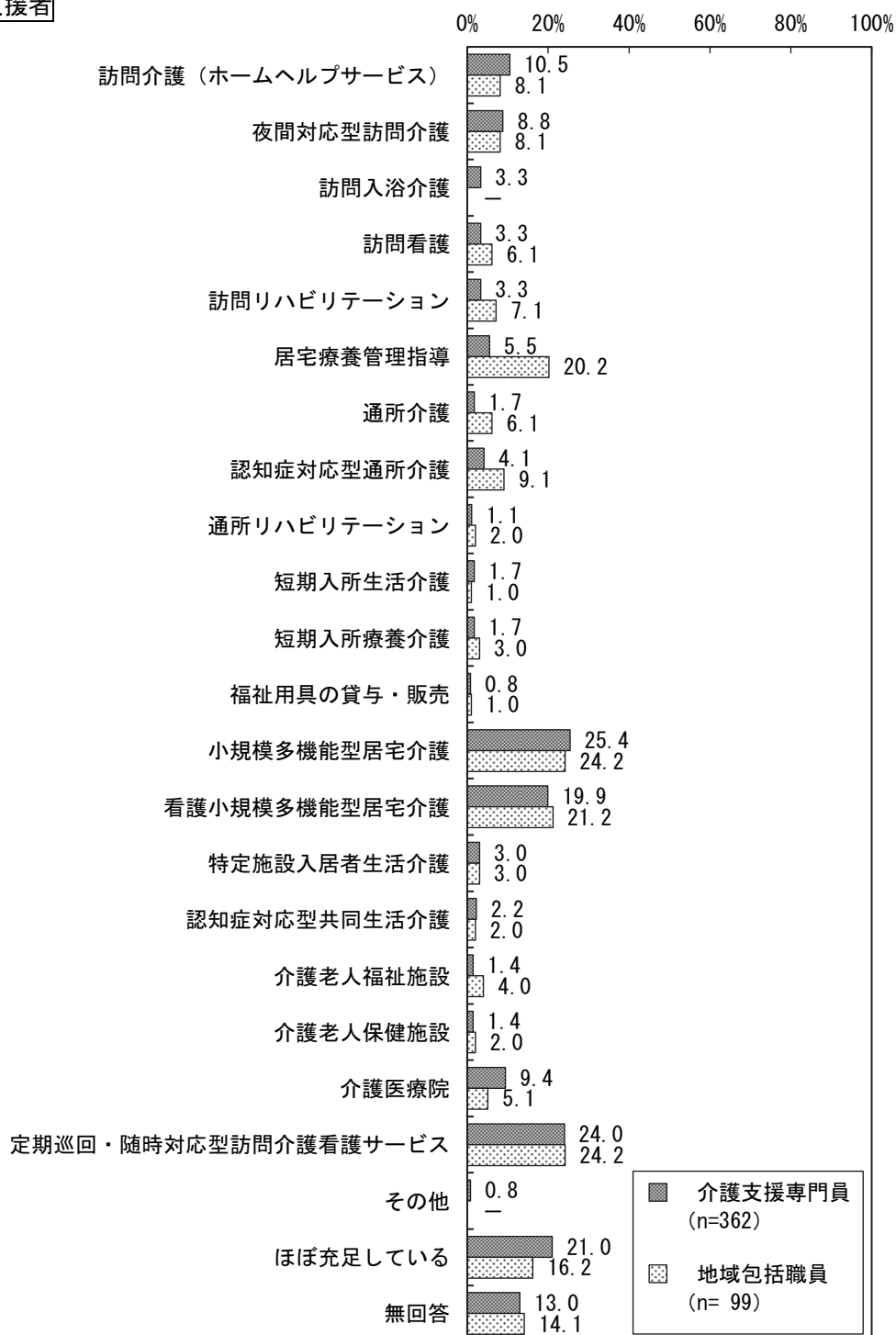
(単位：%)

区 分	ホームヘルプサービス	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	デイサービス	デイ・ケア	ショートステイ	福祉用具の貸与・購入	住宅改修	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス	夜間対応型訪問介護	(看護) 小規模多機能型居宅介護	無回答
要介護 1 (n=339)	51.3	37.2	43.7	24.8	8.6	89.4	49.9	49.0	61.4	37.2	10.9	7.1	5.9	3.2
要介護 2 (n=403)	59.3	44.9	50.1	33.5	8.7	87.6	51.9	59.3	75.9	45.2	12.4	8.9	6.5	1.2
要介護 3 (n=281)	67.6	51.6	60.1	42.0	16.4	85.4	48.8	65.8	78.6	50.5	17.4	11.7	12.5	2.5
要介護 4 (n=173)	68.2	57.8	67.1	45.1	21.4	86.1	53.2	70.5	80.9	49.7	17.3	16.8	16.2	2.9
要介護 5 (n= 79)	72.2	60.8	70.9	48.1	24.1	82.3	46.8	74.7	84.8	50.6	16.5	20.3	10.1	5.1

介護支援専門員（ケアマネジャー）と地域包括支援センター職員に、サービス内容等の理解不足により利用が進まないと思う介護サービスについてたずねたところ、介護支援専門員では「小規模多機能型居宅介護」（25.4%）、地域包括支援センター職員では「小規模多機能型居宅介護」と「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」（ともに24.2%）が、それぞれ最も高くなっています。なお、「ほぼ充足している」は、介護支援専門員で21.0%、地域包括支援センター職員で16.2%となっています。

図表 3-36 サービス内容等の理解不足により利用が進まないと思う介護サービス（複数回答）

支援者

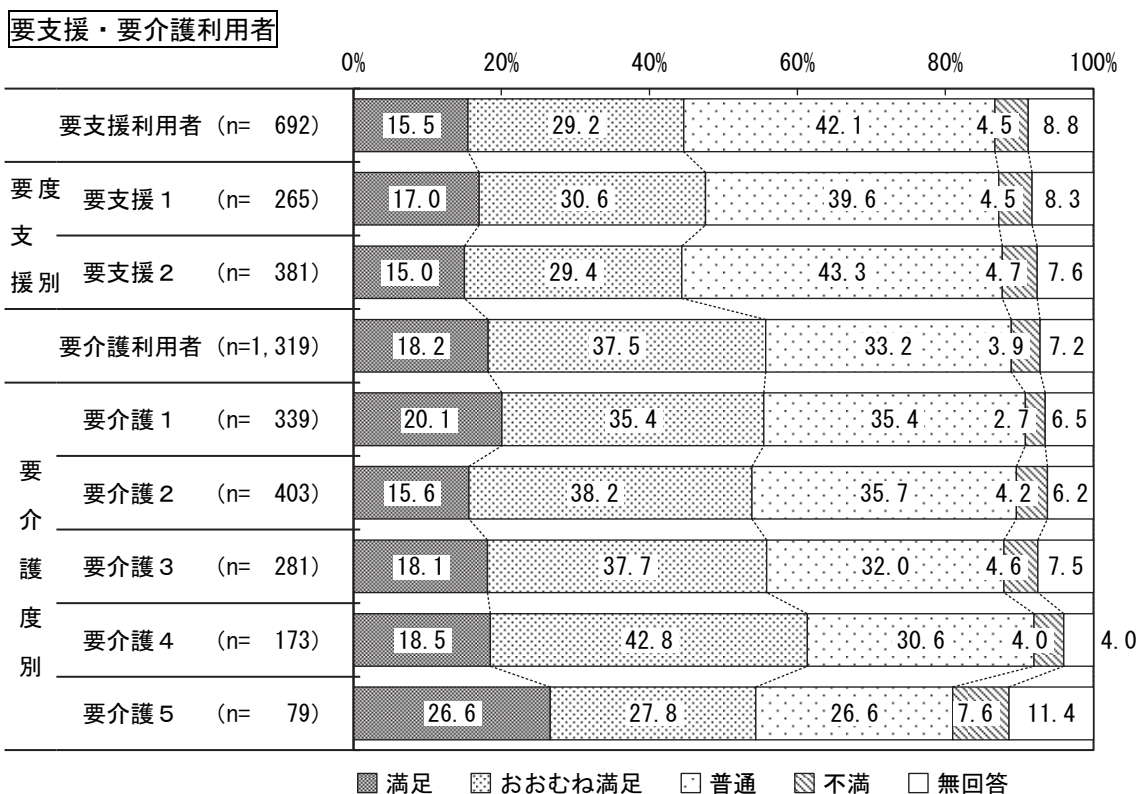


(2) 利用しているサービスの満足度

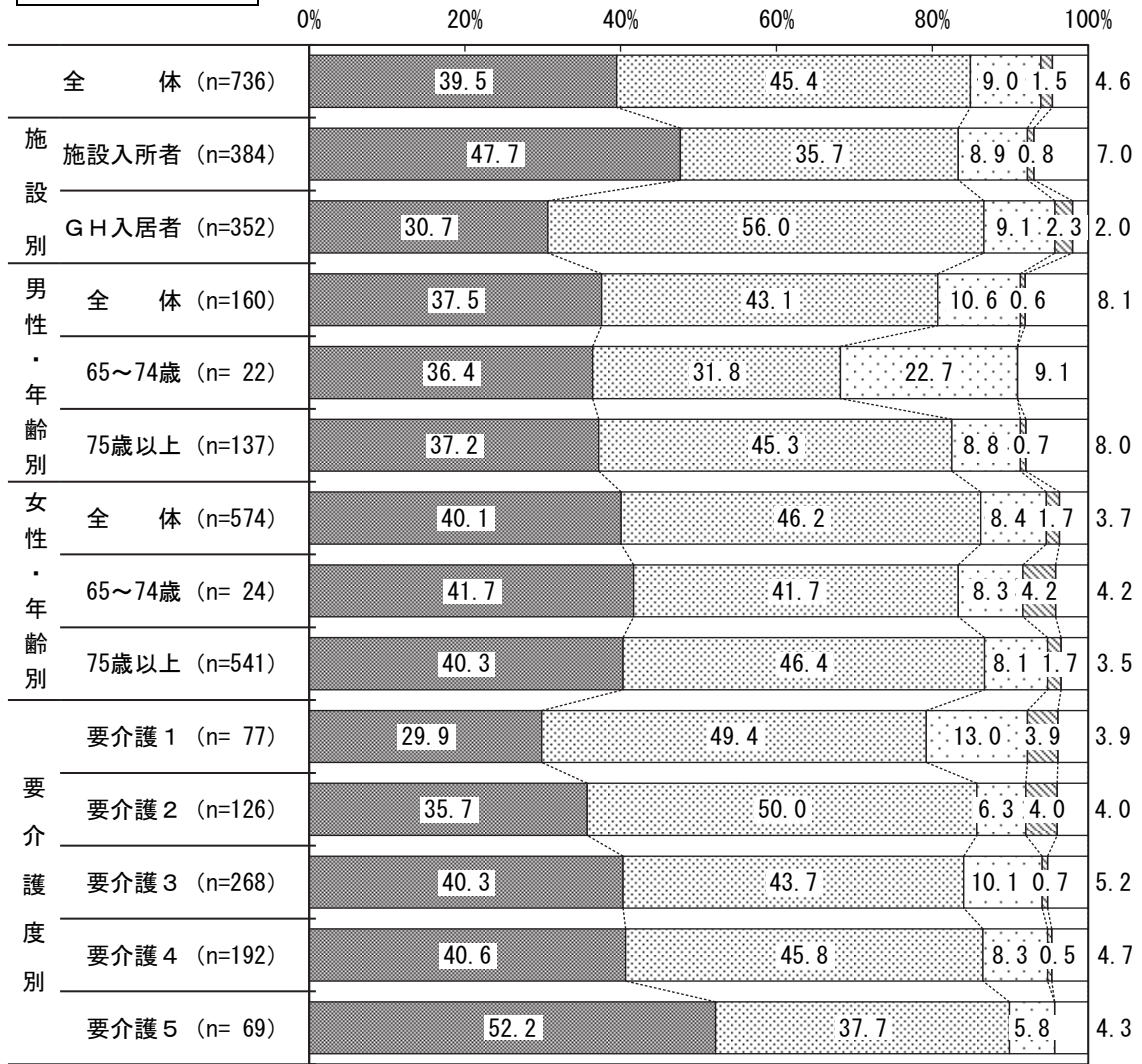
利用しているサービスの満足度は、「満足」と「おおむね満足」を合わせると、要支援利用者では 44.7%、要介護利用者では 55.7%を占め、それぞれ「普通」を上回っています。

また、施設入所者とグループホーム入居者では 80%を超えて非常に高くなっています。

図表 3-37 利用しているサービスの満足度



施設等入居・入所者

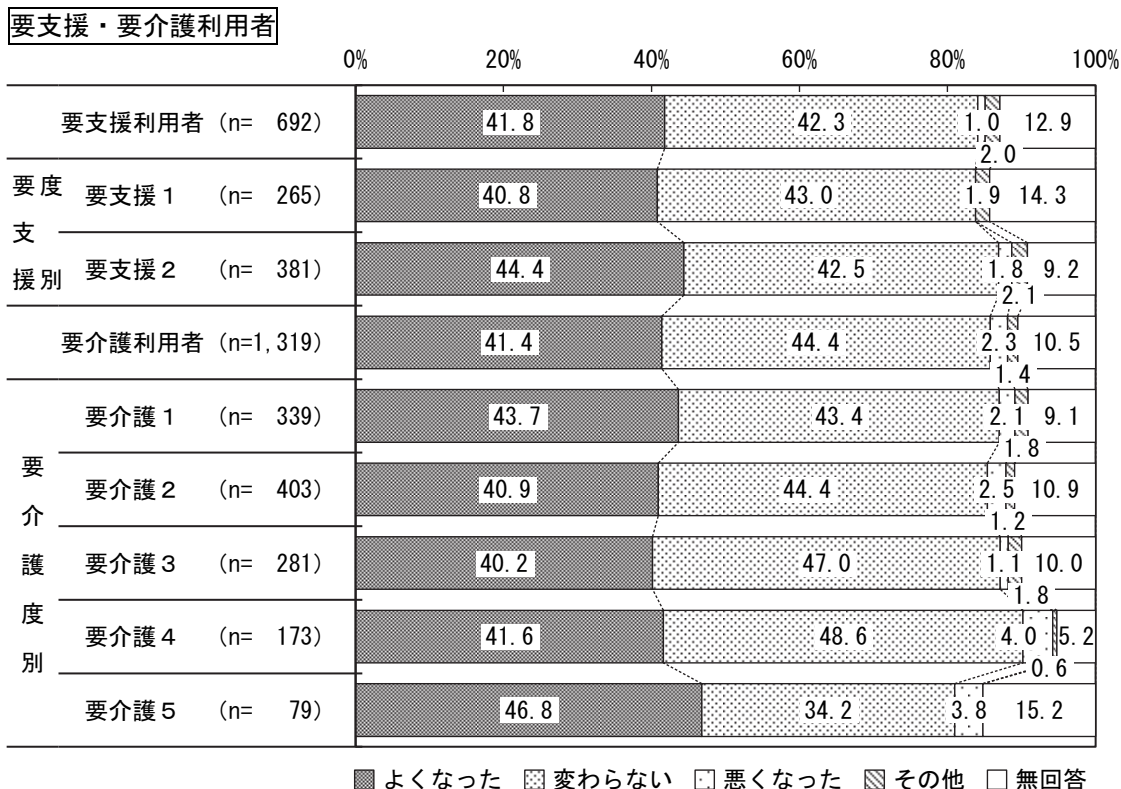


■ 満足している □ おおむね満足している □ やや不満である □ 不満である □ 無回答

(3) サービスの利用後の変化

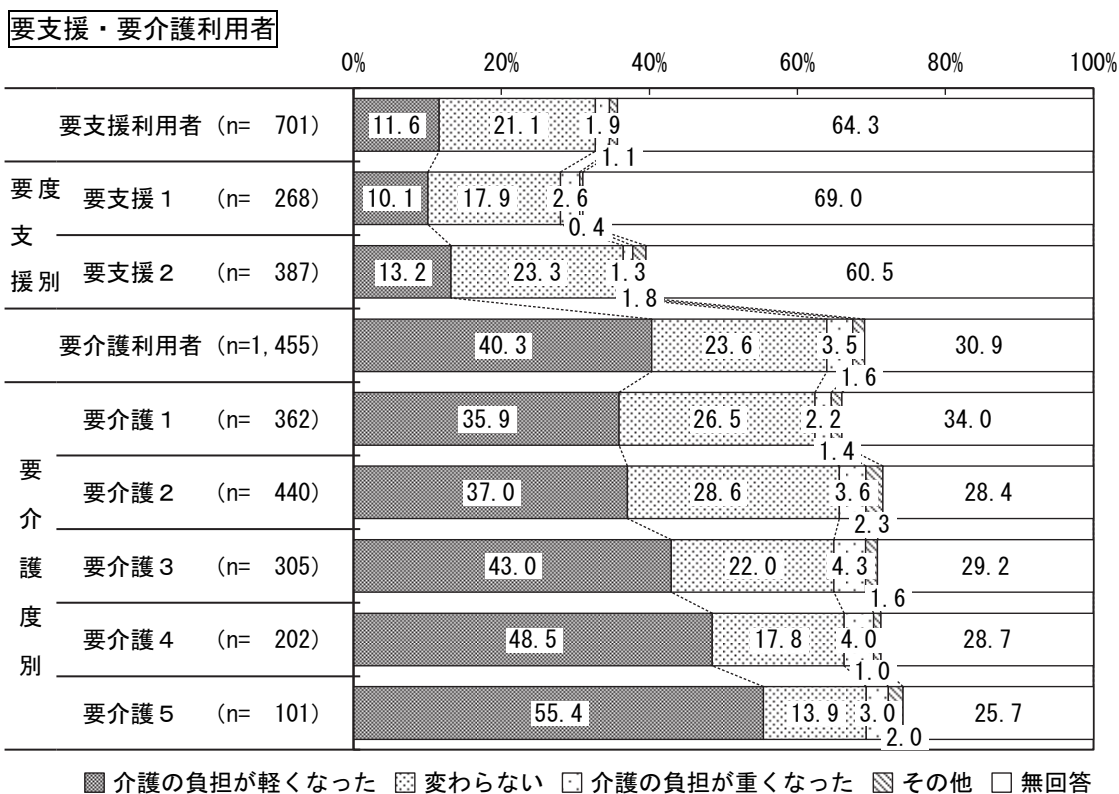
サービス利用後の身体的・精神的な変化については、要支援利用者、要介護利用者とも、「よくなった」が40%程度あるものの、「変わらない」も同程度となっています。

図表3-38 サービス利用後の身体的・精神的な変化



在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、サービス利用後の介護負担の肉体的・精神的な変化についてたずねたところ、要支援利用者では「無回答」が60%以上を占めている一方、要介護利用者では「介護の負担が軽くなった」が40%程度あり、これを要介護度別にみると、重度ほど高い傾向にあります。

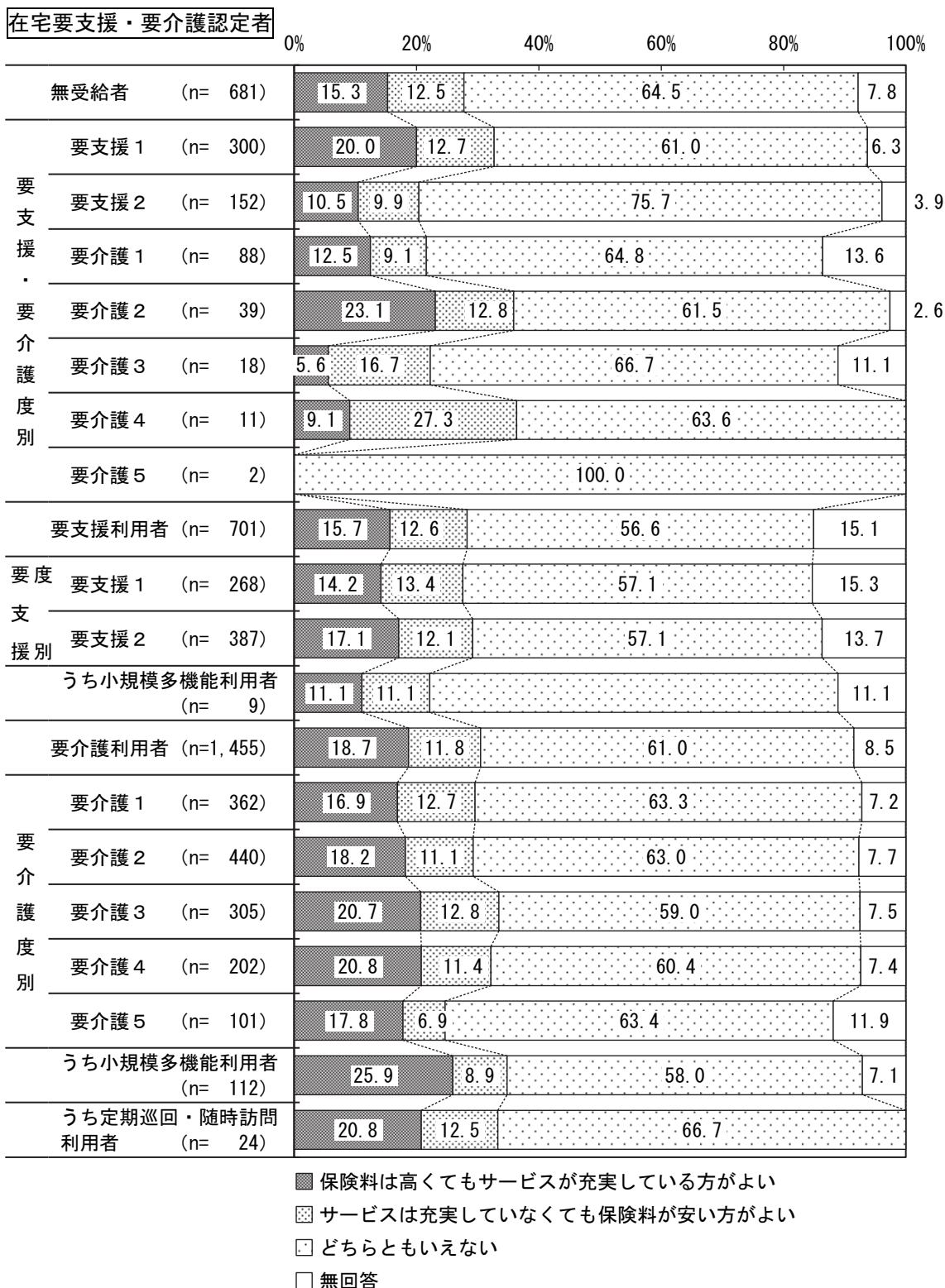
図表3-39 サービス利用後の主な介護者の肉体的・精神的な変化



(4) サービスの充実に向けて

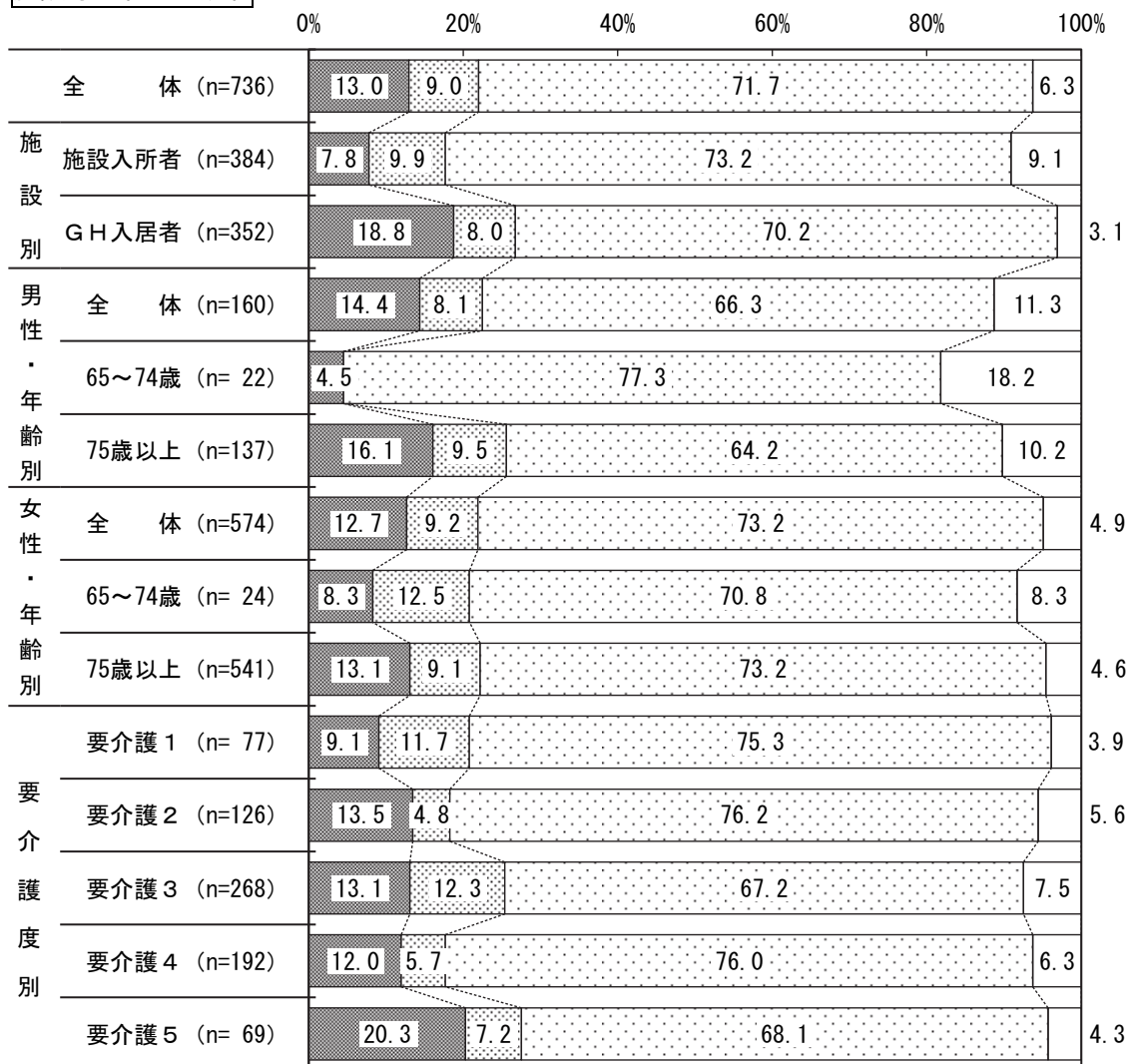
介護サービスの充実と保険料に対する考え方については、在宅要支援・要介護認定者では、「どちらともいえない」が最も高くなっていますが、「サービスは充実していても保険料が安い方がよい」に比べて「保険料は高くてもサービスが充実している方がよい」がやや高い傾向がみられます。

図表3-40 介護サービスの充実と保険料に対する考え方



施設等入居・入所者では、「どちらともいえない」が最も高くなっていますが、グループホーム入居者については、「サービスは充実していても保険料が安い方がよい」に比べて「保険料は高くてもサービスが充実している方がよい」が高くなっています。

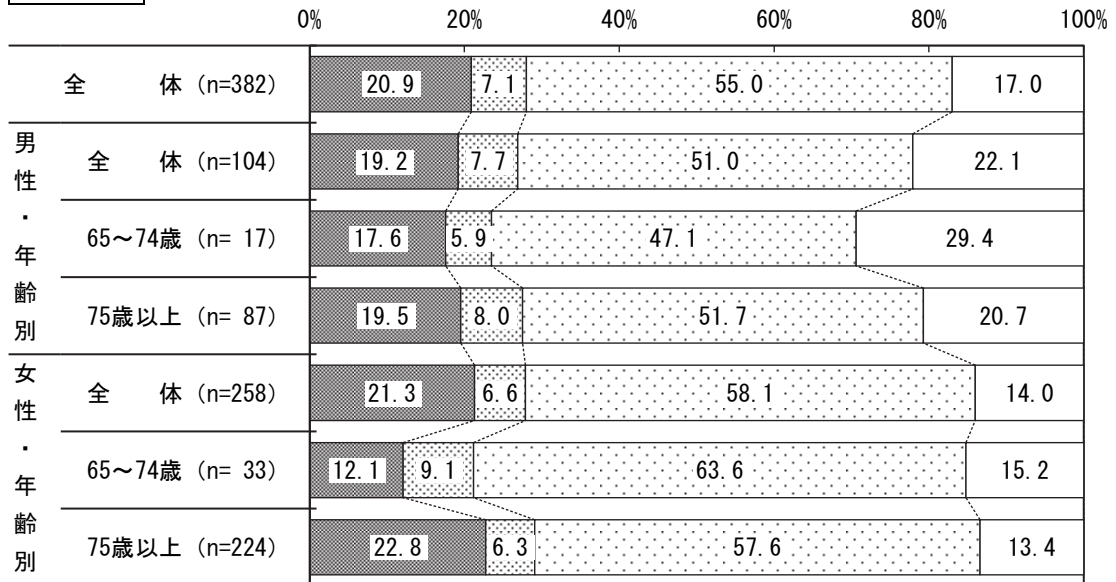
施設等入居・入所者



- 保険料は高くてもサービスが充実している方がよい
- ▨ サービスは充実していても保険料が安い方がよい
- ▤ どちらともいえない
- 無回答

事業対象者では、「どちらともいえない」が最も高く、「サービスは充実していても保険料が安い方がよい」に比べて「保険料は高くてもサービスが充実している方がよい」が高くなっています。

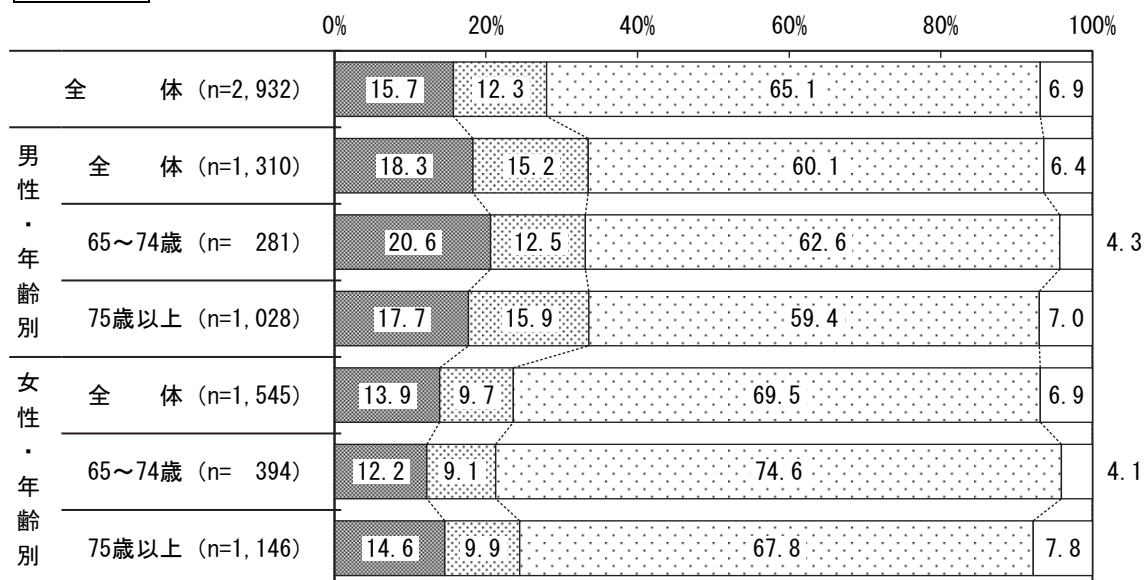
事業対象者



- 保険料は高くてもサービスが充実している方がよい
- ▨ サービスは充実していても保険料が安い方がよい
- どちらともいえない
- 無回答

一般高齢者では、「どちらともいえない」が最も高く、「サービスは充実していても保険料が安い方がよい」に比べて「保険料は高くてもサービスが充実している方がよい」がやや高くなっています。

一般高齢者

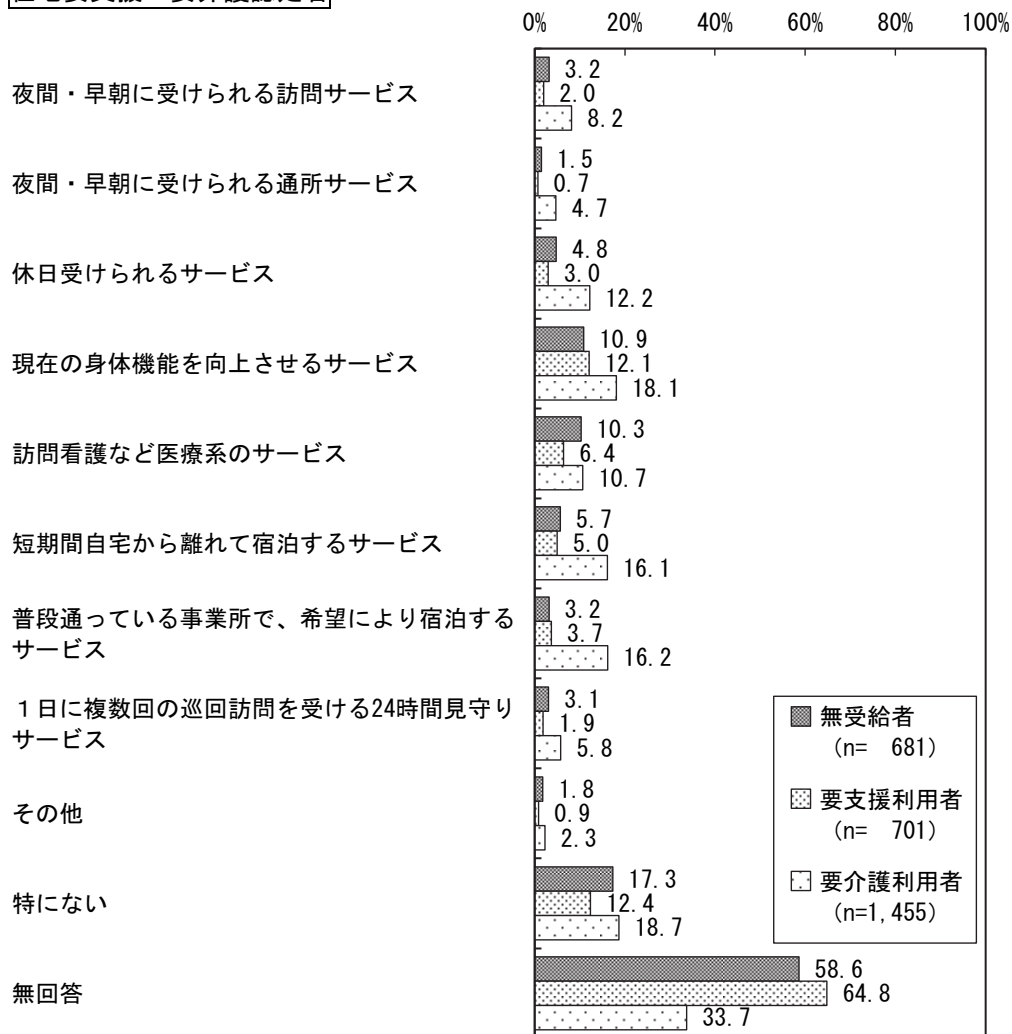


- 保険料は高くてもサービスが充実している方がよい
- ▨ サービスは充実していても保険料が安い方がよい
- どちらともいえない
- 無回答

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、在宅での介護を継続する上で、増やしたいまたは新たに利用したいサービスをたずねたところ、「無回答」と「特にない」を除くと、介護保険サービスの無受給者、要支援利用者、要介護利用者のいずれも、「現在の身体機能を向上させるサービス」が最も高くなっています。

図表 3-41 在宅での介護を継続する上で、増やしたいまたは新たに利用したいサービス
(複数回答)

在宅要支援・要介護認定者



図表 3-42 在宅での介護を継続する上で、増やしたいまたは新たに利用したいサービス
(要支援・要介護度別、複数回答)

在宅要支援・要介護認定者

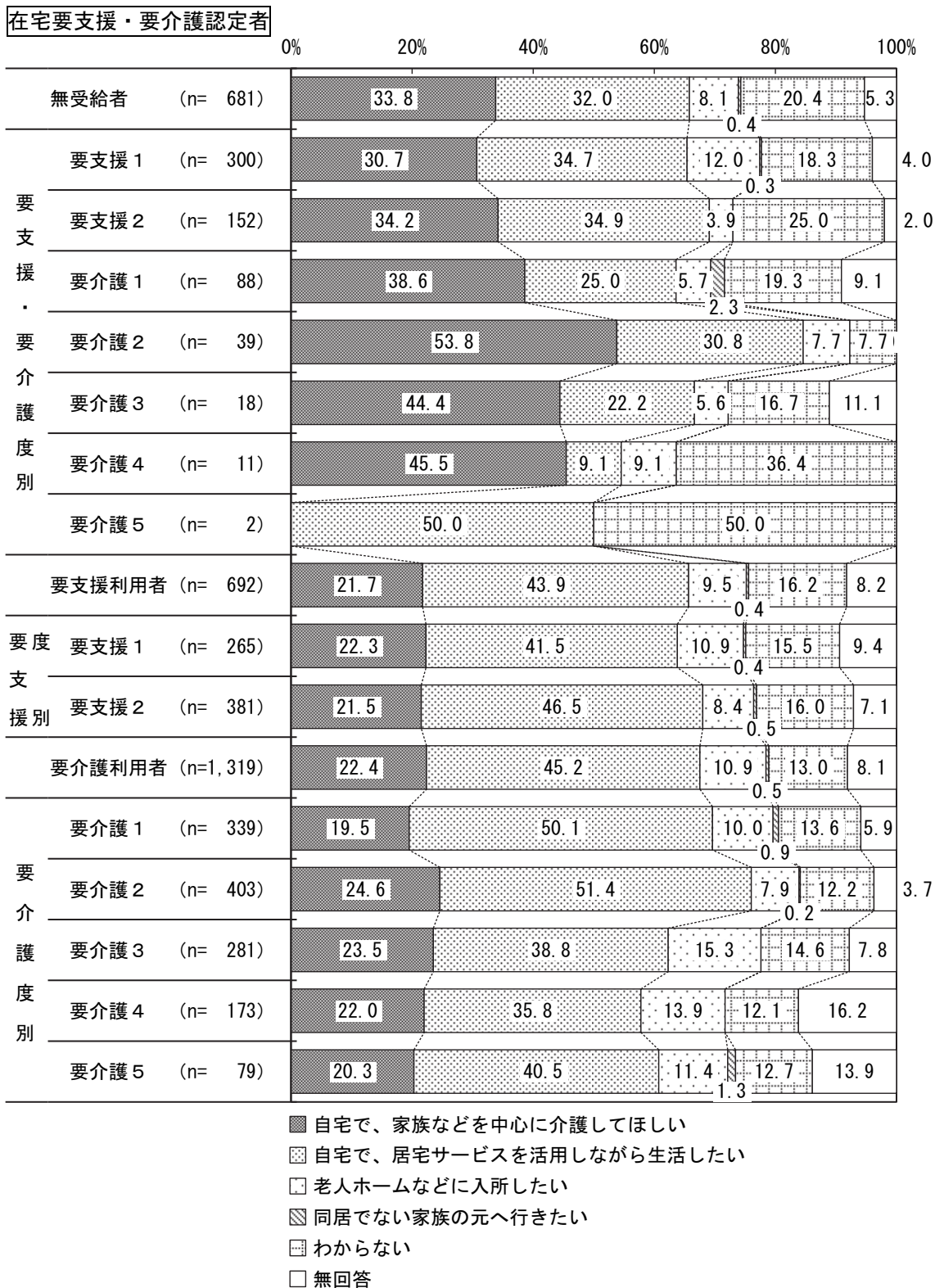
(単位：%)

区 分		夜間・早朝に受けられる訪問サービス	夜間・早朝に受けられる通所サービス	休日受けられるサービス	現在の身体機能を向上させるサービス	訪問看護など医療系のサービス	短期間自宅から離れて宿泊するサービス	普段通っている事業所で、希望により宿泊するサービス	1日に複数回の巡回訪問を受ける24時間見守りサービス	その他	特にない	無回答
無受給者	要支援 1 (n=300)	3.7	1.3	5.0	8.3	10.0	6.0	2.0	3.0	1.0	16.3	63.7
	要支援 2 (n=152)	2.6	2.0	4.6	13.2	9.2	4.6	1.3	2.0	3.3	19.7	57.2
	要介護 1 (n= 88)	4.5	2.3	5.7	11.4	9.1	6.8	5.7	6.8	2.3	23.9	45.5
	要介護 2 (n= 39)	5.1	2.6	10.3	28.2	23.1	10.3	7.7	2.6	-	15.4	33.3
	要介護 3 (n= 18)	-	-	5.6	5.6	22.2	5.6	5.6	5.6	-	16.7	50.0
	要介護 4 (n= 11)	-	-	-	18.2	18.2	18.2	27.3	-	-	27.3	27.3
	要介護 5 (n= 2)	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
要支援利用者	要支援 1 (n=268)	2.6	0.4	2.6	10.4	7.5	3.7	1.5	2.2	0.7	9.0	70.5
	要支援 2 (n=387)	1.6	1.0	3.1	13.7	5.9	6.2	5.4	1.8	1.0	14.5	60.5
うち小規模多機能利用者 (n= 9)		-	-	-	11.1	-	22.2	11.1	11.1	-	-	77.8
要介護利用者	要介護 1 (n=362)	6.9	3.3	9.9	18.5	9.1	15.2	17.1	3.9	1.4	18.0	35.6
	要介護 2 (n=440)	8.4	5.0	14.5	22.5	12.7	19.5	20.5	8.6	1.8	18.2	27.7
	要介護 3 (n=305)	9.5	6.9	13.8	20.3	11.8	16.1	14.1	5.2	3.6	16.1	35.4
	要介護 4 (n=202)	7.4	5.0	10.9	10.4	10.4	15.8	13.9	6.9	1.5	21.8	34.7
	要介護 5 (n=101)	9.9	2.0	9.9	9.9	6.9	7.9	8.9	2.0	6.9	24.8	36.6
うち小規模多機能利用者 (n=112)		9.8	6.3	6.3	17.0	5.4	12.5	19.6	8.0	4.5	21.4	29.5
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 24)		8.3	-	8.3	12.5	8.3	4.2	16.7	-	-	16.7	50.0

(5) 今後の暮らし方

今後の暮らし方については、介護保険サービスの無受給者では「自宅で、家族などを中心に介護してほしい」、要支援利用者と要介護利用者では「自宅で、居宅サービスを活用しながら生活したい」が、それぞれ最も高くなっています。

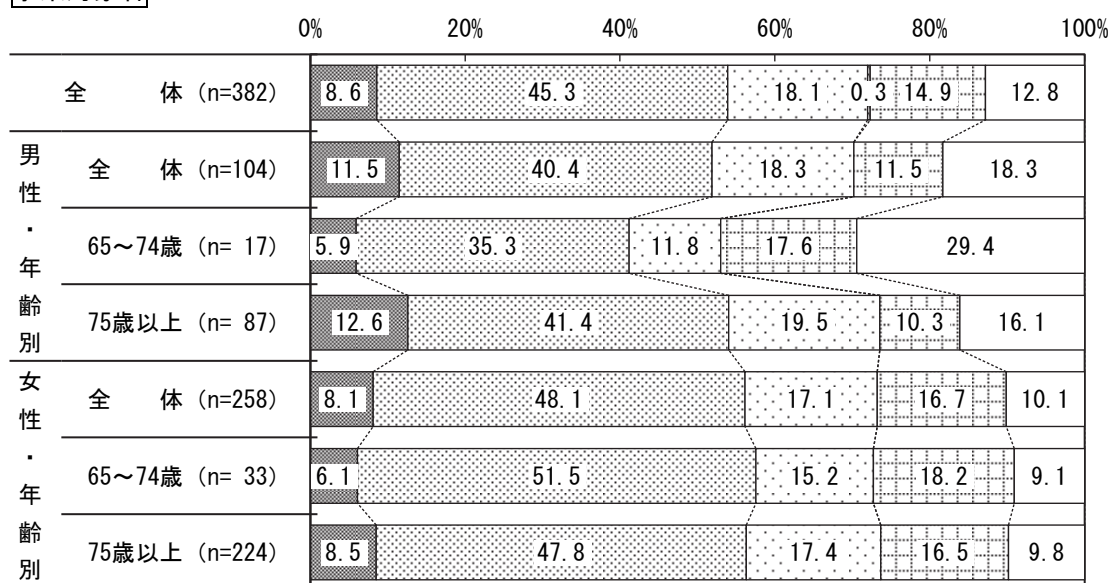
図表3-43 今後どこで、どのように生活を送りたいか



事業対象者には、今後介護が必要になった場合の暮らし方についてたずねたところ、「自宅で、居宅サービスを活用しながら生活したい」が最も高くなっています。次いで、「老人ホームなどに入所したい」が高くなっており、要支援・要介護利用者よりも高くなっています。

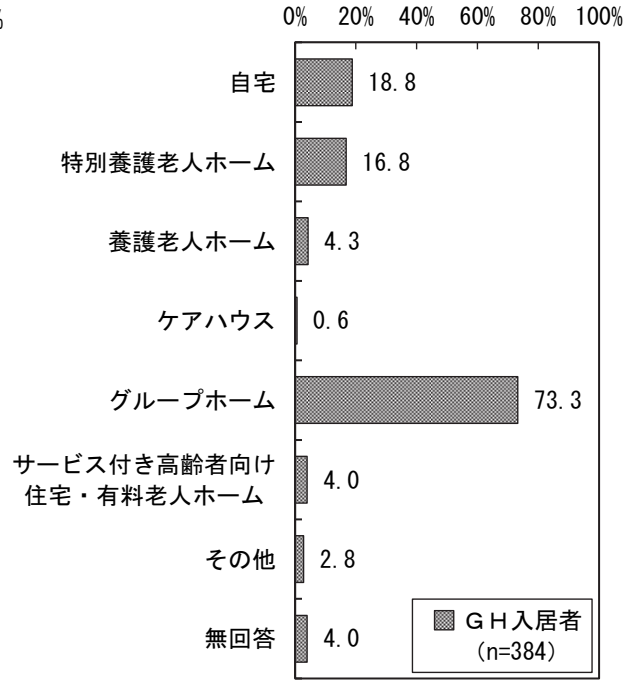
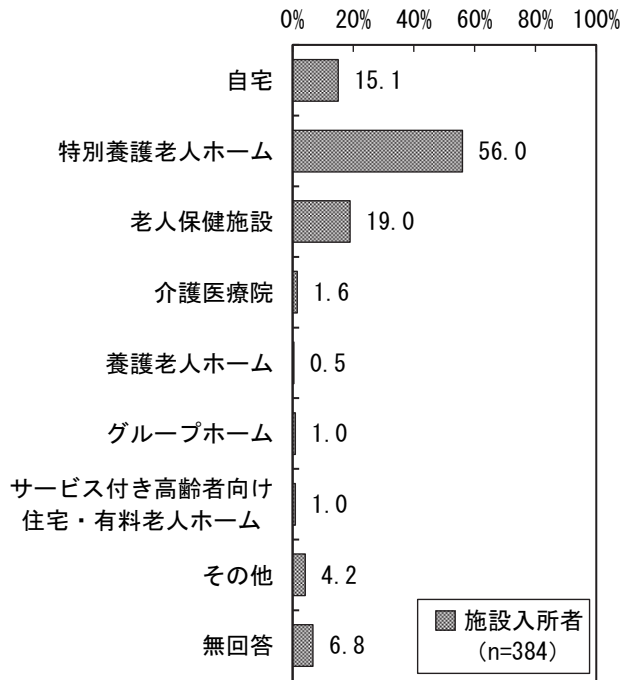
また、施設等入居・入所者には、今後どこで暮らしたいか複数回答でたずねたところ、施設入所者では「特別養護老人ホーム」、グループホーム入居者では「グループホーム」が引き続き高くなっています。

事業対象者



- 自宅で、家族などを中心に介護してほしい
- ▨ 自宅で、居宅サービスを活用しながら生活したい
- ▩ 老人ホームなどに入所したい
- ▧ 同居でない家族の元へ行きたい
- ▦ わからない
- 無回答

施設等入居・入所者 (複数回答)



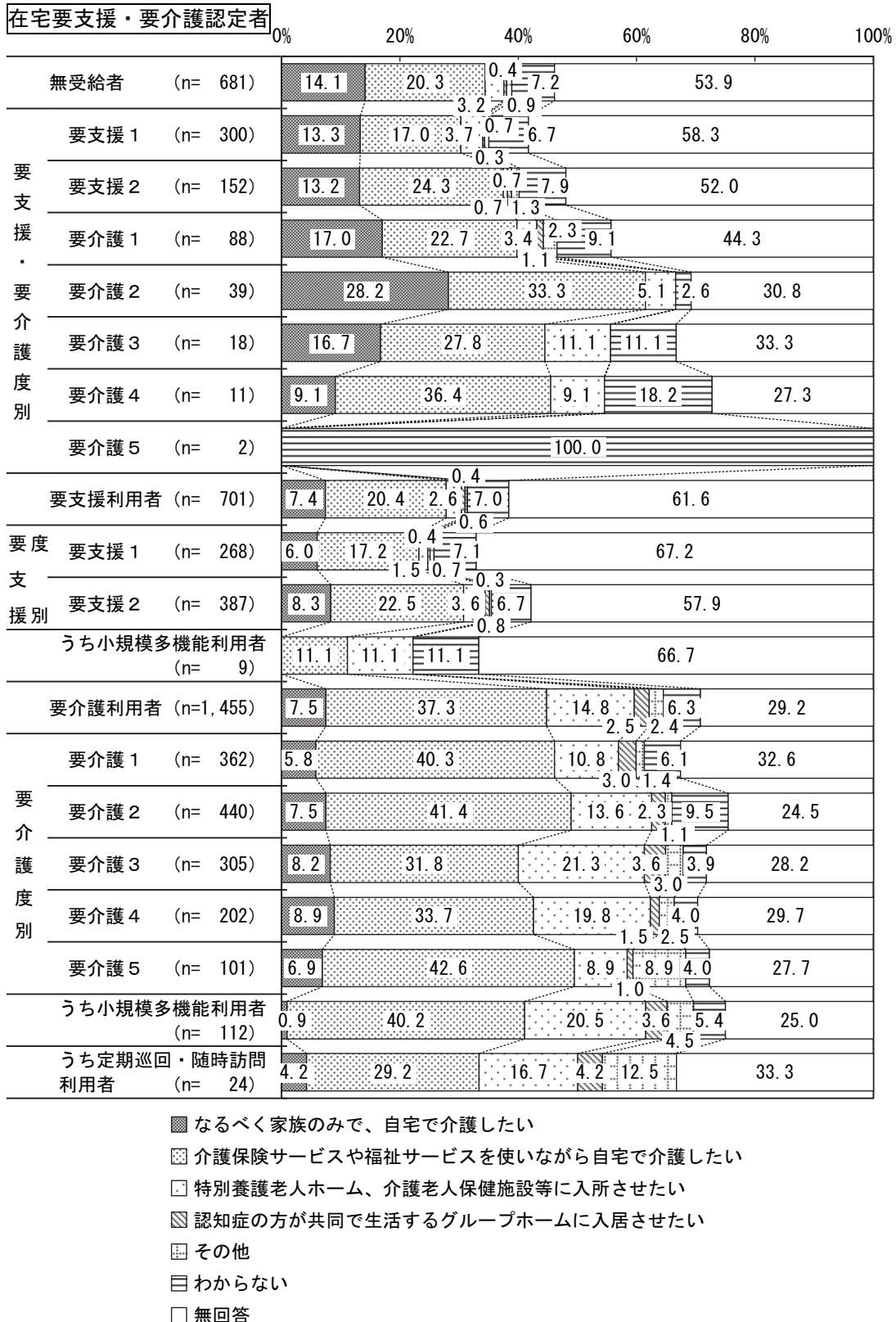
(単位：%)

区分		自宅	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護医療院	養護老人ホーム	グループホーム	サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	その他	無回答
施設入所者	要介護1 (n=30)	13.3	10.0	50.0	-	3.3	6.7	6.7	13.3	6.7
	要介護2 (n=47)	12.8	27.7	38.3	-	-	2.1	4.3	10.6	6.4
	要介護3 (n=168)	16.1	65.5	13.1	1.8	-	0.6	-	1.8	6.5
	要介護4 (n=120)	14.2	66.7	11.7	0.8	0.8	-	-	3.3	6.7
	要介護5 (n=19)	21.1	47.4	21.1	10.5	-	-	-	-	10.5

区分		自宅	特別養護老人ホーム	養護老人ホーム	ケアハウス	グループホーム	サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	その他	無回答
GH入居者	要介護1 (n=47)	10.6	21.3	-	-	76.6	8.5	6.4	2.1
	要介護2 (n=79)	13.9	21.5	3.8	-	74.7	6.3	1.3	6.3
	要介護3 (n=100)	26.0	16.0	5.0	2.0	70.0	3.0	3.0	5.0
	要介護4 (n=72)	25.0	16.7	9.7	-	61.1	1.4	2.8	2.8
	要介護5 (n=50)	12.0	8.0	-	-	90.0	2.0	2.0	2.0

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、今後の介護についてどのように考えているかたずねたところ、「無回答」を除くと、介護保険サービスの無受給者、要支援利用者、要介護利用者のいずれも、「介護保険サービスや福祉サービスを使いながら自宅で介護したい」が最も高くなっています。

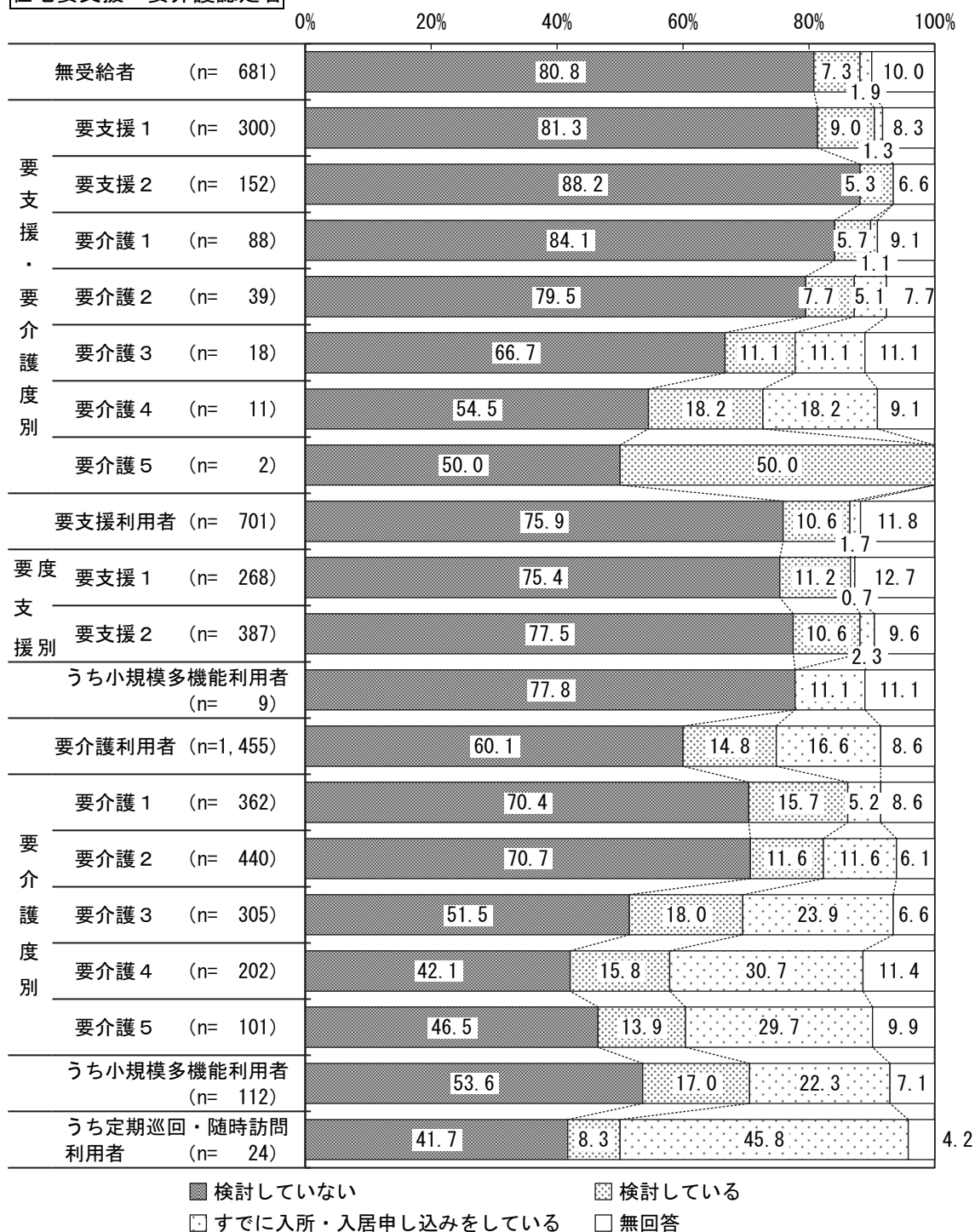
図表3-44 今後の介護についてどのように考えているか



施設等への入所・入居の検討状況については、「すでに入所・入居申し込みをしている」は、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者ではわずかとなっていますが、要介護利用者で16.6%となっています。また、「検討している」は、介護保険サービスの無受給者では7.3%、要支援利用者では10.6%、要介護利用者では14.8%となっています。

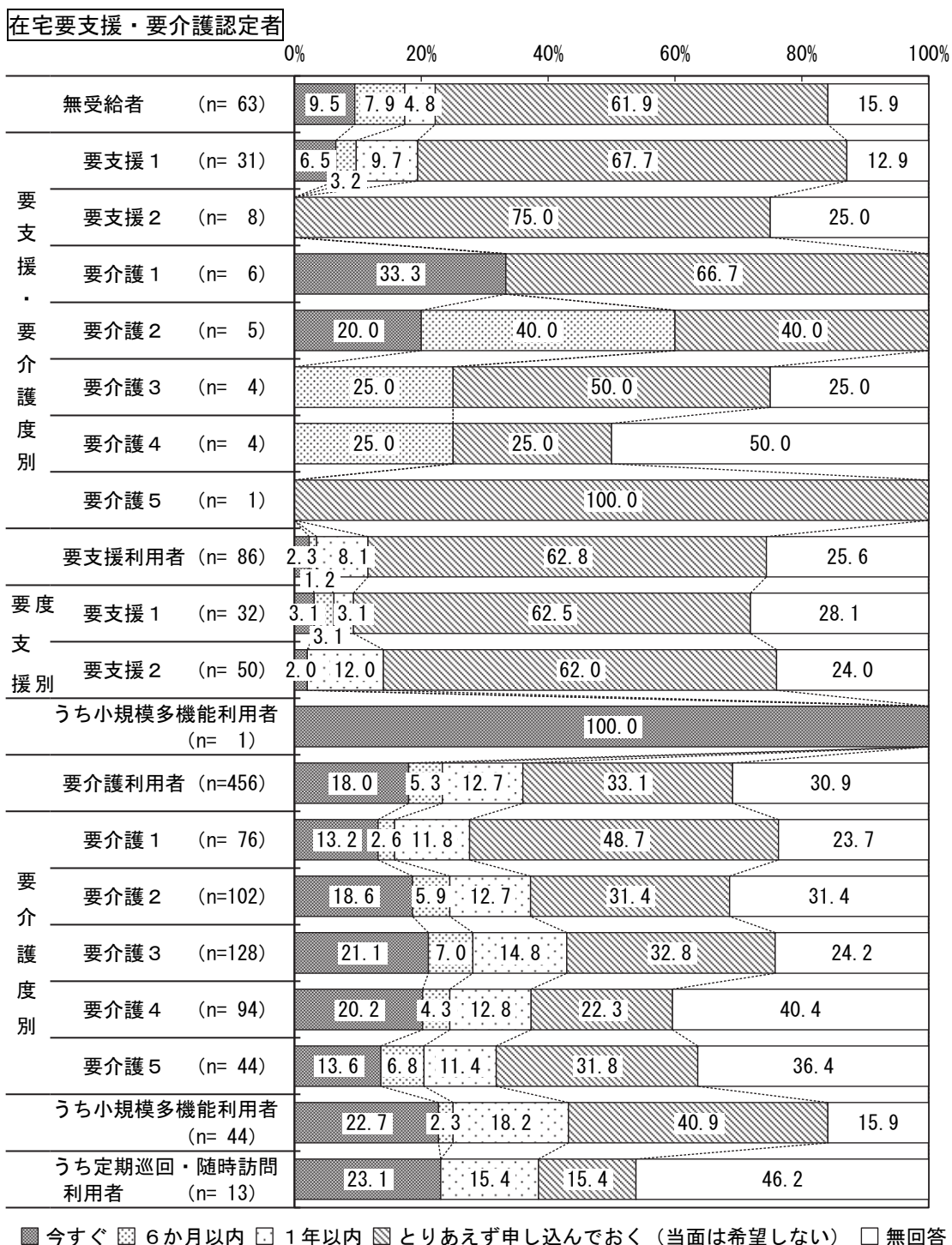
図表3-45 施設等への入所・入居の検討状況

在宅要支援・要介護認定者



施設等への入所・入居について「検討している」または「すでに入所・入居申し込みをしている」と答えた人に、入所・入居したい時期をたずねたところ、介護保険サービスの無受給者、要支援利用者、要介護利用者のいずれも、「とりあえず申し込んでおく（当面は希望しない）」が最も高くなっています。なお、「今すぐ」は、介護保険サービスの無受給者が9.5%、要支援利用者が2.3%、要介護利用者が18.0%という状況です。

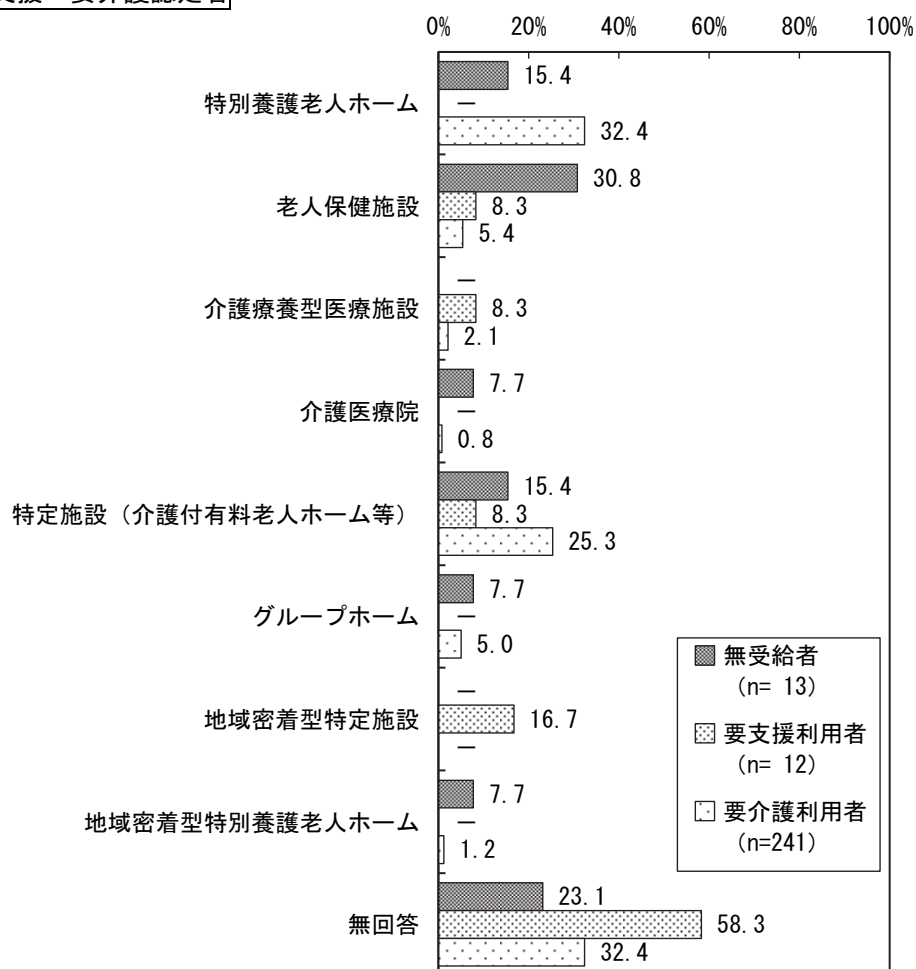
図表3-46 施設等に入所・入居したい時期



待機中の入所・入居施設等の種類としては、「無回答」を除くと、要介護利用者の「特別養護老人ホーム」や「特定施設（介護付有料老人ホーム等）」、介護保険サービスの無受給者の「老人保健施設」が比較的高くなっています。

図表 3-47 待機中の入所・入居施設等（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



図表 3-48 待機中の入所・入居施設等（要支援・要介護度別、複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	特定施設（介護付有料老人ホーム等）	グループホーム	地域密着型特定施設	地域密着型特別養護老人ホーム	無回答
無受給者	要支援 1 (n= 4)	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-	50.0
	要介護 1 (n= 1)	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	要介護 2 (n= 2)	-	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-
	要介護 3 (n= 2)	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	要介護 4 (n= 2)	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
要利用者	要支援 1 (n= 2)	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
	要支援 2 (n= 9)	-	11.1	11.1	-	-	-	22.2	-	55.6
うち小規模多機能利用者 (n= 1)		-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
要介護利用者	要介護 1 (n=19)	5.3	10.5	-	5.3	21.1	26.3	-	-	42.1
	要介護 2 (n=51)	11.8	13.7	5.9	-	31.4	3.9	-	2.0	39.2
	要介護 3 (n=73)	53.4	2.7	-	-	17.8	5.5	-	1.4	23.3
	要介護 4 (n=62)	35.5	3.2	-	-	27.4	1.6	-	1.6	32.3
	要介護 5 (n=30)	30.0	-	-	-	30.0	-	-	-	43.3
うち小規模多機能利用者 (n=25)		52.0	4.0	-	-	8.0	4.0	-	4.0	28.0
うち定期巡回・随時対応利用者 (n=11)		18.2	-	-	-	9.1	9.1	-	-	63.6

(注) この設問に回答した無受給者の中に要支援 2 と要介護 5 の該当者はいませんでした。

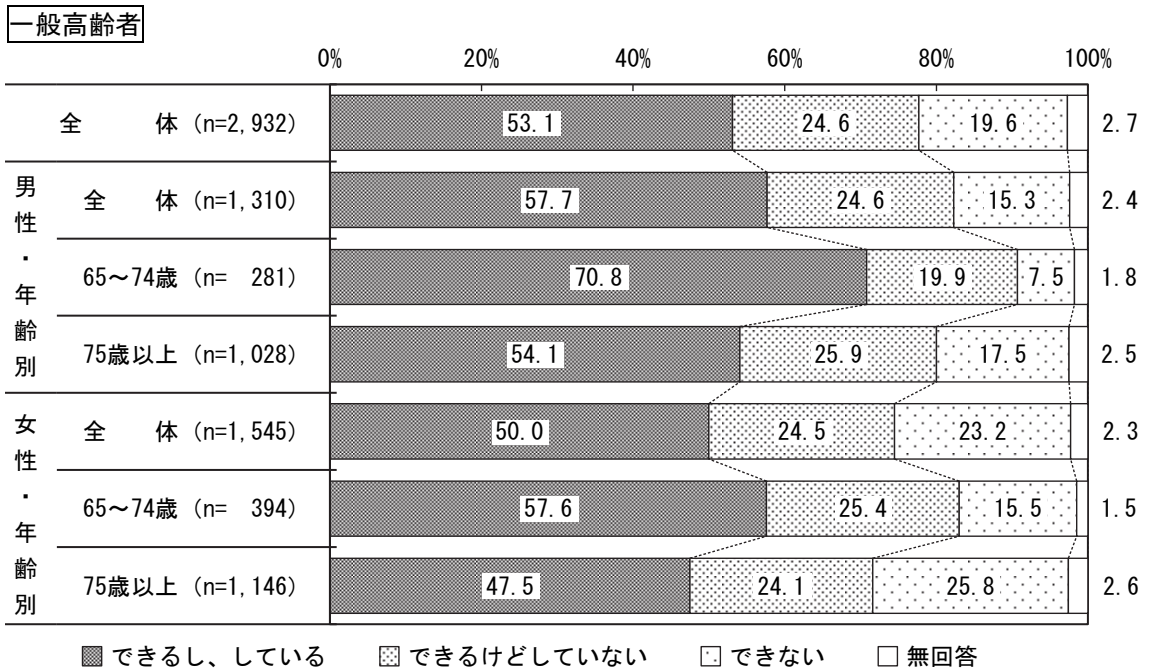
第4章 生活の実態

1 運動・閉じこもりについて

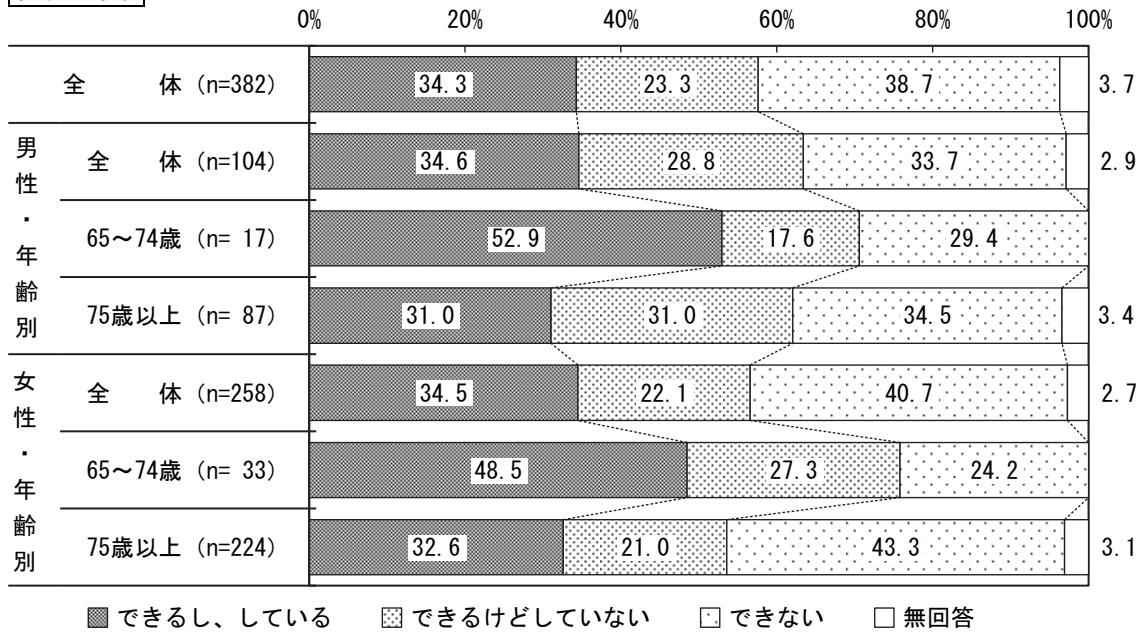
(1) 運動器の状況

「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では19.6%、事業対象者では38.7%、介護保険サービスの無受給者では62.0%、要支援利用者では76.3%という順で高くなっています。これを性別にみると、一般高齢者と事業対象者、無受給者では、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-1 手すり等につたわずに階段を昇れるか



事業対象者

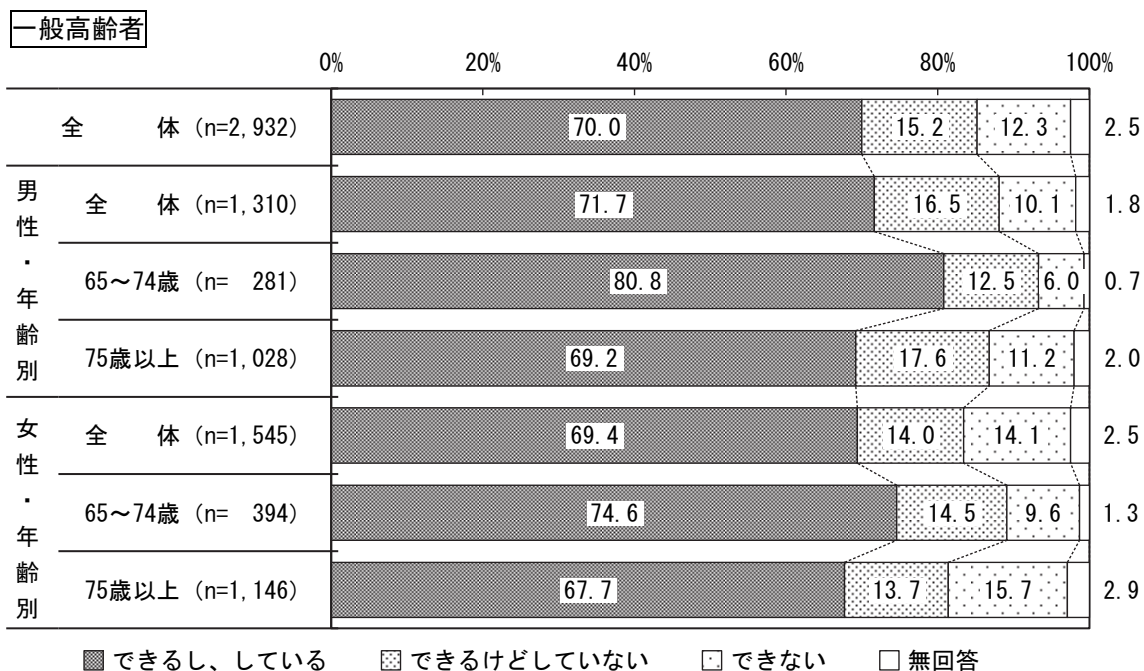


在宅要支援認定者等

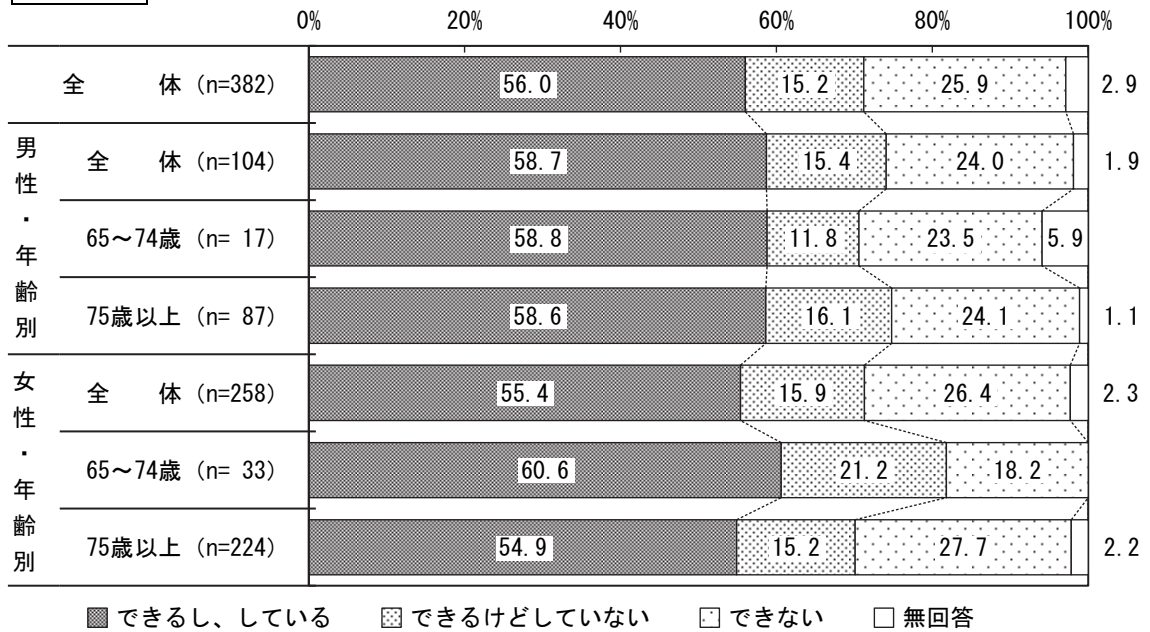


「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では12.3%、事業対象者では25.9%、介護保険サービスの無受給者では48.9%、要支援利用者では61.4%という順で高くなっています。これを性別にみても、いずれも大きな差異はありません。

図表4-2 何もつかまらず椅子から立ち上がれるか

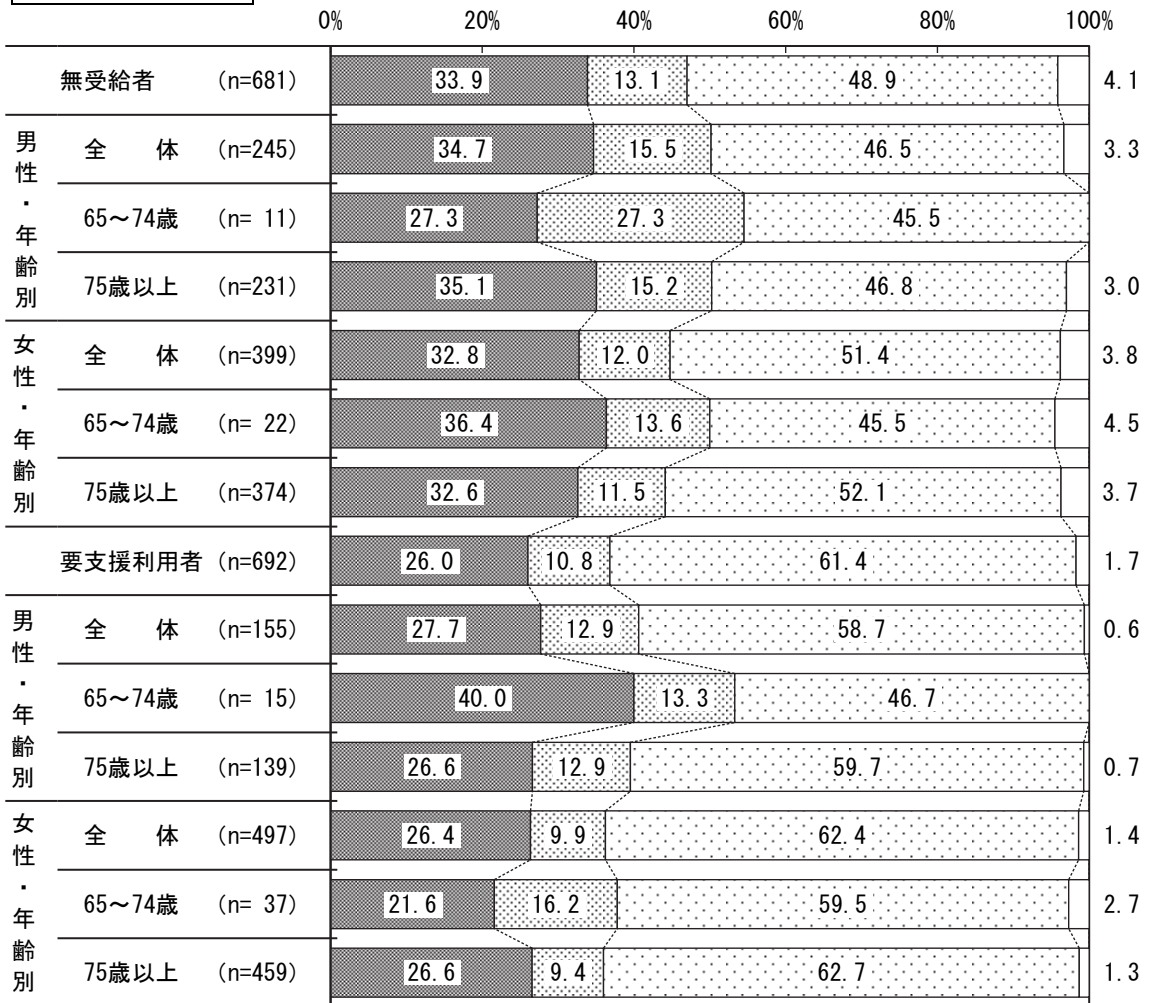


事業対象者



■ できるし、している ▨ できるけどしていない □ できない ▩ 無回答

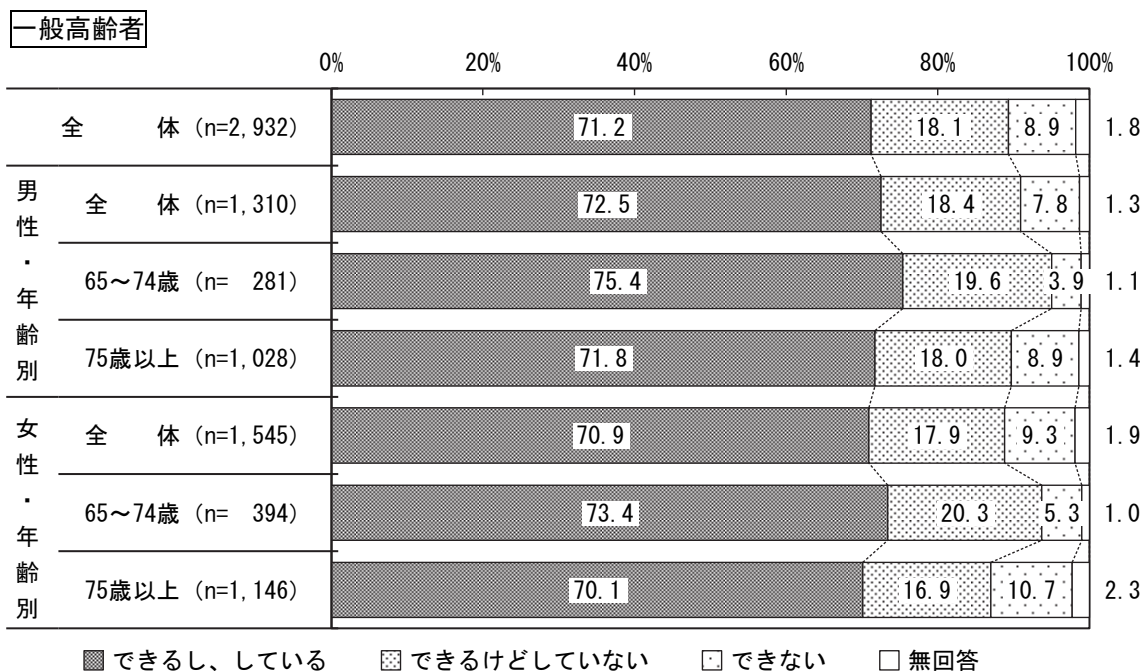
在宅要支援認定者等



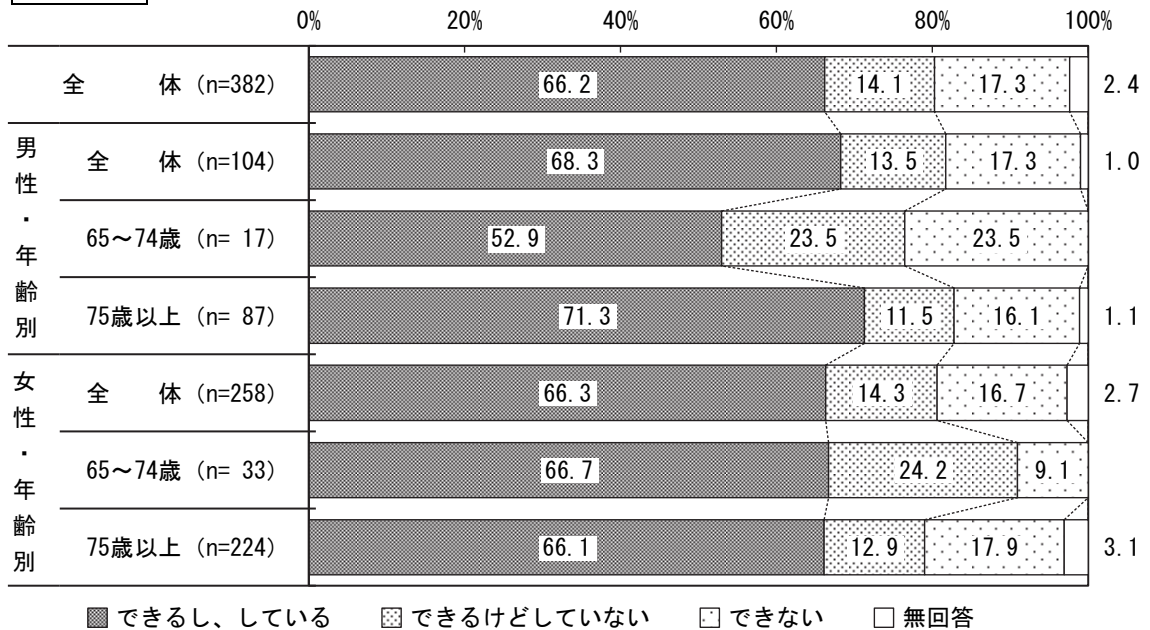
■ できるし、している ▨ できるけどしていない □ できない ▩ 無回答

「15分位続けて歩いていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では8.9%、事業対象者では17.3%、介護保険サービスの無受給者では33.6%、要支援利用者では46.5%という順で高くなっています。これを性別にみると、要支援利用者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

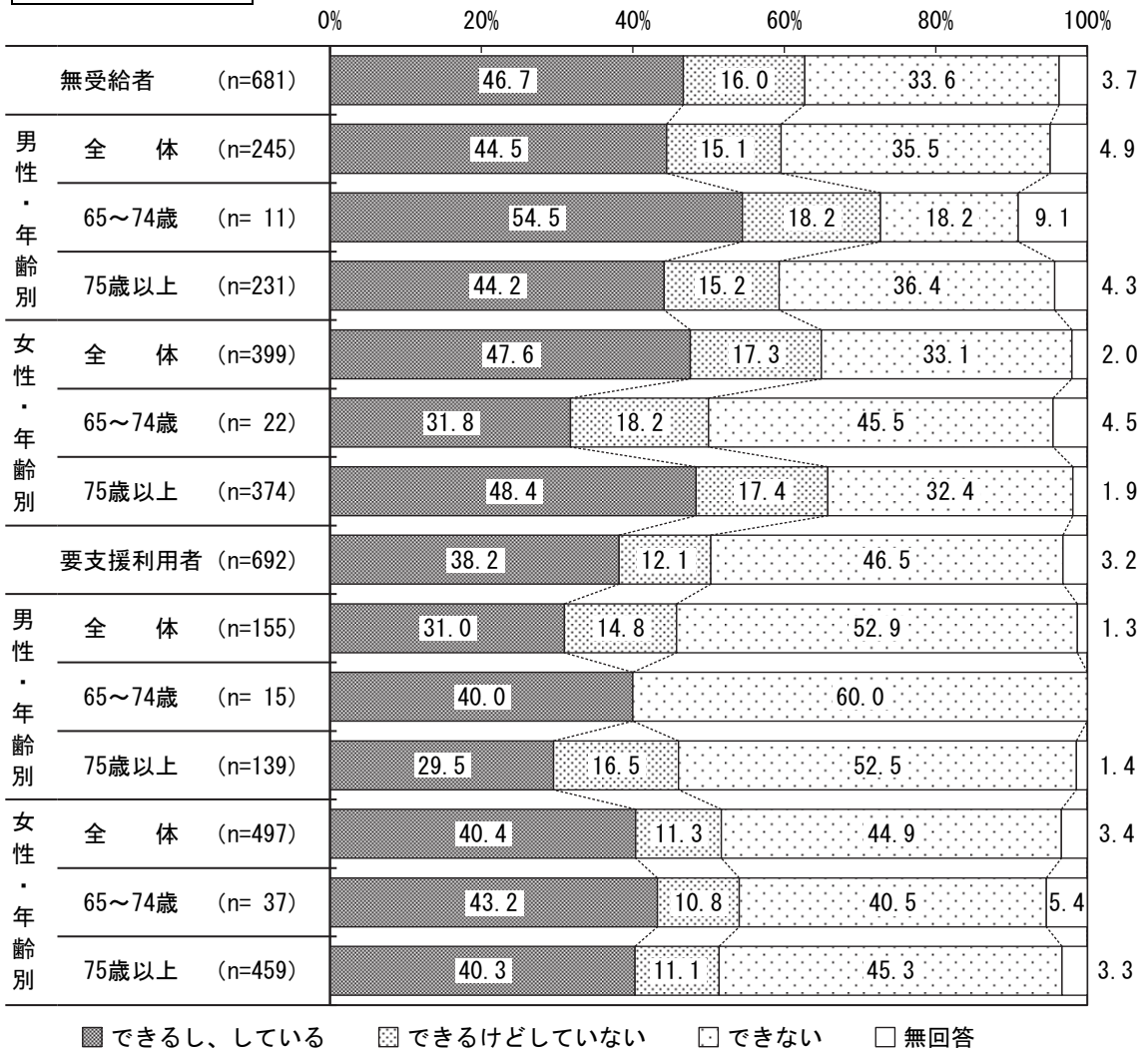
図表4-3 15分位歩き続けられるか



事業対象者

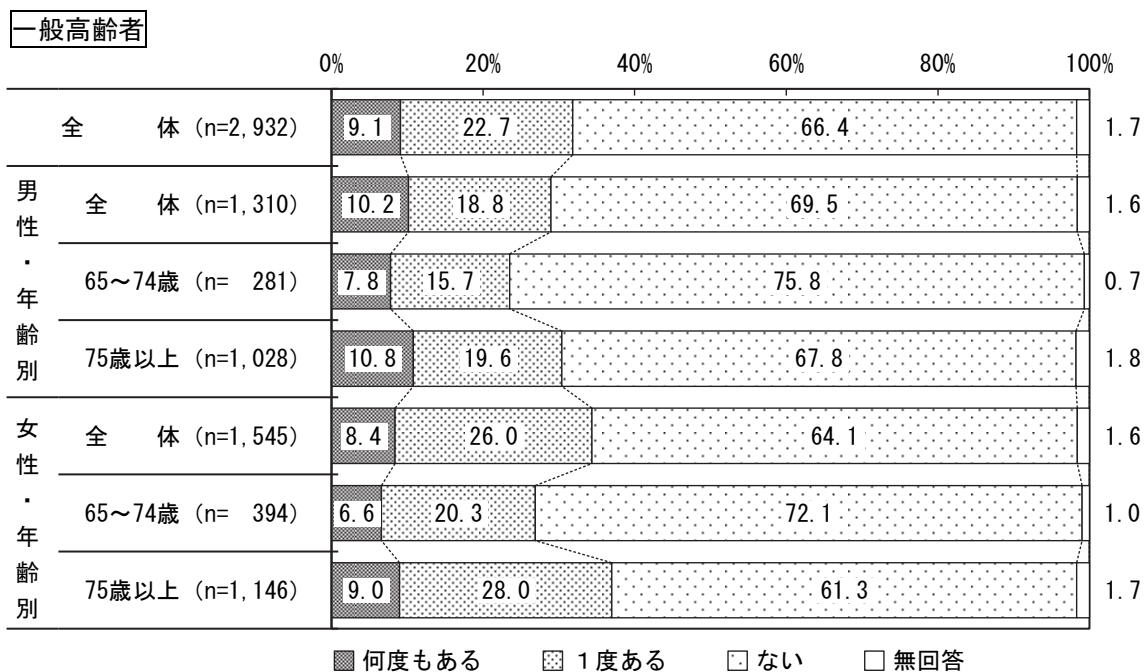


在宅要支援認定者等

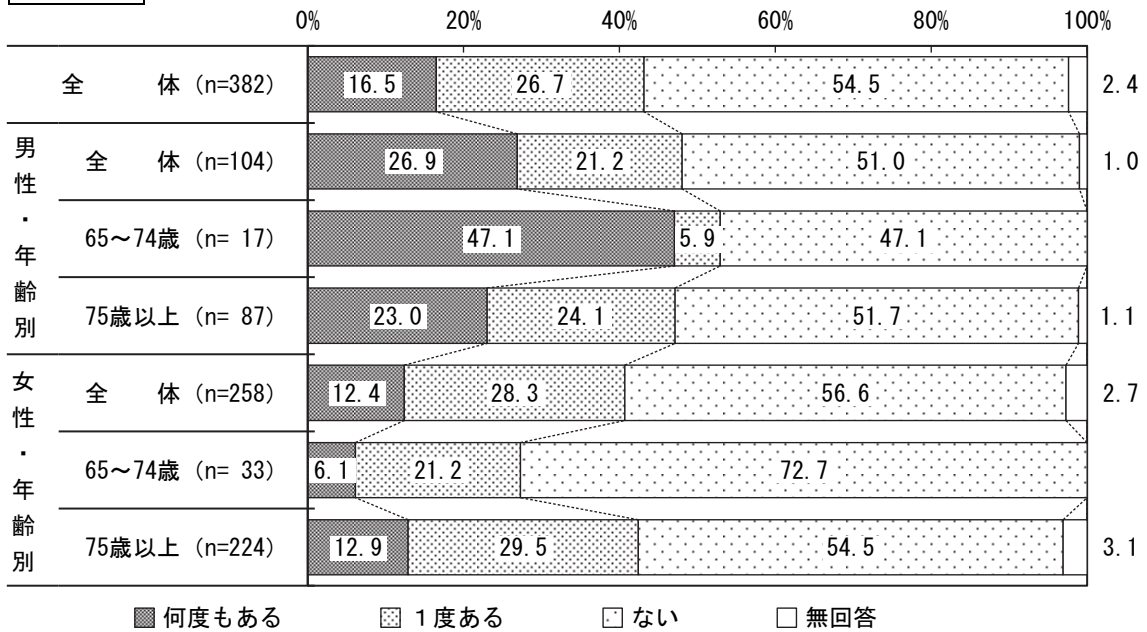


「過去1年間に転んだ経験がありますか」という質問に対し、「何度もある」と「1度ある」を合わせた《ある》と答えた人は、一般高齢者では31.8%、事業対象者では43.2%、介護保険サービスの無受給者では57.7%、要支援利用者では63.0%という順で高くなっています。性別にみると、一般高齢者では男性に比べて女性が、事業対象者と要支援利用者では女性に比べて男性が、それぞれ5ポイント以上高くなっています。

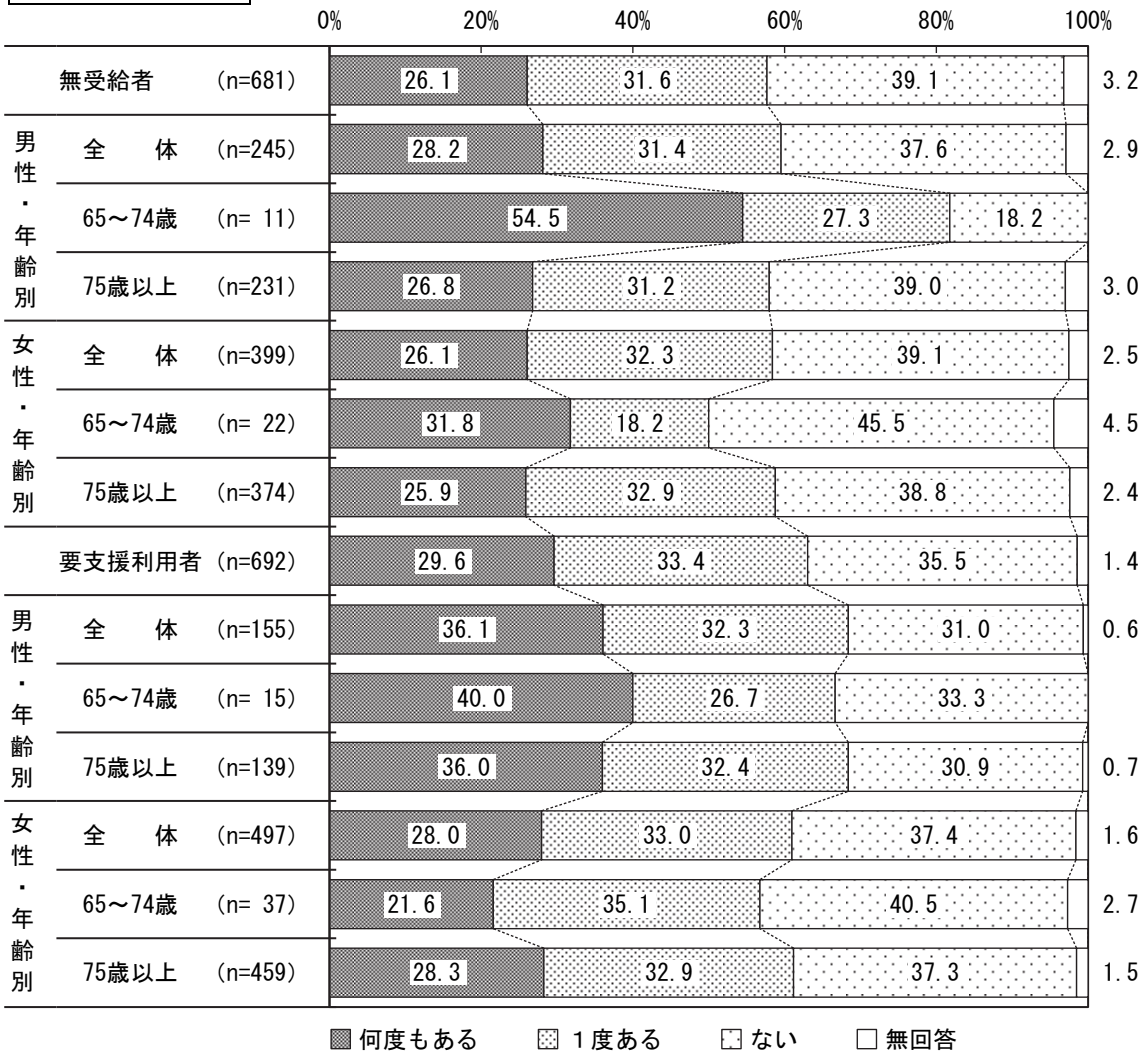
図表4-4 過去1年間の転倒経験



事業対象者

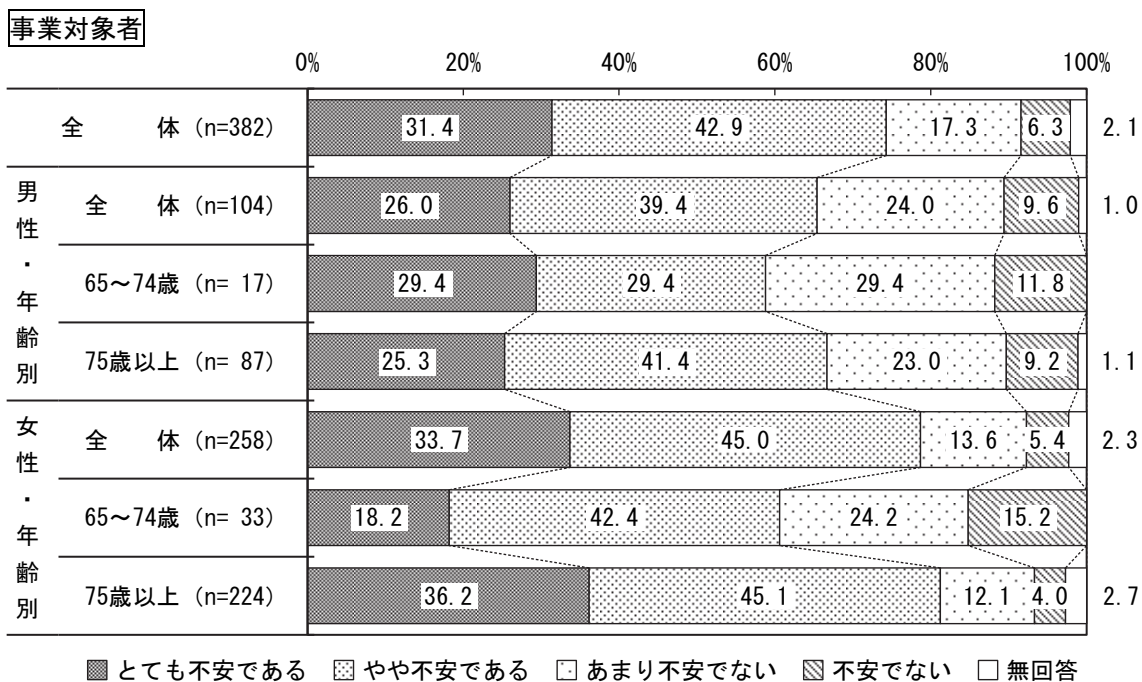
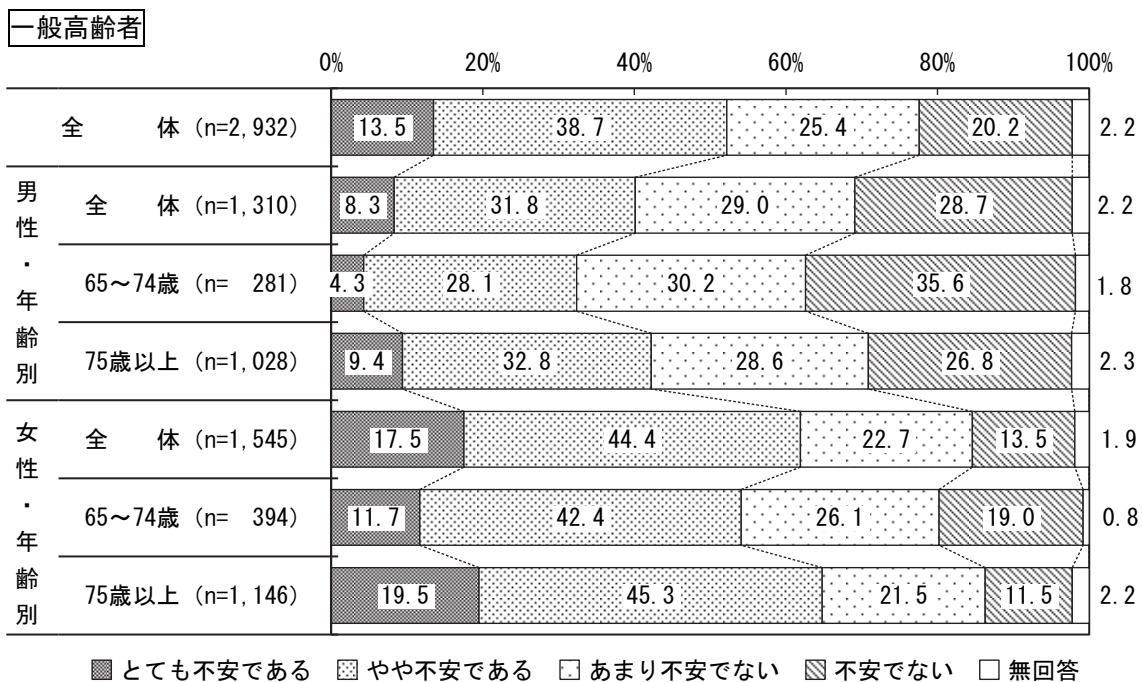


在宅要支援認定者等

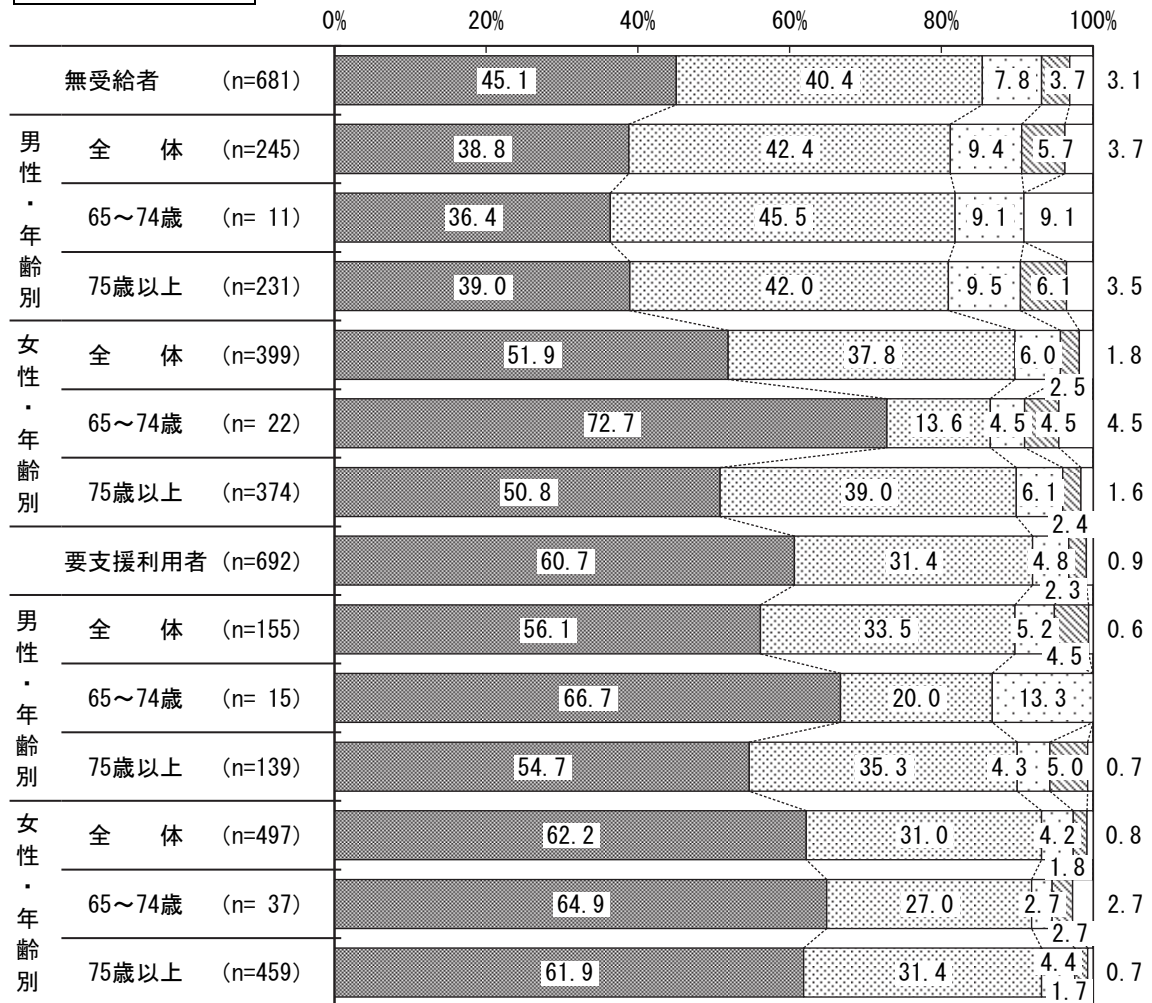


「転倒に対する不安は大きいですか」という質問に対し、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた《不安》と答えた人は、一般高齢者では 52.2%、事業対象者では 74.3%、介護保険サービスの無受給者では 85.5%、要支援利用者では 92.1%という順で高くなっています。性別にみると、一般高齢者、事業対象者では、男性に比べて女性が 10 ポイント以上高くなっています。

図表 4-5 転倒への不安感



在宅要支援認定者等



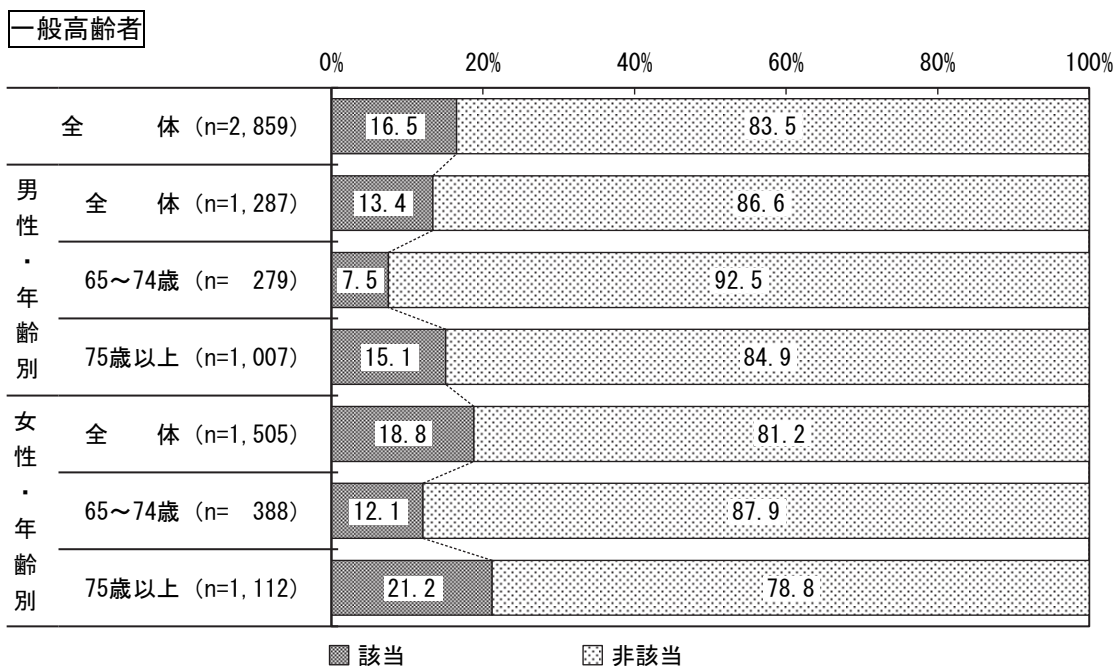
とても不安である
 やや不安である
 あまり不安でない
 不安でない
 無回答

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（令和4年8月、厚生労働省老健局）によると、前述の5つの設問のうち3問以上で、該当する選択肢（下の表の□で囲んでいるもの）に回答した一般高齢者は、運動器機能低下者とされています。

設 問	選 択 肢
①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない <input checked="" type="checkbox"/> 3 できない
②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない <input checked="" type="checkbox"/> 3 できない
③15分位続けて歩いていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない <input checked="" type="checkbox"/> 3 できない
④過去1年間に転んだ経験がありますか	<input checked="" type="checkbox"/> 1 何度もある <input checked="" type="checkbox"/> 2 1度ある 3 ない
⑤転倒に対する不安は大きいですか	<input checked="" type="checkbox"/> 1 とても不安である <input checked="" type="checkbox"/> 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない

上の表に基づき、一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める運動器機能低下者をみると、16.5%が該当しています。これを性別にみると、男性に比べて女性が5ポイント程度高くなっています。

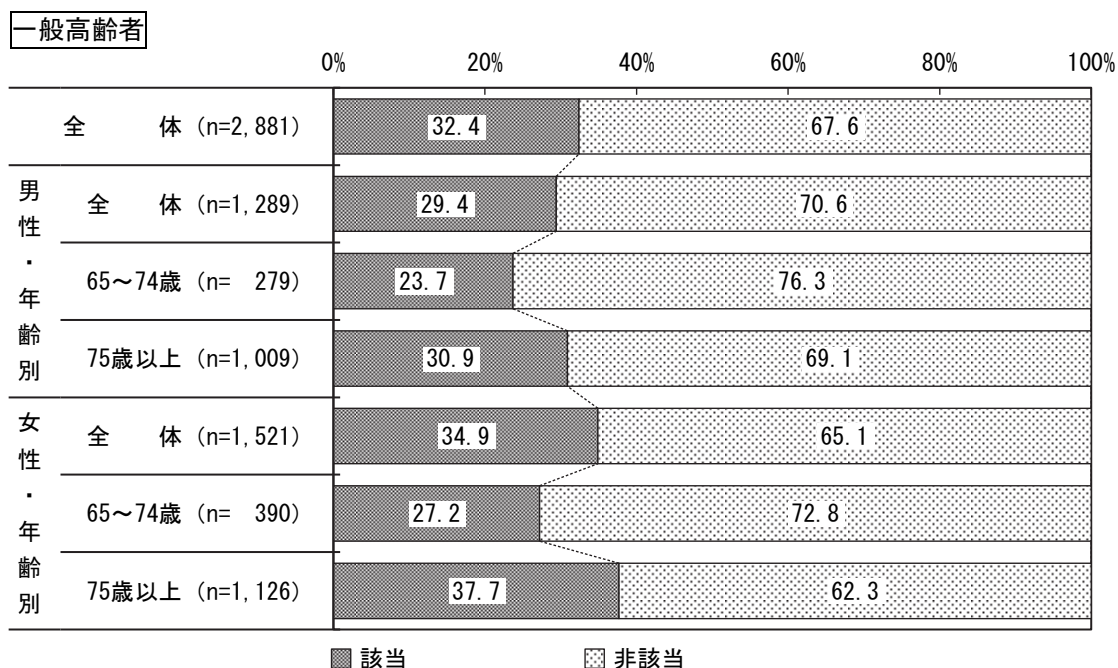
図表4-6 運動器機能低下者



また、前頁の表中の④の該当する選択肢に回答した一般高齢者は、転倒リスク者とされています。

一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める転倒リスク者をみると、32.4%が該当しています。これを性別にみると、男性に比べて女性が5ポイント程度高くなっています。

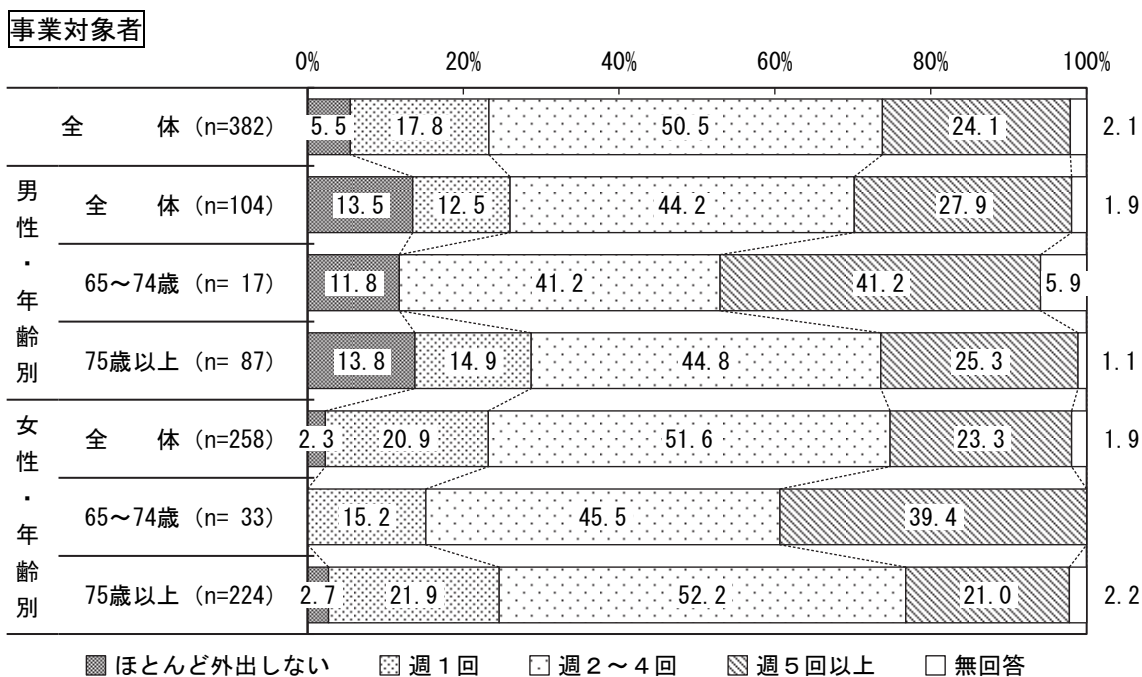
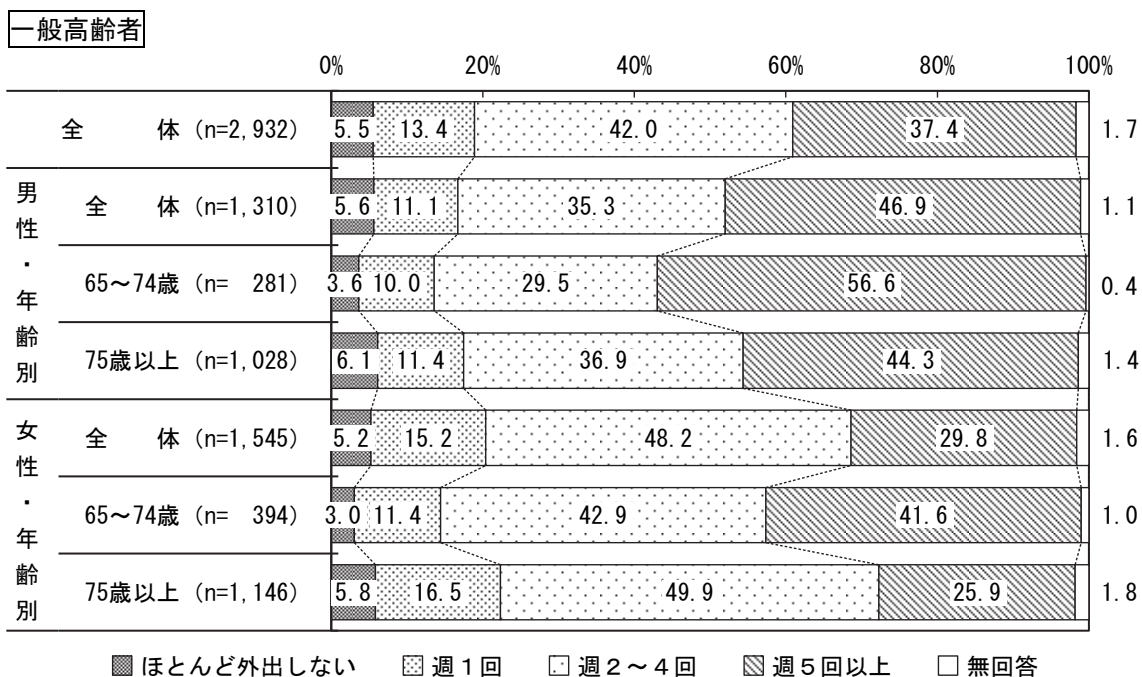
図表4-7 転倒リスク者



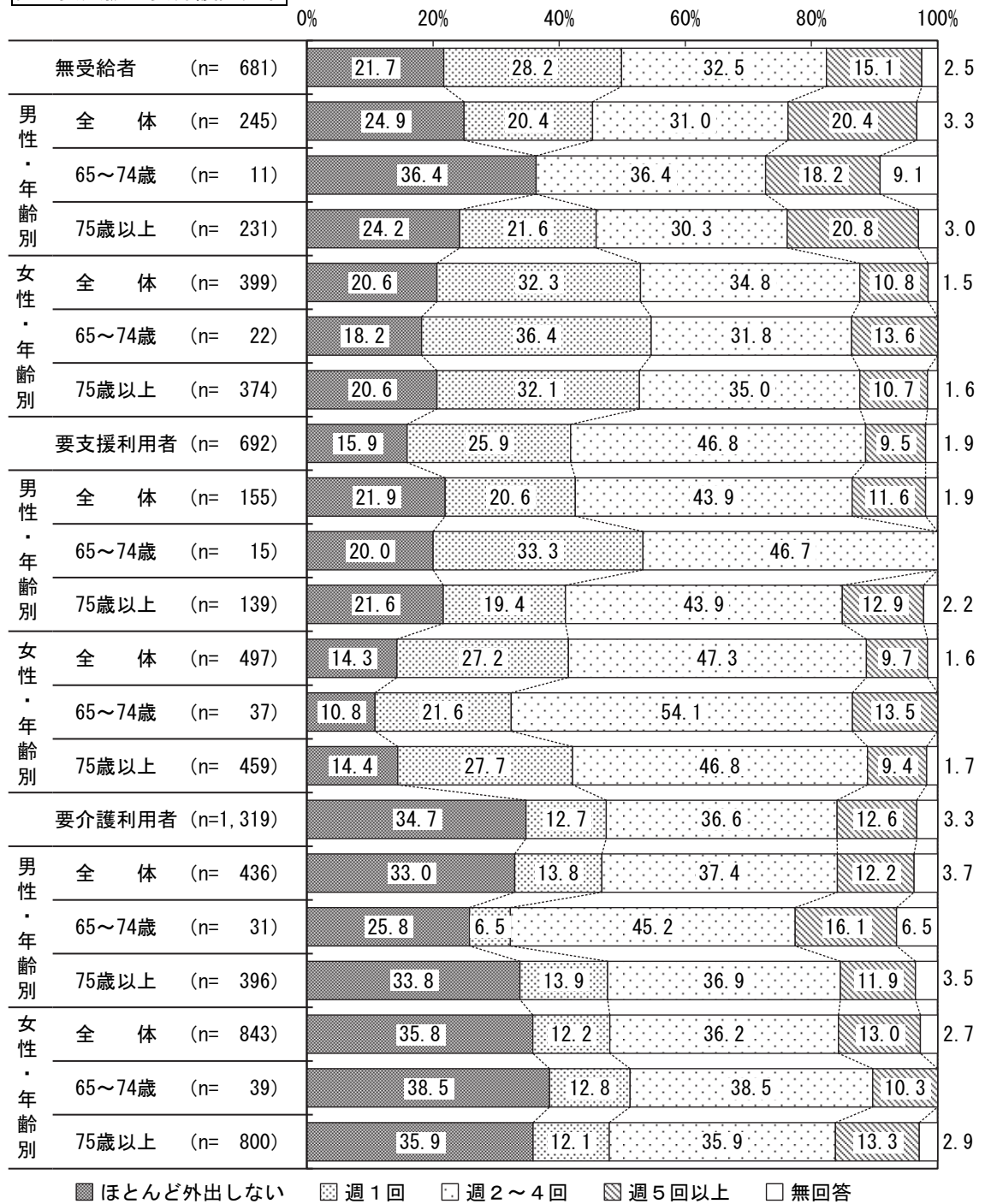
(2) 外出の状況

「週に1回以上は外出していますか」という質問に対し、「ほとんど外出しない」と答えた人は、一般高齢者、事業対象者ともに5.5%、要支援利用者では15.9%、介護保険サービスの無受給者では21.7%、要介護利用者では34.7%という順で高くなっています。これを性別にみると、事業対象者と要支援利用者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-8 外出の頻度（一般高齢者）



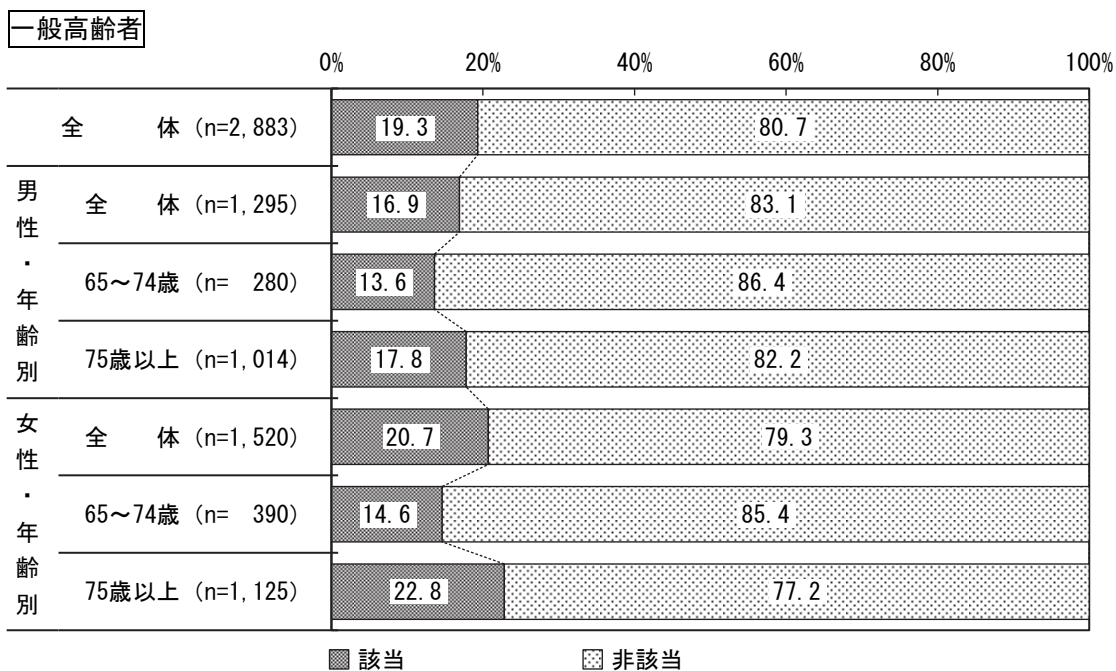
在宅要支援・要介護認定者



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、この設問で「ほとんど外出しない」に回答した一般高齢者は、閉じこもり傾向者とされています。

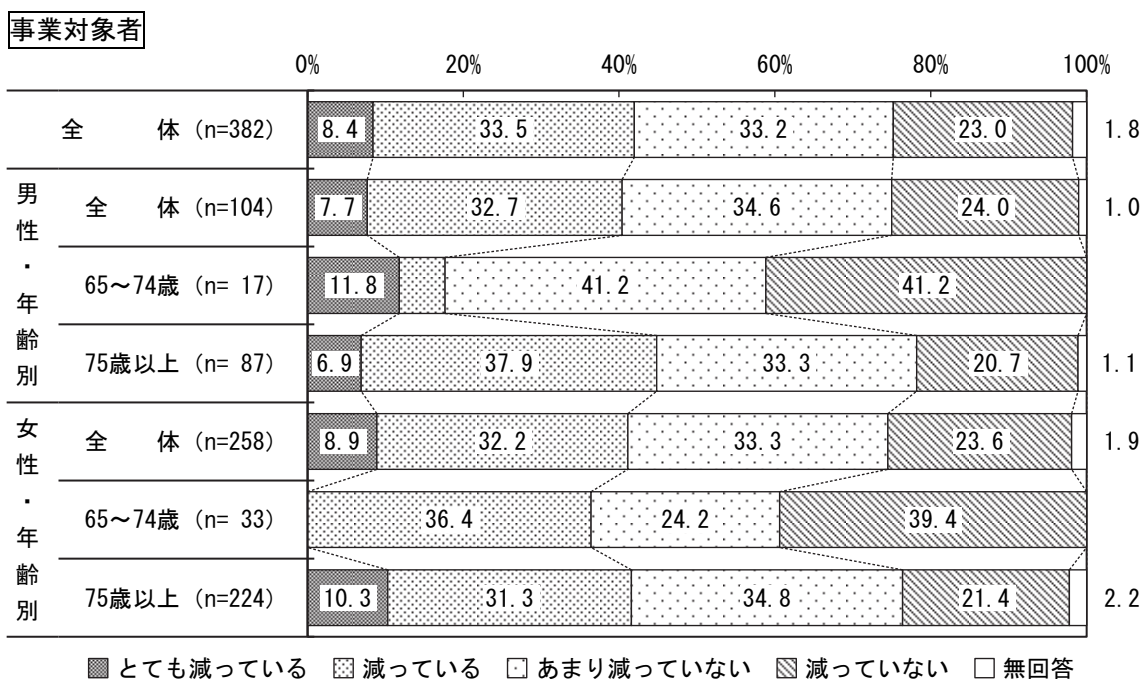
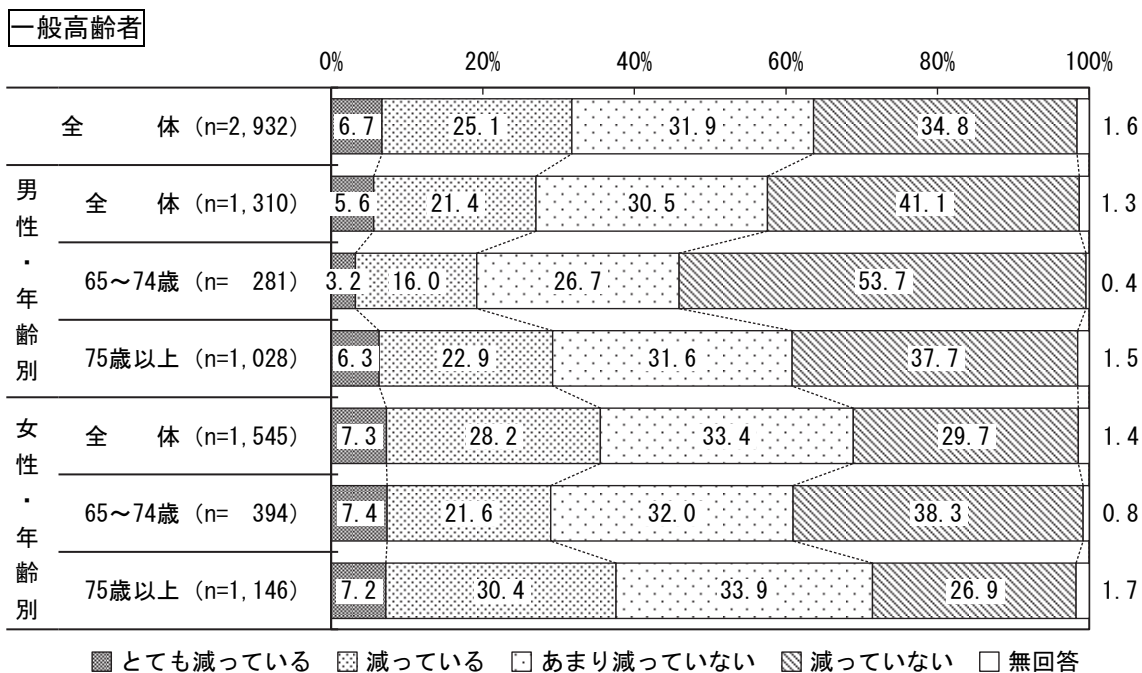
一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める閉じこもり傾向者をみると、19.3%が該当しています。これを性別にみても、大きな差異はありません。

図表4-9 閉じこもり傾向者の把握

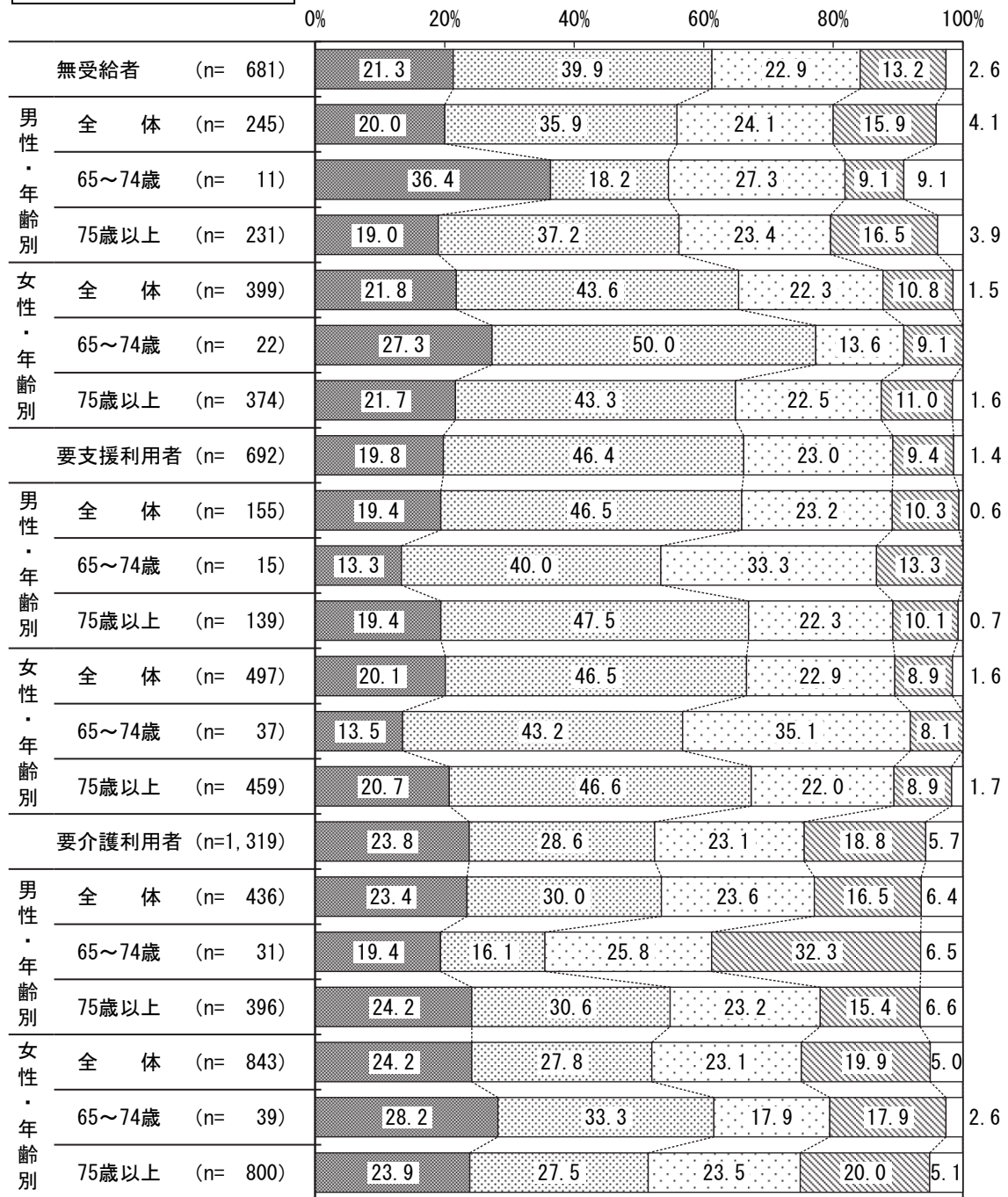


「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」という質問に対し、「とても減っている」と「減っている」を合わせると、一般高齢者では31.8%、事業対象者では41.9%、要介護利用者では52.4%、介護保険サービスの無受給者では61.2%、要支援利用者では66.2%という順で高くなっています。これを性別にみると、一般高齢者と無受給者では、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-10 昨年からの外出回数の変化



在宅要支援・要介護認定者

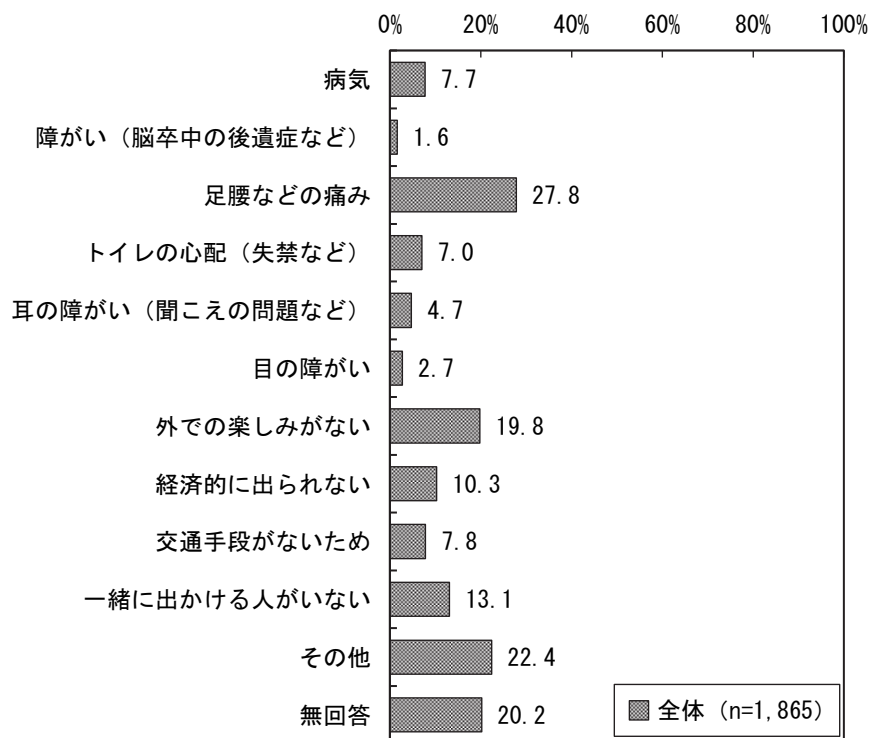


とても減っている
 減っている
 あまり減っていない
 減っていない
 無回答

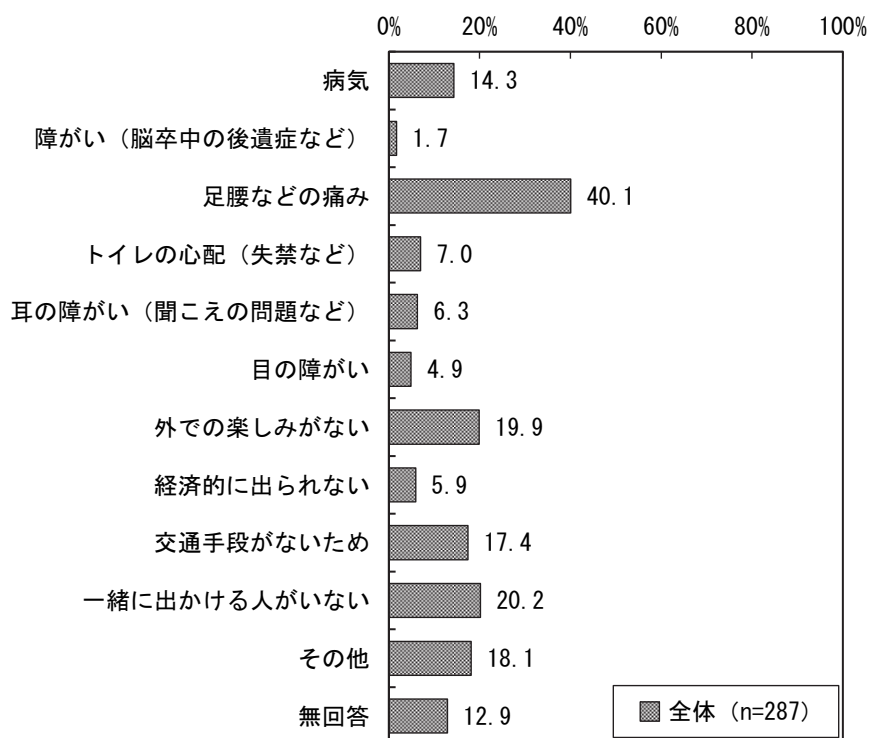
昨年と比べて外出の回数が「とても減っている」または「減っている」、「あまり減っていない」と答えた一般高齢者と事業対象者に減っている理由をたずねたところ、いずれにおいても、「足腰などの痛み」が最も高く、「その他」以外では、「外での楽しみがない」、「一緒に出かける人がいない」なども比較的高くなっています。

図表4-11 外出が減っている理由（複数回答）

一般高齢者



事業対象者



外出が減っている理由を性別にみると、事業対象者の「外での楽しみがない」は、女性に比べて男性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-12 外出が減っている理由（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		病気	障がい（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障がい（聞こえの問題など）	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がないため	一緒に出かける人がいない	その他	無回答
男 性	全 体 (n= 754)	8.5	2.3	27.5	9.8	6.2	3.2	21.1	11.5	5.8	11.8	19.2	18.8
	65～74 歳 (n= 129)	7.8	2.3	21.7	7.8	3.9	0.8	22.5	10.1	1.6	10.9	18.6	25.6
	75 歳以上 (n= 625)	8.6	2.2	28.6	10.2	6.7	3.7	20.8	11.8	6.7	12.0	19.4	17.4
女 性	全 体 (n=1,064)	7.0	1.0	27.6	5.3	3.8	2.5	18.7	9.8	9.3	14.5	24.6	21.1
	65～74 歳 (n= 240)	7.1	0.8	19.6	3.3	0.8	2.9	22.1	15.4	7.9	15.0	30.8	21.7
	75 歳以上 (n= 819)	7.0	1.1	30.0	5.9	4.6	2.4	17.7	7.9	9.8	14.3	22.8	21.0

事業対象者

(単位：%)

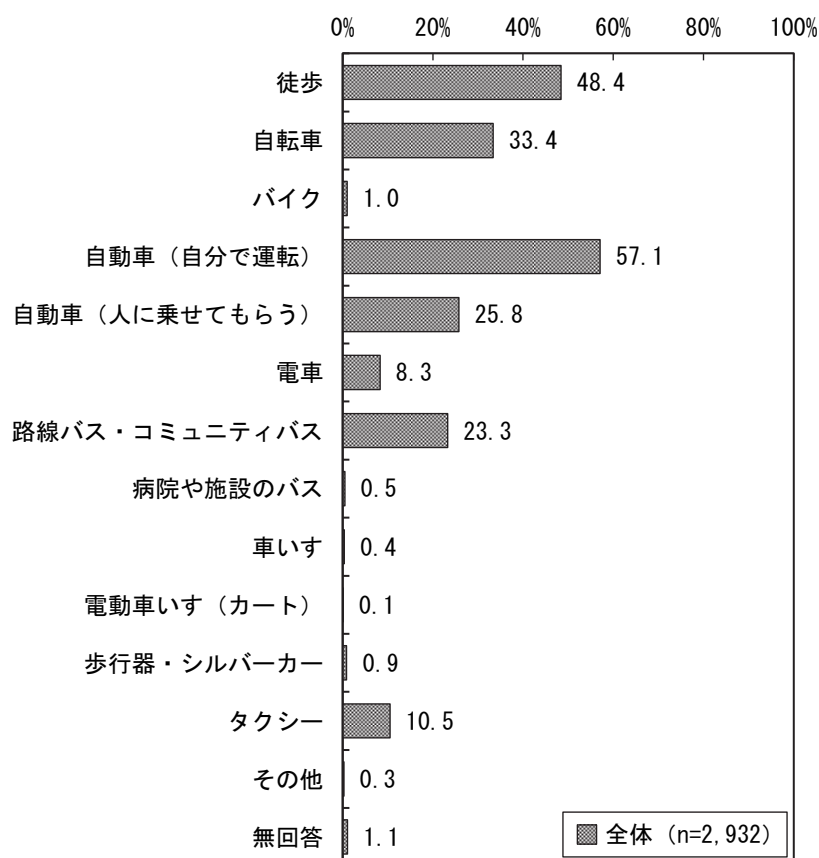
区 分		病気	障がい（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障がい（聞こえの問題など）	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がないため	一緒に出かける人がいない	その他	無回答
男 性	全 体 (n= 78)	17.9	1.3	34.6	6.4	2.6	2.6	32.1	5.1	17.9	19.2	16.7	9.0
	65～74 歳 (n= 10)	30.0	-	30.0	-	-	-	30.0	-	10.0	20.0	20.0	20.0
	75 歳以上 (n= 68)	16.2	1.5	35.3	7.4	2.9	2.9	32.4	5.9	19.1	19.1	16.2	7.4
女 性	全 体 (n=192)	11.5	2.1	41.1	7.8	7.3	5.7	15.6	6.8	16.7	20.8	18.8	14.6
	65～74 歳 (n= 20)	15.0	-	30.0	5.0	-	-	10.0	20.0	5.0	15.0	35.0	10.0
	75 歳以上 (n=171)	10.5	2.3	42.7	8.2	8.2	6.4	16.4	5.3	18.1	21.6	17.0	15.2

外出の際の移動手段については、一般高齢者では「自動車(自分で運転)」(57.1%)、事業対象者では「徒歩」(53.4%)、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者、要介護利用者では「自動車(人に乗せてもらう)」がいずれも50%を超え、それぞれ最も高くなっています。

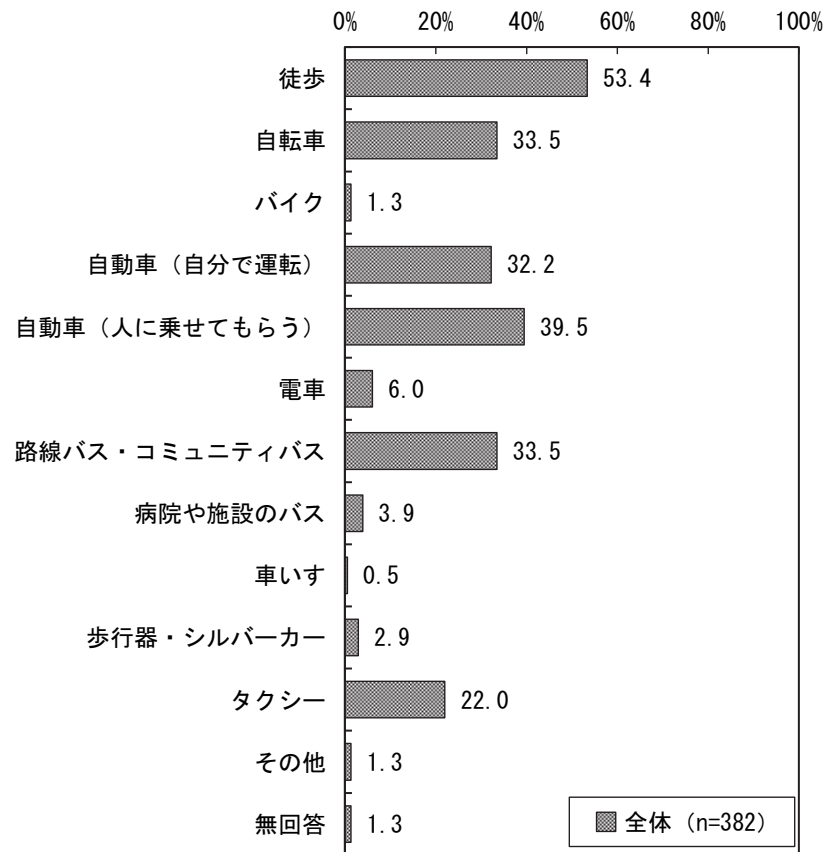
なお、事業対象者の「路線バス・コミュニティバス」、要支援利用者の「歩行器・シルバーカー」と「タクシー」、要介護利用者の「車いす」は、ほかの調査対象に比べて特に高くなっています。

図表4-13 外出の際の移動手段(複数回答)

一般高齢者

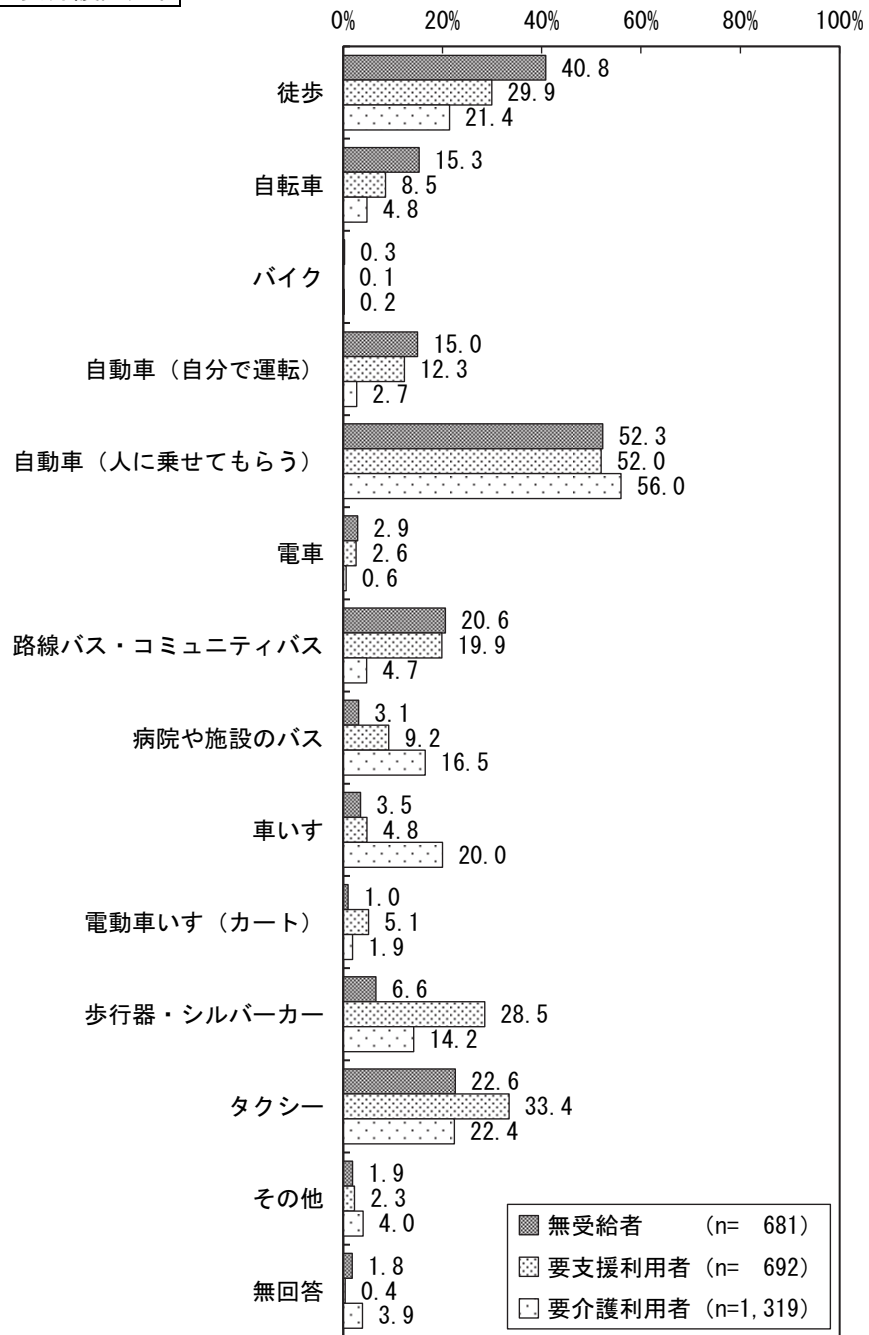


事業対象者



(注)「電動車いす (カート)」という選択肢もありましたが、該当はありませんでした。

在宅要支援・要介護認定者



特徴のある項目について性別にみても、事業対象者の「路線バス・コミュニティバス」と要支援利用者の「歩行器・シルバーカー」は、男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-14 外出の際の移動手段（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス・ コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	48.5	32.1	1.3	78.4	12.1	9.4	18.7	0.2	0.3	0.2	0.4	7.6	0.3	1.2
	65～74歳 (n=281)	47.7	33.5	2.1	88.6	5.3	8.5	14.6	-	0.4	-	-	5.0	-	1.1
	75歳以上 (n=1,028)	48.8	31.7	1.1	75.6	14.0	9.6	19.8	0.2	0.3	0.2	0.5	8.3	0.4	1.3
女 性	全 体 (n=1,545)	48.5	34.4	0.6	39.8	37.4	7.6	27.4	0.8	0.6	0.1	1.4	12.8	0.4	0.8
	65～74歳 (n=394)	46.7	35.5	0.5	59.6	31.2	8.1	24.1	0.3	0.3	-	0.3	7.1	-	-
	75歳以上 (n=1,146)	49.3	34.0	0.7	33.2	39.5	7.5	28.4	1.0	0.7	0.1	1.7	14.8	0.5	1.0

事業対象者

(単位：%)

区 分		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス・ コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
男 性	全 体 (n=104)	51.0	33.7	1.9	51.0	32.7	5.8	24.0	3.8	-	1.0	16.3	-	1.9
	65～74歳 (n=17)	58.8	47.1	5.9	47.1	35.3	11.8	23.5	5.9	-	-	5.9	-	5.9
	75歳以上 (n=87)	49.4	31.0	1.1	51.7	32.2	4.6	24.1	3.4	-	1.1	18.4	-	1.1
女 性	全 体 (n=258)	53.9	32.2	1.2	25.6	43.0	5.8	35.7	4.3	-	3.1	23.6	1.9	0.8
	65～74歳 (n=33)	54.5	48.5	3.0	63.6	21.2	6.1	30.3	3.0	0.8	-	3.0	-	-
	75歳以上 (n=224)	53.6	29.9	0.9	20.1	46.0	5.8	36.2	4.0	3.0	3.6	26.8	2.2	0.9

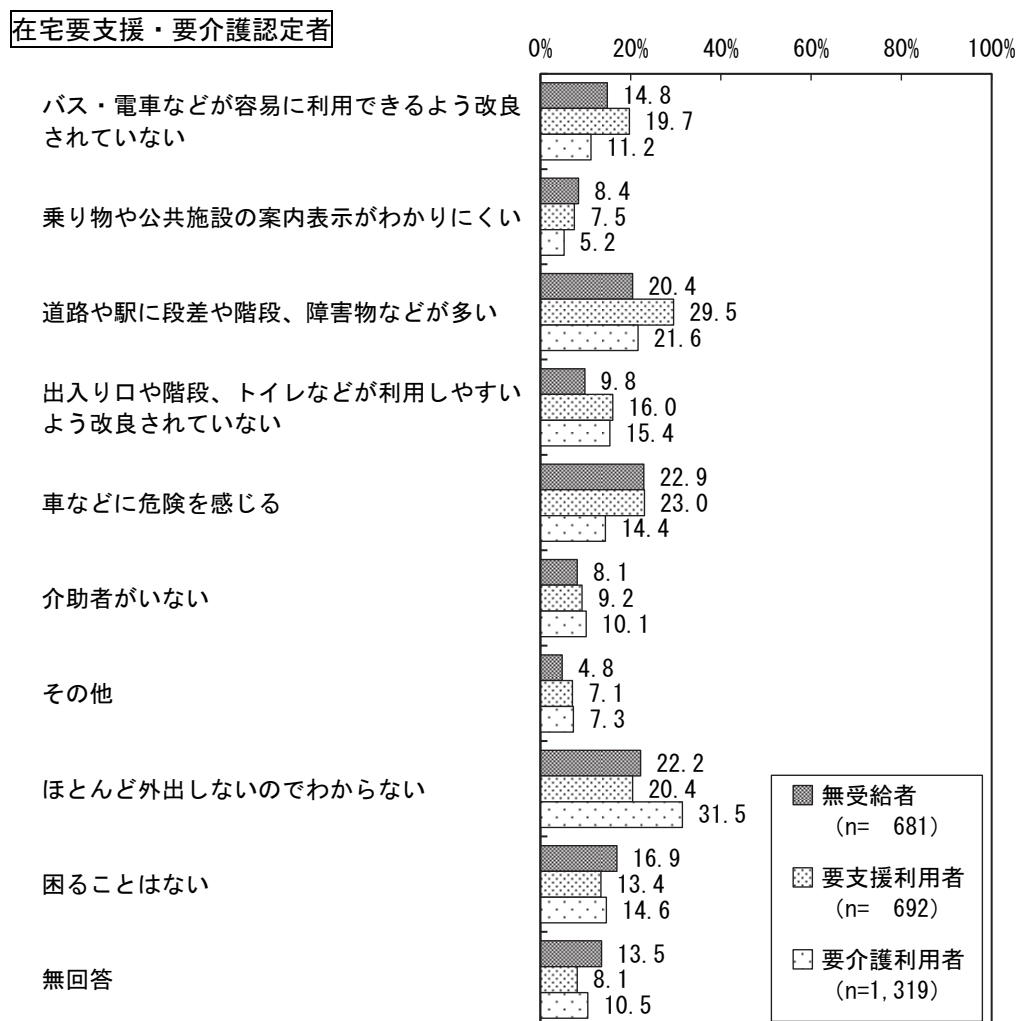
在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス・コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
無受給者															
男 性	全 体 (n=245)	42.0	18.4	0.8	25.3	44.5	3.3	16.3	3.3	2.4	1.2	2.4	18.0	2.0	2.4
	65～74 歳 (n= 11)	27.3	18.2	-	9.1	45.5	-	27.3	9.1	-	-	-	27.3	9.1	9.1
	75 歳以上 (n=231)	43.3	18.2	0.9	26.0	44.6	3.5	16.0	3.0	2.2	1.3	2.6	17.3	1.7	2.2
女 性	全 体 (n=399)	40.9	12.5	-	8.8	58.9	3.0	24.1	2.8	4.3	0.8	8.8	25.3	1.8	1.0
	65～74 歳 (n= 22)	31.8	9.1	-	13.6	68.2	4.5	27.3	-	4.5	-	9.1	27.3	-	-
	75 歳以上 (n=374)	41.4	12.8	-	8.6	58.8	2.9	23.8	2.9	4.3	0.8	8.6	25.1	1.9	1.1
要支援利用者															
男 性	全 体 (n=155)	35.5	11.0	-	21.3	41.9	4.5	16.8	9.7	7.7	11.0	12.3	30.3	3.2	0.6
	65～74 歳 (n= 15)	33.3	-	-	40.0	26.7	-	6.7	13.3	-	6.7	13.3	26.7	-	-
	75 歳以上 (n=139)	35.3	12.2	-	19.4	43.9	5.0	17.3	9.4	8.6	11.5	12.2	30.9	3.6	0.7
女 性	全 体 (n=497)	28.0	8.0	0.2	9.1	55.5	2.2	21.3	9.3	4.2	3.6	33.4	34.4	2.2	0.2
	65～74 歳 (n= 37)	24.3	10.8	-	18.9	54.1	-	18.9	8.1	5.4	8.1	27.0	37.8	-	-
	75 歳以上 (n=459)	28.3	7.8	0.2	8.3	55.6	2.4	21.4	9.4	4.1	3.3	34.0	34.2	2.4	0.2
要介護利用者															
男 性	全 体 (n=436)	28.0	9.2	0.2	5.7	50.0	1.1	6.9	13.8	18.8	3.2	7.3	27.5	4.1	4.6
	65～74 歳 (n= 31)	22.6	6.5	-	12.9	41.9	-	6.5	9.7	29.0	3.2	3.2	12.9	9.7	6.5
	75 歳以上 (n=396)	28.3	9.1	0.3	5.3	51.3	1.3	7.1	14.4	17.9	2.8	7.8	27.8	3.8	4.5
女 性	全 体 (n=843)	17.9	2.7	0.1	1.2	59.5	0.4	3.7	18.4	21.5	1.3	17.4	19.5	3.7	3.2
	65～74 歳 (n= 39)	23.1	2.6	-	2.6	66.7	-	7.7	12.8	33.3	2.6	10.3	17.9	-	2.6
	75 歳以上 (n=800)	17.4	2.6	0.1	1.1	59.3	0.4	3.5	18.8	20.9	1.3	17.8	19.6	3.9	3.3

外出する上での困りごとについて、「ほとんど外出しない」が比較的高い在宅要支援・要介護認定者（92・93 頁参照）にたずねたところ、「ほとんど外出しないのでわからない」を除き最も高い項目は、介護保険サービスの無受給者では「車などに危険を感じる」が 22.9%、要支援利用者と要介護利用者では「道路や駅に段差や階段、障害物が多い」が 29.5%と 21.6%となっています。なお、「困ることはない」は、無受給者が 16.9%、要支援利用者が 13.4%、要介護利用者が 14.6%となっています。

図表 4-15 外出する上での困りごと（3つまで回答）



図表4-16 外出する上での困りごと（性別・年齢別、3つまで回答）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

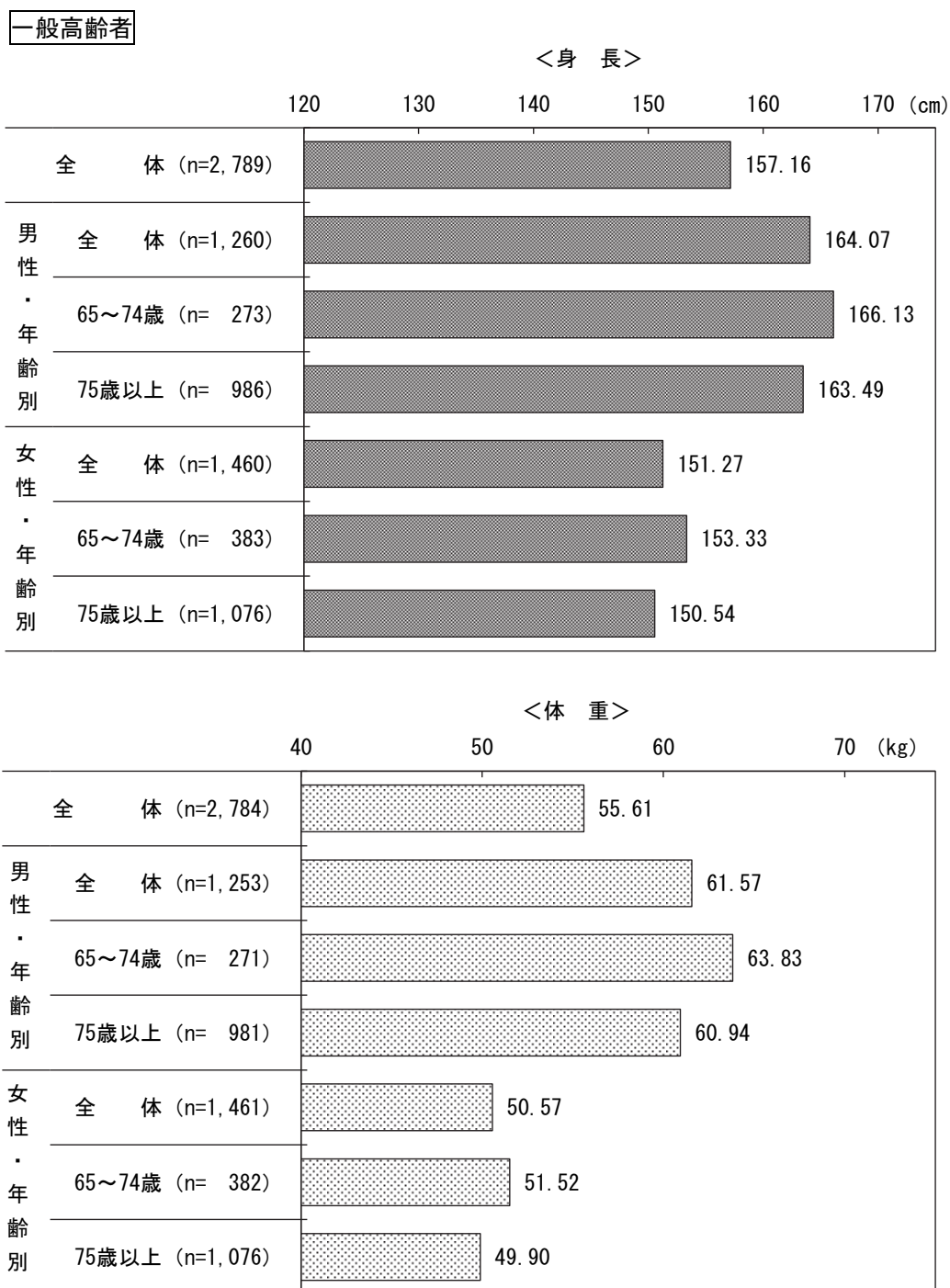
区 分		バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない	乗り物や公共施設の案内表示がわかりにくい	道路や駅に段差や階段、障害物などが多い	出入り口や階段、トイレなどが利用しやすいよう改良されていない	車などに危険を感じる	介助者がいない	その他	ほとんど外出しないのでわからない	困ることはない	無回答
無受給者											
男 性	全 体 (n=245)	15.1	8.2	24.5	8.6	24.5	6.5	3.3	20.8	18.4	13.1
	65～74 歳 (n= 11)	9.1	18.2	36.4	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
	75 歳以上 (n=231)	15.6	7.8	24.2	8.7	24.7	6.5	3.0	21.2	19.0	13.0
女 性	全 体 (n=399)	15.8	8.8	19.3	10.3	23.3	9.3	6.3	23.3	16.0	10.8
	65～74 歳 (n= 22)	18.2	9.1	27.3	4.5	13.6	4.5	4.5	31.8	13.6	13.6
	75 歳以上 (n=374)	15.8	8.8	19.0	10.7	23.5	9.6	6.4	23.0	16.0	10.7
要支援利用者											
男 性	全 体 (n=155)	15.5	5.8	26.5	21.3	28.4	9.7	7.7	18.7	11.6	7.7
	65～74 歳 (n= 15)	20.0	-	33.3	46.7	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	6.7
	75 歳以上 (n=139)	15.1	6.5	25.2	18.0	29.5	9.4	7.2	19.4	11.5	7.9
女 性	全 体 (n=497)	21.1	8.2	31.0	14.7	22.1	8.7	7.0	21.3	13.9	7.8
	65～74 歳 (n= 37)	27.0	10.8	40.5	10.8	27.0	2.7	13.5	13.5	13.5	10.8
	75 歳以上 (n=459)	20.5	7.8	30.3	15.0	21.8	9.2	6.5	22.0	13.9	7.6
要介護利用者											
男 性	全 体 (n=436)	13.1	5.5	19.5	15.6	15.6	9.6	6.7	33.0	13.3	11.2
	65～74 歳 (n= 31)	12.9	-	25.8	19.4	6.5	3.2	16.1	16.1	22.6	9.7
	75 歳以上 (n=396)	12.9	6.1	18.4	14.6	16.4	9.8	5.8	34.8	12.9	11.1
女 性	全 体 (n=843)	10.1	4.9	22.8	15.2	14.1	10.8	7.7	31.0	15.2	9.5
	65～74 歳 (n= 39)	17.9	15.4	33.3	23.1	15.4	7.7	5.1	28.2	17.9	7.7
	75 歳以上 (n=800)	9.6	4.4	22.3	14.8	14.1	10.8	7.9	31.1	14.9	9.6

2 口腔・栄養について

(1) 身長・体重

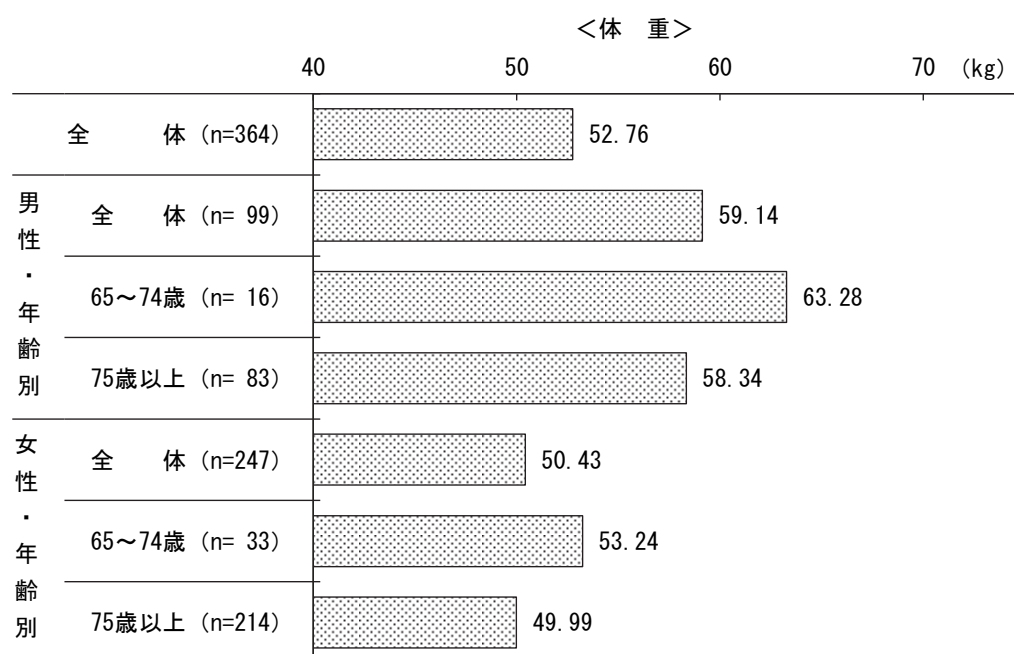
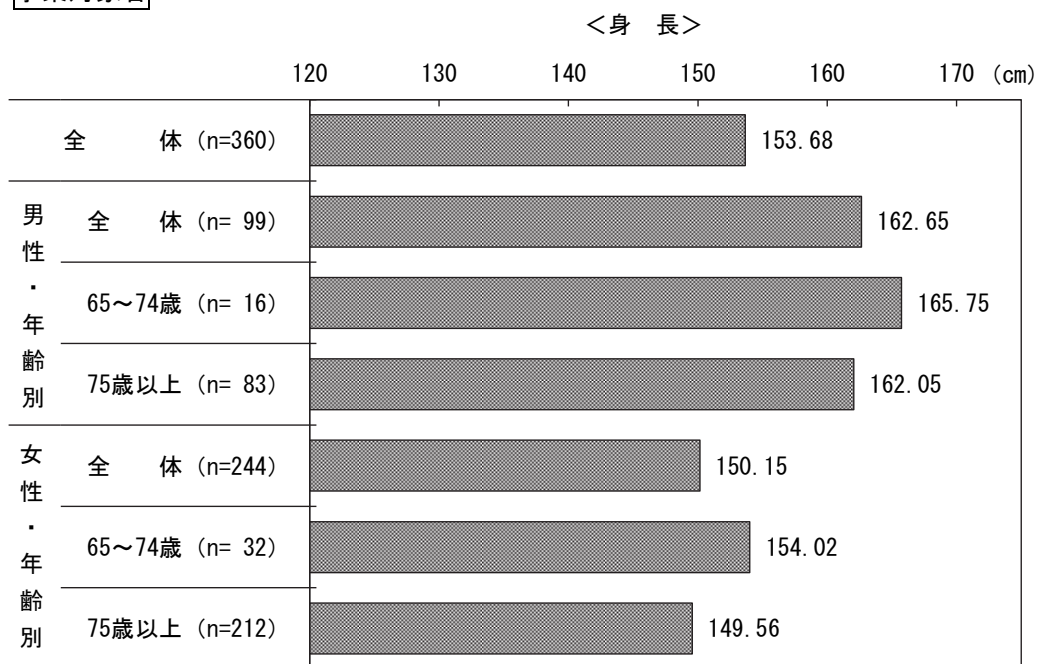
調査対象者の平均身長は、一般高齢者の男性で 164.1cm、女性で 151.3cm、事業対象者の男性で 162.7cm、女性で 150.2cm、介護保険サービスの無受給者の男性で 161.6cm、女性で 148.8cm、要支援利用者の男性で 162.4cm、女性で 148.3cm となっています。

図表 4-17 身長・体重（平均）



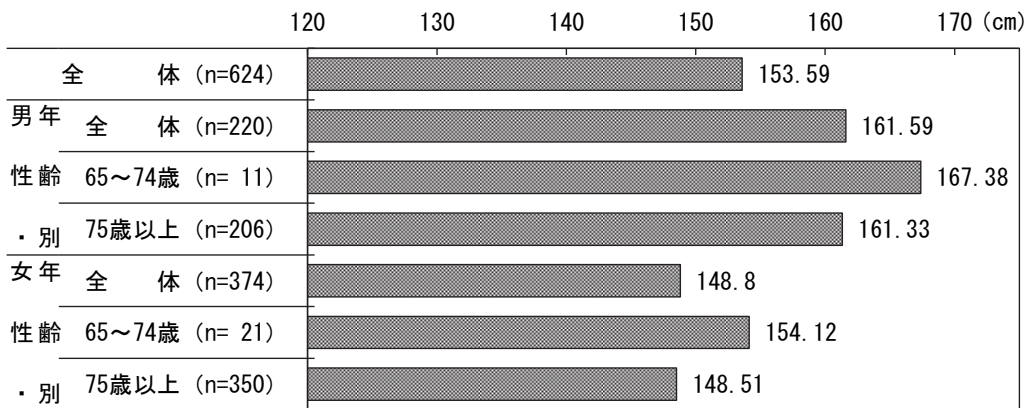
また、調査対象者の平均体重は、一般高齢者の男性で 61.6kg、女性で 50.6kg、事業対象者の男性で 59.1kg、女性で 50.4kg、介護保険サービスの無受給者の男性で 56.3kg、女性で 48.2kg、要支援利用者の男性で 57.9kg、女性で 49.2kg となっています。

事業対象者

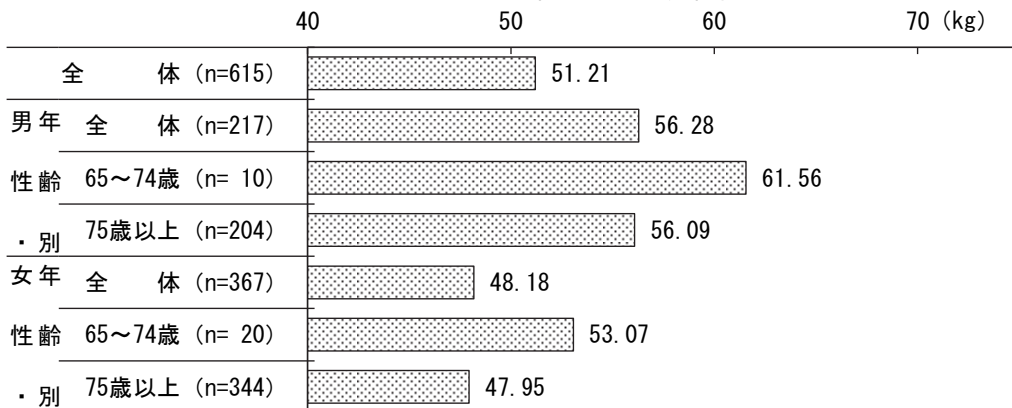


在宅要支援認定者等

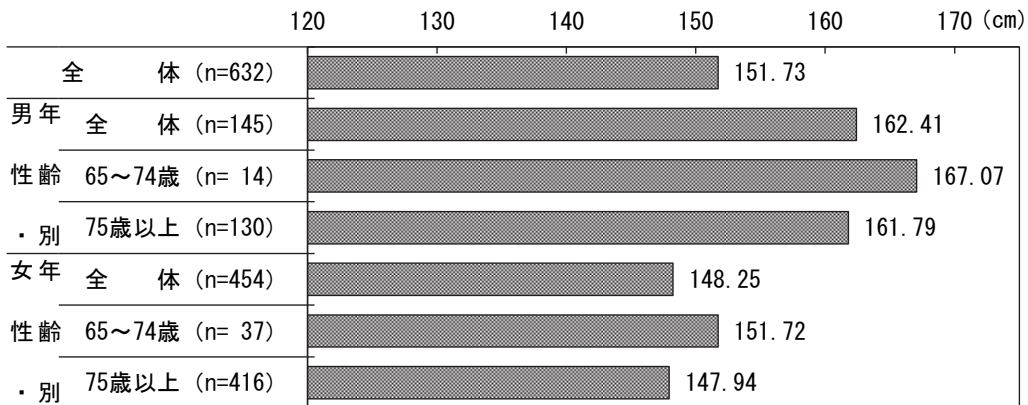
<身長> 無受給者



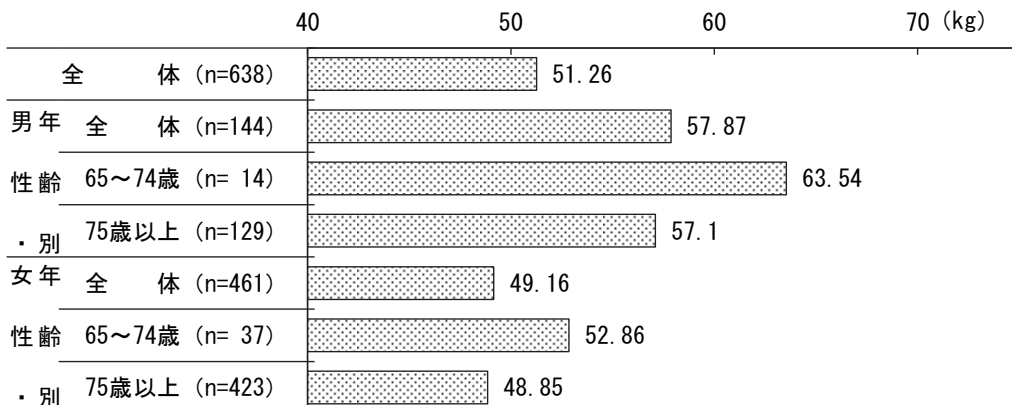
<体重> 無受給者



<身長> 要支援利用者



<体重> 要支援利用者

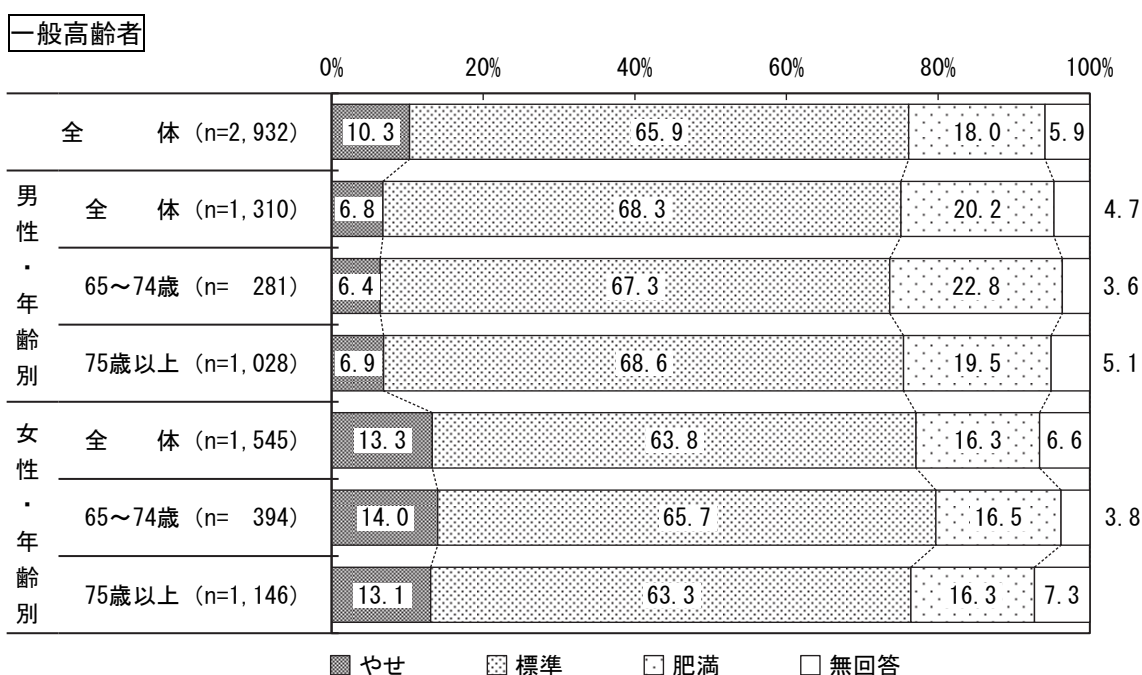


BMIは、国際的に用いられている肥満度を表す体格指数であり、体重（kg）を身長（cm）の二乗で割った数値で、18.5未満が低体重（「やせ」）、25以上が「肥満」とされています。

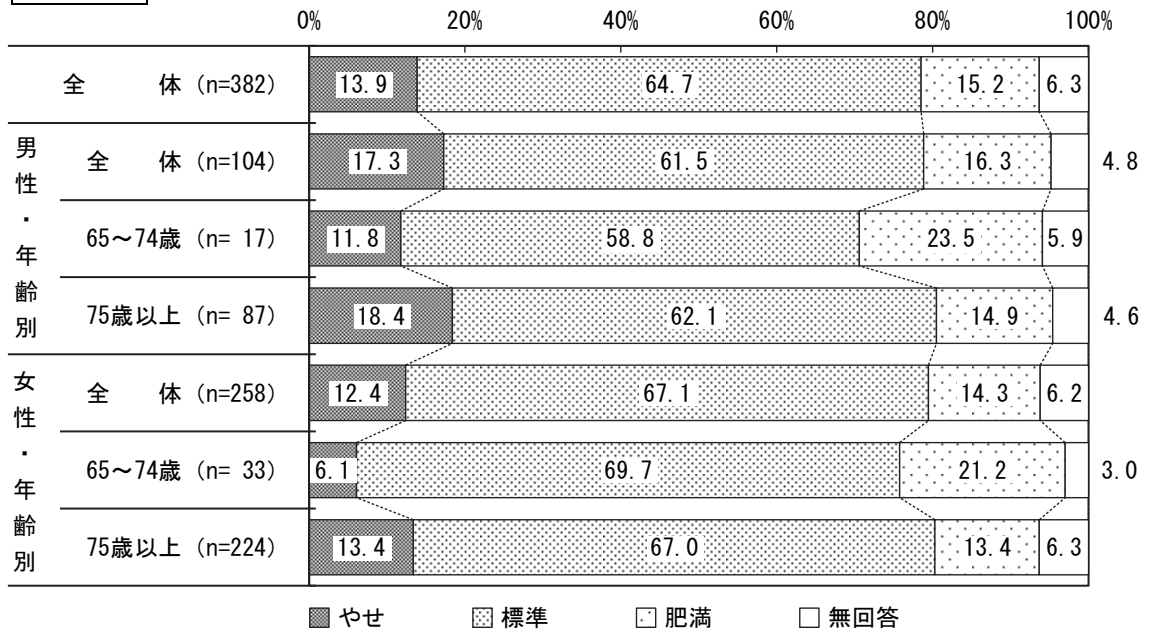
調査対象者のBMIをみると、「やせ」は、一般高齢者の男性で6.8%、女性で13.3%、事業対象者の男性で17.3%、女性で12.4%、介護保険サービスの無受給者の男性で15.1%、女性で17.3%、要支援利用者の男性で13.5%、女性で15.1%となっています。

一方、「肥満」は、一般高齢者の男性で20.2%、女性で16.3%、事業対象者の男性で16.3%、女性で14.3%、介護保険サービスの無受給者の男性で11.8%、女性で18.0%、要支援利用者の男性で12.9%、女性で20.7%となっています。

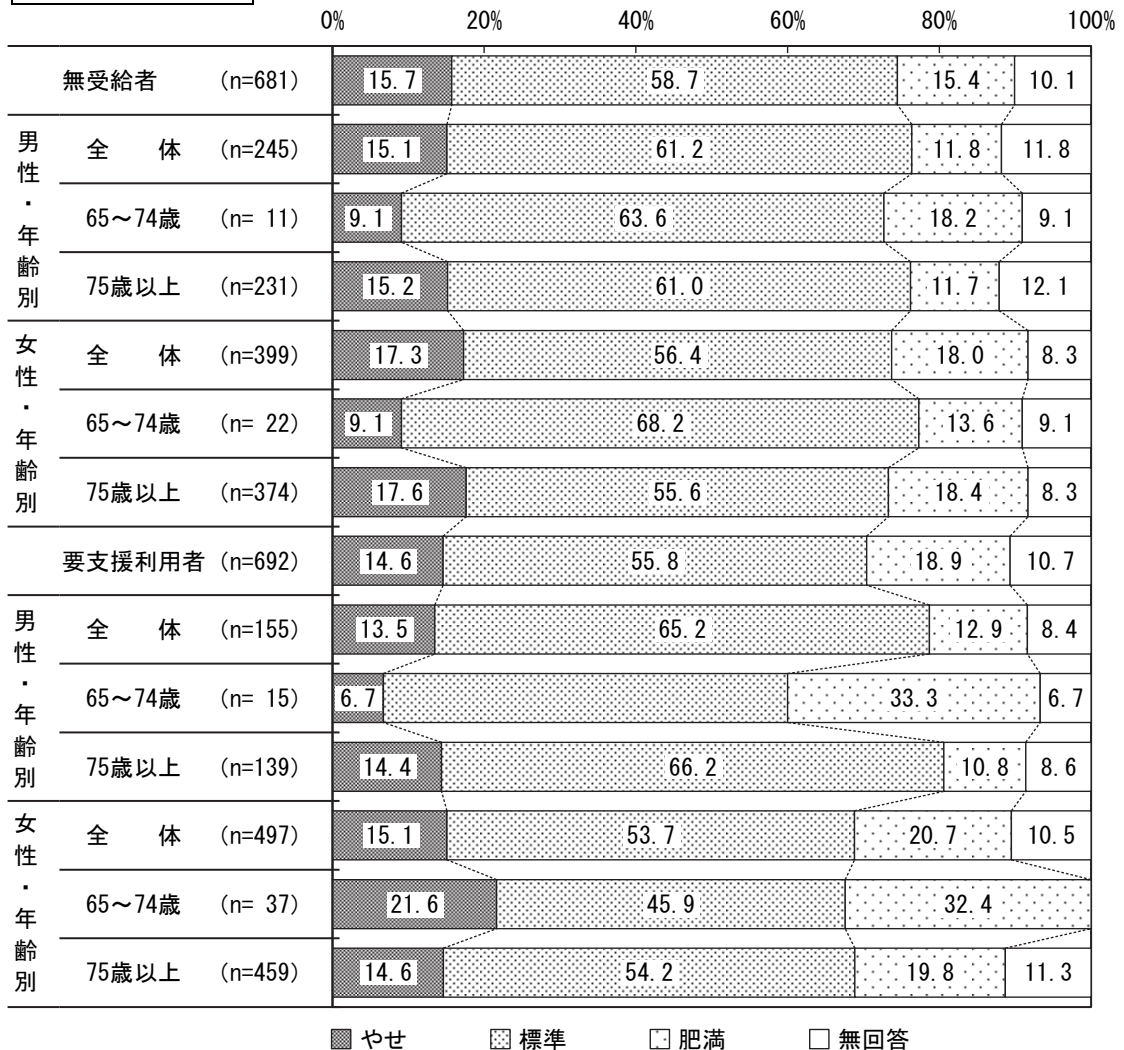
図表4-18 BMI



事業対象者

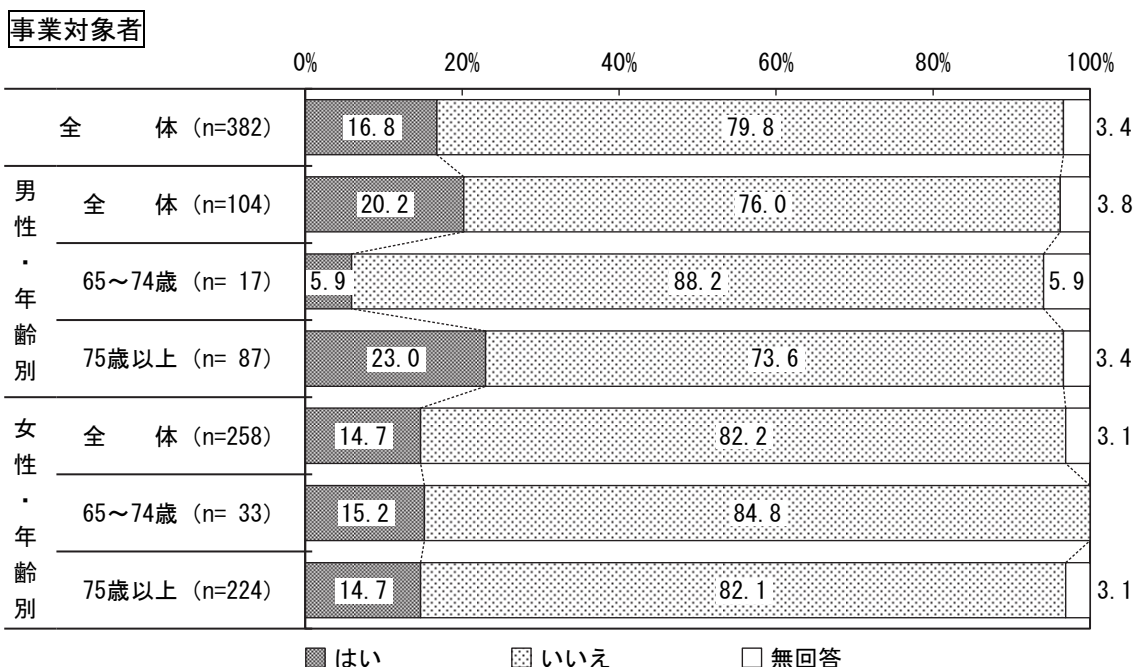
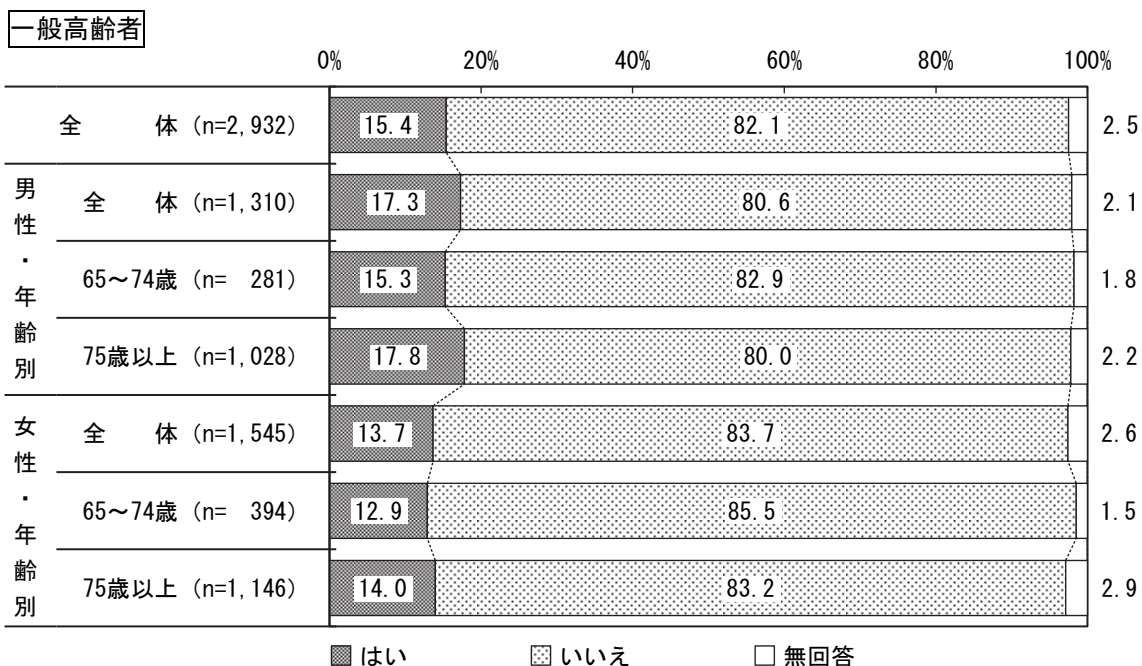


在宅要支援認定者等



「6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では15.4%、事業対象者では16.8%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

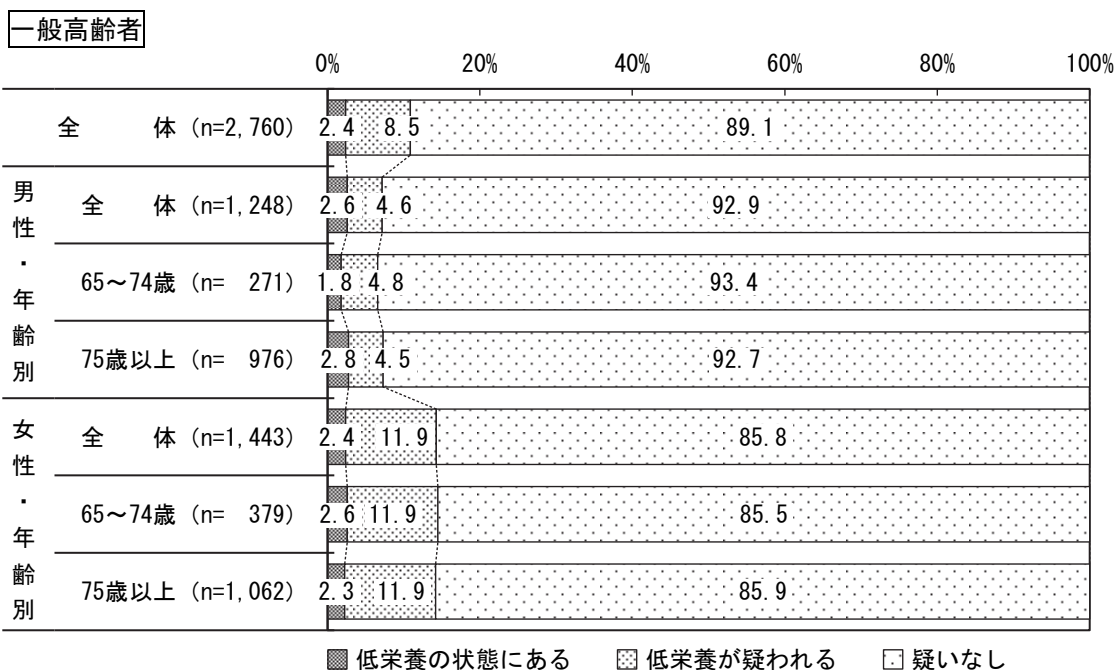
図表4-19 半年間で2～3キロの体重の減少があったか



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、この設問で「はい」に回答したBMIが18.5未満（「やせ」）の一般高齢者は、低栄養状態者とされ、BMIが18.5未満（「やせ」）のみの場合は、低栄養が疑われる人とされています。

一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める低栄養状態者・低栄養が疑われる人をみてみると、合わせて10.9%が該当しています。これを性別にみると、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

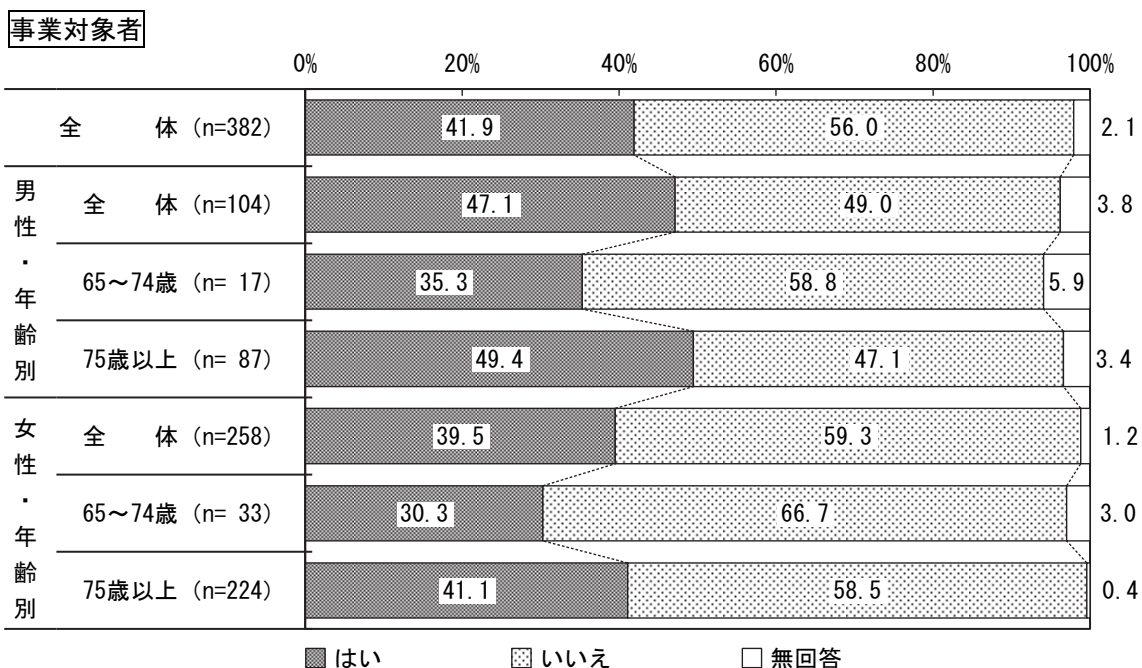
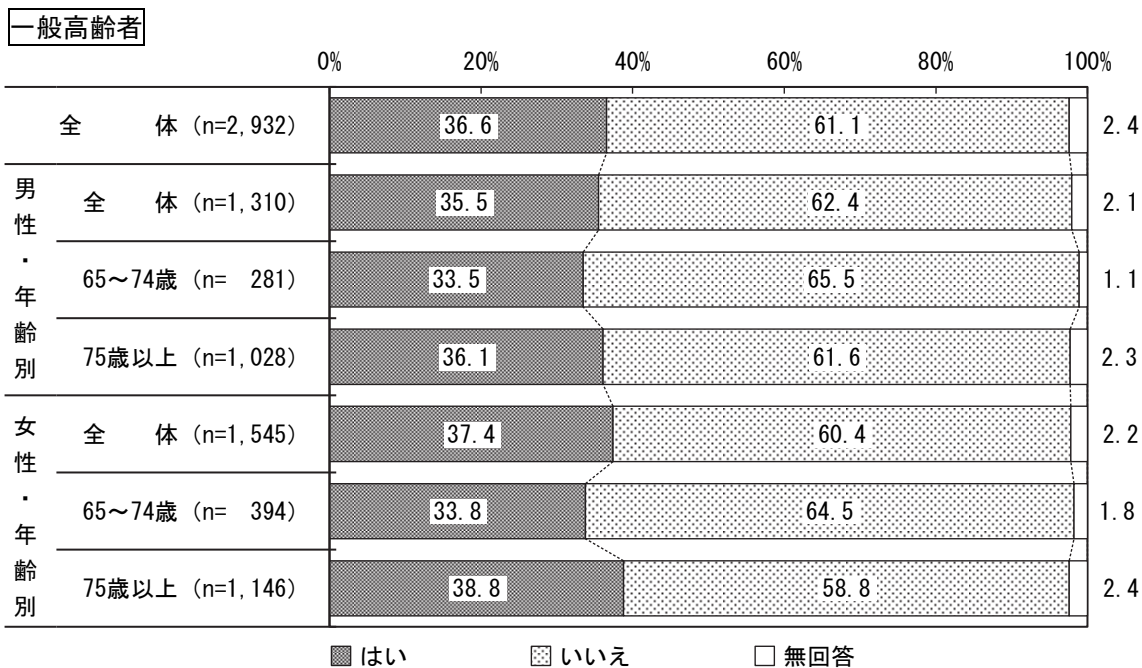
図表4-20 低栄養状態者・低栄養が疑われる人



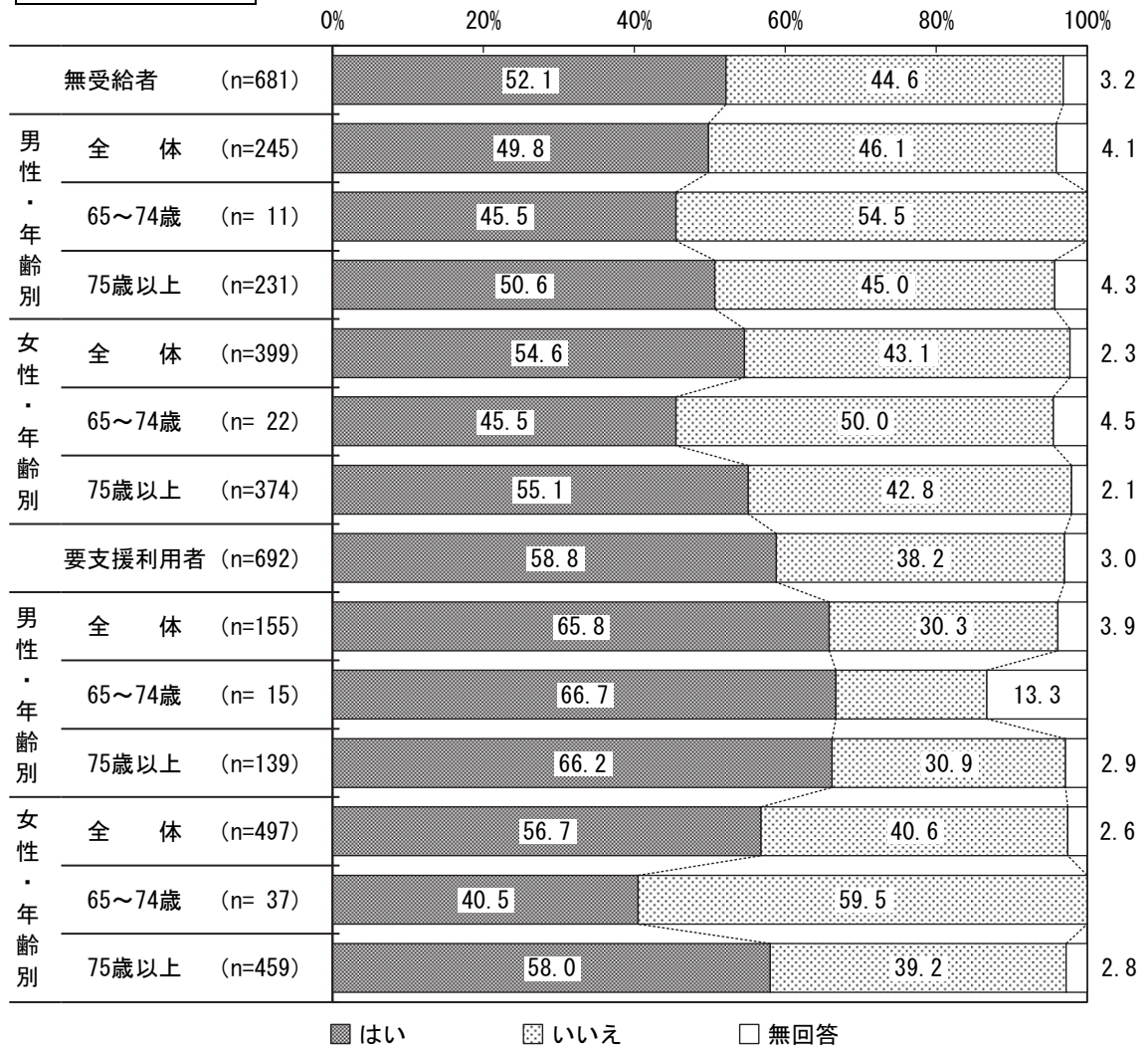
(2) 食事、口腔の状況

「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では 36.6%、事業対象者では 41.9%、介護保険サービスの無受給者では 52.1%、要支援利用者では 58.8%という順で高くなっています。これを性別にみると、事業対象者と要介護利用者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

図表 4-21 半年前より固いものが食べにくくなったか



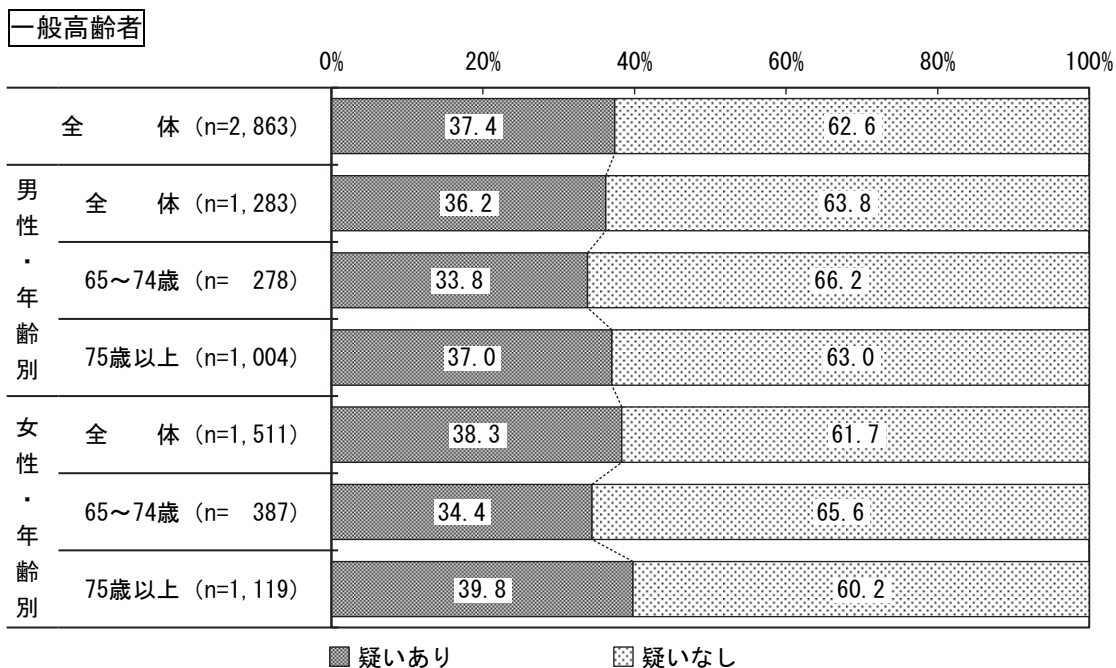
在宅要支援認定者等



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、この設問で「はい」に回答した一般高齢者は、そしゃく機能の低下が疑われる人とされています。

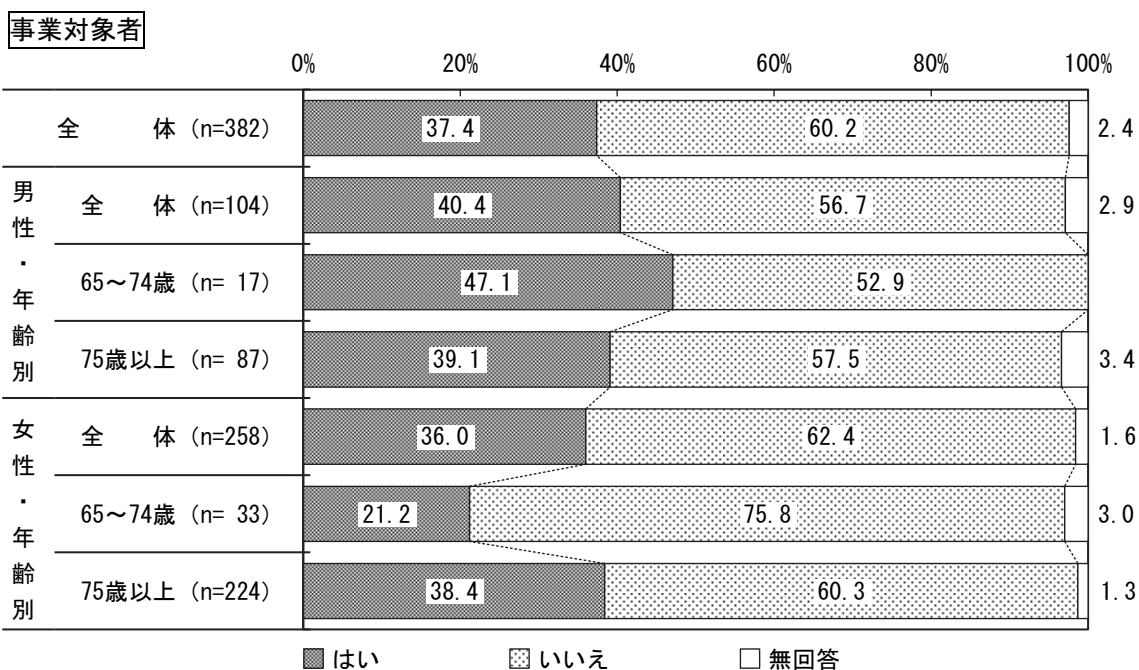
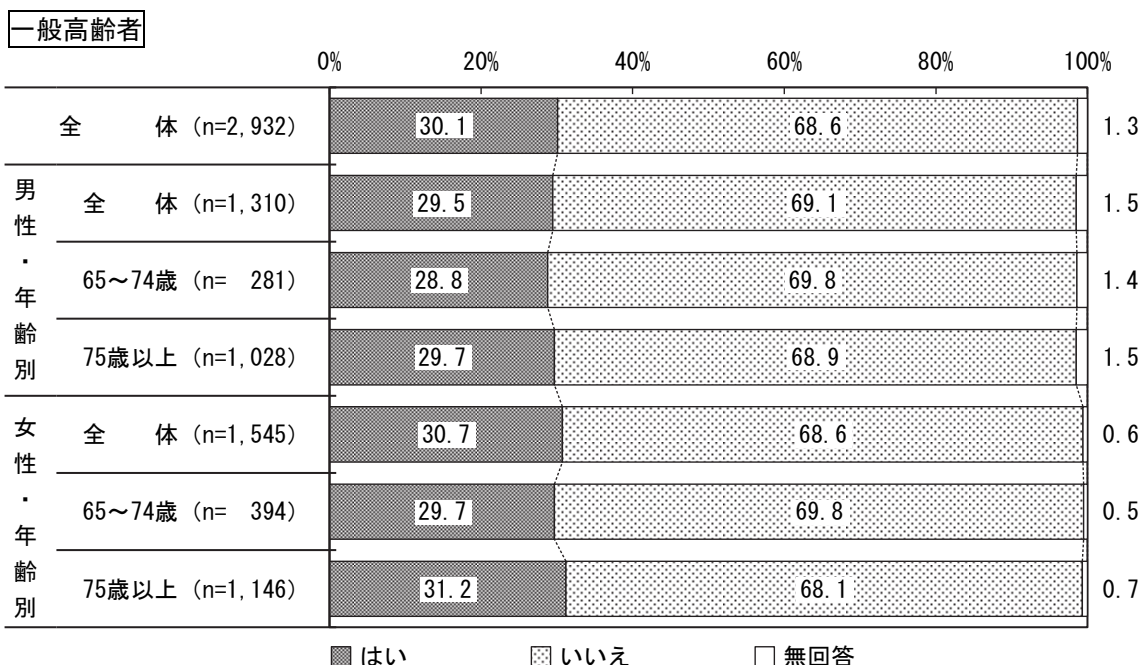
一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占めるそしゃく機能の低下が疑われる人をみると、37.4%が該当しています。これを性別にみても、あまり差異はありません。

図表 4-22 そしゃく機能の低下が疑われる人



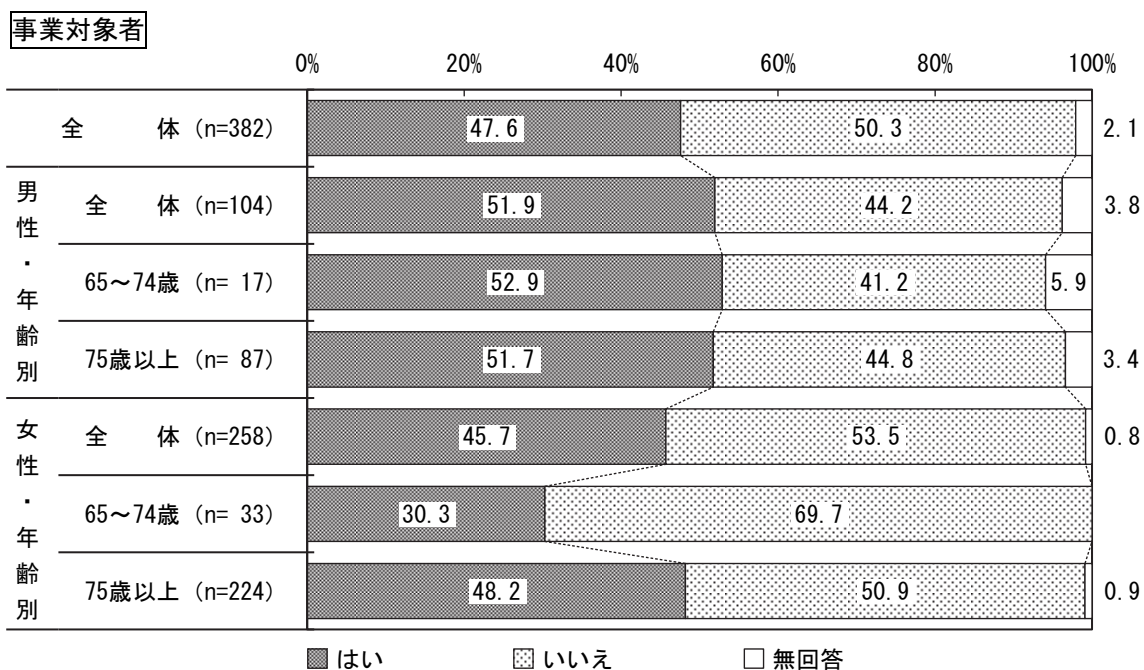
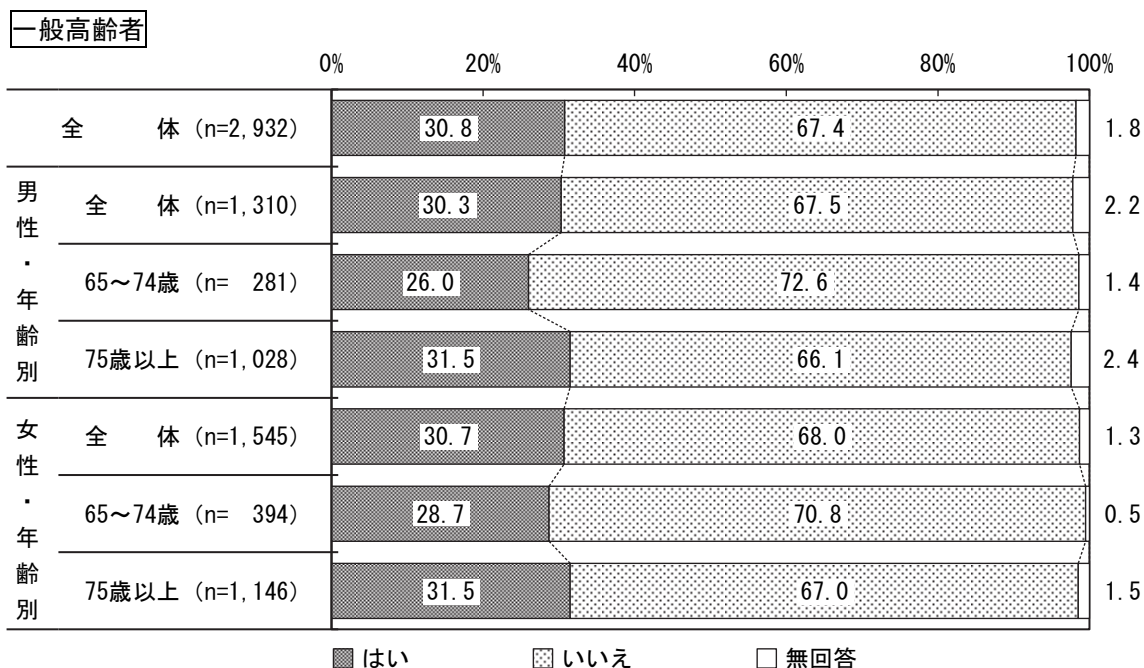
「お茶や汁物等でむせることがありますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では 30.1%、事業対象者では 37.4%となっています。これを性別にみても、大きな差異はありません。

図表 4-23 お茶や汁物等でむせることがあるか



「口の渇きが気になりますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では 30.8%、事業対象者では 47.6%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント以上高く、50%を超えています。

図表 4-24 口の渇きが気になるか

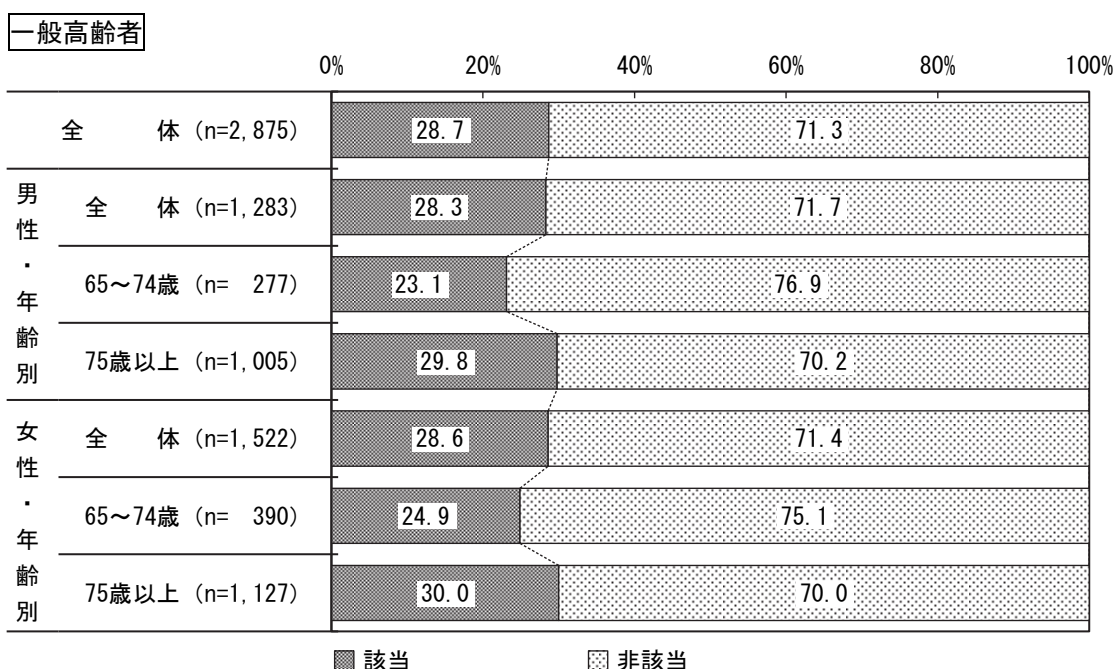


「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、前述の3つの設問のうち2問以上で「はい」に回答した一般高齢者は、口腔機能低下者とされています。

設 問	選択肢
①半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい 2 いいえ
②お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい 2 いいえ
③口の渇きが気になりますか	1 はい 2 いいえ

上の表に基づき、一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める口腔機能低下者をみると、28.7%が該当しています。性別にみても、ほとんど差異はありません。

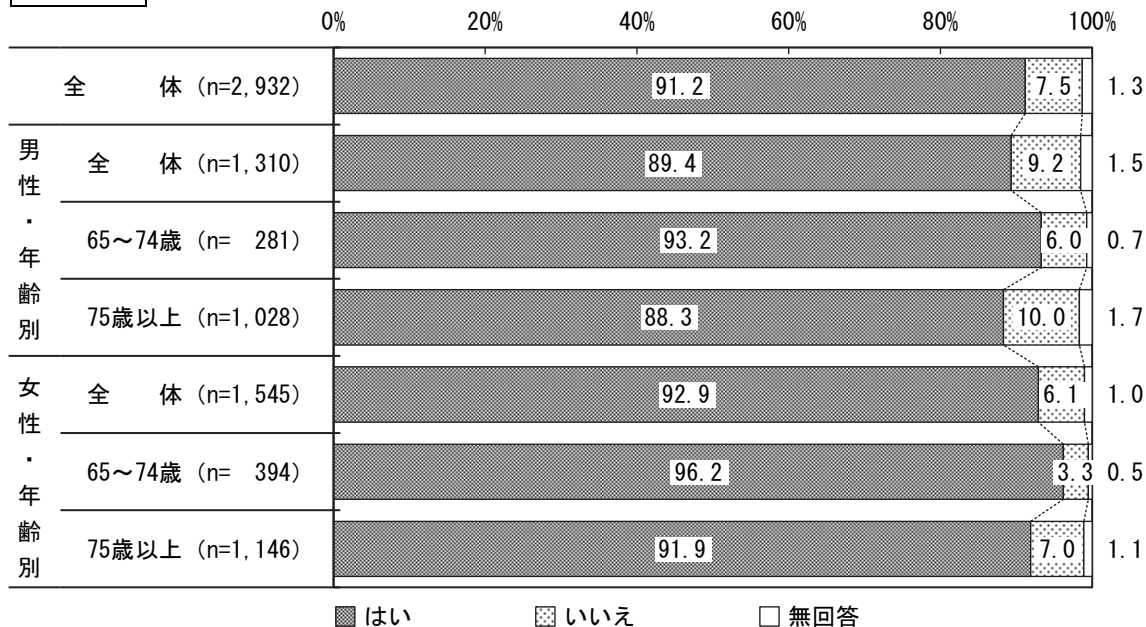
図表 4-25 口腔機能低下者



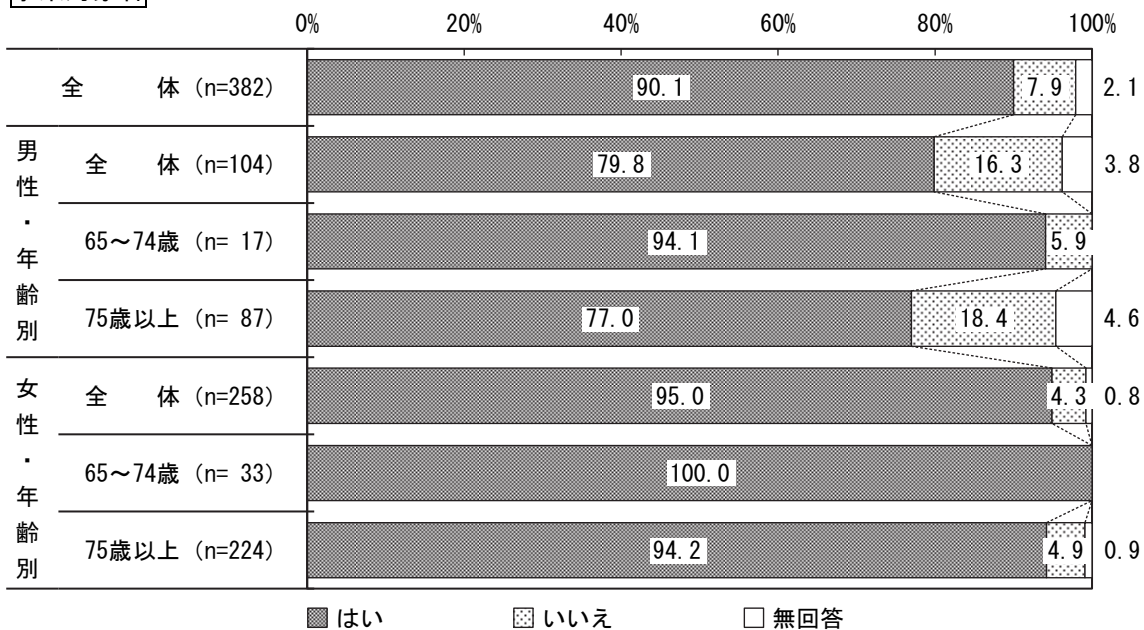
「歯磨きを毎日していますか」(人にやってもらう場合も含む)という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では91.2%、事業対象者では90.1%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が10ポイント以上低くなっています。

図表4-26 毎日歯みがきをしているか

一般高齢者

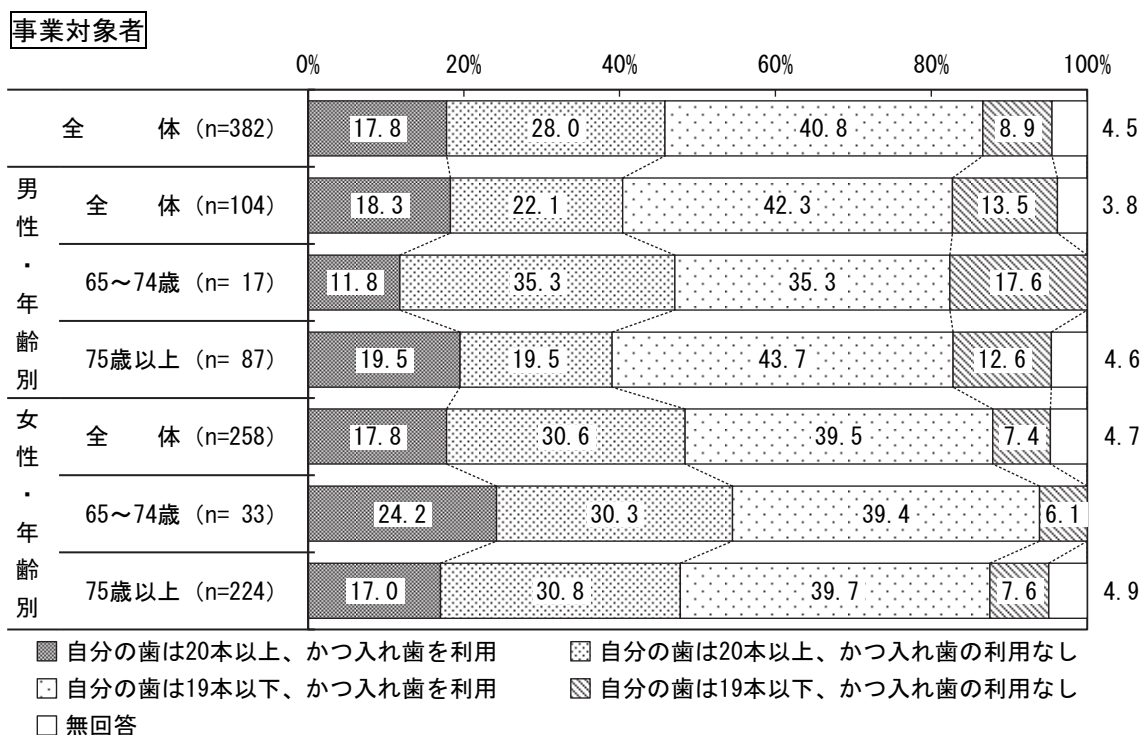
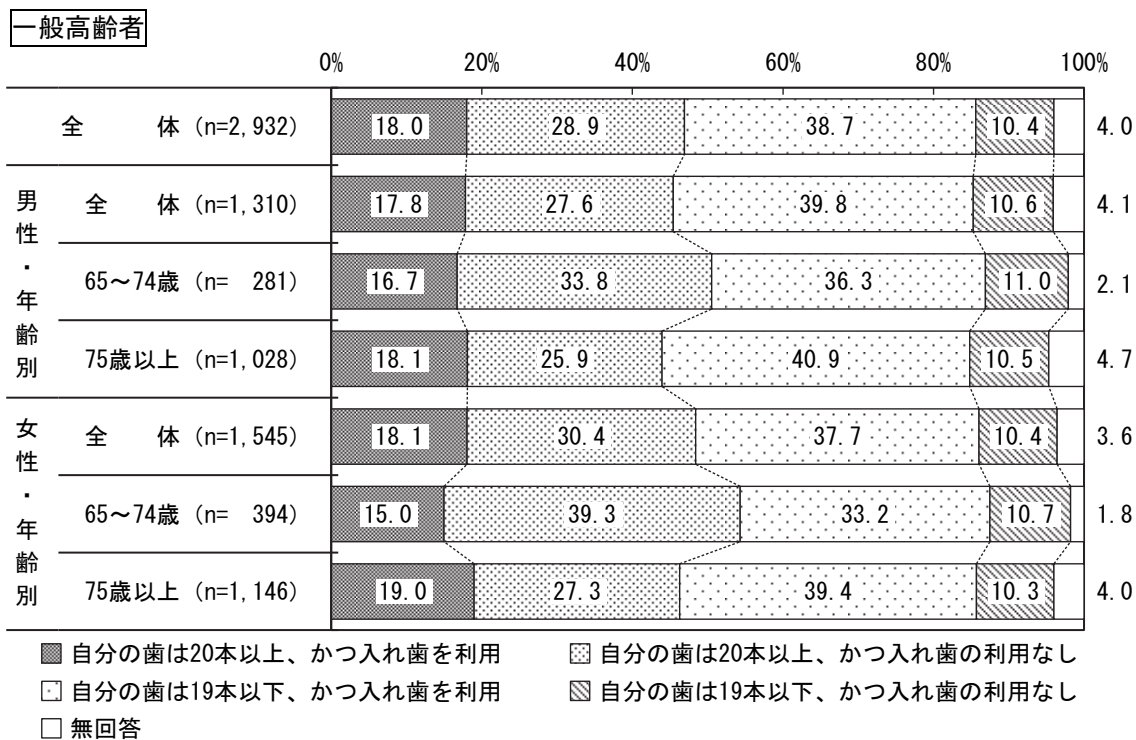


事業対象者

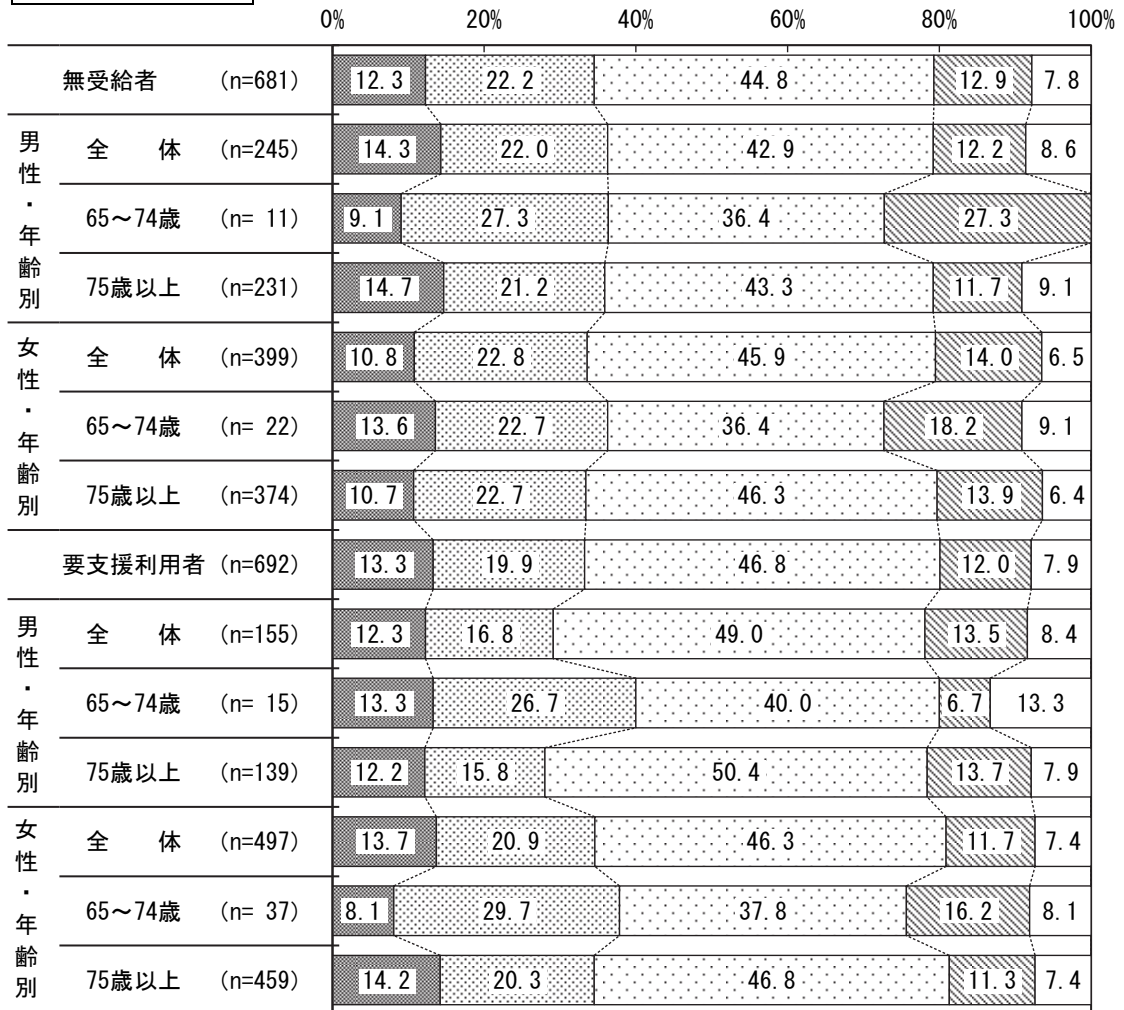


歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上」は、一般高齢者では46.9%、事業対象者では45.8%、介護保険サービスの無受給者では34.5%、要支援利用者では33.2%という順で低くなっています。一方、「入れ歯を利用」は、一般高齢者では56.7%、無受給者では57.1%、事業対象者では58.4%、要支援利用者では60.1%という順で高くなっています。

図表4-27 歯の本数と入れ歯の利用状況



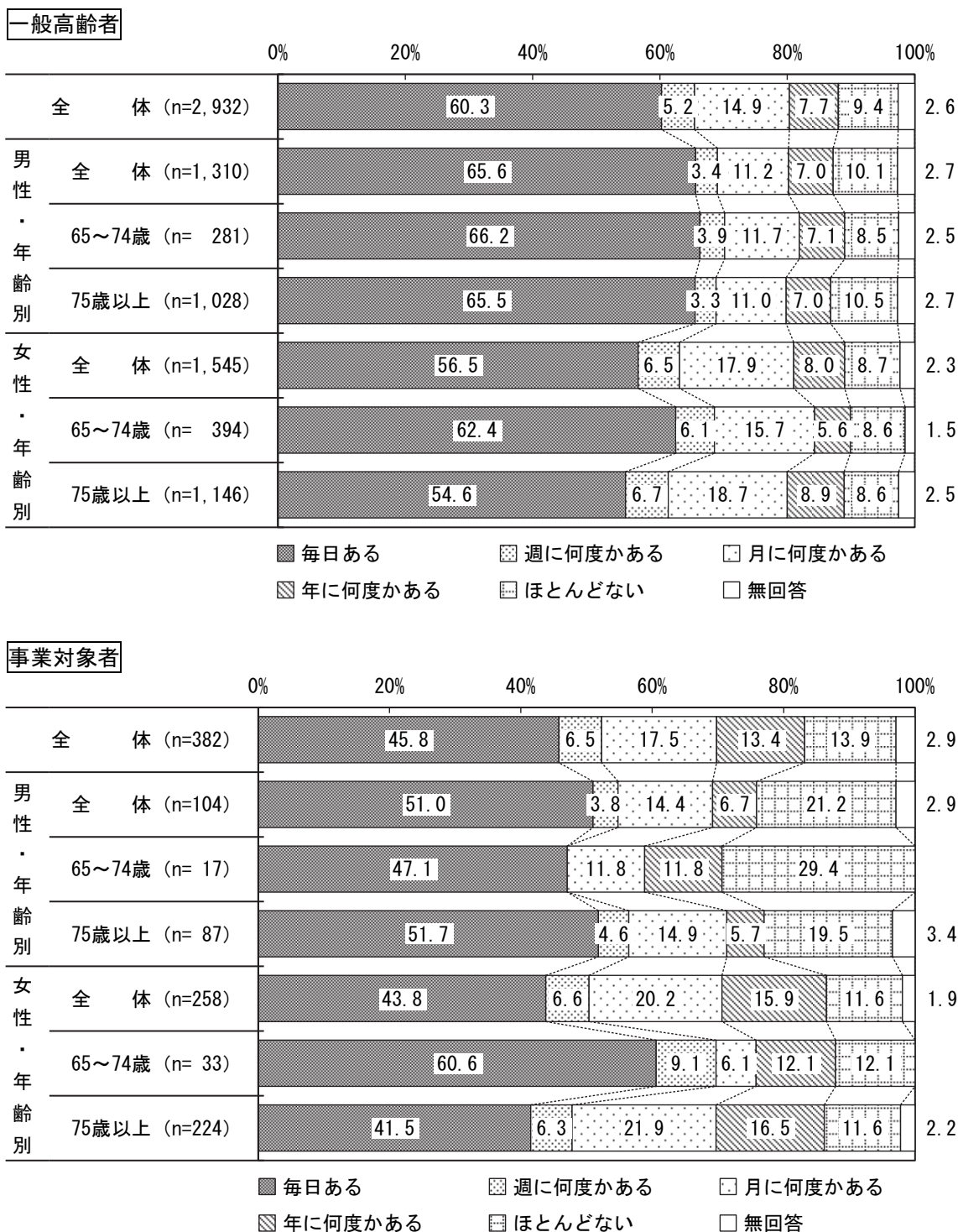
在宅要支援認定者等



- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 無回答
- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし
- ▨ 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯の利用なし

だれかと一緒に食事をする機会について、「ほとんどない」は、一般高齢者では9.4%、事業対象者では13.9%、介護保険サービスの無受給者では14.8%、要支援利用者では19.8%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が10ポイント程度高くなっています。

図表4-28 だれかと一緒に食事をする機会



在宅要支援認定者等

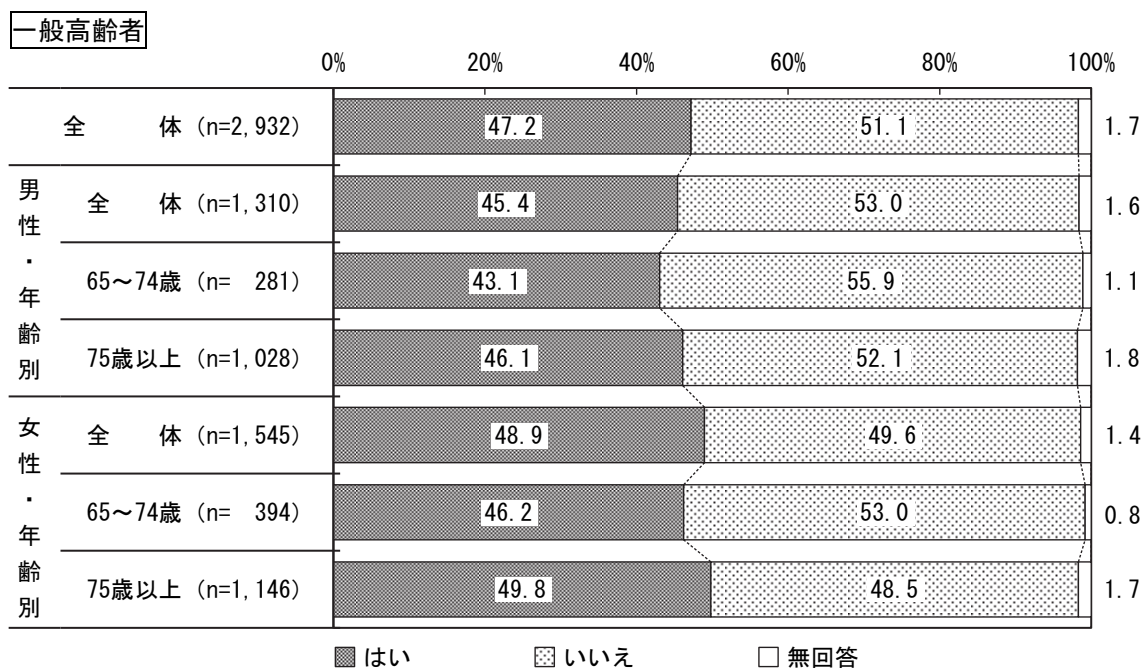


3 物忘れ等について

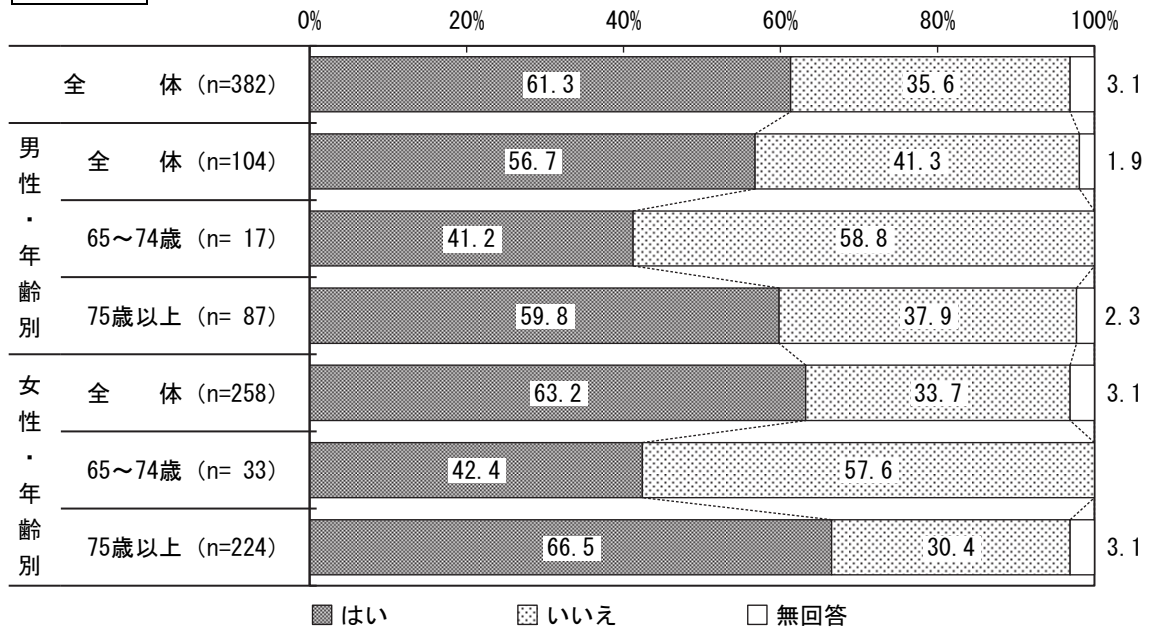
(1) 物忘れ

「物忘れが多いと感じますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では47.2%、事業対象者では61.3%、介護保険サービスの無受給者では60.4%、要支援利用者では60.5%となっています。このうち最も高い事業対象者を性別にみると、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

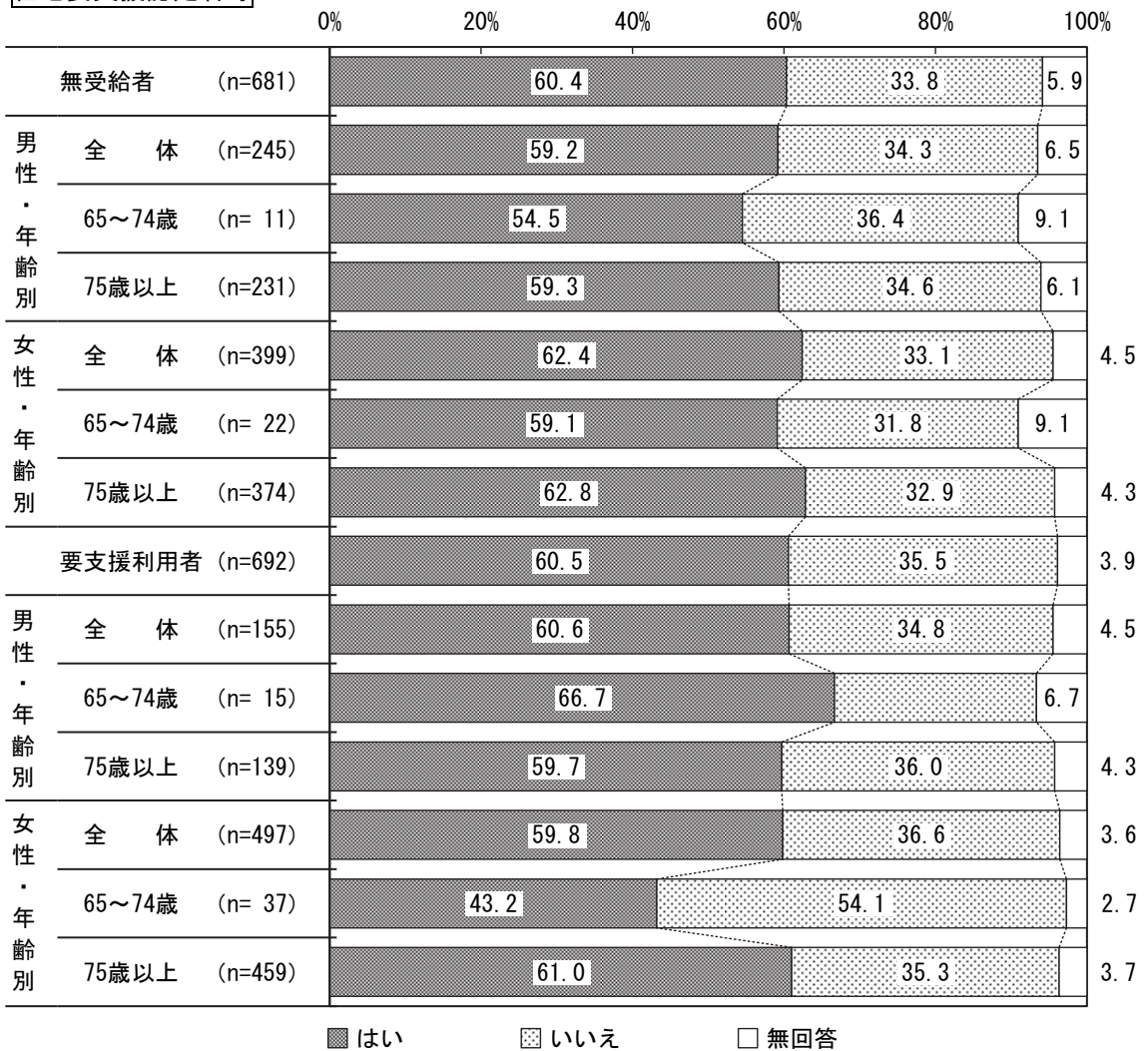
図表4-29 物忘れが多いか



事業対象者



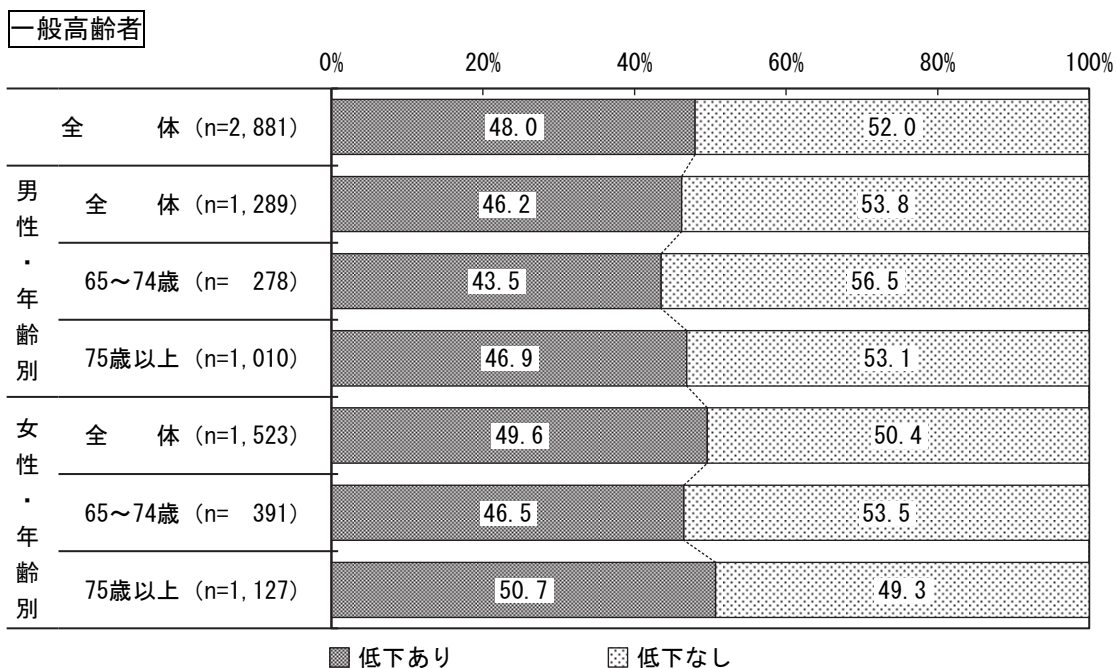
在宅要支援認定者等



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、この設問で「はい」に回答した一般高齢者は、認知機能低下者とされています。

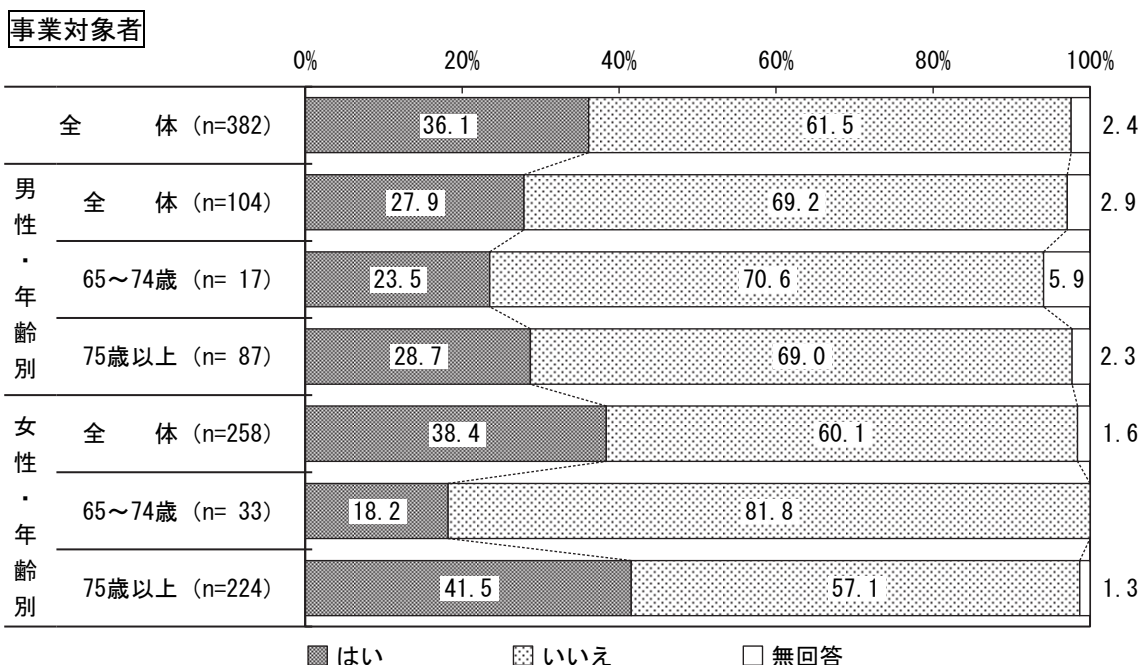
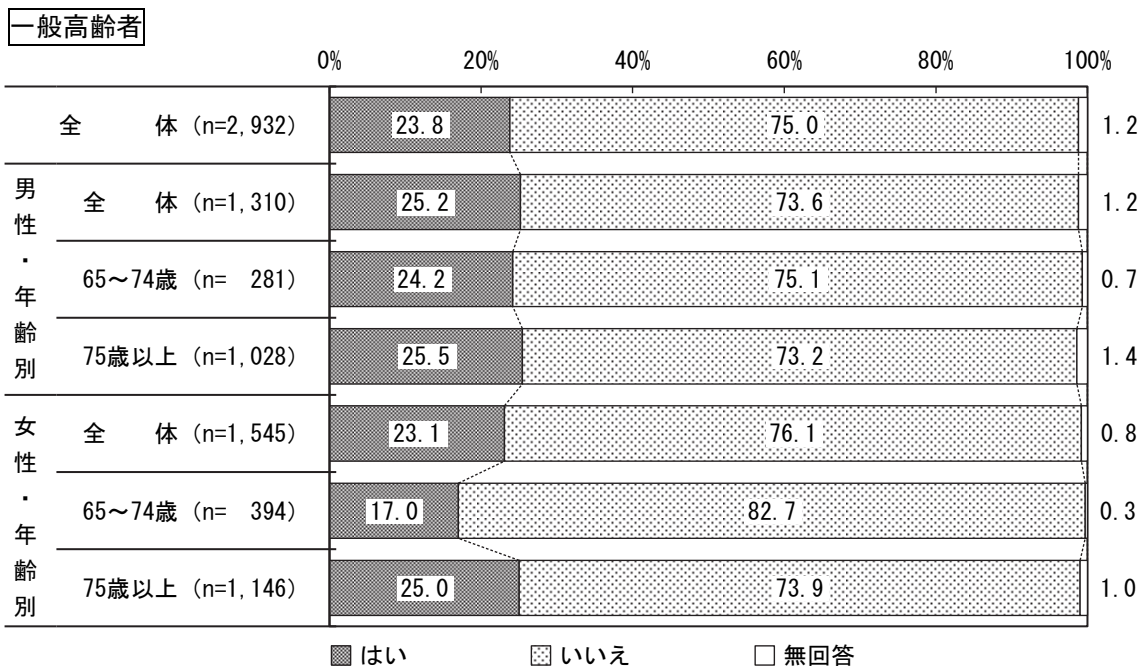
一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める認知機能低下者をみると、48.0%が該当しています。これを性別にみても、あまり差異はありません。

図表 4-30 認知機能低下者



「今日が何月何日かわからない時がありますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では 23.8%、事業対象者では 36.1%となっています。これを性別にみると、事業対象者では男性に比べて女性が 10 ポイント以上高くなっています。

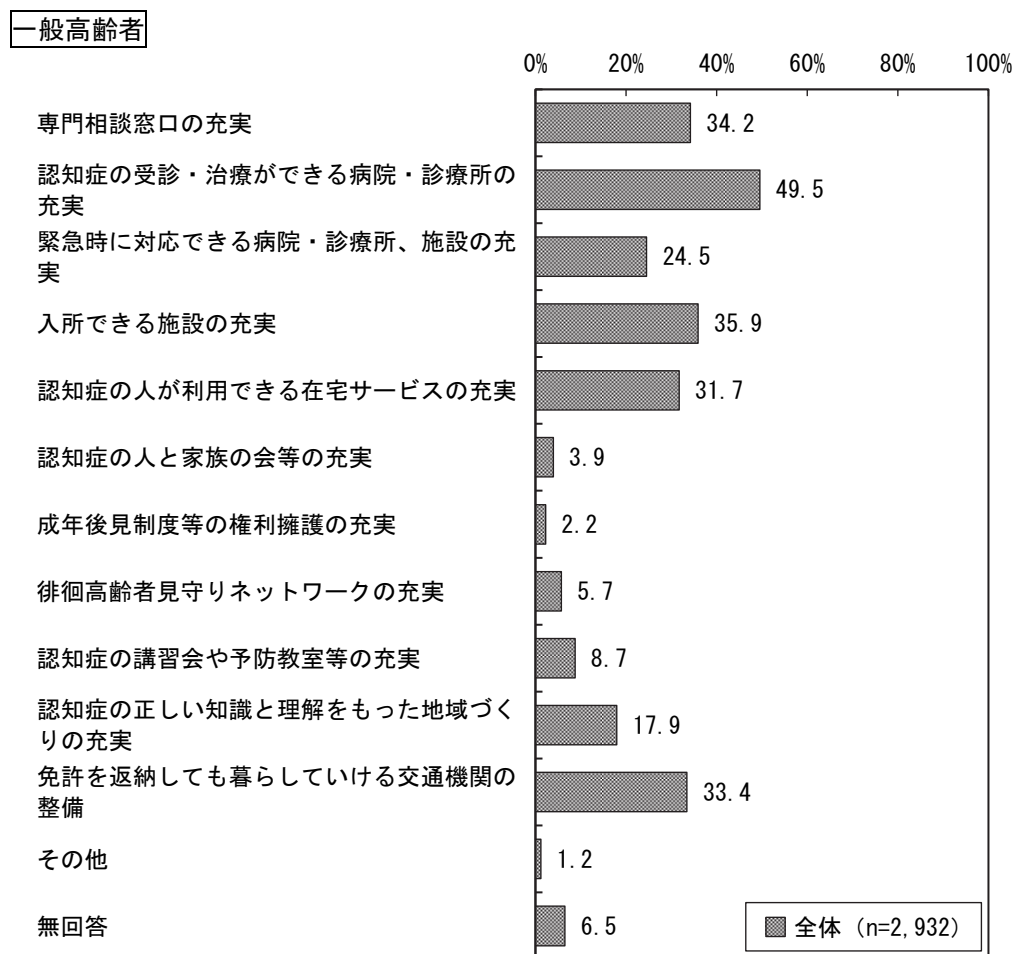
図表 4-31 今日の日付がわからないときがあるか



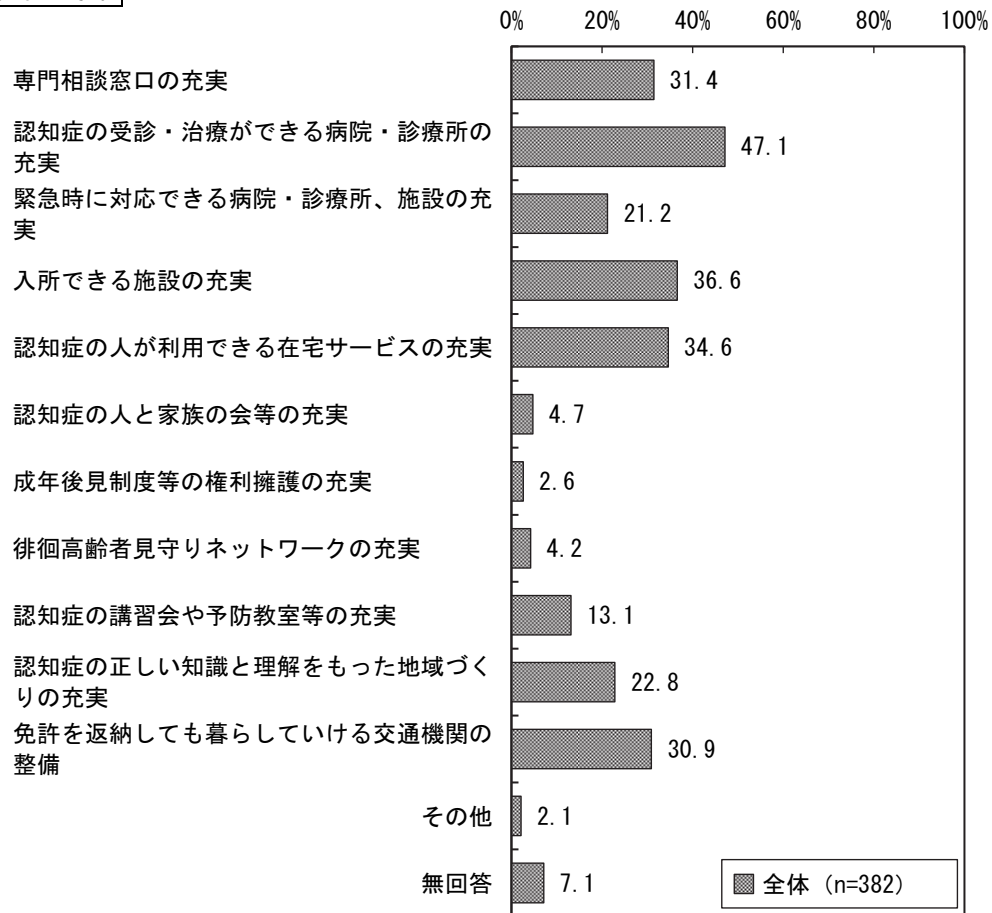
(2) 認知症への対策

今後、認知症高齢者の増加が見込まれているため、認知症になっても安心して暮らせるために充実することについてたずねたところ、一般高齢者、事業対象者とも、「認知症の受診・治療ができる病院・診療所の充実」が40%台で最も高く、「専門相談窓口の充実」と「入所できる施設の充実」、「認知症の人が利用できる在宅サービスの充実」、「免許を返納しても暮らしていける交通機関の整備」も30%台となっています。

図表4-32 認知症になっても安心して暮らせるために充実すること（3つまで回答）



事業対象者



図表 4-33 認知症になっても安心して暮らせるために充実すること（性別・年齢別、3つまで回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		専門相談窓口の充実	認知症の受診・治療ができる病院・診療所の充実	緊急時に対応できる病院・診療所、施設の充実	入所できる施設の充実	認知症の人が利用できる在宅サービスの充実	認知症の人と家族の会等の充実	成年後見制度等の権利擁護の充実	徘徊高齢者見守りネットワークの充実	認知症の講習会や予防教室等の充実	認知症の正しい知識と理解をもった地域づくりの充実	免許を返納しても暮らしていける交通機関の整備	その他	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	36.3	50.2	21.8	36.1	30.5	3.5	2.4	5.5	8.9	16.0	37.4	1.1	5.6
	65～74 歳 (n= 281)	36.7	52.3	27.0	38.1	35.2	1.8	2.8	5.7	7.5	17.4	34.5	1.4	2.8
	75 歳以上 (n=1,028)	36.2	49.6	20.3	35.5	29.2	4.0	2.2	5.4	9.2	15.7	38.2	1.0	6.3
女 性	全 体 (n=1,545)	32.2	48.7	26.5	36.2	33.1	4.3	2.1	6.0	8.5	19.9	30.6	1.4	6.9
	65～74 歳 (n= 394)	31.5	48.0	27.4	37.1	33.5	4.8	3.0	5.6	9.9	22.3	33.5	1.5	4.1
	75 歳以上 (n=1,146)	32.5	49.1	26.1	36.0	33.1	4.1	1.7	6.1	7.9	18.8	29.7	1.4	7.9

事業対象者

(単位：%)

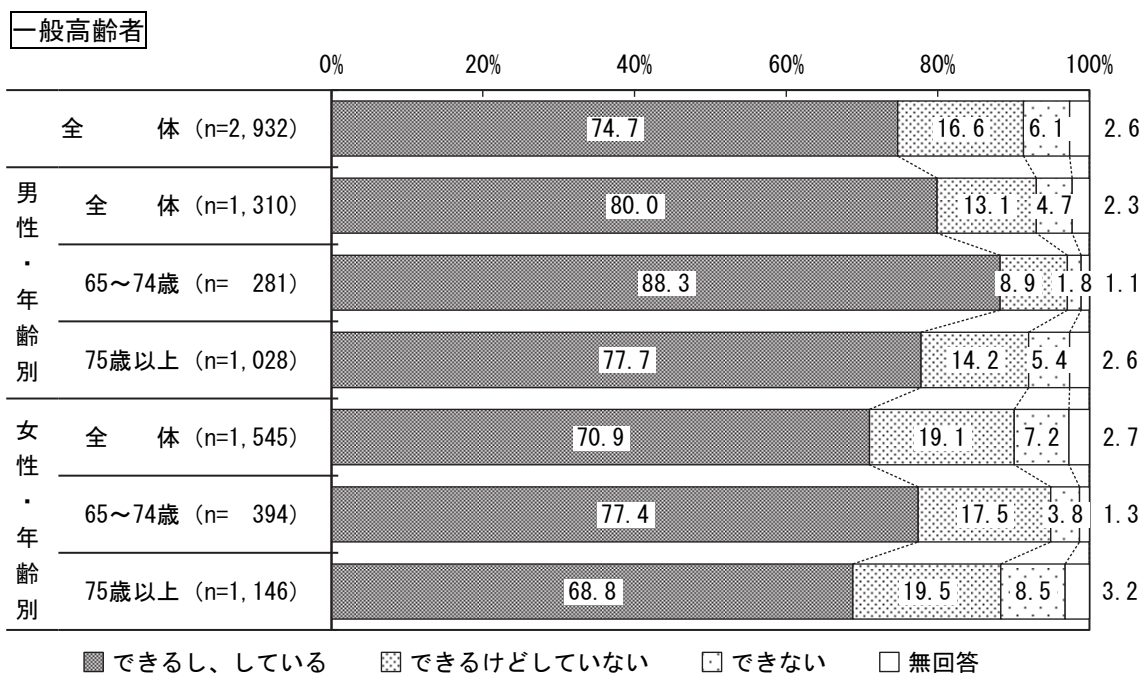
区 分		専門相談窓口の充実	認知症の受診・治療ができる病院・診療所の充実	緊急時に対応できる病院・診療所、施設の充実	入所できる施設の充実	認知症の人が利用できる在宅サービスの充実	認知症の人と家族の会等の充実	成年後見制度等の権利擁護の充実	徘徊高齢者見守りネットワークの充実	認知症の講習会や予防教室等の充実	認知症の正しい知識と理解をもった地域づくりの充実	免許を返納しても暮らしていける交通機関の整備	その他	無回答
男 性	全 体 (n=104)	29.8	46.2	16.3	35.6	34.6	4.8	1.9	2.9	10.6	23.1	34.6	1.0	8.7
	65～74 歳 (n= 17)	35.3	52.9	17.6	29.4	35.3	5.9	-	-	11.8	52.9	5.9	-	5.9
	75 歳以上 (n= 87)	28.7	44.8	16.1	36.8	34.5	4.6	2.3	3.4	10.3	17.2	40.2	1.1	9.2
女 性	全 体 (n=258)	33.7	49.2	24.0	38.0	34.1	3.9	3.1	5.0	13.2	23.3	28.7	1.9	6.2
	65～74 歳 (n= 33)	15.2	48.5	24.2	48.5	33.3	6.1	6.1	3.0	6.1	24.2	42.4	3.0	3.0
	75 歳以上 (n=224)	36.6	49.1	24.1	36.6	34.4	3.6	2.7	4.9	13.8	23.2	26.8	1.8	6.7

4 日常生活について

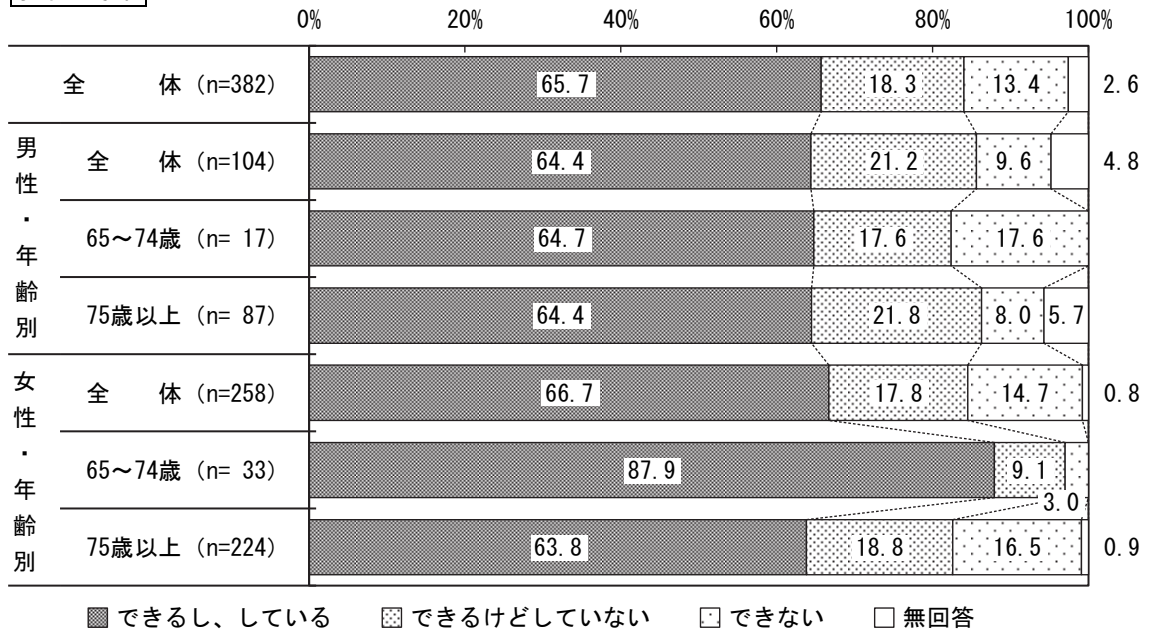
(1) 買い物等

「バスや電車を使って1人で外出していますか」（自家用車でも可）という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では6.1%、事業対象者では13.4%、介護保険サービスの無受給者では39.6%、要支援利用者では44.9%となっています。これを性別にみると、事業対象者と無受給者では男性に比べて女性が5ポイント程度高くなっています。

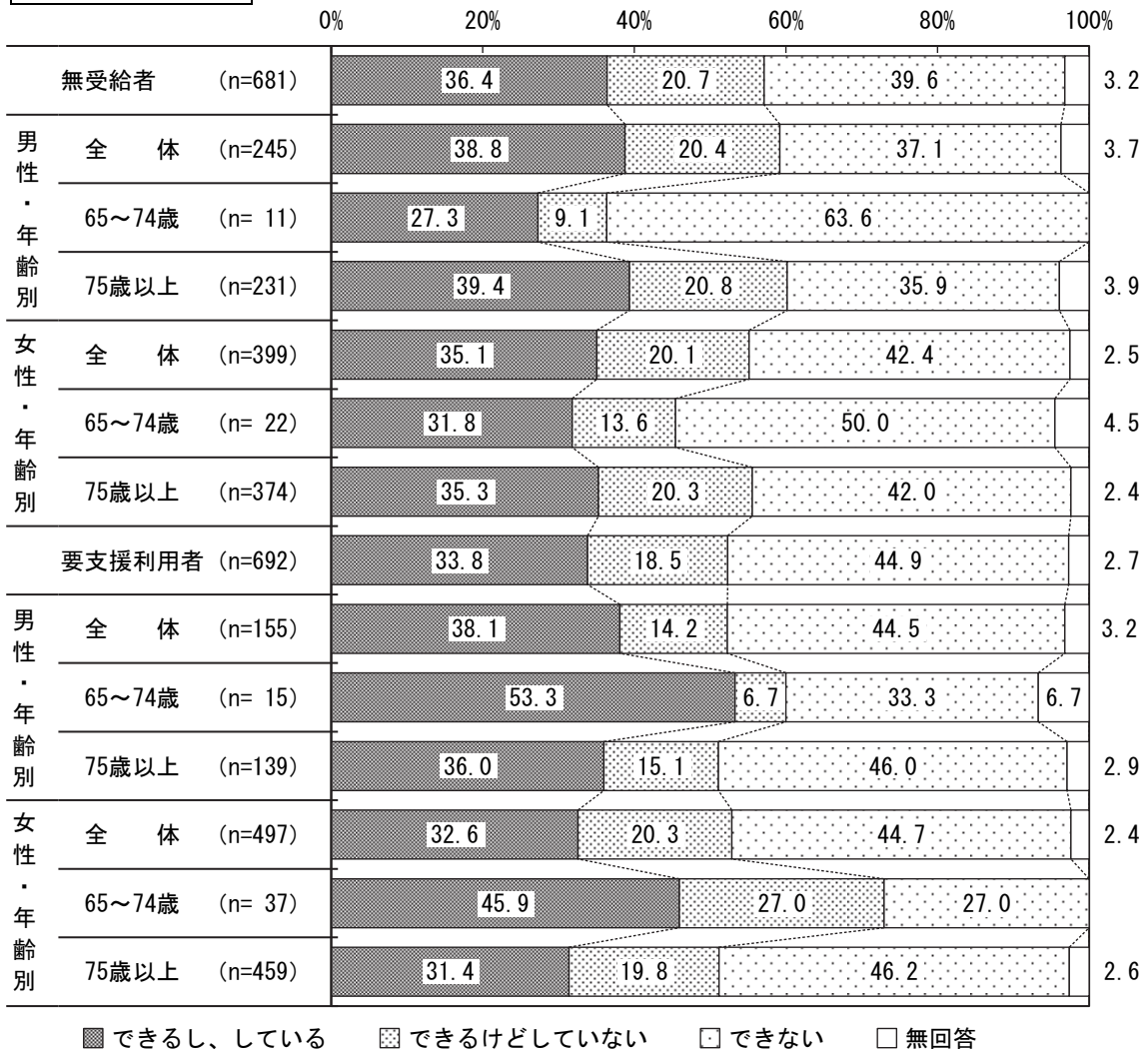
図表4-34 一人で電車や車で外出しているか



事業対象者

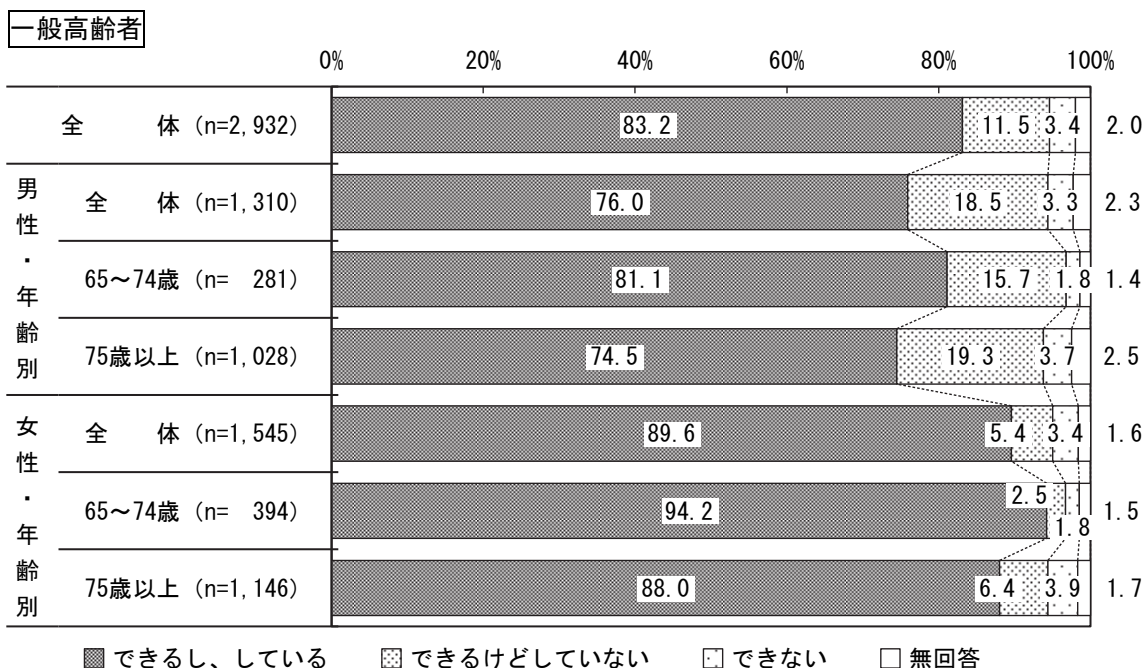


在宅要支援認定者等

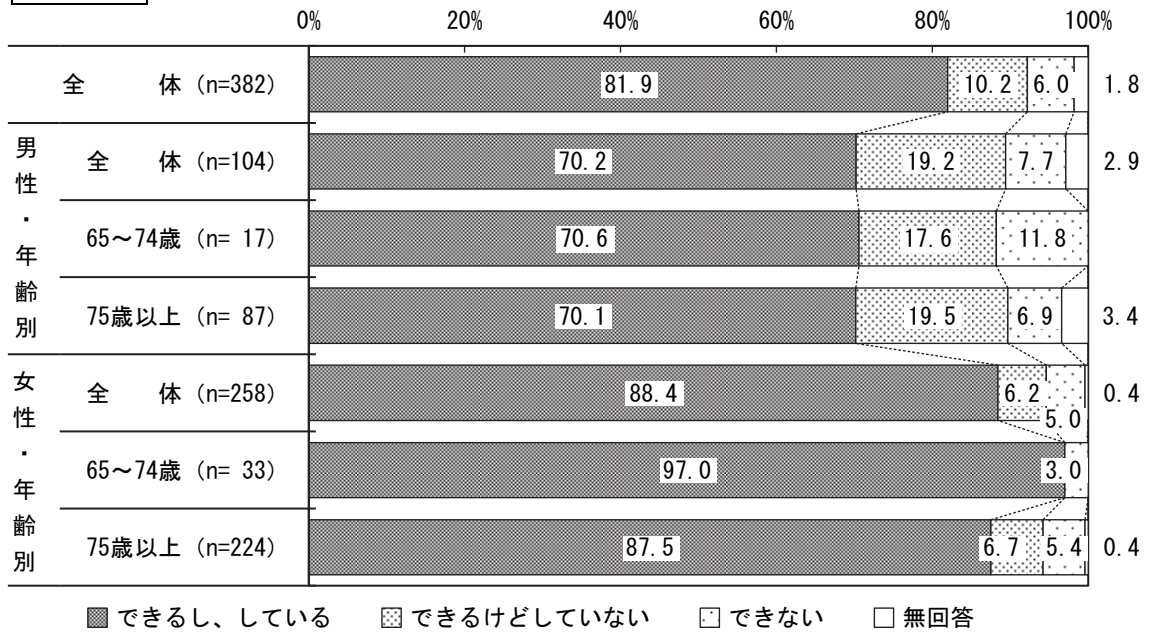


「自分で食品・日用品の買い物をしていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では 3.4%、事業対象者では 6.0%、介護保険サービスの無受給者では 29.2%、要支援利用者では 27.3%となっています。これを性別にみると、要支援利用者では女性に比べて男性が 10 ポイント程度高くなっています。

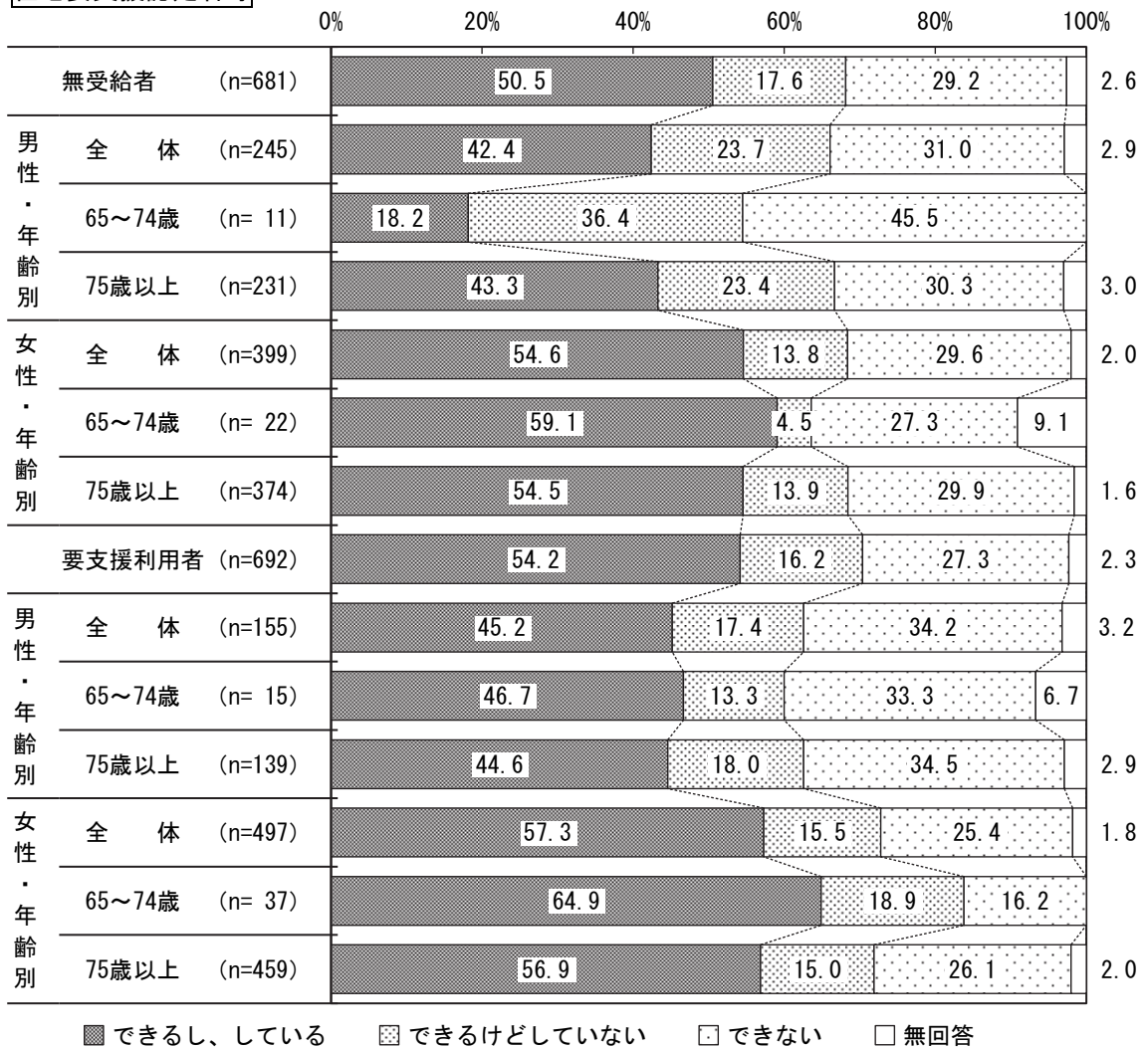
図表 4-35 自分で食品・日用品の買い物をしているか



事業対象者

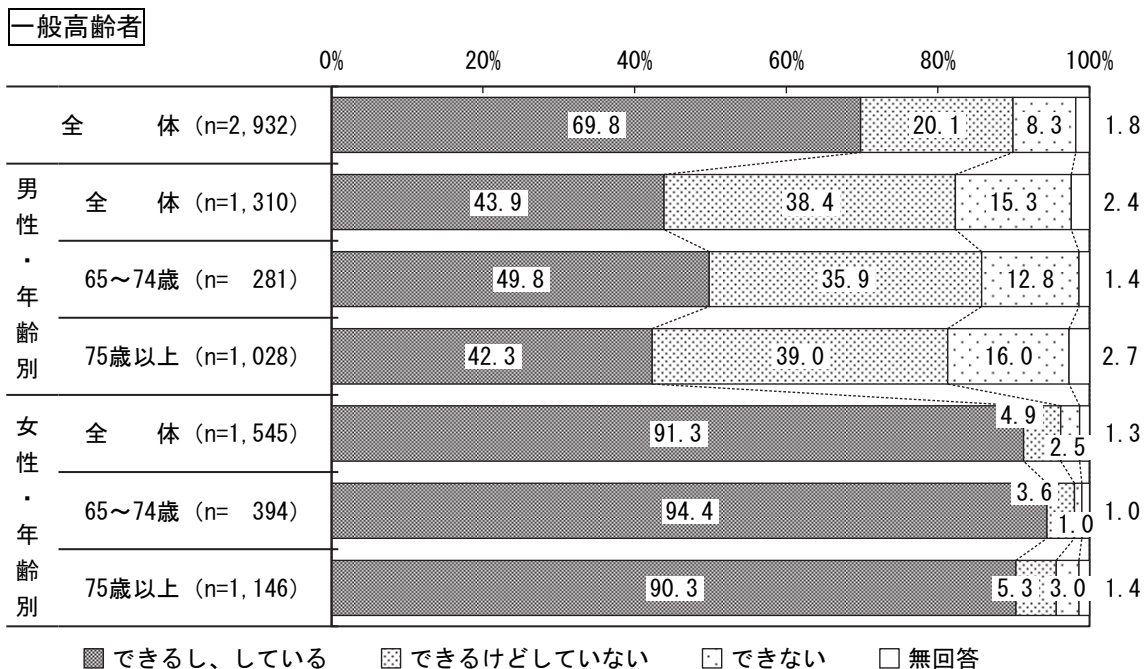


在宅要支援認定者等

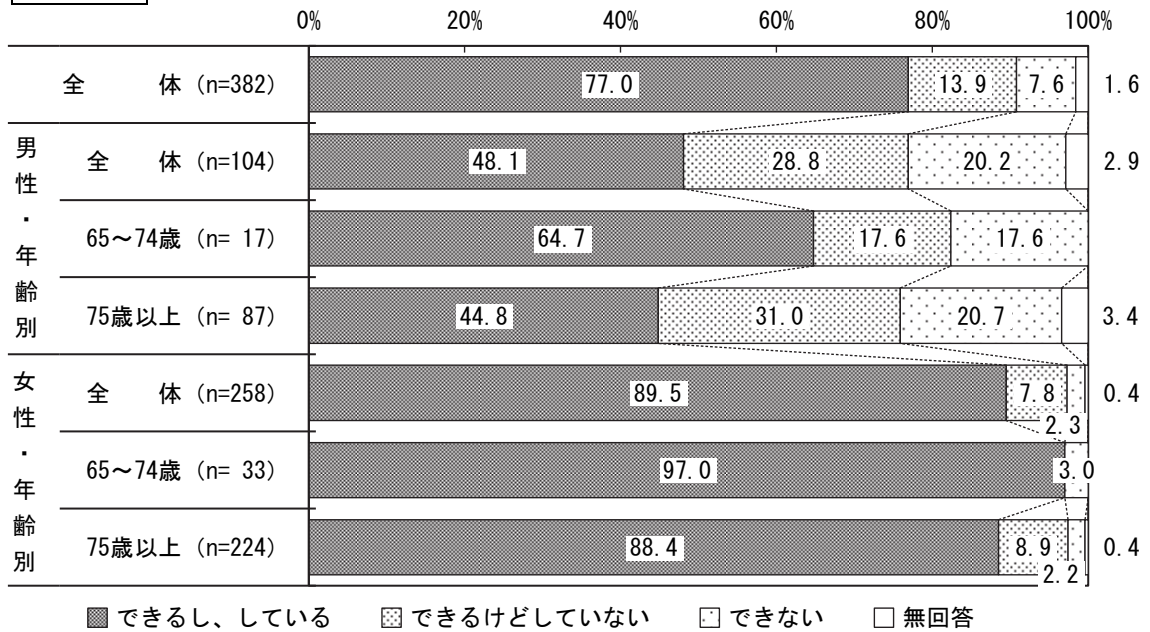


「自分で食事の用意をしていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では8.3%、事業対象者では7.6%、介護保険サービスの無受給者では28.0%、要支援利用者では21.1%となっています。これを性別にみると、いずれにおいても女性に比べて男性が高くなっています。

図表4-36 自分で食事の用意をしているか

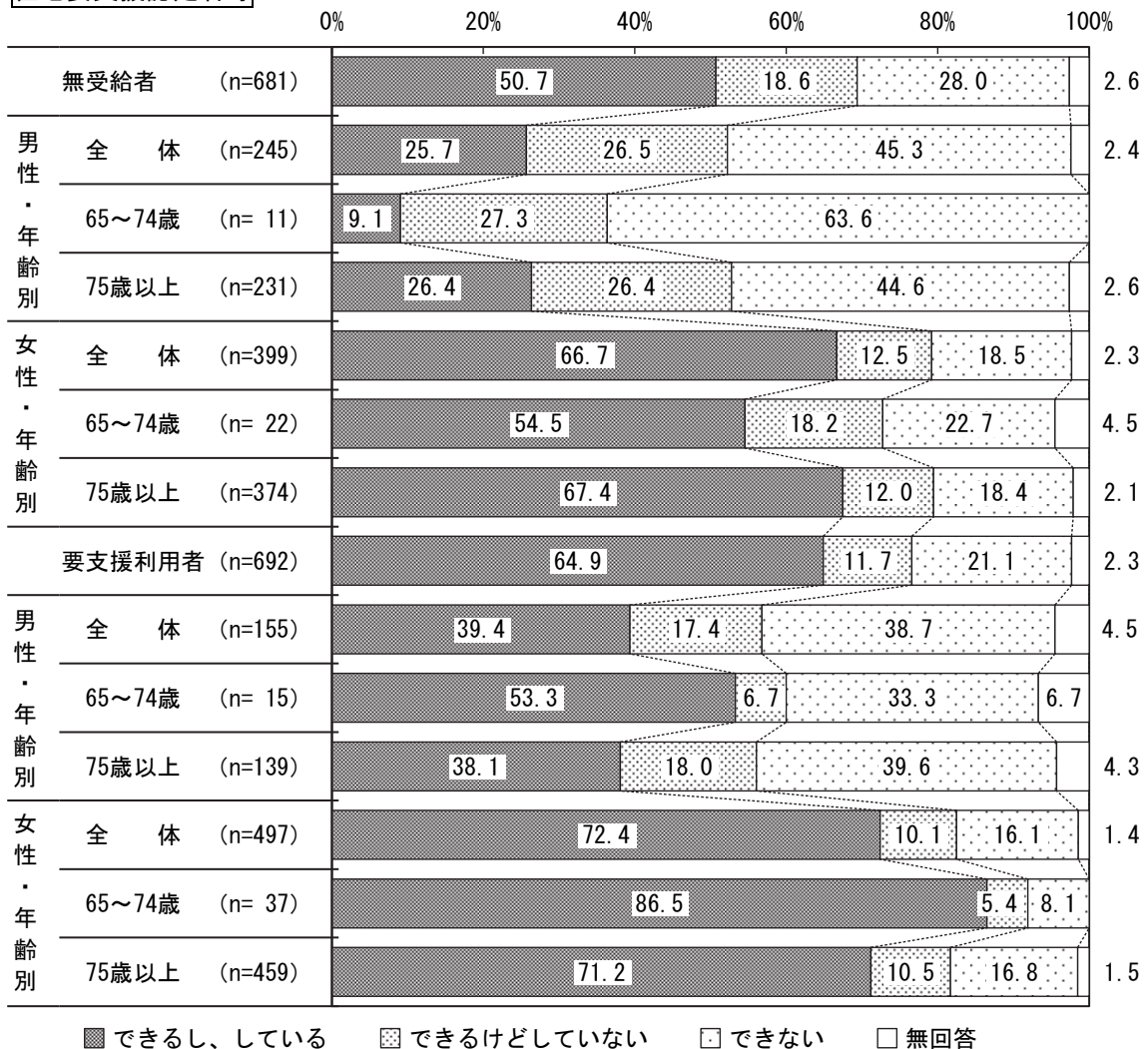


事業対象者



■ できるし、している ▨ できるけどしていない ▩ できない □ 無回答

在宅要支援認定者等

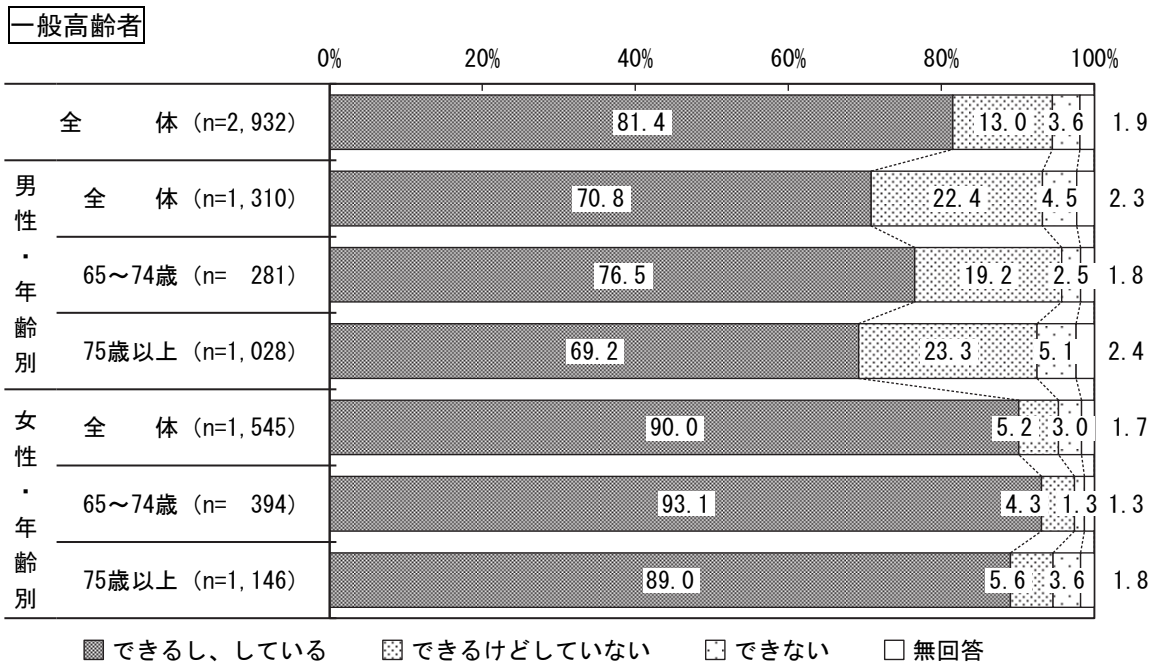


■ できるし、している ▨ できるけどしていない ▩ できない □ 無回答

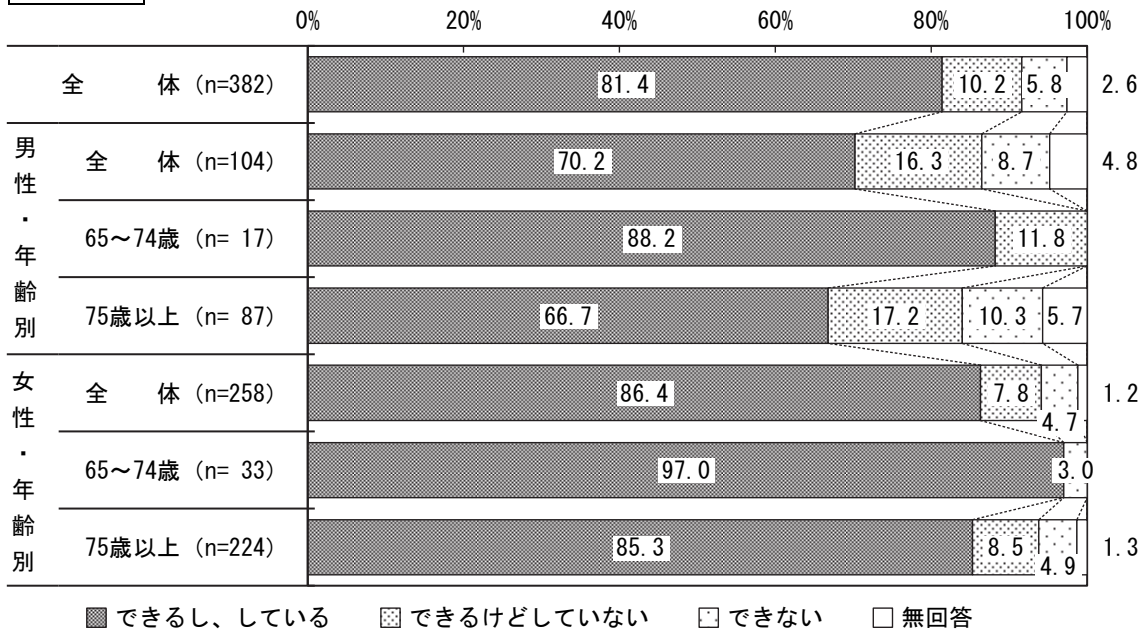
(2) 金銭管理

「自分で請求書の支払いをしていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では 3.6%、事業対象者では 5.8%、介護保険サービスの無受給者では 23.5%、要支援利用者では 16.2%となっています。これを性別にみると、要支援利用者では女性に比べて男性が 10 ポイント以上高くなっています。

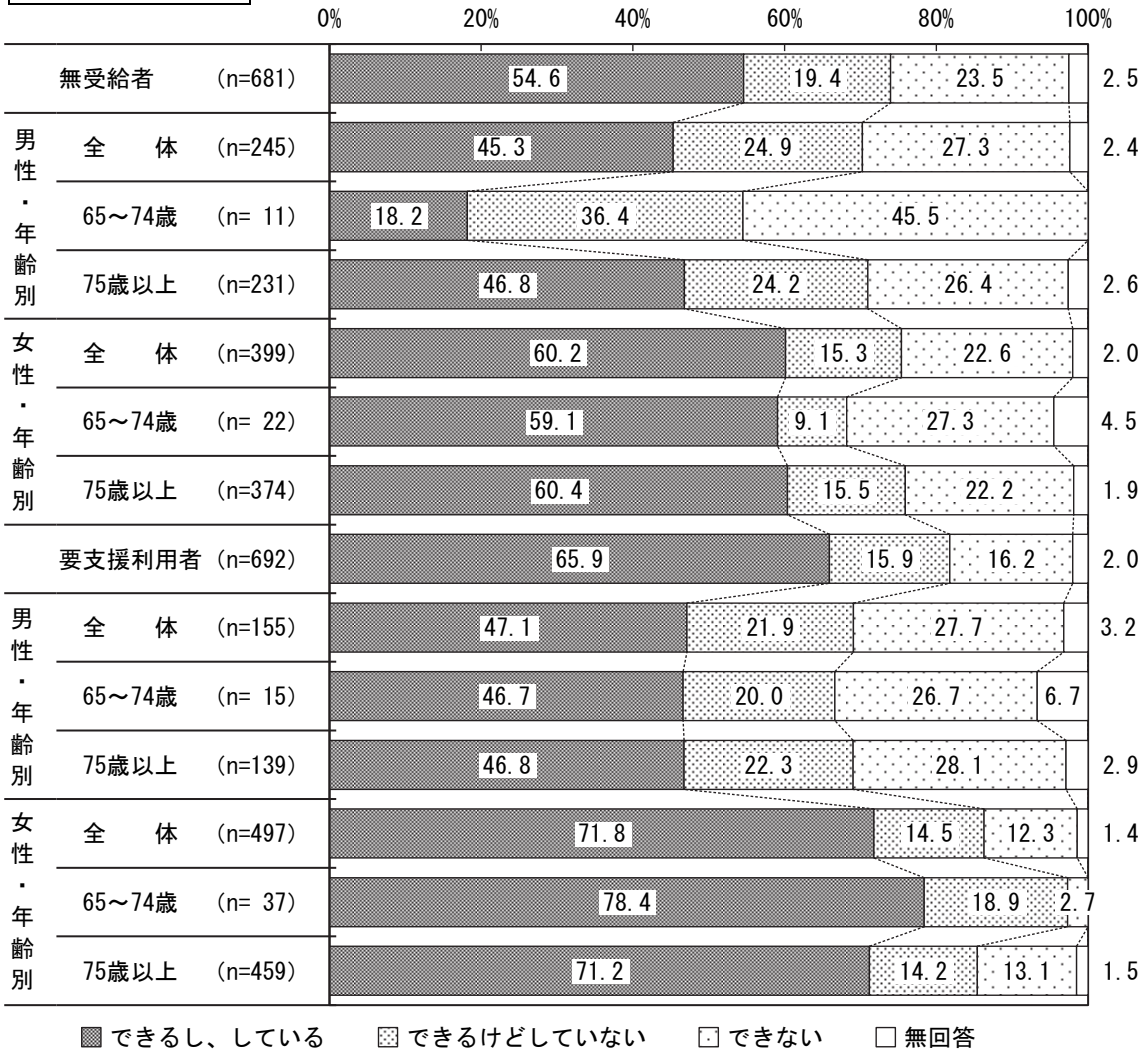
図表 4-37 自分で請求書の支払いをしているか



事業対象者

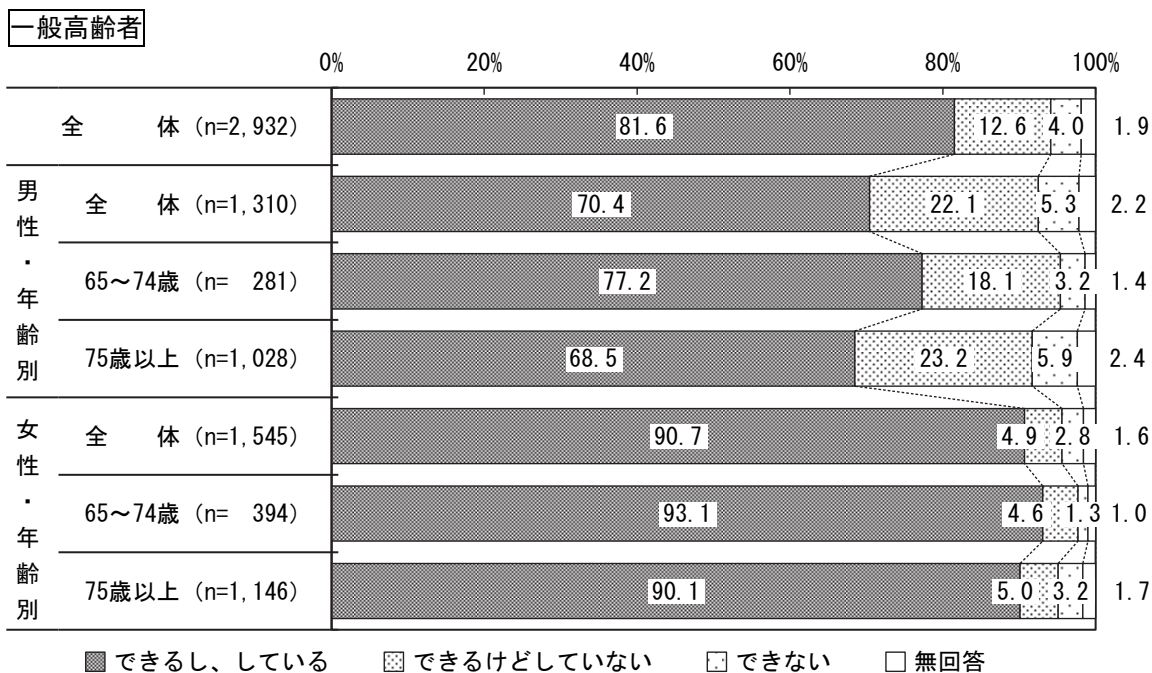


在宅要支援認定者等

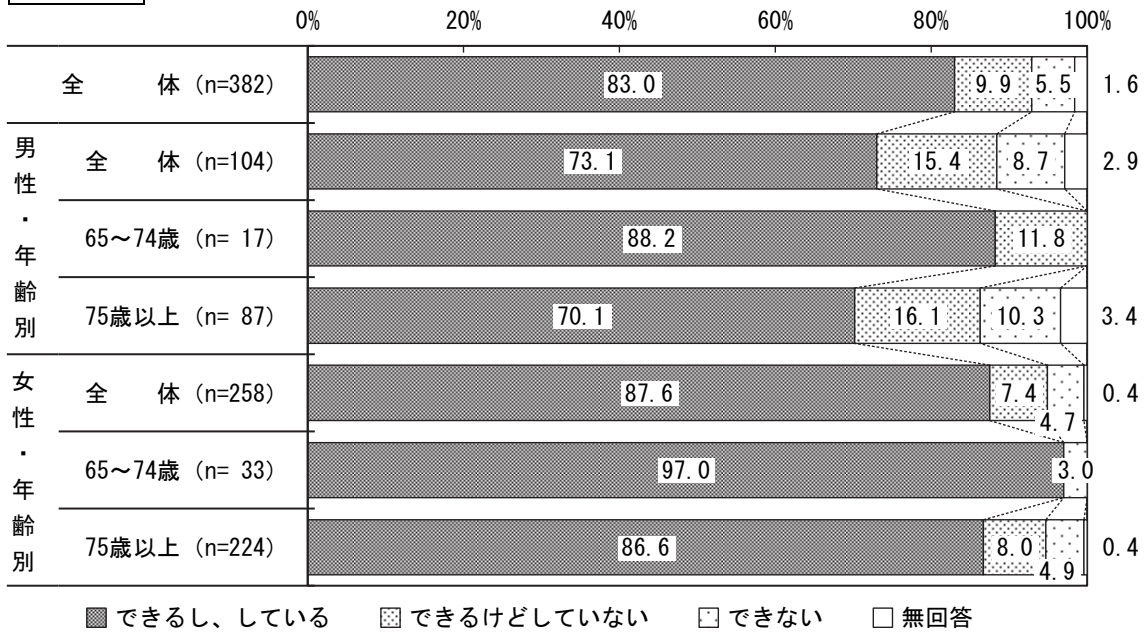


「自分で預貯金の出し入れをしていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では 4.0%、事業対象者では 5.5%、介護保険サービスの無受給者では 23.6%、要支援利用者では 16.5%と、請求書の支払い（138 頁参照）と近似しています。これを性別にみると、要支援利用者では女性に比べて男性が 10 ポイント以上高くなっています。

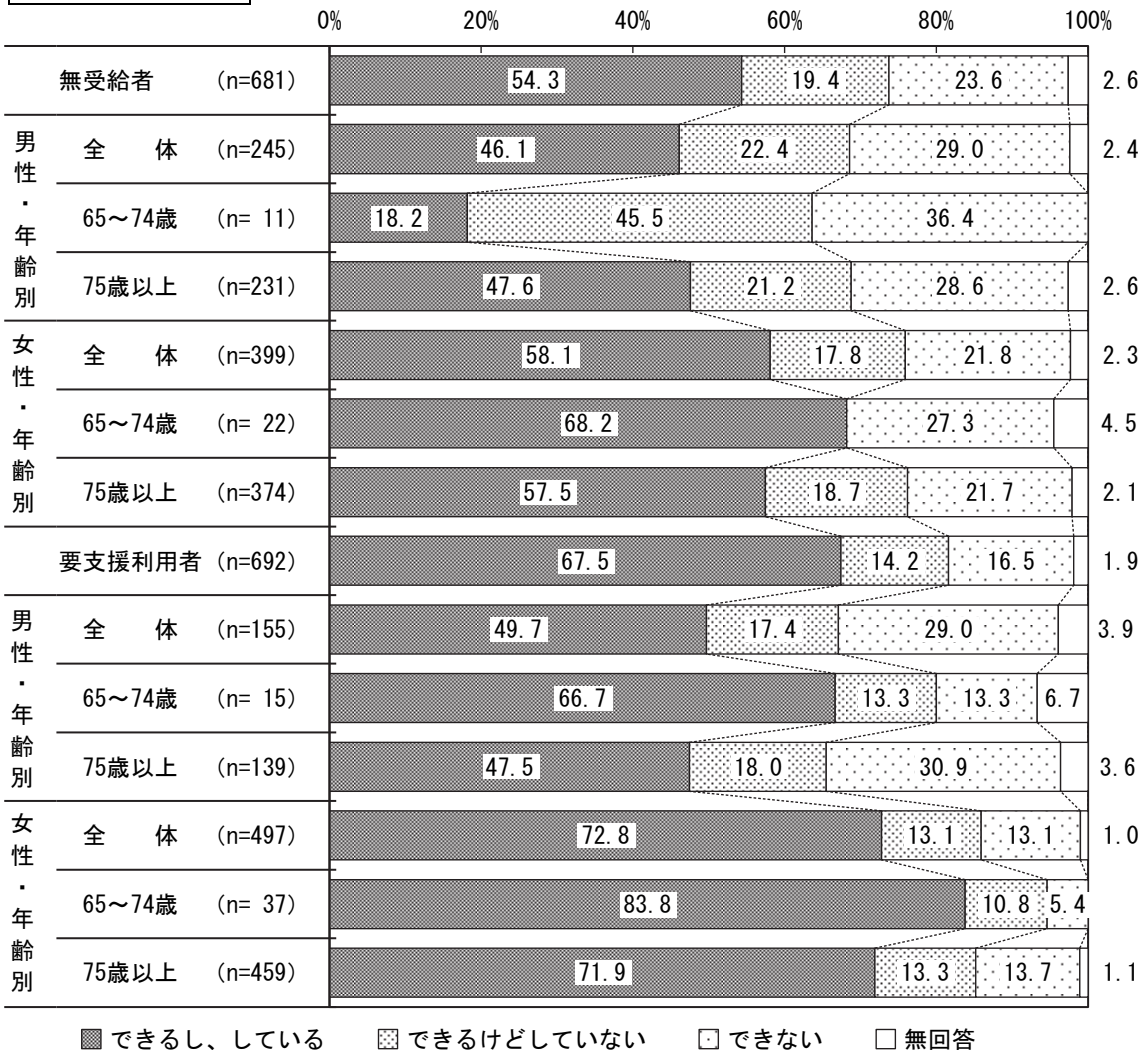
図表 4-38 自分で預貯金の出し入れをしているか



事業対象者



在宅要支援認定者等

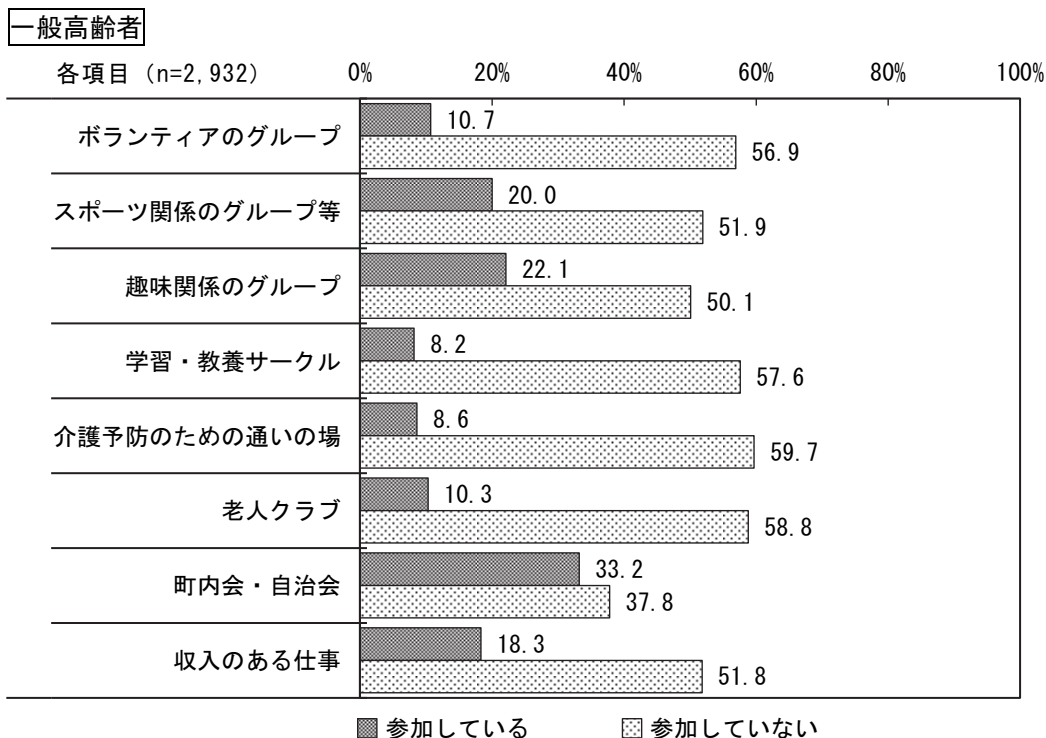


5 社会参加等について

(1) グループ活動等への参加状況

グループ活動等への参加状況について、「参加している」は、一般高齢者では、「町内会・自治会」活動が33.2%と最も高く、男性は40.8%に及んでいます。これ以外の活動等は「参加していない」が50%を超えています。

図表4-39 グループ活動等への参加状況



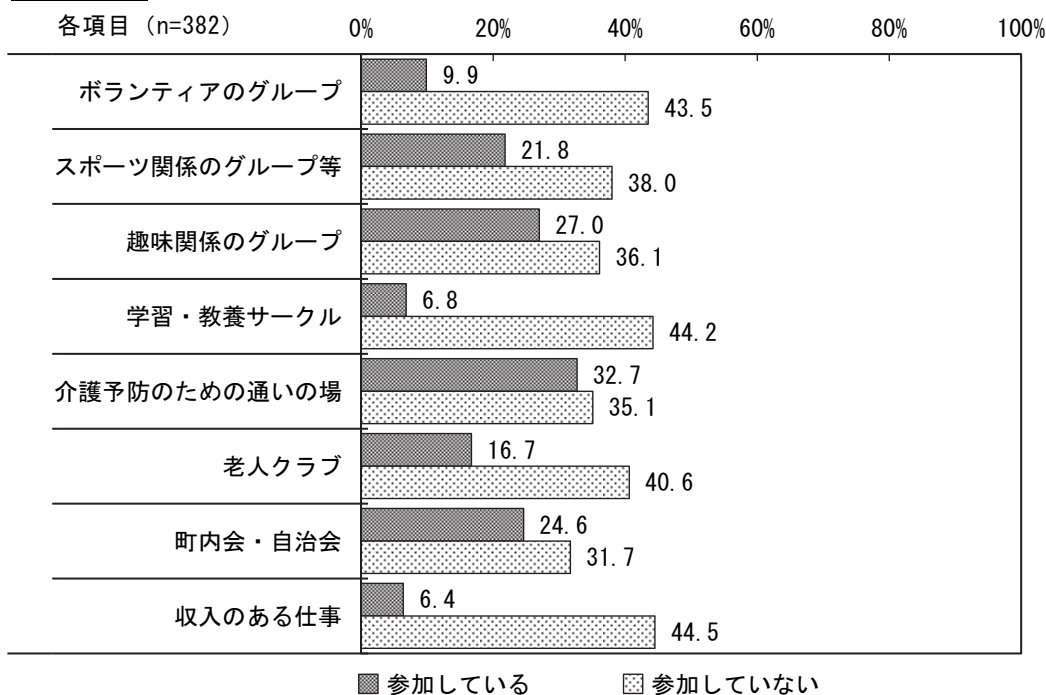
《参加している》性別・年齢別

(単位：%)

区 分		ボ ラ ン テ ィ ア の グ ル ー プ	ス ポ ー ツ 関 係 の グ ル ー プ 等	趣 味 関 係 の グ ル ー プ	学 習 ・ 教 養 サ ー ク ル	介 護 予 防 の た め の 通 い の 場	老 人 ク ラ ブ	町 内 会 ・ 自 治 会	収 入 の あ る 仕 事
男 性	全 体 (n=1,310)	13.5	22.8	22.3	7.4	5.7	10.6	40.8	23.8
	65～74 歳 (n=281)	14.9	27.4	24.2	9.3	3.5	8.2	51.0	36.6
	75 歳以上 (n=1,028)	13.1	21.5	21.7	7.0	6.4	11.4	38.1	20.3
女 性	全 体 (n=1,545)	8.6	17.9	22.3	9.0	11.0	9.9	27.7	13.8
	65～74 歳 (n=394)	11.5	18.9	24.4	12.0	9.2	6.5	34.3	25.0
	75 歳以上 (n=1,146)	7.6	17.6	21.6	8.0	11.6	11.2	25.7	10.0

「参加している」は、事業対象者では、「介護予防のための通いの場」が32.7%と最も高く、これと「趣味関係のグループ」活動は、男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。なお、「参加していない」はすべて50%を下回っています。

事業対象者



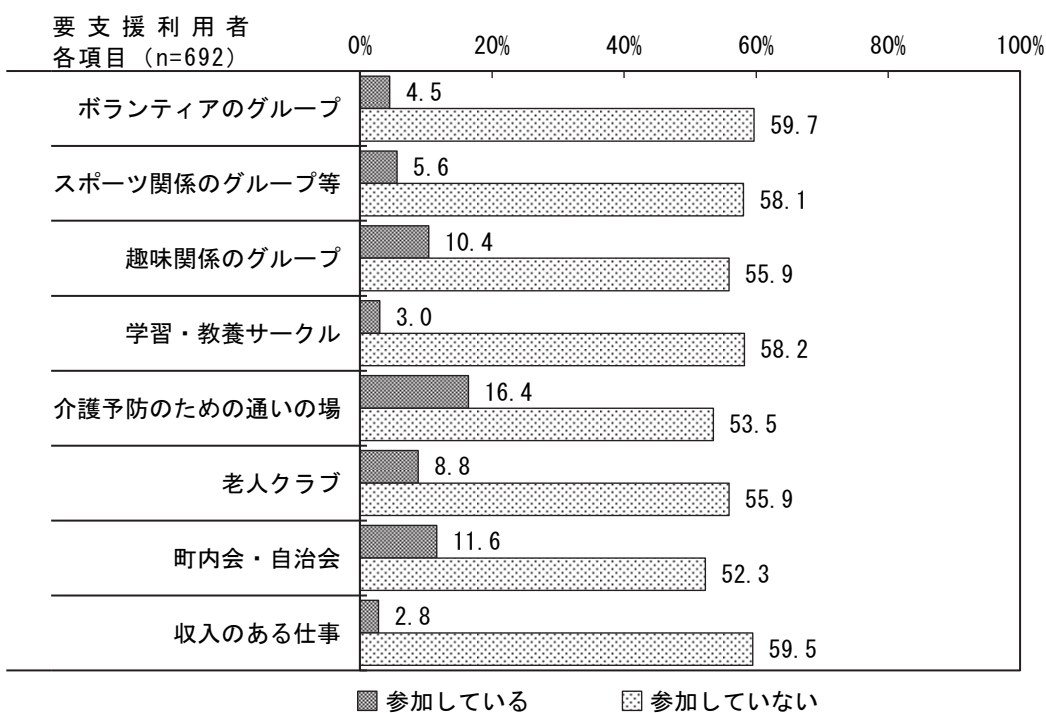
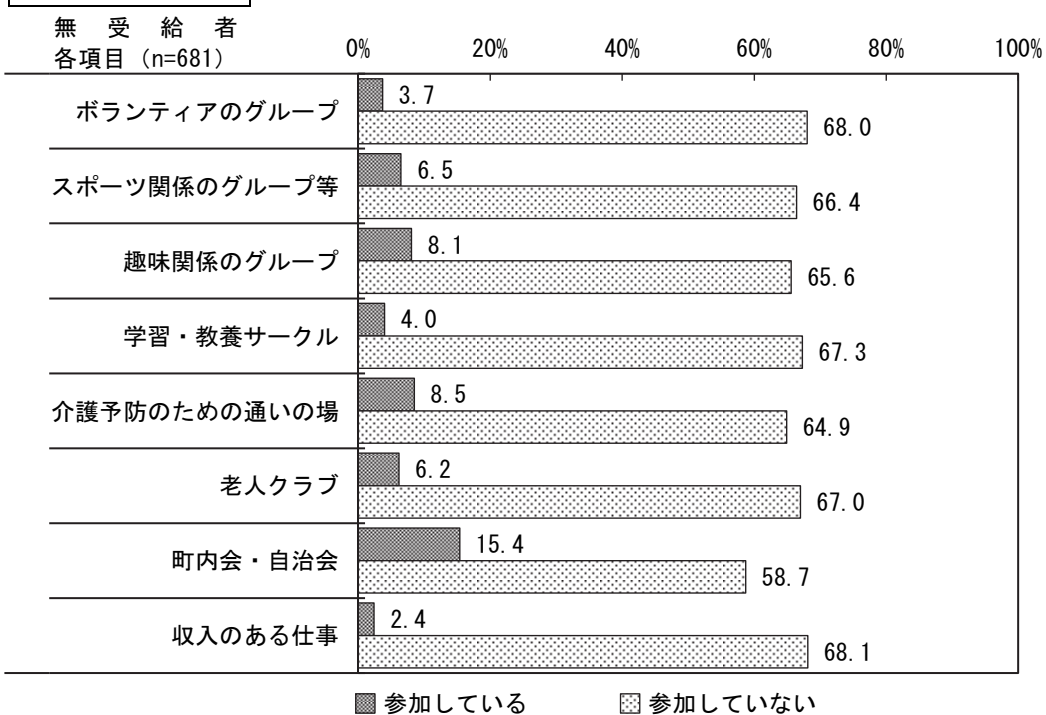
《参加している》性別・年齢別

(単位：%)

区 分		ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループ等	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事
男 性	全 体 (n=104)	12.5	18.3	15.3	8.7	23.1	23.1	27.9	7.7
	65～74 歳 (n= 17)	17.7	23.5	23.6	11.8	23.6	11.8	47.0	23.6
	75 歳以上 (n= 87)	11.3	17.1	13.6	8.0	22.9	25.2	24.0	4.5
女 性	全 体 (n=258)	8.9	23.4	31.0	6.7	38.4	14.8	23.7	6.7
	65～74 歳 (n= 33)	21.3	33.3	39.4	15.1	36.3	12.1	48.5	18.2
	75 歳以上 (n=224)	7.1	21.9	30.0	5.3	38.4	15.1	20.0	4.9

介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では、すべての項目において「参加していない」が50%を上回っており、特に無受給者ではおおむね60%以上となっています。なお、「参加している」は、無受給者では「町内会・自治会」活動(15.4%)、要支援利用者では「介護予防のための通いの場」(16.4%)が最も高くなっています。性別にみても、あまり差異はありません。

在宅要支援認定者等



《参加している》性別・年齢別

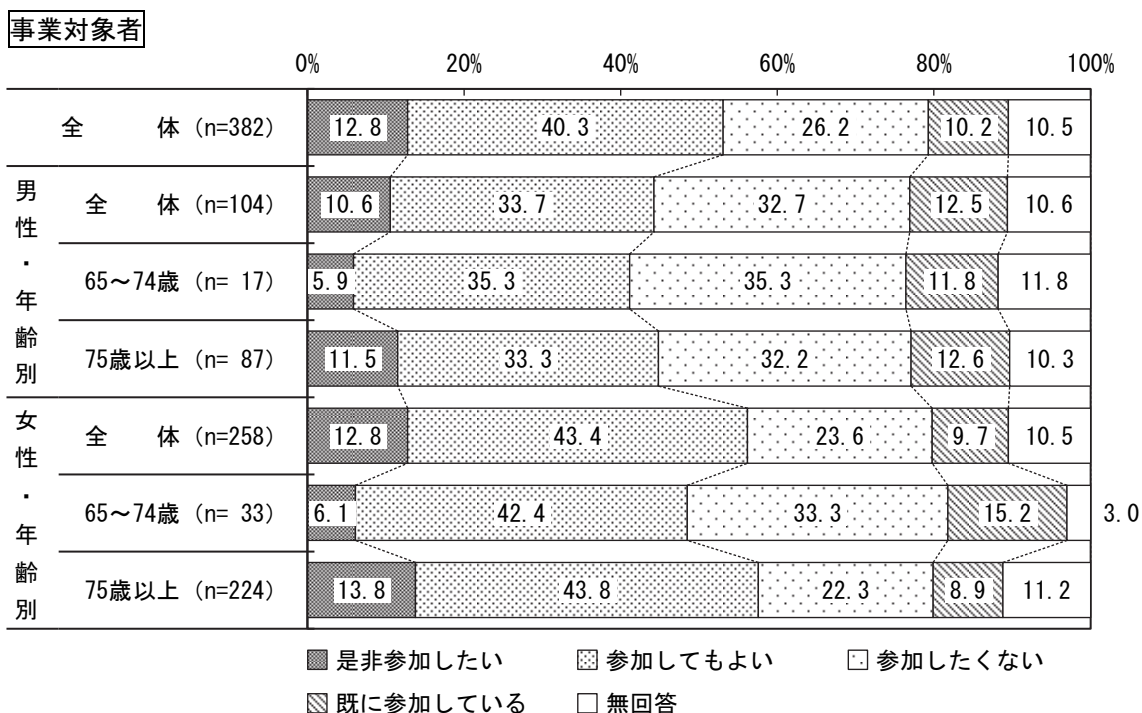
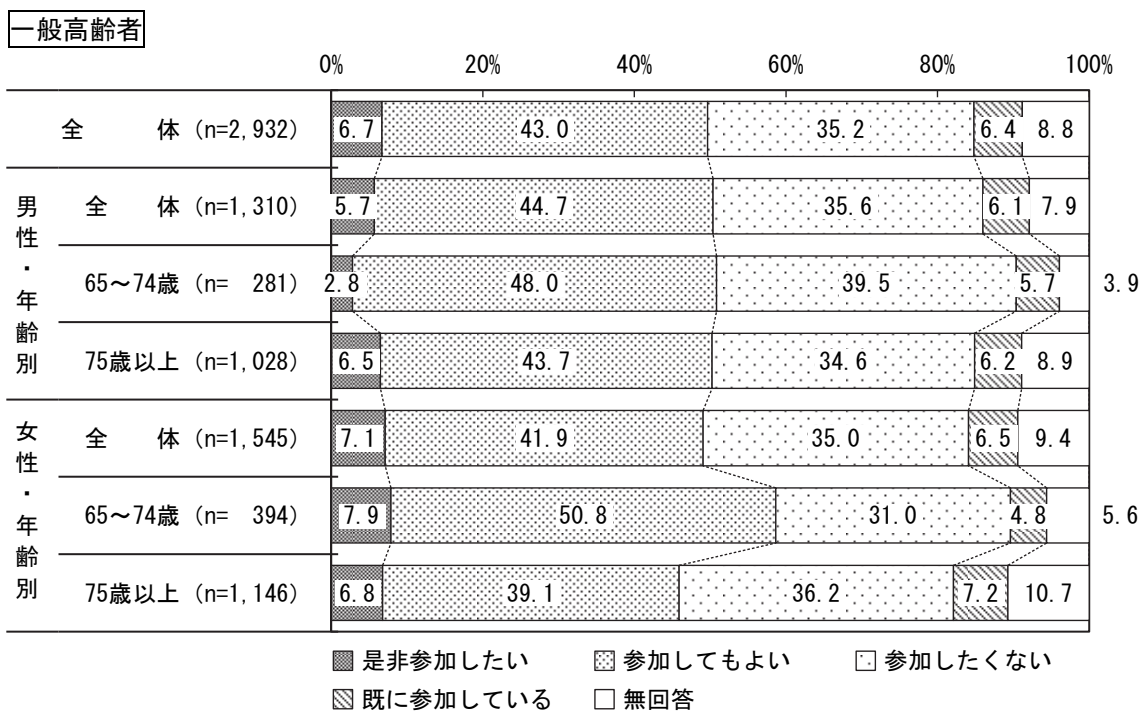
(単位：%)

区 分		ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループ等	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事
無受給者									
男 性	全 体 (n=245)	4.0	5.6	8.9	1.2	6.9	7.7	16.3	3.6
	65～74 歳 (n= 11)	9.1	9.1	27.3	18.2	27.3	-	18.2	9.1
	75 歳以上 (n=231)	3.9	5.7	8.3	0.4	6.1	8.2	16.0	3.6
女 性	全 体 (n=399)	3.1	7.2	8.3	6.4	9.9	5.9	15.4	1.8
	65～74 歳 (n= 22)	4.5	-	9.0	4.5	9.0	-	13.6	4.5
	75 歳以上 (n=374)	2.9	7.5	8.2	6.4	9.8	5.9	15.5	1.3
要支援利用者									
男 性	全 体 (n=155)	5.7	6.4	8.3	1.8	14.8	9.6	12.9	4.5
	65～74 歳 (n= 15)	6.7	6.7	-	-	20.1	13.3	26.7	13.4
	75 歳以上 (n=139)	5.7	6.5	9.3	2.1	14.4	9.2	11.5	3.5
女 性	全 体 (n=497)	4.2	5.4	11.2	3.6	16.6	8.8	11.5	2.6
	65～74 歳 (n= 37)	2.7	8.1	5.4	8.1	8.1	10.8	18.9	-
	75 歳以上 (n=459)	4.3	5.1	11.7	3.2	17.6	8.7	10.9	2.8

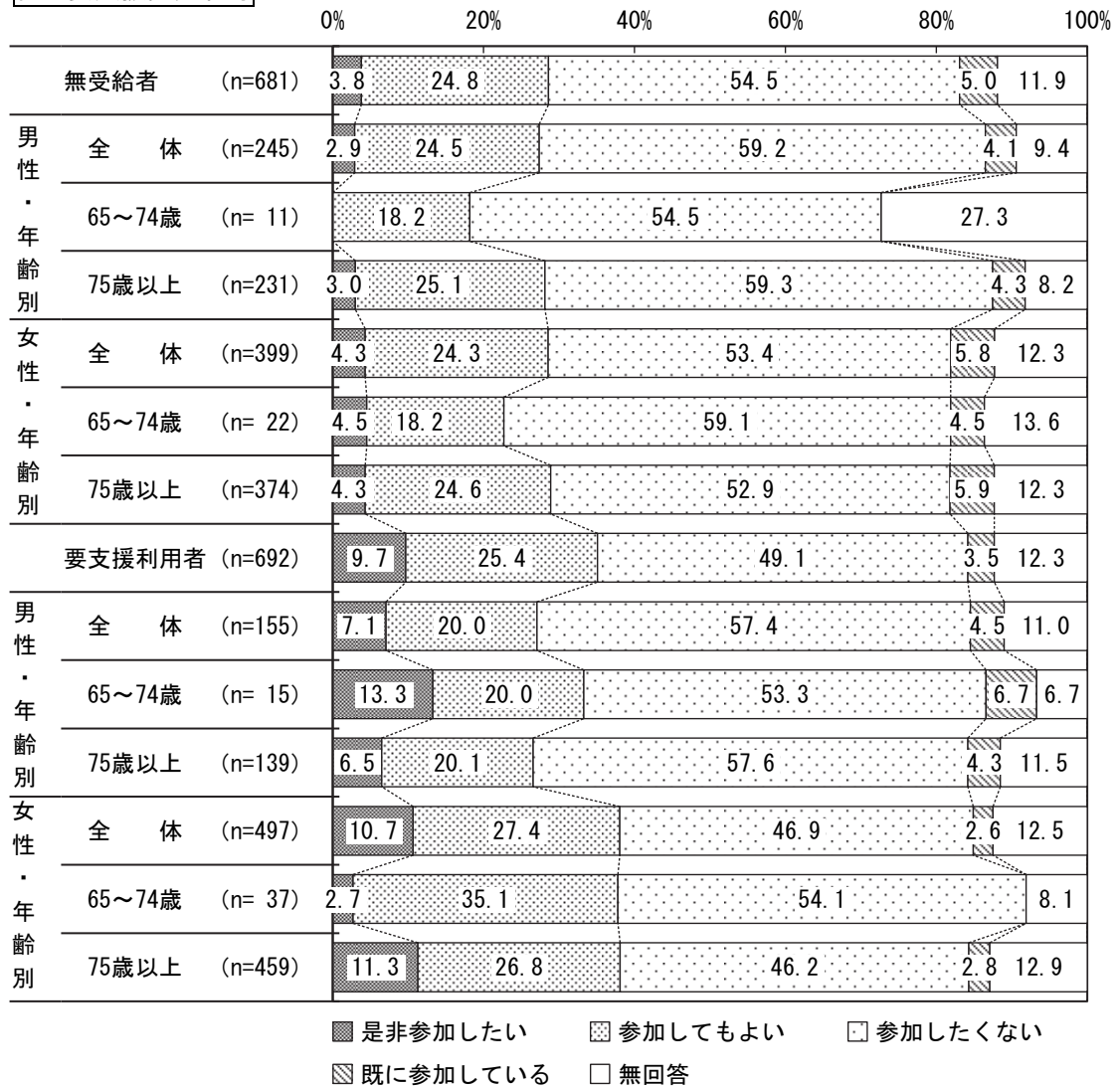
(2) グループ活動等への参加意向

地域住民有志による健康づくりや趣味等の地域づくり活動の参加者としての参加意向については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせると、一般高齢者では 49.7%、事業対象者では 53.1%、介護保険サービスの無受給者では 28.6%、要支援利用者では 35.1%となっています。これを性別にみると、事業対象者と要支援利用者では男性に比べて女性が 10 ポイント以上高くなっています。

図表 4-40 地域づくり活動の参加者としての参加意向

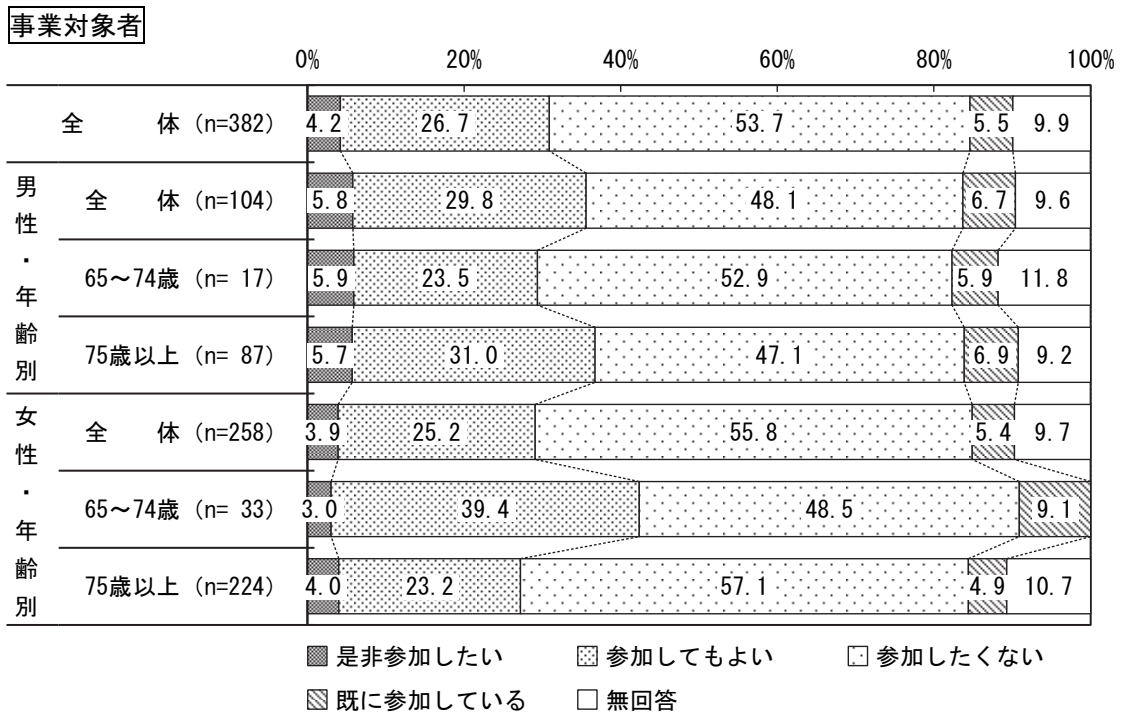
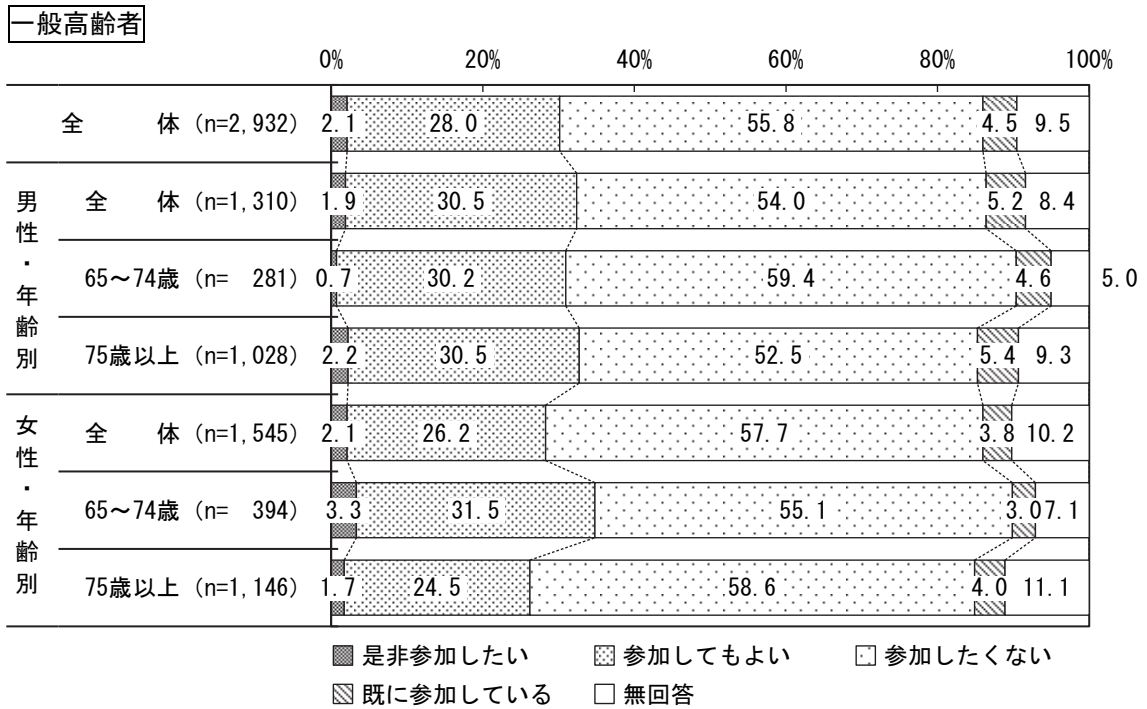


在宅要支援認定者等

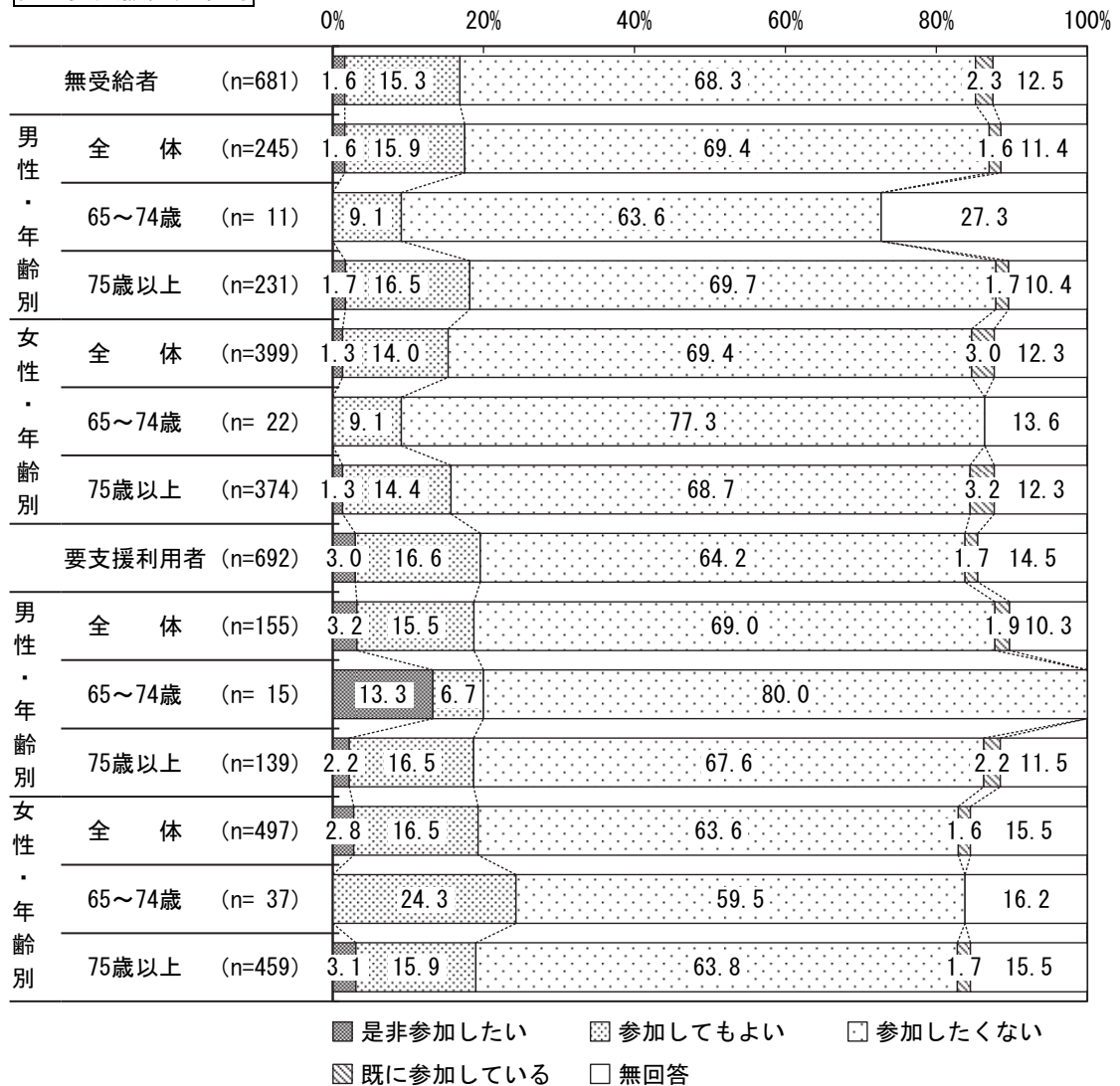


地域住民有志による健康づくりや趣味等の地域づくり活動の世話役（企画・運営を担当）としての参加意向については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせると、一般高齢者では 30.1%、事業対象者では 30.9%、介護保険サービスの無受給者では 16.9%、要支援利用者では 19.6%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が 5 ポイント以上高くなっています。

図表 4-41 地域づくり活動の世話役としての参加意向



在宅要支援認定者等

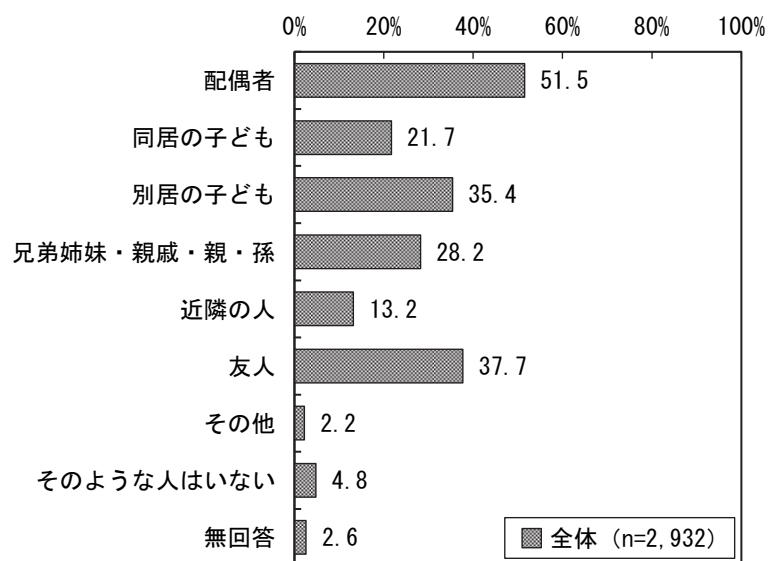


(3) たすけあい

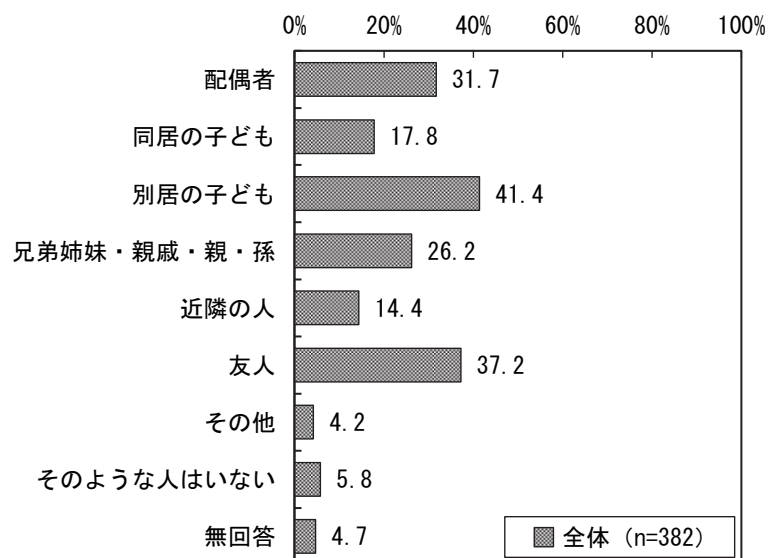
まわりの人の「たすけあい」に関し、まず、心配ごとなどを聞いてくれる相手についてたずねたところ、一般高齢者では「配偶者」が50%を超え、事業対象者と介護保険サービスの無受給者、要支援利用者では「別居の子ども」が、それぞれ最も高くなっています。家族・親戚以外では、「近隣の人」に比べて「友人」が高く、一般高齢者で37.7%、事業対象者で37.2%、無受給者で19.1%、要支援利用者で29.5%となっています。なお、「そのような人はいない」は、いずれにおいても10%を下回っています。

図表4-42 心配ごとなどを聞いてくれる人（複数回答）

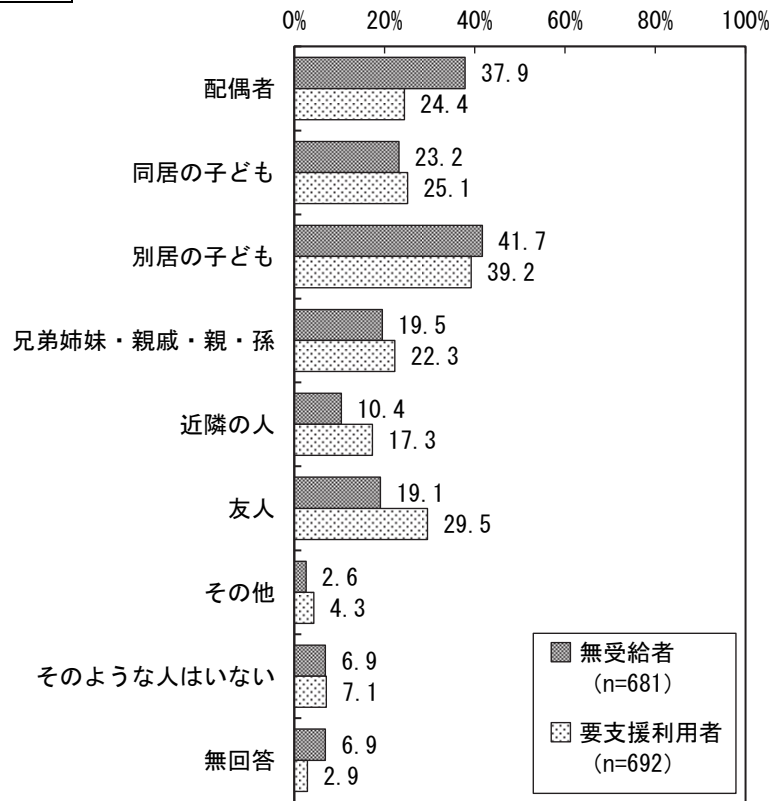
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等



心配ごとなどを聞いてくれる相手について、調査対象者の性別にみると、いずれにおいても、「配偶者」は女性に比べて男性が、「友人」は男性に比べて女性が高くなっています。

図表4-43 心配ごとなどを聞いてくれる人（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	71.0	16.6	29.1	20.7	8.2	23.8	1.9	6.2	2.4
	65～74歳 (n=281)	73.0	13.5	23.5	20.6	8.9	27.4	2.8	6.4	-
	75歳以上 (n=1,028)	70.4	17.5	30.6	20.7	8.0	22.9	1.7	6.1	3.0
女 性	全 体 (n=1,545)	35.6	26.1	40.8	34.8	17.7	49.9	2.5	3.6	2.5
	65～74歳 (n=394)	41.1	25.6	41.1	36.3	17.8	62.2	1.0	2.3	1.5
	75歳以上 (n=1,146)	33.8	26.3	40.9	34.5	17.8	45.9	3.1	4.0	2.7

事業対象者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n=104)	50.0	13.5	26.9	15.4	7.7	22.1	-	10.6	6.7
	65～74歳 (n=17)	47.1	17.6	11.8	11.8	5.9	29.4	-	11.8	17.6
	75歳以上 (n=87)	50.6	12.6	29.9	16.1	8.0	20.7	-	10.3	4.6
女 性	全 体 (n=258)	24.4	19.0	48.1	30.2	17.1	43.4	6.2	3.5	3.9
	65～74歳 (n=33)	42.4	12.1	27.3	36.4	12.1	48.5	9.1	12.1	-
	75歳以上 (n=224)	21.9	20.1	50.9	29.5	17.9	42.4	5.8	2.2	4.5

在宅要支援認定者等

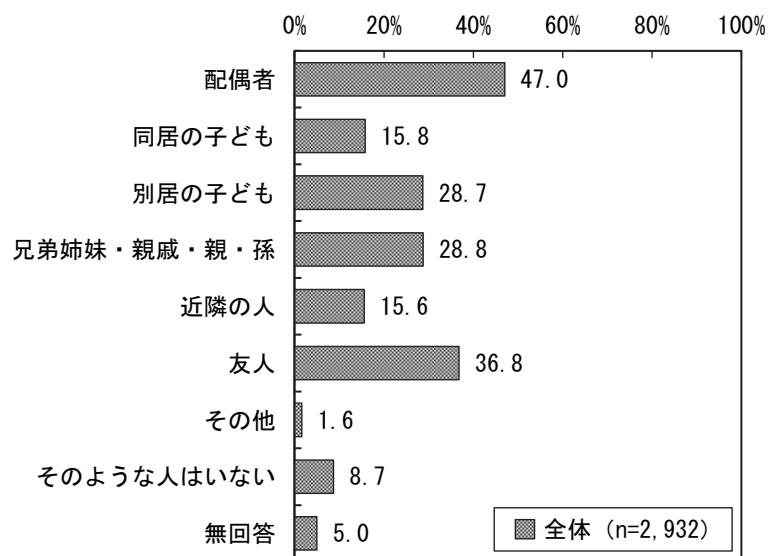
(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
無受給者										
男 性	全 体 (n=245)	61.2	21.6	37.1	14.7	6.1	10.2	1.2	6.9	7.3
	65～74 歳 (n= 11)	63.6	27.3	36.4	27.3	-	9.1	-	-	9.1
	75 歳以上 (n=231)	61.9	21.6	37.7	13.9	6.5	10.4	1.3	6.9	6.9
女 性	全 体 (n=399)	23.3	25.3	45.6	21.8	13.8	24.8	3.5	7.5	6.0
	65～74 歳 (n= 22)	36.4	27.3	45.5	22.7	13.6	50.0	-	9.1	-
	75 歳以上 (n=374)	22.7	25.1	45.7	21.1	13.4	23.3	3.7	7.5	6.4
要支援利用者										
男 性	全 体 (n=155)	47.1	21.9	29.7	13.5	5.8	12.9	5.2	12.9	1.9
	65～74 歳 (n= 15)	60.0	13.3	6.7	-	-	13.3	6.7	26.7	-
	75 歳以上 (n=139)	45.3	22.3	32.4	15.1	6.5	12.9	5.0	11.5	2.2
女 性	全 体 (n=497)	16.5	26.4	42.7	25.4	20.7	34.4	4.2	4.8	3.2
	65～74 歳 (n= 37)	37.8	24.3	32.4	21.6	8.1	48.6	5.4	8.1	5.4
	75 歳以上 (n=459)	14.8	26.6	43.4	25.7	21.6	33.1	4.1	4.6	3.1

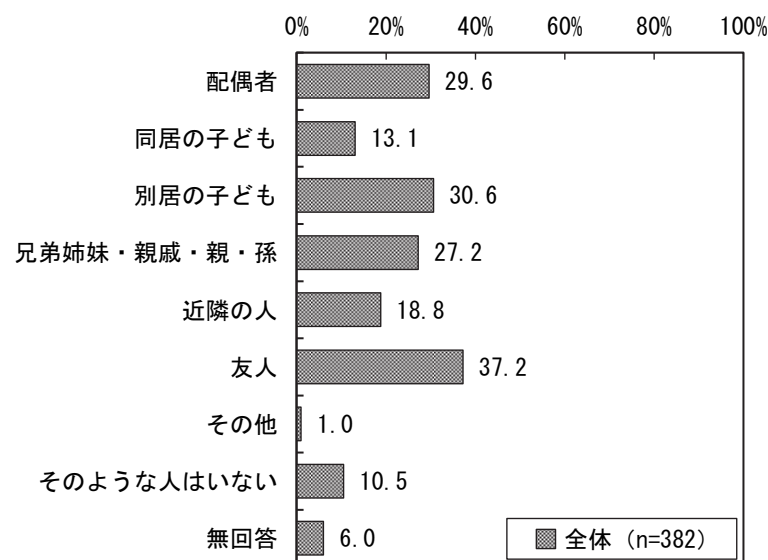
逆に、心配ごとなどを聞いてあげる相手についてたずねたところ、一般高齢者と介護保険サービスの無受給者では「配偶者」、事業対象者と要支援利用者では「友人」が、それぞれ最も高くなっています。なお、一般高齢者と介護保険サービスの無受給者の家族・親戚以外では、「近隣の人」に比べて「友人」が高くなっています。なお、「そのような人はいない」は、一般高齢者では10%を下回り、そのほかでも10%台にとどまっています。

図表4-44 心配ごとなどを聞いてあげる人（複数回答）

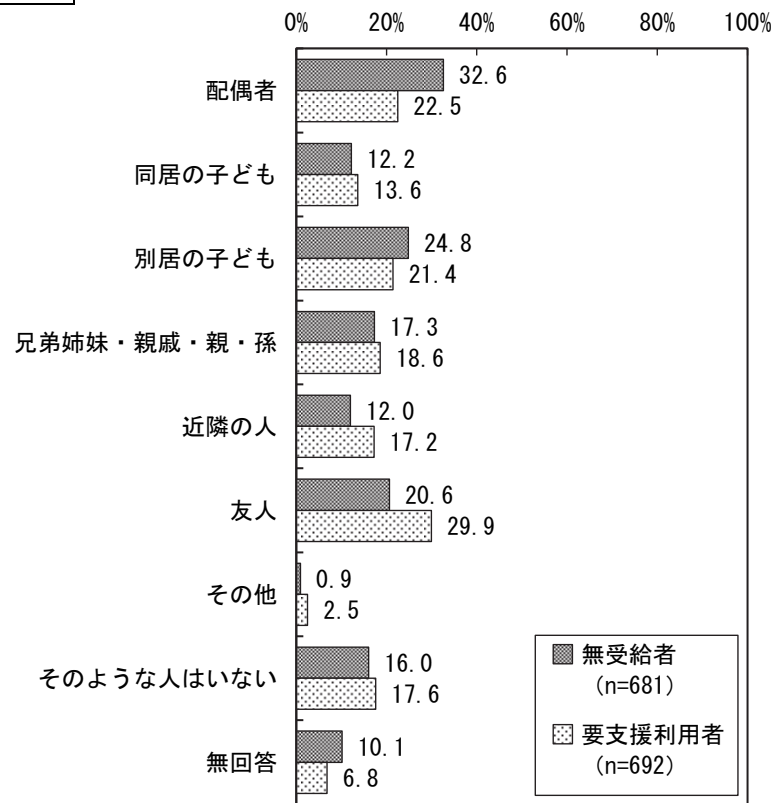
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等



心配ごとなどを聞いてあげる相手について、調査対象者の性別にみると、いずれにおいても、「配偶者」は女性に比べて男性が、「友人」は男性に比べて女性が高くなっています。

図表4-45 心配ごとなどを聞いてあげる人（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	66.0	12.7	25.6	22.2	9.7	22.8	1.3	10.8	4.4
	65～74歳 (n=281)	71.9	11.7	24.6	23.5	10.0	24.2	2.1	10.0	2.1
	75歳以上 (n=1,028)	64.4	12.9	25.9	21.9	9.6	22.5	1.1	11.0	5.0
女 性	全 体 (n=1,545)	31.8	18.8	31.5	34.9	21.1	49.4	1.9	6.9	4.8
	65～74歳 (n=394)	36.5	21.6	33.8	37.6	23.4	61.7	1.0	2.8	2.3
	75歳以上 (n=1,146)	30.4	17.9	30.9	34.0	20.3	45.4	2.2	8.3	5.6

事業対象者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n=104)	48.1	14.4	26.9	18.3	13.5	26.0	-	12.5	6.7
	65～74歳 (n=17)	41.2	11.8	17.6	11.8	17.6	23.5	-	17.6	11.8
	75歳以上 (n=87)	49.4	14.9	28.7	19.5	12.6	26.4	-	11.5	5.7
女 性	全 体 (n=258)	22.1	12.4	32.6	31.0	20.9	41.5	1.6	8.5	6.2
	65～74歳 (n=33)	39.4	6.1	30.3	39.4	12.1	39.4	3.0	12.1	-
	75歳以上 (n=224)	19.6	13.4	33.0	29.9	21.9	41.5	1.3	8.0	7.1

在宅要支援認定者等

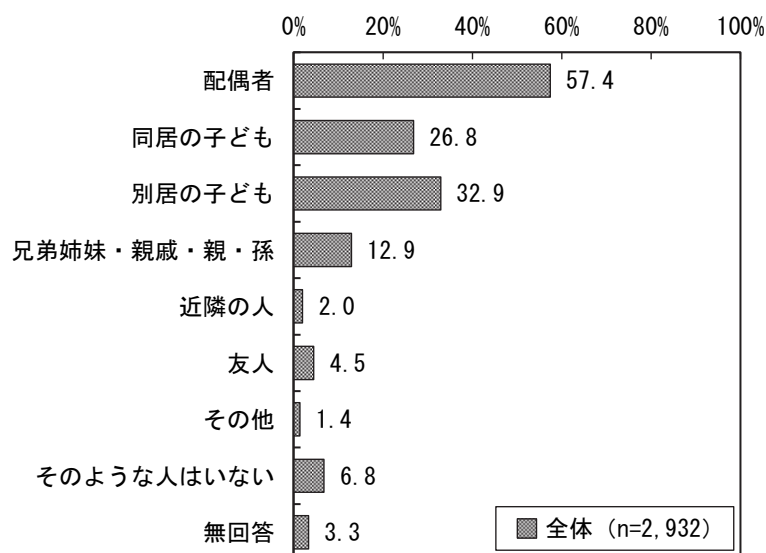
(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
無受給者										
男 性	全 体 (n=245)	58.4	9.8	21.6	14.3	6.9	8.6	0.8	14.3	10.2
	65～74 歳 (n= 11)	72.7	-	9.1	27.3	-	9.1	-	-	18.2
	75 歳以上 (n=231)	58.4	10.4	22.5	13.0	7.4	8.7	0.9	15.2	9.5
女 性	全 体 (n=399)	17.8	14.3	27.3	19.5	15.8	28.1	0.8	17.0	9.5
	65～74 歳 (n= 22)	27.3	18.2	36.4	22.7	13.6	59.1	-	13.6	-
	75 歳以上 (n=374)	17.4	13.9	26.7	19.0	15.5	26.2	0.8	17.1	10.2
要支援利用者										
男 性	全 体 (n=155)	45.8	13.5	21.9	11.6	7.1	12.9	3.9	23.2	3.9
	65～74 歳 (n= 15)	46.7	13.3	6.7	6.7	13.3	20.0	6.7	33.3	-
	75 歳以上 (n=139)	45.3	12.9	23.7	12.2	6.5	12.2	3.6	22.3	4.3
女 性	全 体 (n=497)	15.1	13.9	21.3	20.9	19.9	34.8	2.2	15.5	7.8
	65～74 歳 (n= 37)	29.7	16.2	35.1	21.6	8.1	43.2	-	13.5	5.4
	75 歳以上 (n=459)	13.9	13.7	20.0	20.9	20.7	34.0	2.4	15.7	8.1

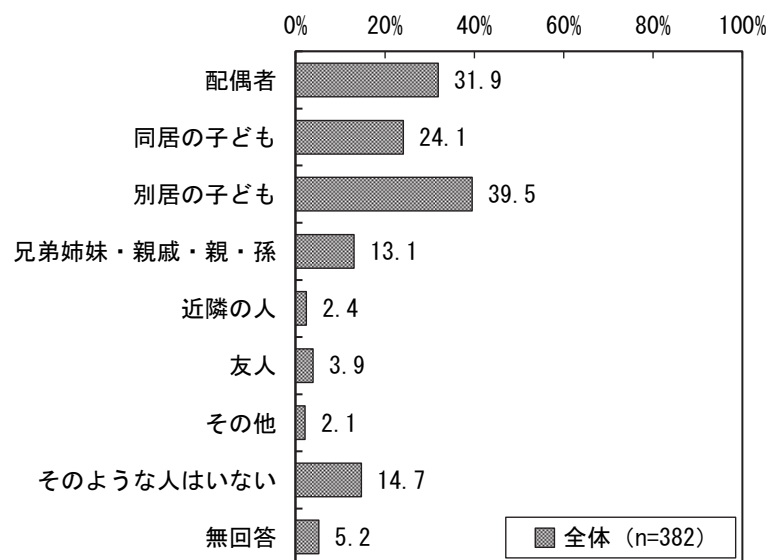
次に、病気の際に看病をしてくれる相手についてたずねたところ、一般高齢者と介護保険サービスの無受給者では「配偶者」、事業対象者と要支援利用者では「別居の子ども」が最も高くなっています。なお、家族・親族以外の「近隣の人」と「友人」はわずかとなっています。なお、「そのような人はいない」は、一般高齢者と無受給者では10%を下回り、事業対象者と要支援利用者でも10%台にとどまっています。

図表 4-46 病気の際に看病をしてくれる人（複数回答）

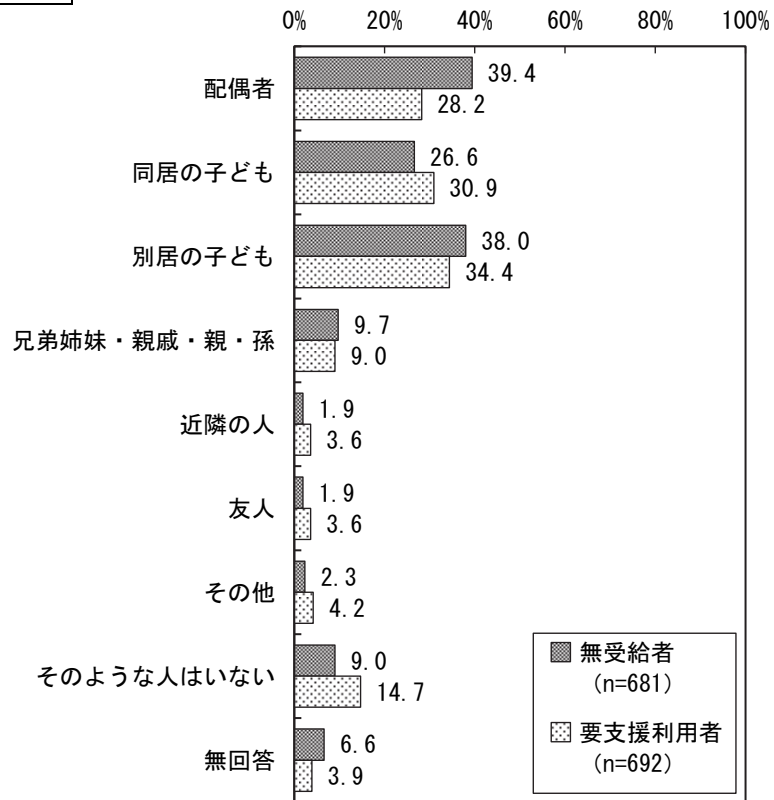
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等



病気の際に看病をしてくれる相手について、調査対象者の性別にみると、いずれにおいても、「配偶者」は女性に比べて男性が高くなっています。

図表 4-47 病気の際に看病をしてくれる人（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	77.0	20.0	26.3	9.7	0.9	2.2	1.3	5.5	3.1
	65～74 歳 (n= 281)	80.4	16.7	17.8	10.3	0.7	2.8	1.8	6.8	1.1
	75 歳以上 (n=1,028)	76.1	20.9	28.6	9.5	1.0	2.0	1.2	5.2	3.6
女 性	全 体 (n=1,545)	41.4	32.5	38.7	15.7	3.0	6.5	1.6	7.5	3.2
	65～74 歳 (n= 394)	49.5	28.9	35.3	16.0	2.5	8.9	-	8.4	2.3
	75 歳以上 (n=1,146)	38.7	33.8	40.0	15.6	3.2	5.8	2.1	7.2	3.4

事業対象者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n=104)	49.0	16.3	25.0	13.5	1.9	1.0	1.9	15.4	7.7
	65～74 歳 (n= 17)	52.9	17.6	11.8	17.6	-	-	-	29.4	5.9
	75 歳以上 (n= 87)	48.3	16.1	27.6	12.6	2.3	1.1	2.3	12.6	8.0
女 性	全 体 (n=258)	25.2	27.9	46.9	14.0	2.7	5.0	2.3	13.2	3.5
	65～74 歳 (n= 33)	42.4	21.2	27.3	21.2	-	-	-	18.2	-
	75 歳以上 (n=224)	22.3	29.0	49.6	12.9	3.1	5.8	2.7	12.5	4.0

在宅要支援認定者等

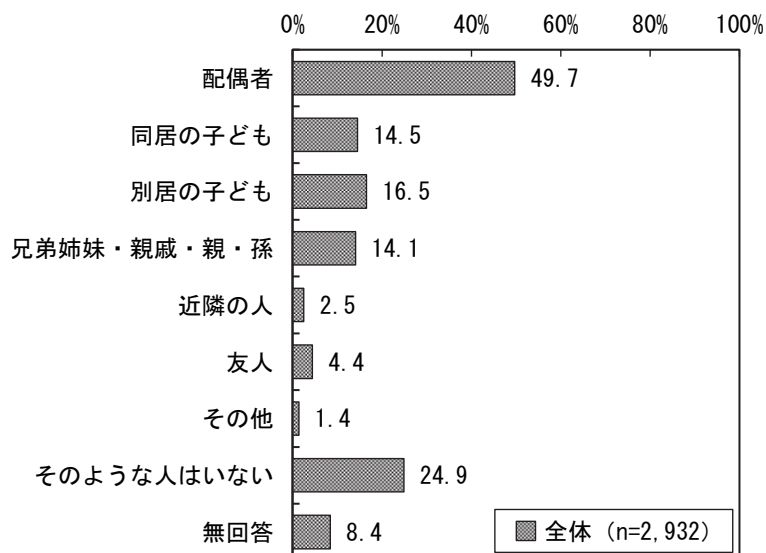
(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
無受給者										
男 性	全 体 (n=245)	64.1	22.0	33.1	8.2	0.8	0.4	0.4	6.1	7.8
	65～74 歳 (n= 11)	72.7	27.3	18.2	18.2	-	-	-	-	9.1
	75 歳以上 (n=231)	64.5	22.1	34.2	7.4	0.9	0.4	0.4	6.5	6.9
女 性	全 体 (n=399)	23.3	29.8	41.6	10.8	2.8	2.8	3.8	10.5	5.5
	65～74 歳 (n= 22)	40.9	22.7	36.4	9.1	4.5	4.5	-	13.6	-
	75 歳以上 (n=374)	22.5	29.9	42.2	10.7	2.7	2.7	4.0	10.4	5.9
要支援利用者										
男 性	全 体 (n=155)	51.6	21.3	32.3	7.1	1.3	4.5	3.9	14.8	3.2
	65～74 歳 (n= 15)	53.3	13.3	26.7	6.7	-	6.7	-	26.7	-
	75 歳以上 (n=139)	51.1	21.6	33.1	7.2	1.4	4.3	4.3	13.7	3.6
女 性	全 体 (n=497)	19.9	34.0	35.6	10.1	4.4	3.4	4.2	14.1	4.4
	65～74 歳 (n= 37)	45.9	32.4	16.2	10.8	-	-	-	18.9	5.4
	75 歳以上 (n=459)	17.9	34.2	37.0	10.0	4.6	3.7	4.6	13.7	4.4

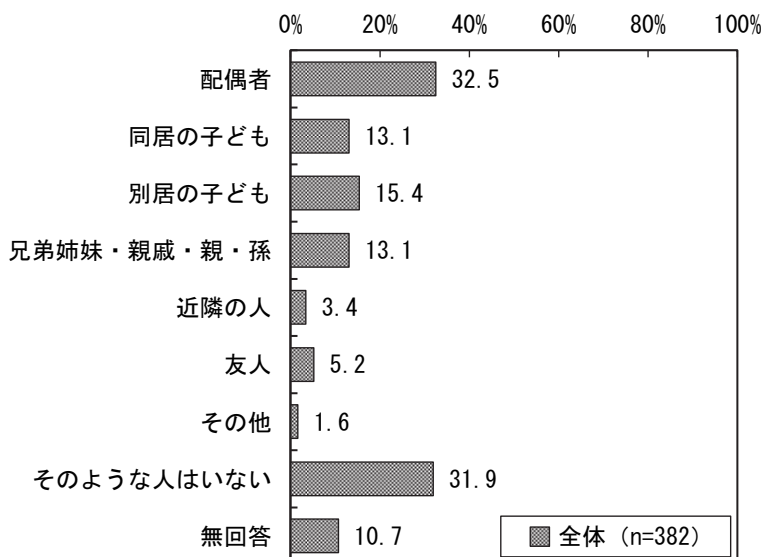
逆に、病気の際に看病をしてあげる相手についてたずねたところ、一般高齢者と事業対象者では「配偶者」、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では「そのような人はいない」が最も高くなっています。なお、無受給者と要支援利用者では、「そのような人はいない」以外は、「配偶者」が最も高くなっています。「そのような人はいない」は、一般高齢者と事業対象者でも20%以上となっています。

図表4-48 病気の際に看病をしてあげる人（複数回答）

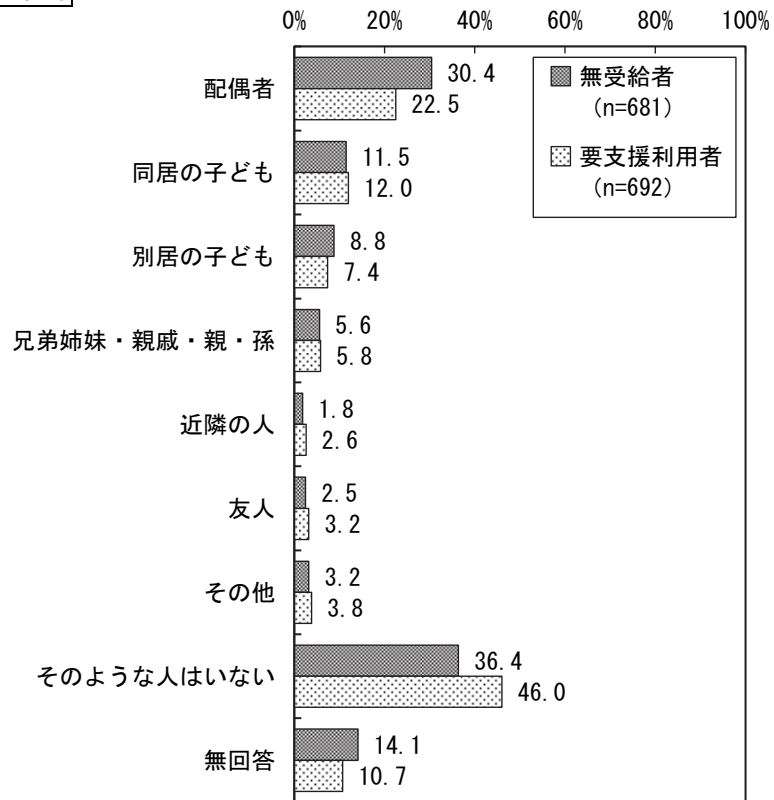
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等



病気の際に看病をしてあげる相手について、調査対象者の性別にみると、いずれにおいても、「配偶者」は女性に比べて男性が高くなっています。

図表4-49 病気の際に看病をしてあげる人（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	62.4	10.7	14.7	11.4	1.4	2.1	1.3	22.3	6.6
	65～74歳 (n=281)	66.2	9.3	16.0	14.6	0.7	1.8	1.4	22.8	3.2
	75歳以上 (n=1,028)	61.3	11.1	14.3	10.5	1.6	2.1	1.3	22.2	7.5
女 性	全 体 (n=1,545)	39.6	18.1	18.4	16.5	3.6	6.3	1.5	27.2	9.1
	65～74歳 (n=394)	47.2	20.3	21.6	19.0	2.8	6.1	1.3	22.3	5.8
	75歳以上 (n=1,146)	37.0	17.4	17.4	15.7	3.8	6.5	1.6	29.0	10.1

事業対象者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n=104)	47.1	7.7	8.7	7.7	1.0	1.9	1.9	30.8	9.6
	65～74歳 (n=17)	41.2	-	-	5.9	-	-	-	41.2	11.8
	75歳以上 (n=87)	48.3	9.2	10.3	8.0	1.1	2.3	2.3	28.7	9.2
女 性	全 体 (n=258)	27.1	15.5	19.0	15.1	4.7	7.0	1.6	31.4	11.2
	65～74歳 (n=33)	45.5	6.1	15.2	24.2	3.0	6.1	3.0	27.3	6.1
	75歳以上 (n=224)	24.6	17.0	19.6	13.8	4.9	7.1	1.3	32.1	11.6

在宅要支援認定者等

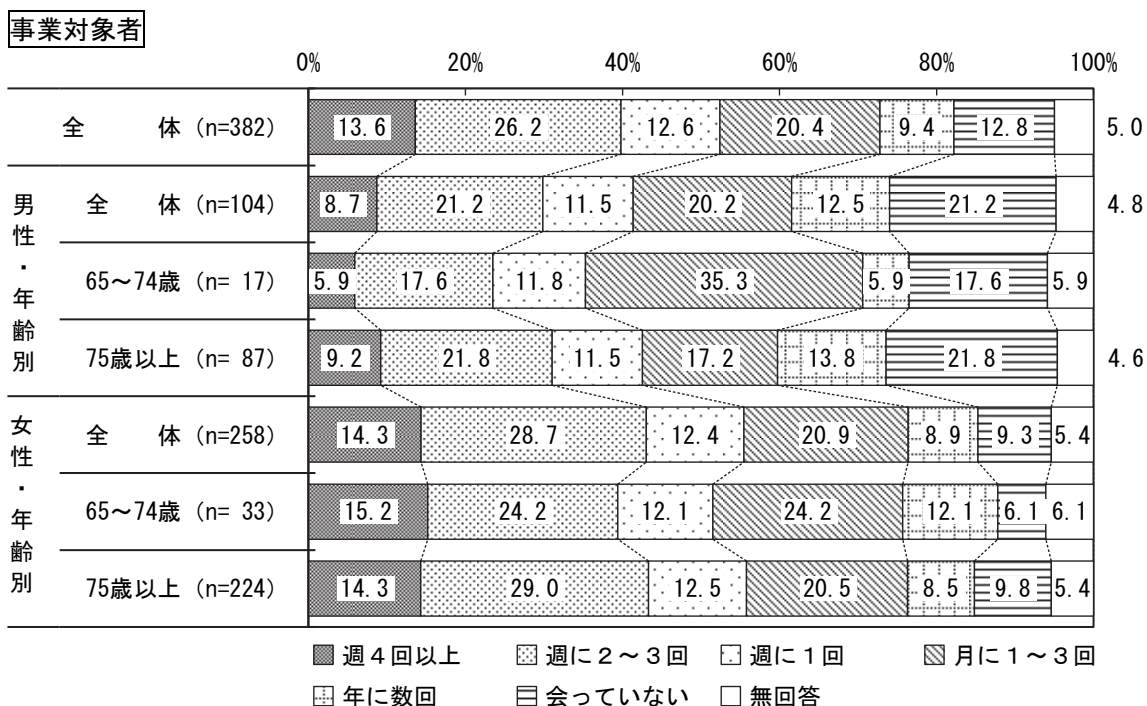
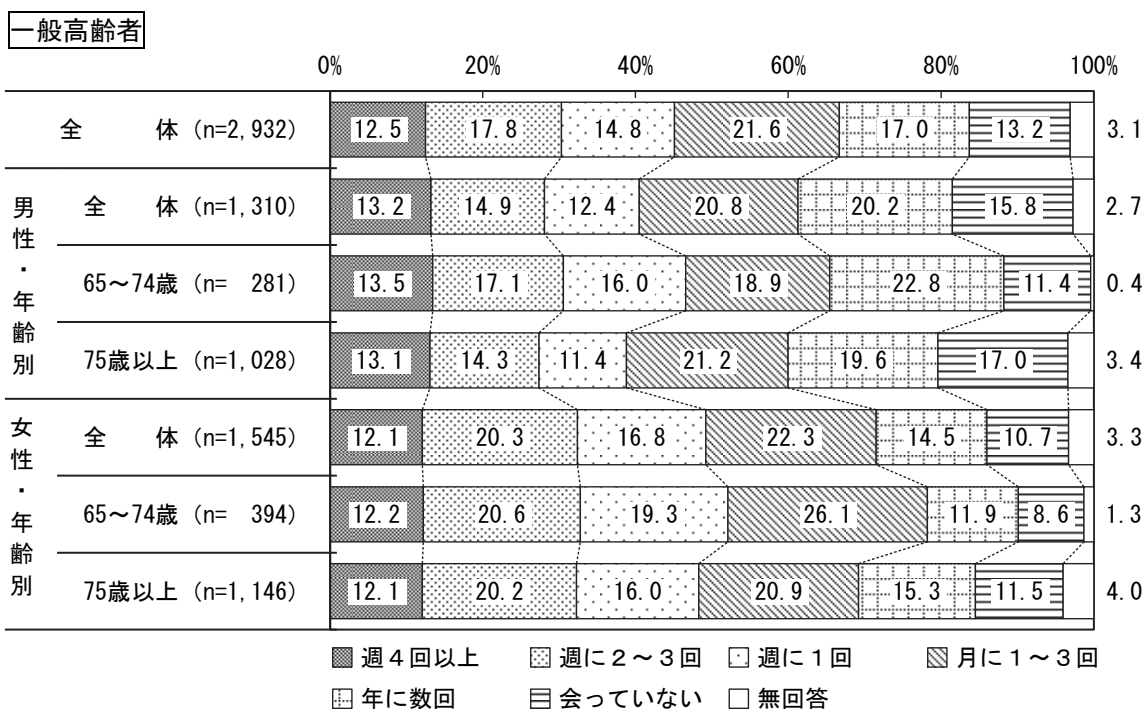
(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
無受給者										
男 性	全 体 (n=245)	44.5	7.3	8.6	4.1	1.6	1.2	2.4	29.0	14.3
	65～74 歳 (n= 11)	27.3	-	-	9.1	-	9.1	-	18.2	36.4
	75 歳以上 (n=231)	45.9	7.8	9.1	3.9	1.7	0.9	2.6	29.4	12.6
女 性	全 体 (n=399)	22.3	14.5	9.3	6.5	2.0	3.3	3.8	40.6	13.0
	65～74 歳 (n= 22)	31.8	13.6	9.1	4.5	-	4.5	9.1	45.5	4.5
	75 歳以上 (n=374)	21.9	14.4	9.4	6.7	2.1	3.2	3.5	40.1	13.6
要支援利用者										
男 性	全 体 (n=155)	38.1	5.2	6.5	3.9	0.6	1.9	3.9	43.2	9.7
	65～74 歳 (n= 15)	40.0	6.7	-	6.7	-	6.7	6.7	40.0	6.7
	75 歳以上 (n=139)	38.1	5.0	7.2	3.6	0.7	1.4	3.6	43.2	10.1
女 性	全 体 (n=497)	16.9	14.9	8.2	6.8	3.0	3.6	3.6	46.9	11.1
	65～74 歳 (n= 37)	35.1	10.8	5.4	10.8	2.7	8.1	2.7	40.5	8.1
	75 歳以上 (n=459)	15.5	15.3	8.5	6.5	3.1	3.3	3.7	47.3	11.3

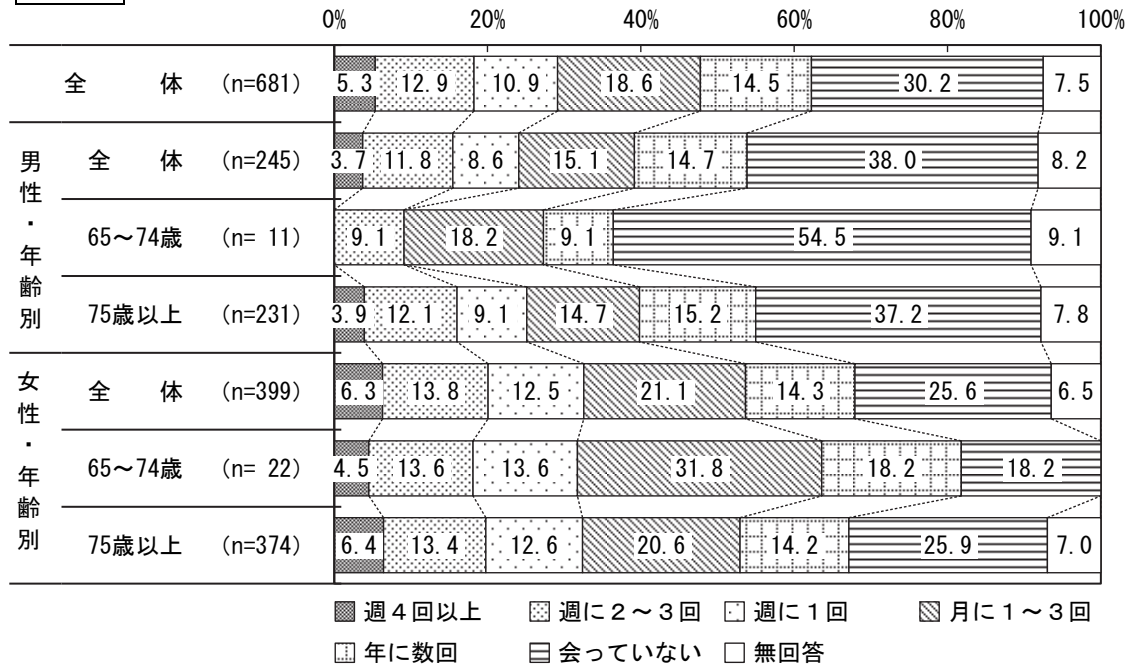
(4) 友人・知人とのつきあい

友人・知人とのつきあいについて、「週に1回」以上会っているのは、一般高齢者では45.1%、事業対象者では52.4%、介護保険サービスの無受給者では29.1%となっています。これを性別にみると、いずれにおいても男性に比べて女性が高くなっています。

図表4-50 友人・知人に会う頻度

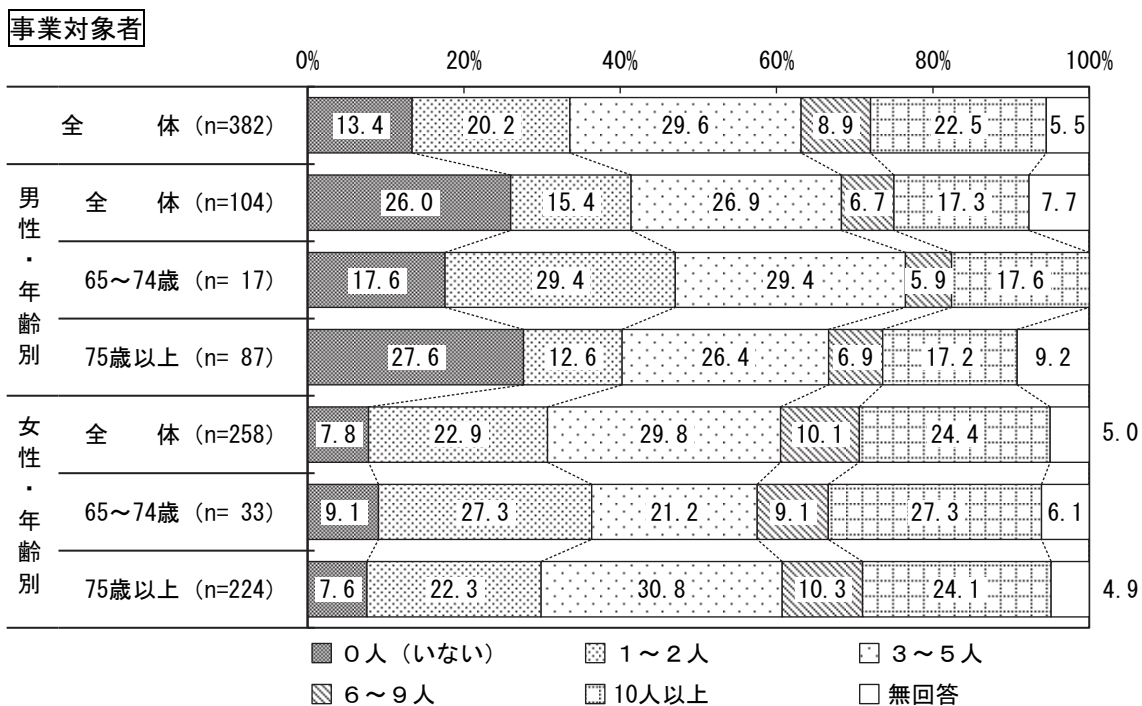
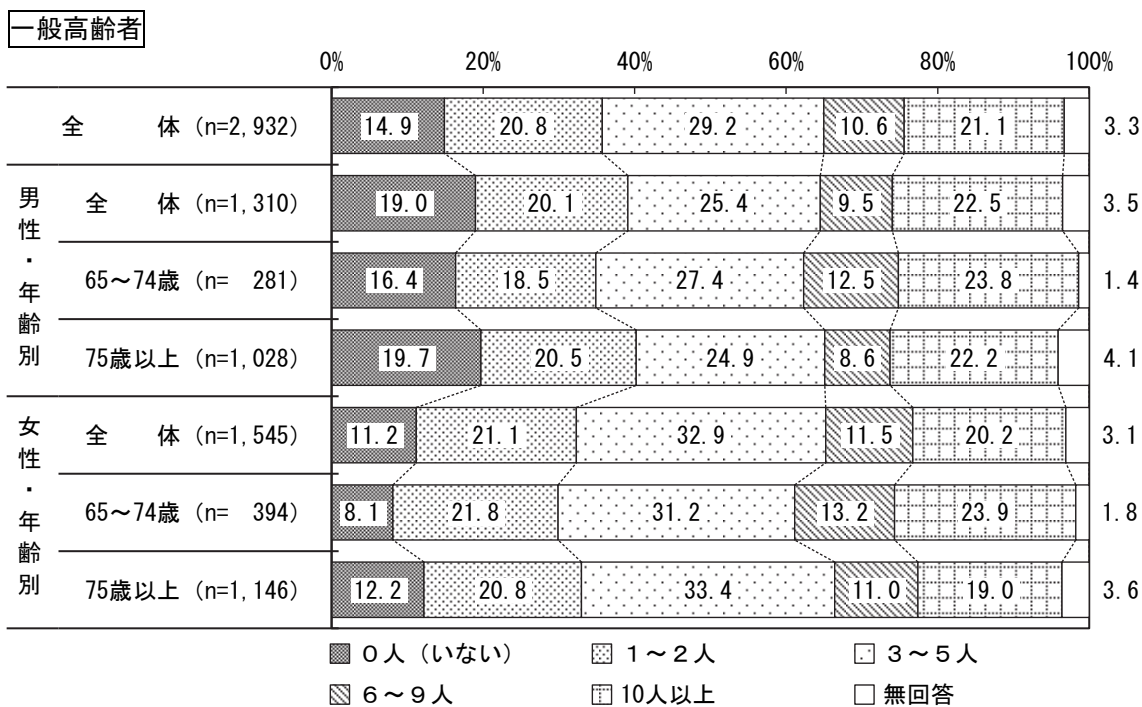


無受給者

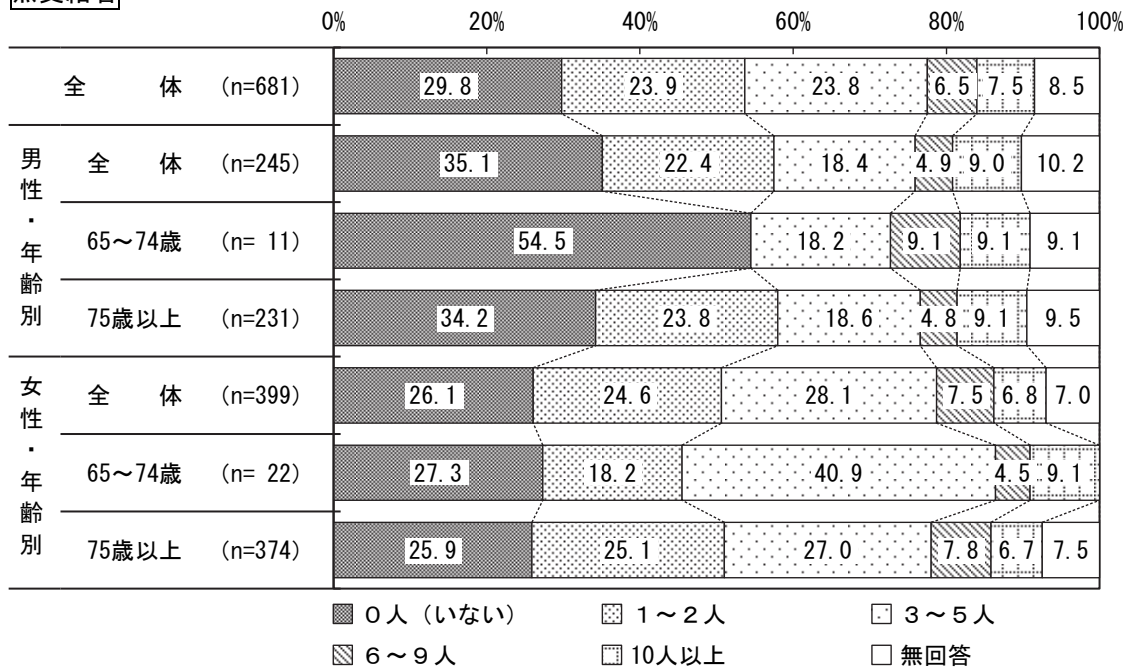


直近1か月に合った友人・知人の数について、「0人(いない)」は、一般高齢者では14.9%、事業対象者では13.4%、介護保険サービスの無受給者では29.8%となっています。これを性別にみると、いずれにおいても、女性に比べて男性が高くなっています。

図表4-51 直近1か月に合った友人・知人の数



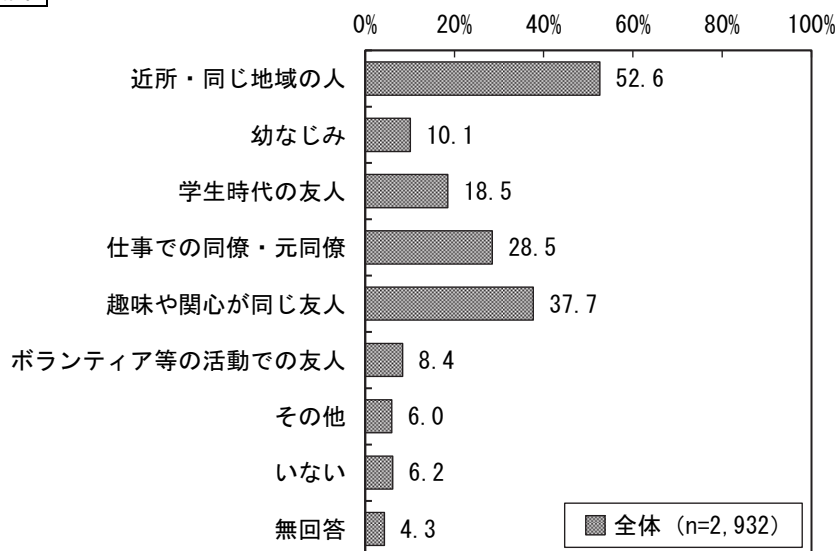
無受給者



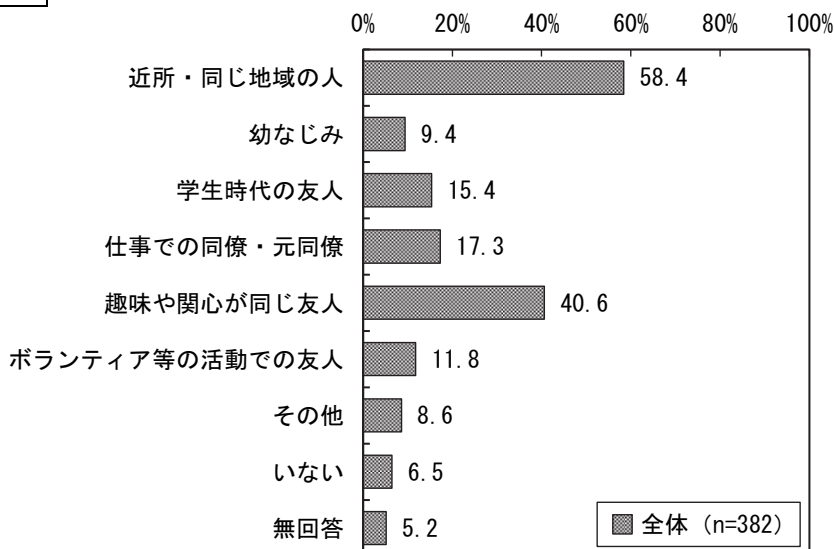
友人・知人との関係性については、一般高齢者、事業対象者、介護保険サービスの無受給者のいずれも、「近所・同じ地域の人」が最も高く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」、「仕事での同僚・元同僚」などとなっています。

図表 4-52 友人・知人との関係性（複数回答）

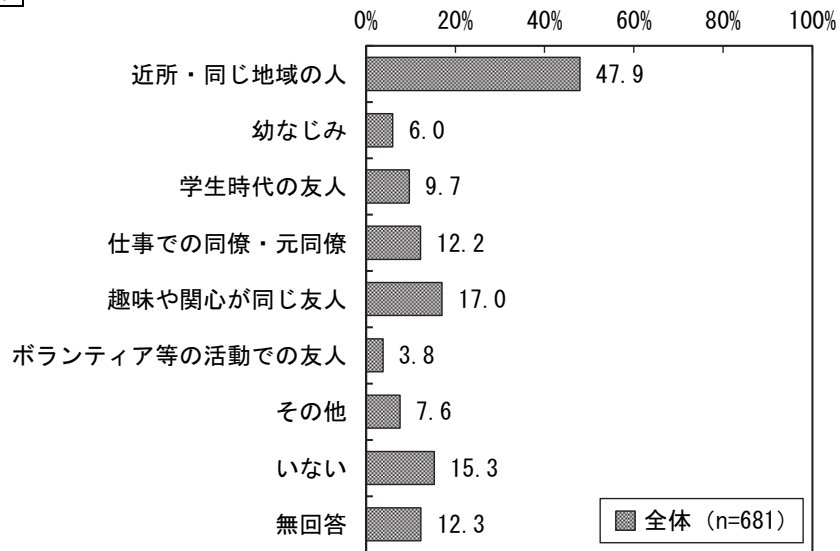
一般高齢者



事業対象者



無受給者



友人・知人との関係性について、調査対象者の性別にみると、いずれにおいても「近所・同じ地域の人」は男性に比べて女性が高くなっています。

図表 4-53 友人・知人との関係性（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	43.3	10.4	18.7	34.8	34.7	9.4	5.3	8.3	4.5
	65～74 歳 (n= 281)	40.2	14.9	23.1	44.8	37.7	10.7	6.4	5.7	2.1
	75 歳以上 (n=1,028)	44.2	9.1	17.5	32.1	33.8	9.0	5.1	9.0	5.2
女 性	全 体 (n=1,545)	60.5	10.1	18.7	23.6	40.1	7.6	6.7	4.3	3.9
	65～74 歳 (n= 394)	59.9	11.9	21.6	32.5	38.6	9.4	5.8	3.3	2.8
	75 歳以上 (n=1,146)	60.7	9.5	17.8	20.5	40.8	7.1	7.0	4.6	4.3

事業対象者

(単位：%)

区 分		近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
男 性	全 体 (n=104)	47.1	8.7	12.5	20.2	27.9	12.5	4.8	12.5	8.7
	65～74 歳 (n= 17)	35.3	11.8	17.6	47.1	29.4	5.9	-	11.8	-
	75 歳以上 (n= 87)	49.4	8.0	11.5	14.9	27.6	13.8	5.7	12.6	10.3
女 性	全 体 (n=258)	63.2	9.7	15.9	16.7	45.3	11.6	10.9	3.5	3.9
	65～74 歳 (n= 33)	57.6	9.1	21.2	30.3	48.5	24.2	6.1	6.1	-
	75 歳以上 (n=224)	64.3	9.4	14.7	14.7	44.6	9.8	11.6	3.1	4.5

無受給者

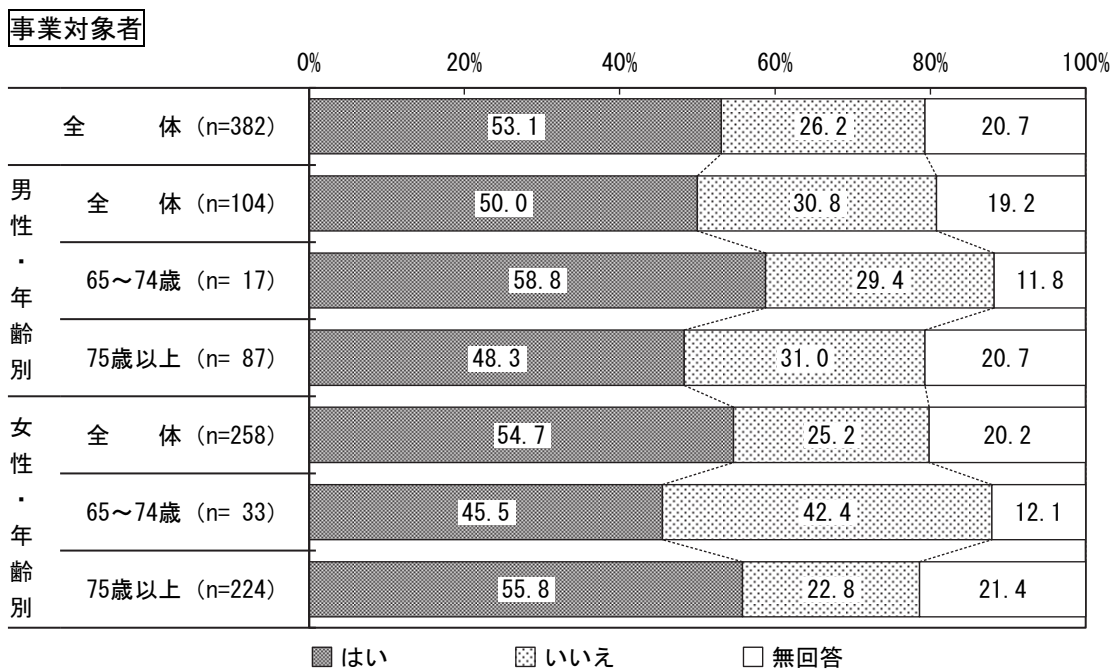
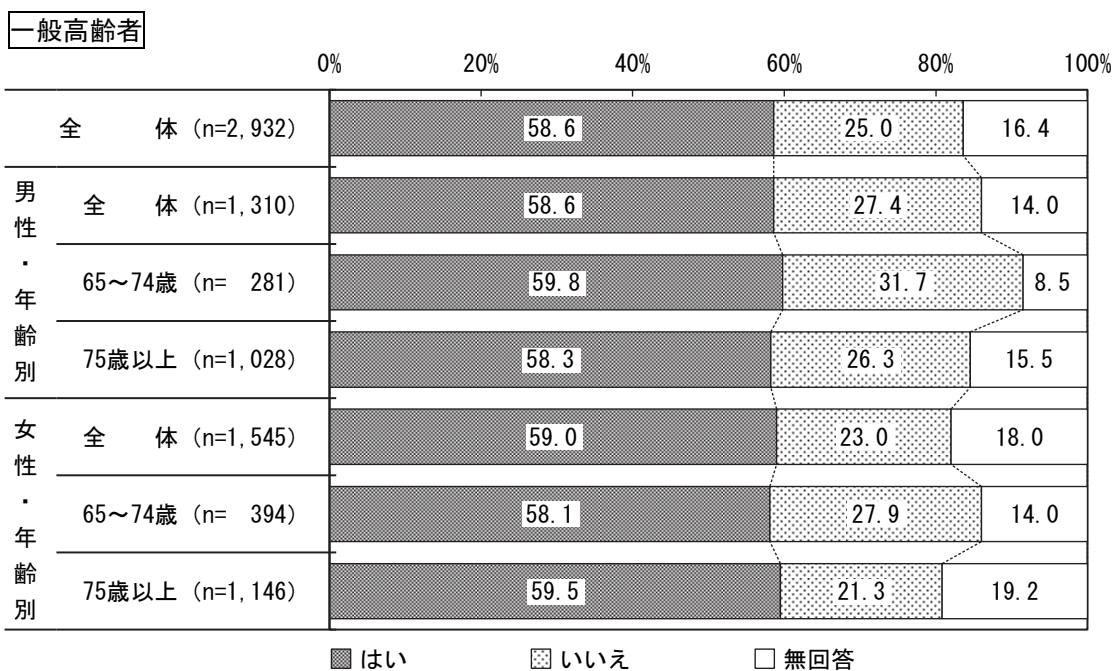
(単位：%)

区 分		近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
男 性	全 体 (n=245)	38.8	4.5	10.2	14.3	15.5	4.1	5.7	19.2	16.7
	65～74 歳 (n= 11)	27.3	-	9.1	18.2	27.3	-	-	36.4	18.2
	75 歳以上 (n=231)	39.8	4.8	10.4	14.3	15.2	4.3	5.6	18.2	16.5
女 性	全 体 (n=399)	54.1	7.0	9.5	11.0	17.5	4.0	8.3	13.3	9.0
	65～74 歳 (n= 22)	54.5	9.1	13.6	31.8	27.3	4.5	13.6	4.5	-
	75 歳以上 (n=374)	54.0	7.0	9.1	9.9	17.1	4.0	8.0	13.9	9.6

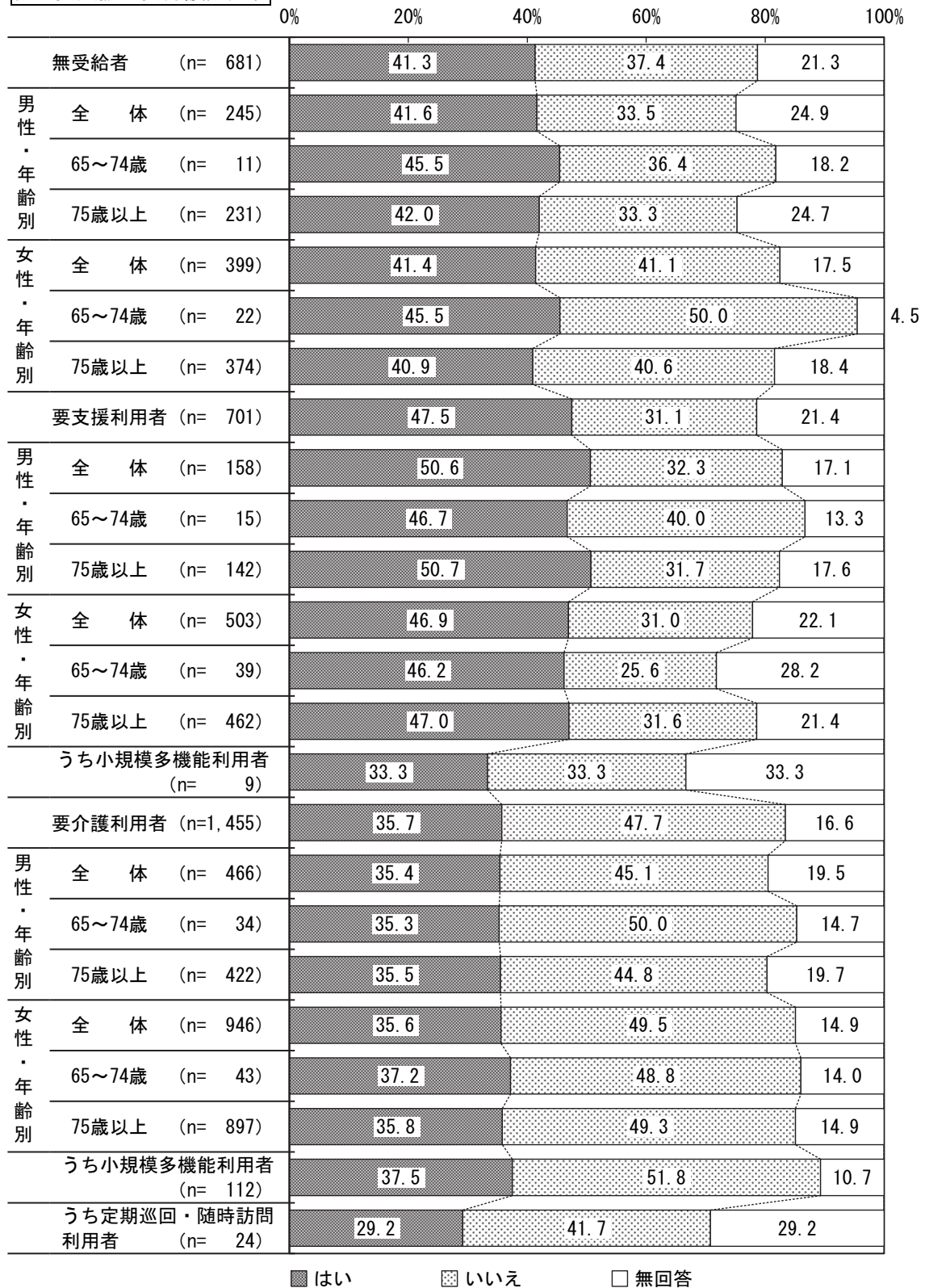
(5) 生きがい

「生きがいはありますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では58.6%、事業対象者では53.1%、介護保険サービスの無受給者では41.3%、要支援利用者では47.5%、要介護利用者では35.7%となっています。これを性別にみても、あまり差異はありません。

図表4-54 生きがいはあるか



在宅要支援・要介護認定者

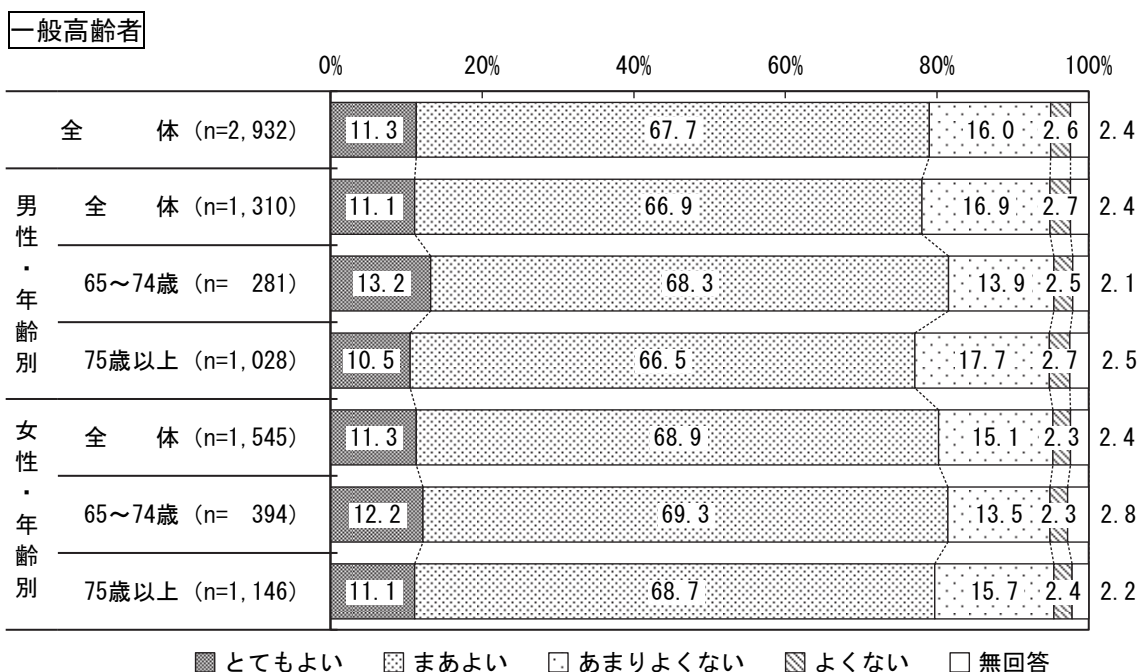


6 健康について

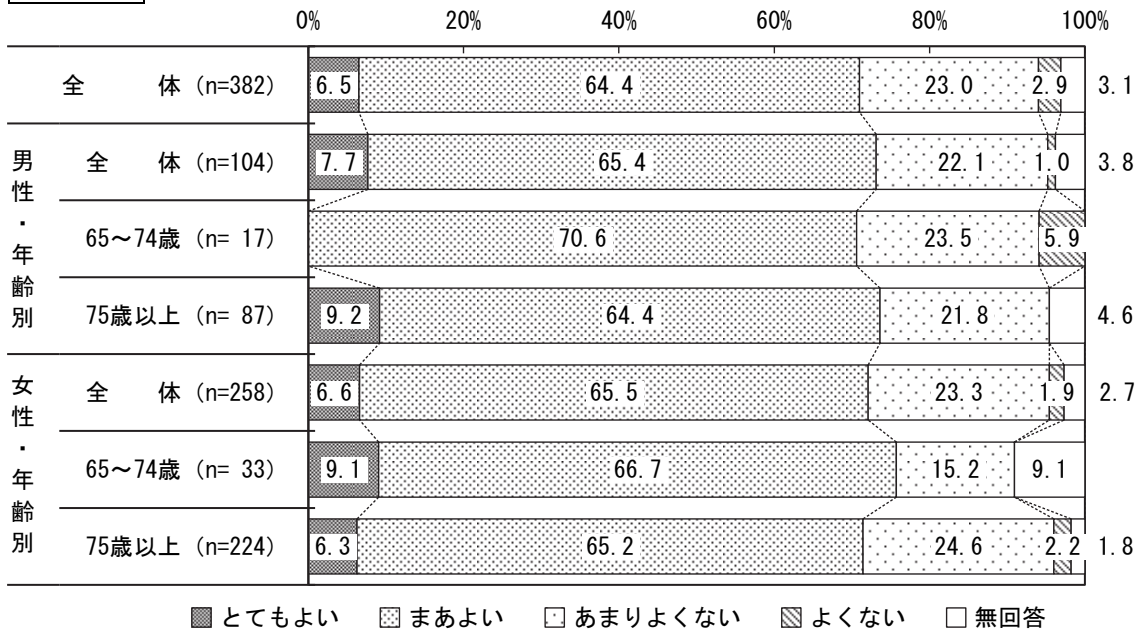
(1) 健康状態

健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」を合わせると、一般高齢者では79.0%、事業対象者では70.9%、介護保険サービスの無受給者では52.7%、要支援利用者では46.5%という順で低くなっています。これを性別にみると、要支援利用者では、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

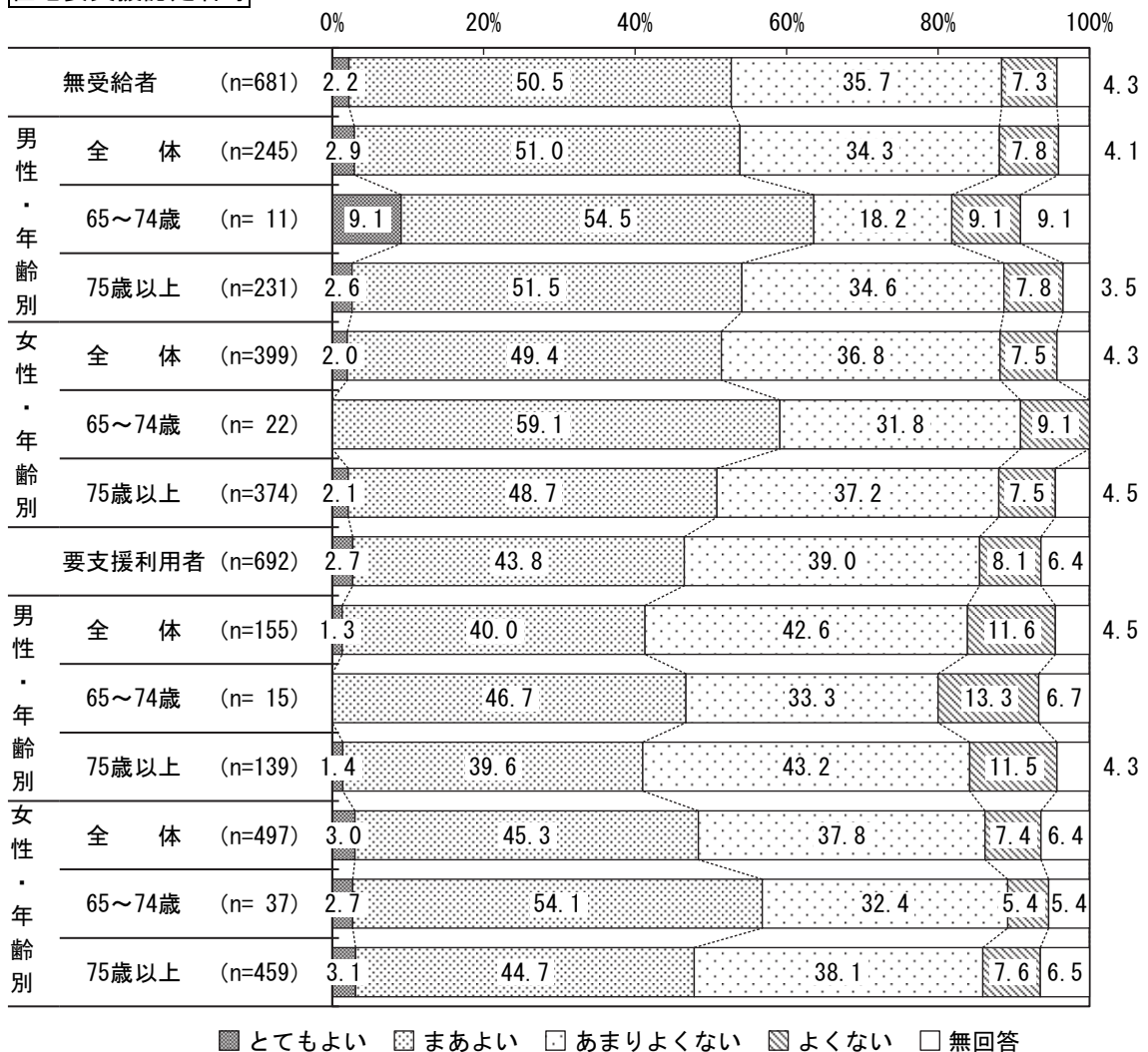
図表4-55 健康状態



事業対象者

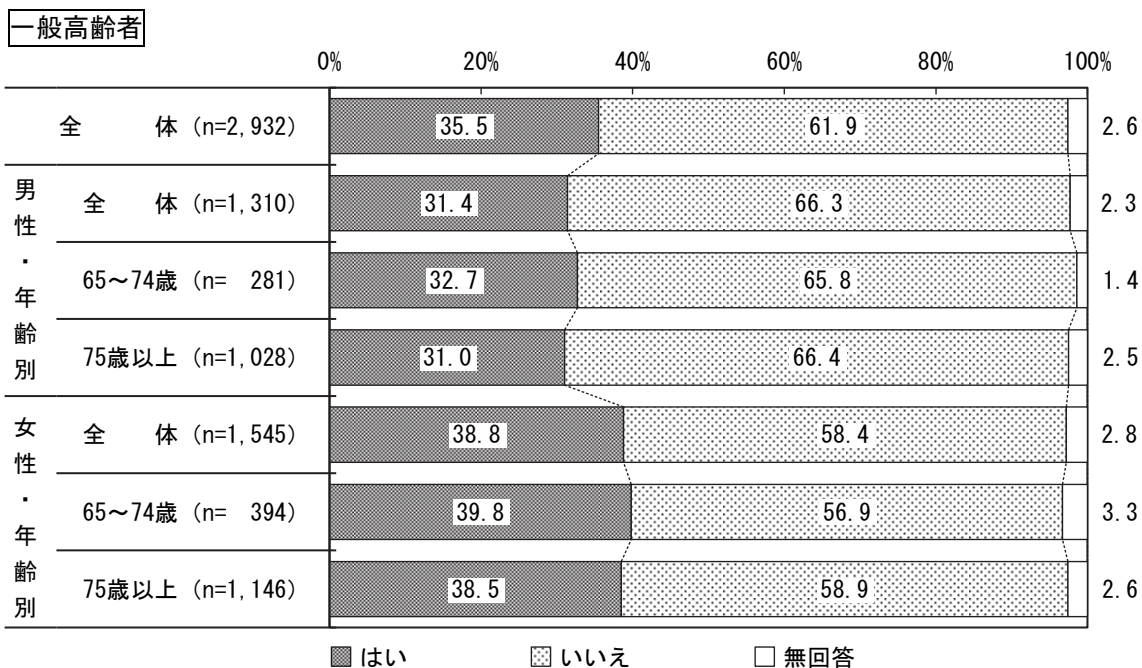


在宅要支援認定者等

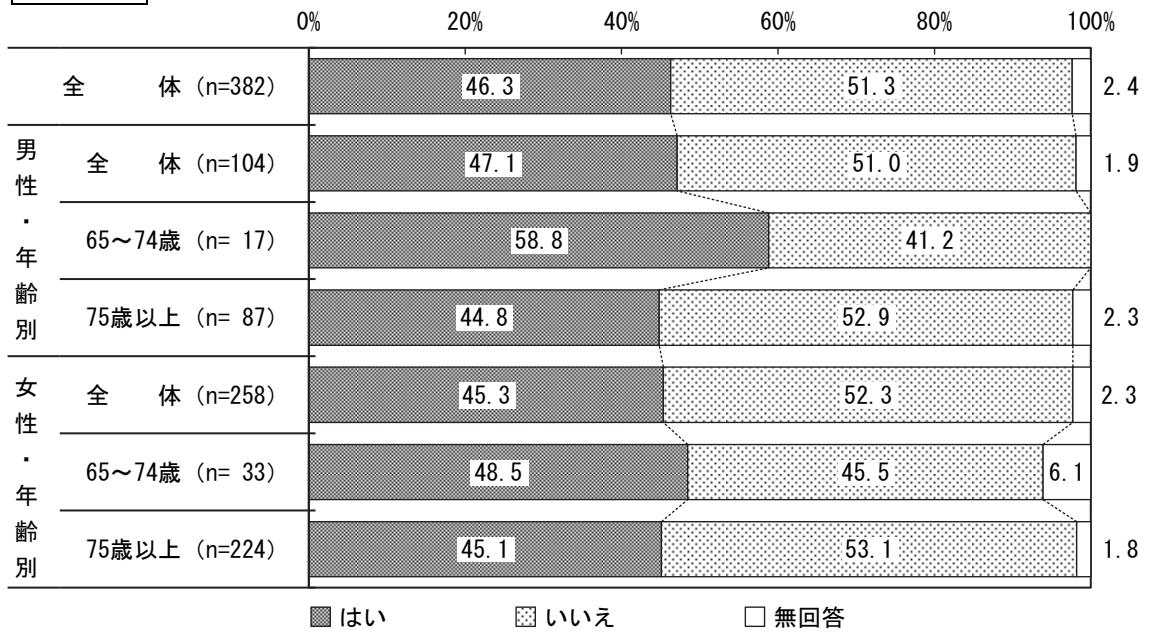


「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では35.5%、事業対象者では46.3%、介護保険サービスの無受給者では50.8%、要支援利用者では50.4%となっています。これを性別にみると、一般高齢者では男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

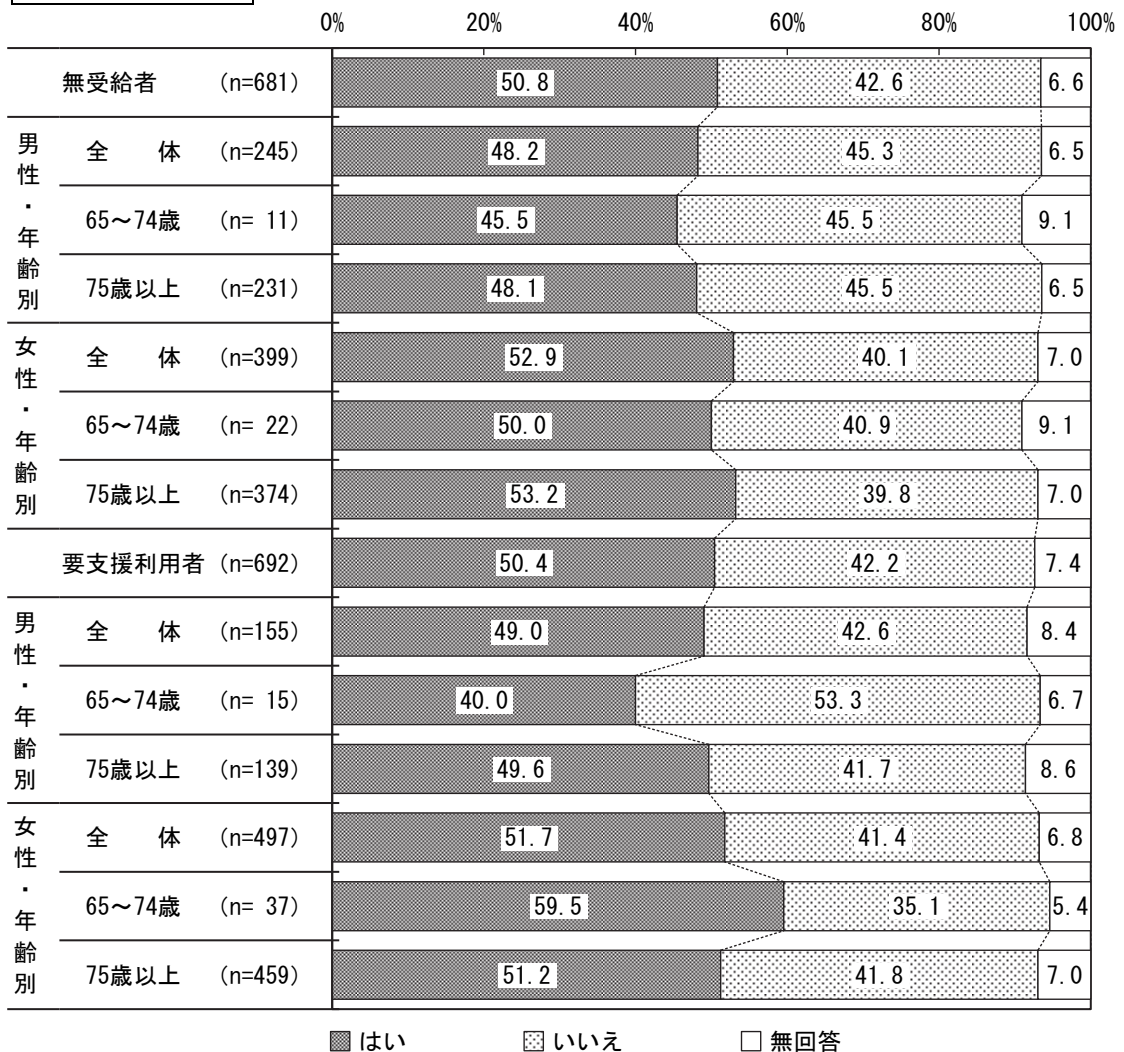
図表4-56 直近1カ月で憂鬱になったことなどあるか



事業対象者

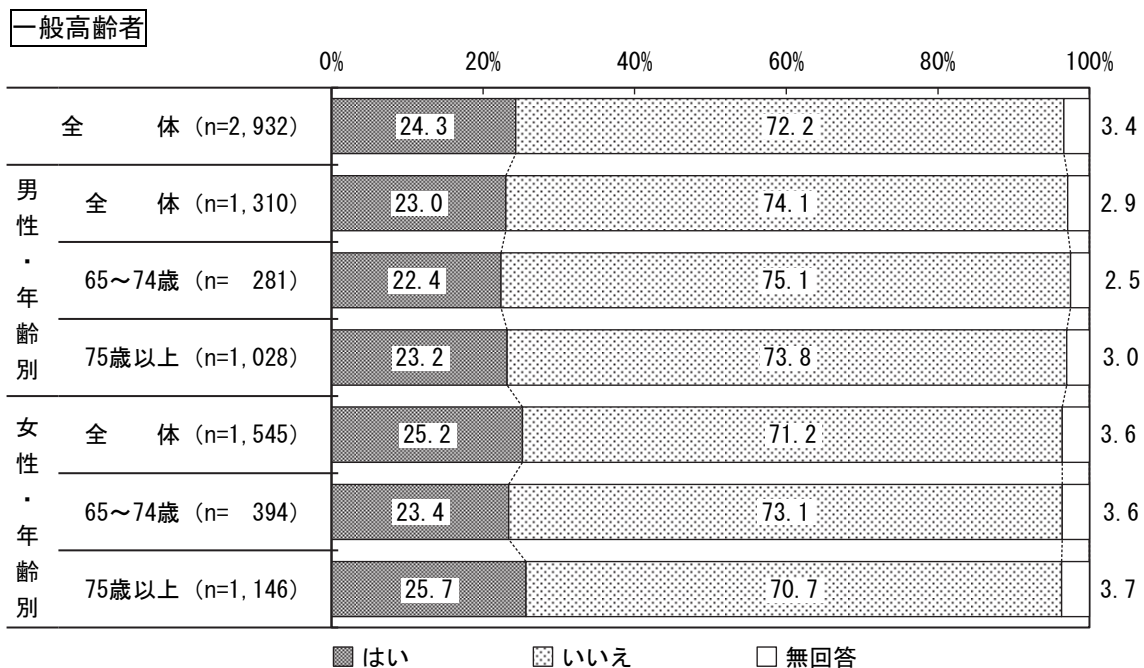


在宅要支援認定者等

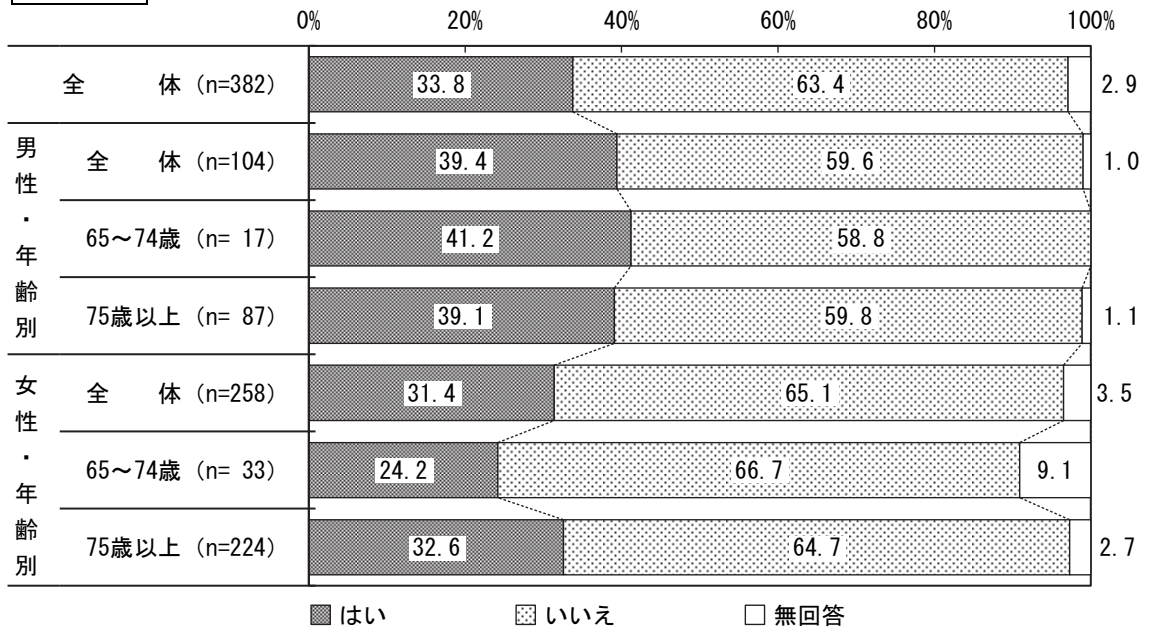


「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では24.3%、事業対象者では33.8%、介護保険サービスの無受給者では41.4%、要支援利用者では38.3%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

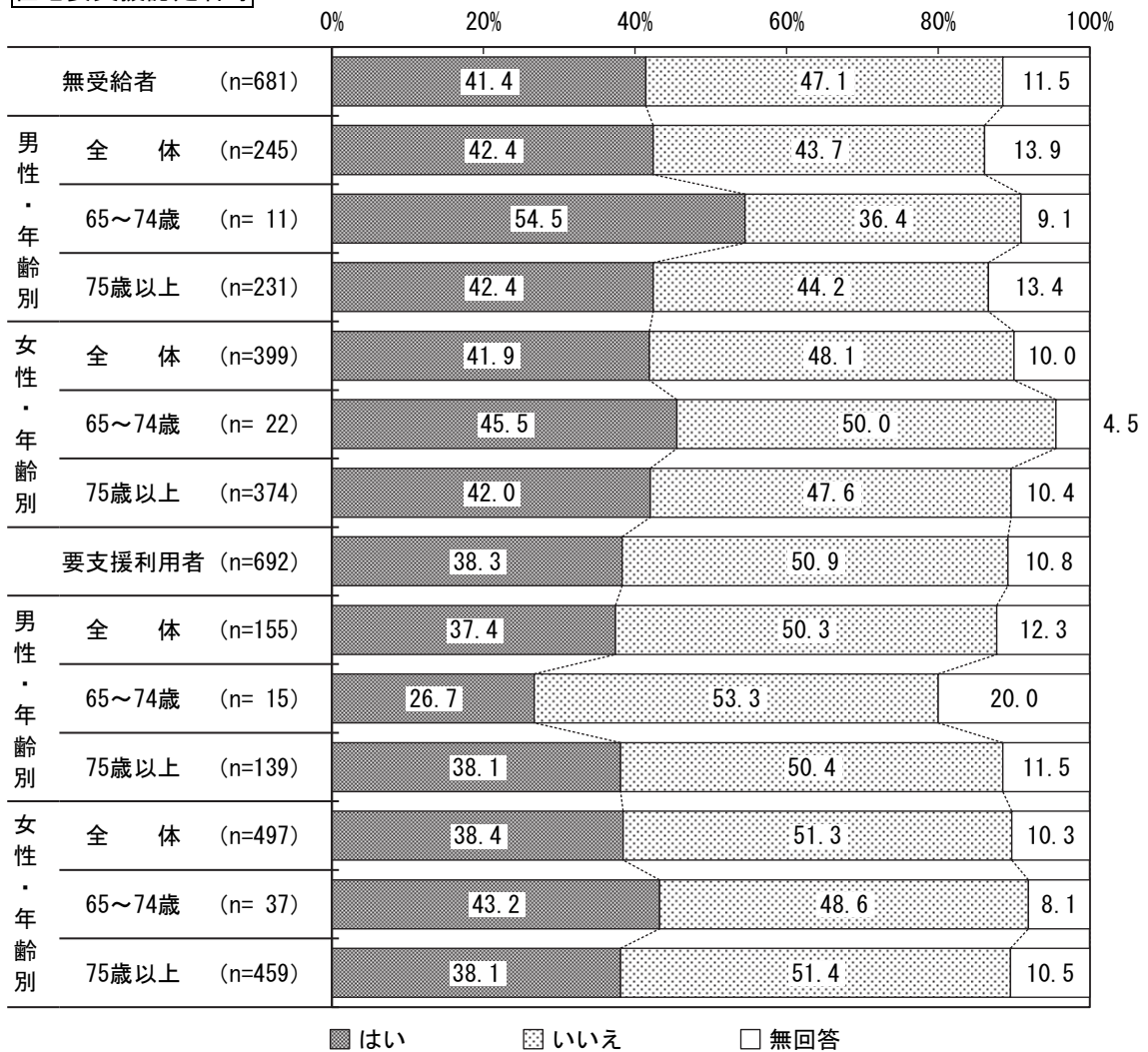
図表4-57 直近1カ月で興味がわかなかったことなどあるか



事業対象者



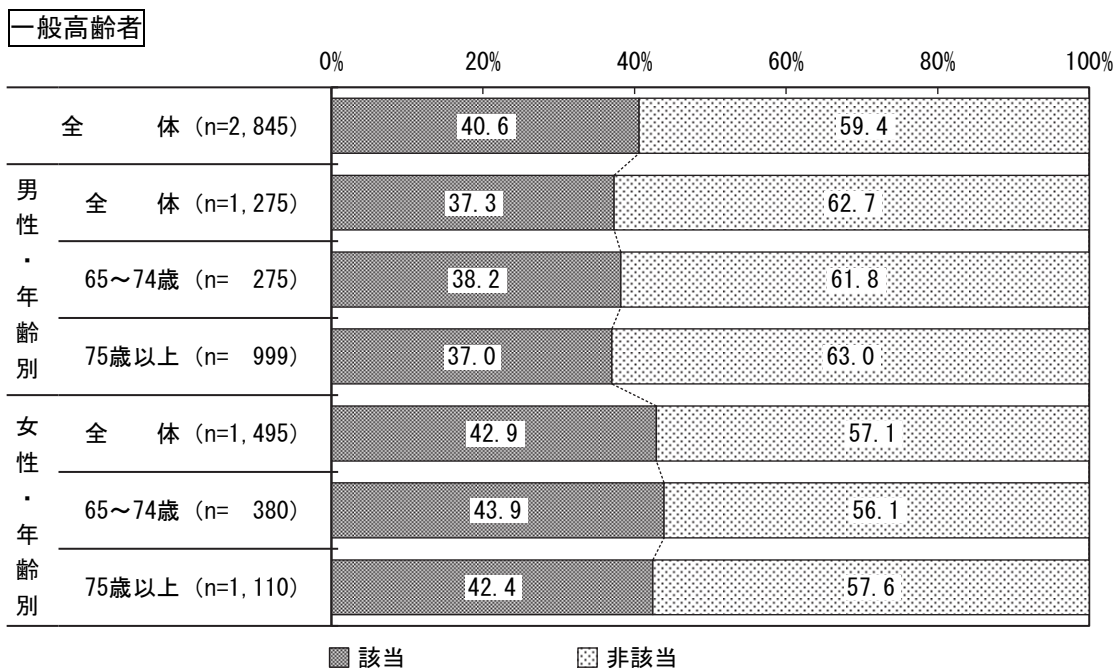
在宅要支援認定者等



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、これら2つの設問のいずれか1つに「はい」と回答した一般高齢者は、うつ傾向者とされています。

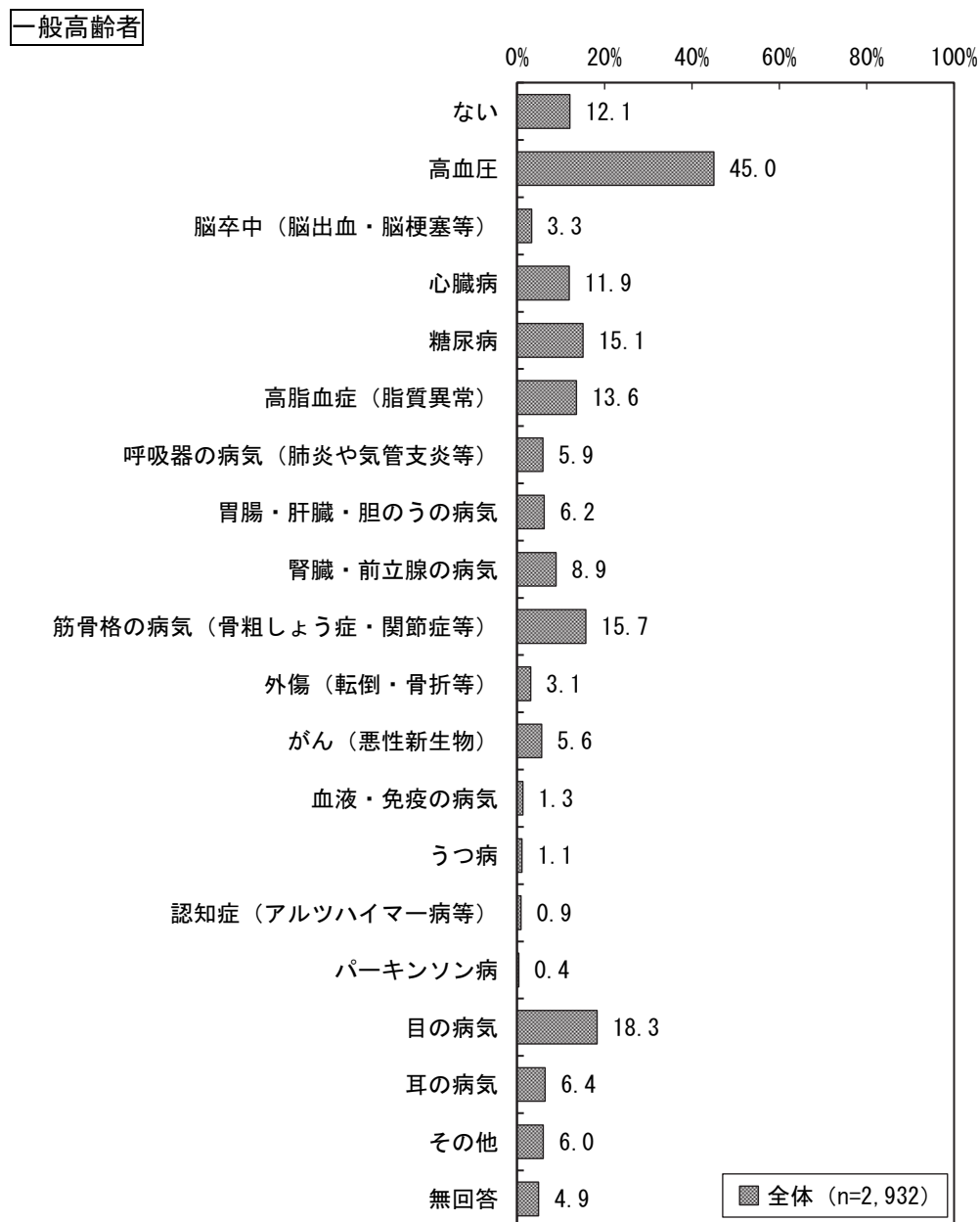
一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占めるうつ傾向者をみると、40.6%が該当しています。これを性別にみると、男性に比べて女性が高くなっています。

図表4-58 うつ傾向者

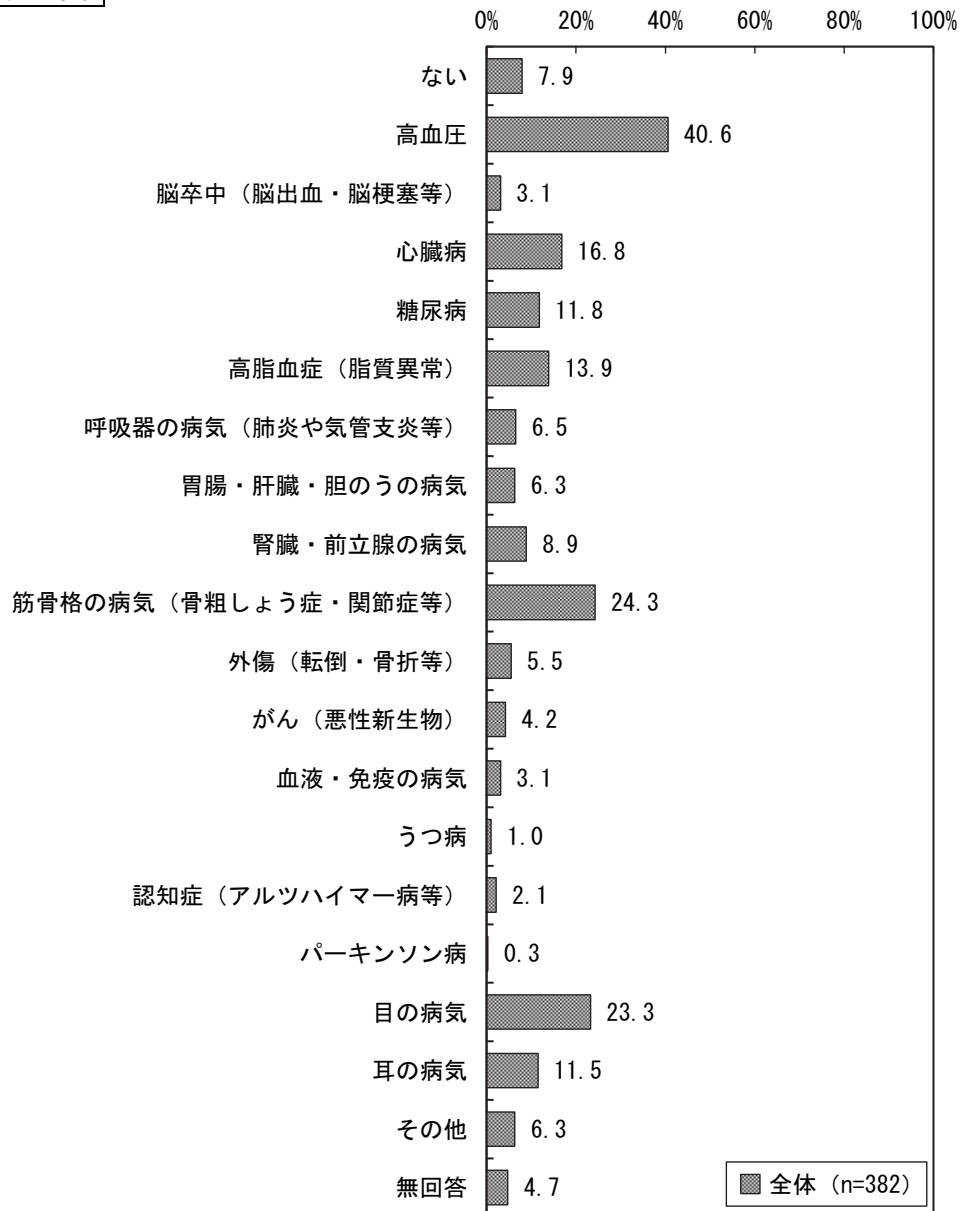


治療中または後遺症のある病気があるかたずねたところ、「ない」は、一般高齢者では12.1%、事業対象者では7.9%、介護保険サービスの無受給者では3.5%、要支援利用者では3.2%と低くなっています。治療中または後遺症のある病気としては、いずれにおいても「高血圧」が最も高く、次いで、「目の病気」や骨粗しょう症・関節症等の「筋骨格の病気」が比較的高くなっています。

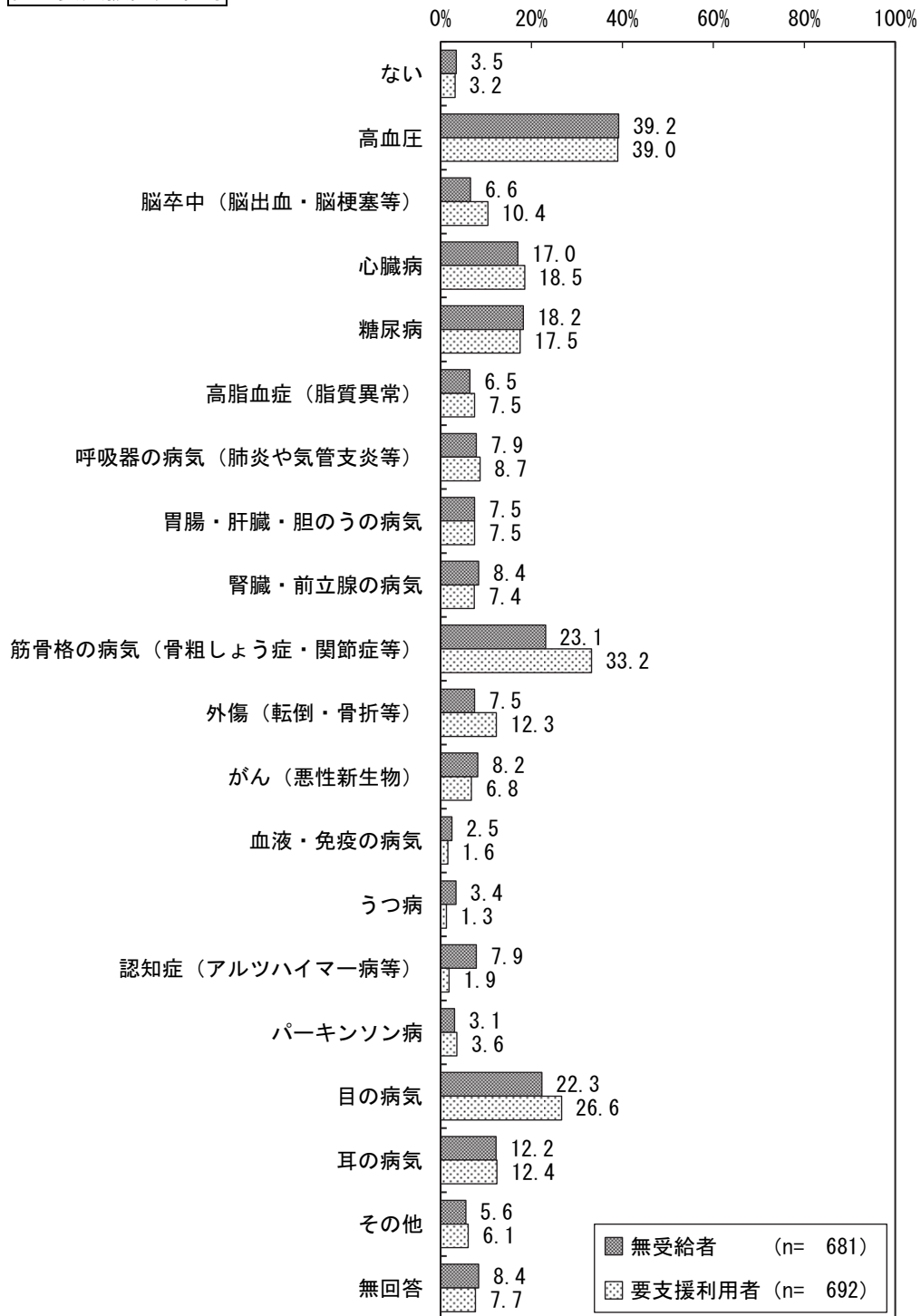
図表 4-59 治療中または後遺症のある病気（複数回答）



事業対象者

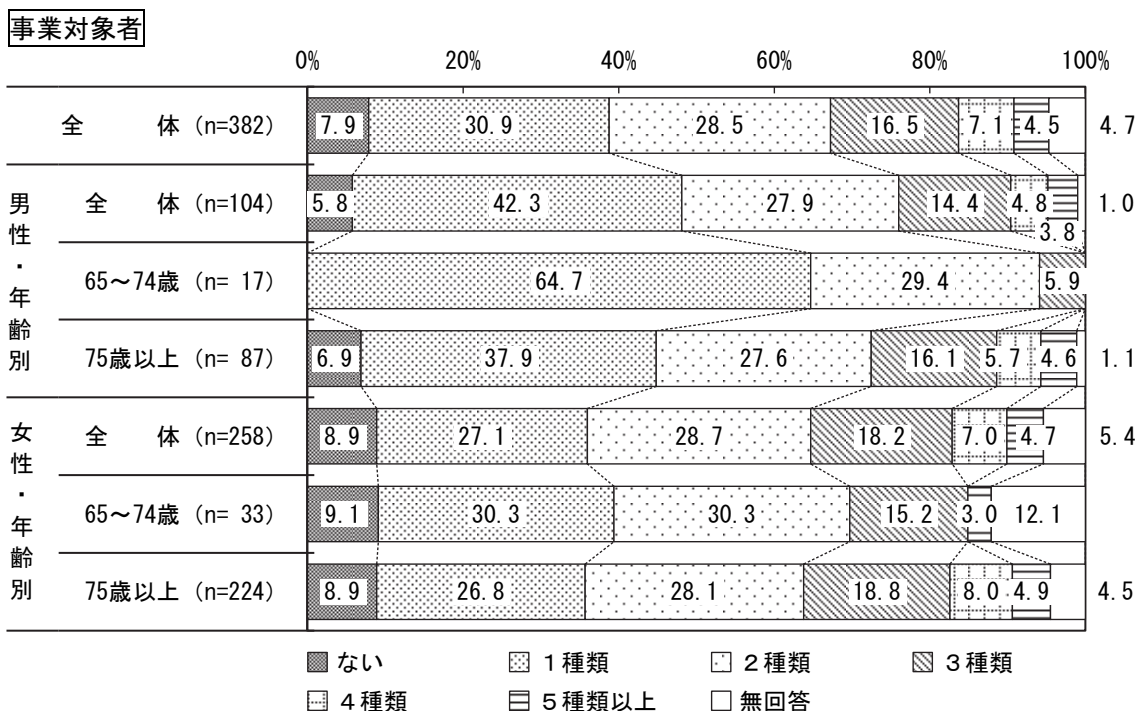
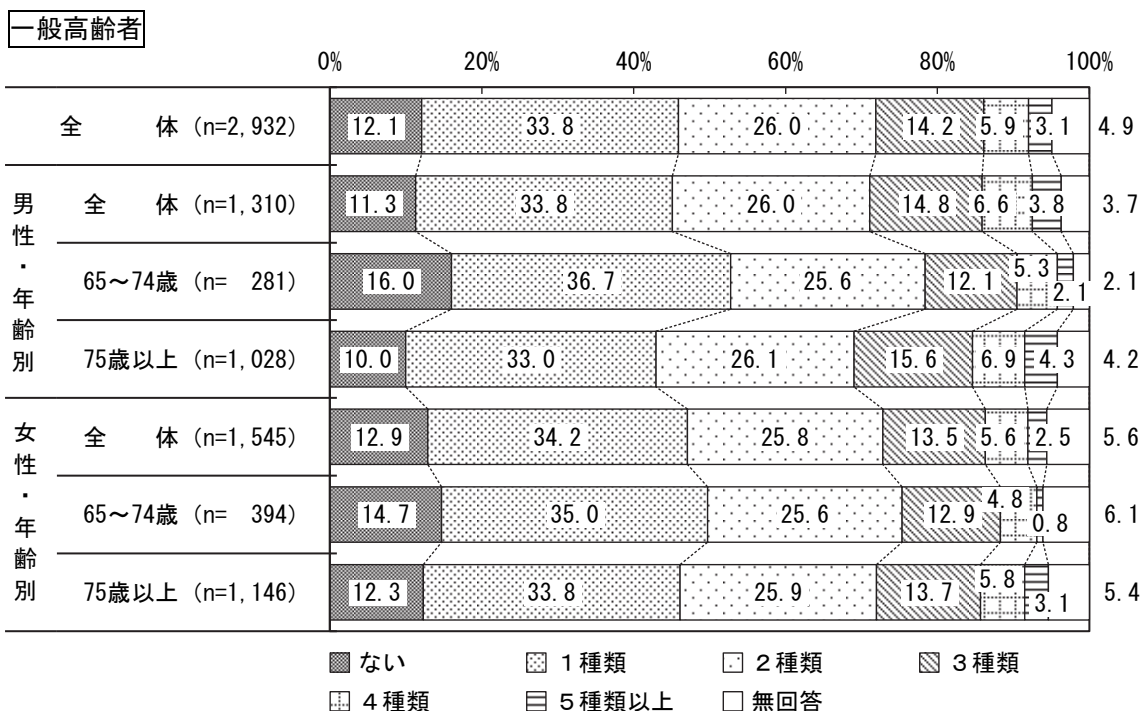


在宅要支援認定者等

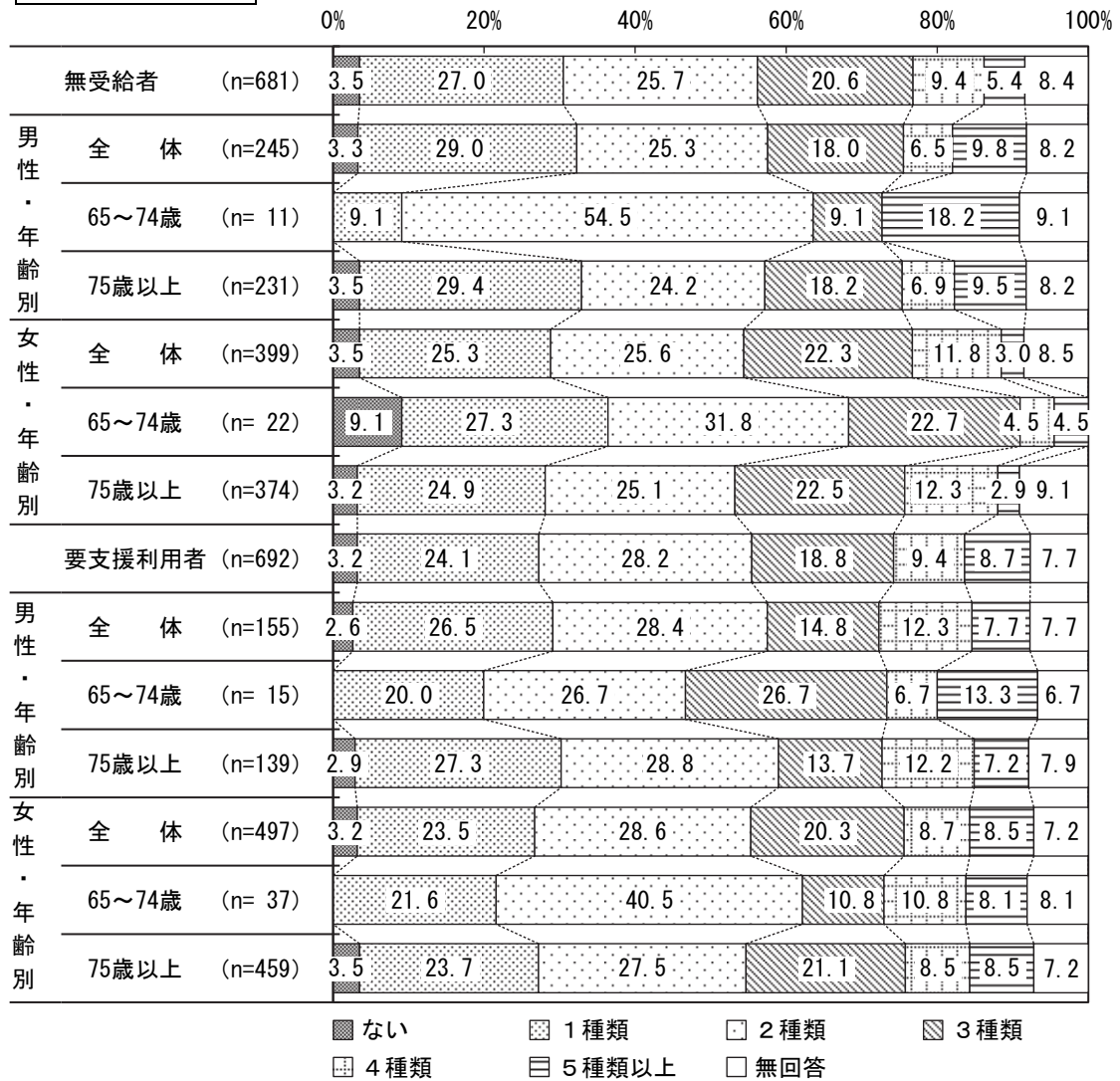


治療中または後遺症のある病気の種類について、「2種類」以上は、一般高齢者では49.2%、事業対象者では56.6%、介護保険サービスの無受給者では61.1%、要支援利用者では65.1%という順で高くなっています。これを性別にみると、事業対象者では男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-60 治療中または後遺症のある病気の種類

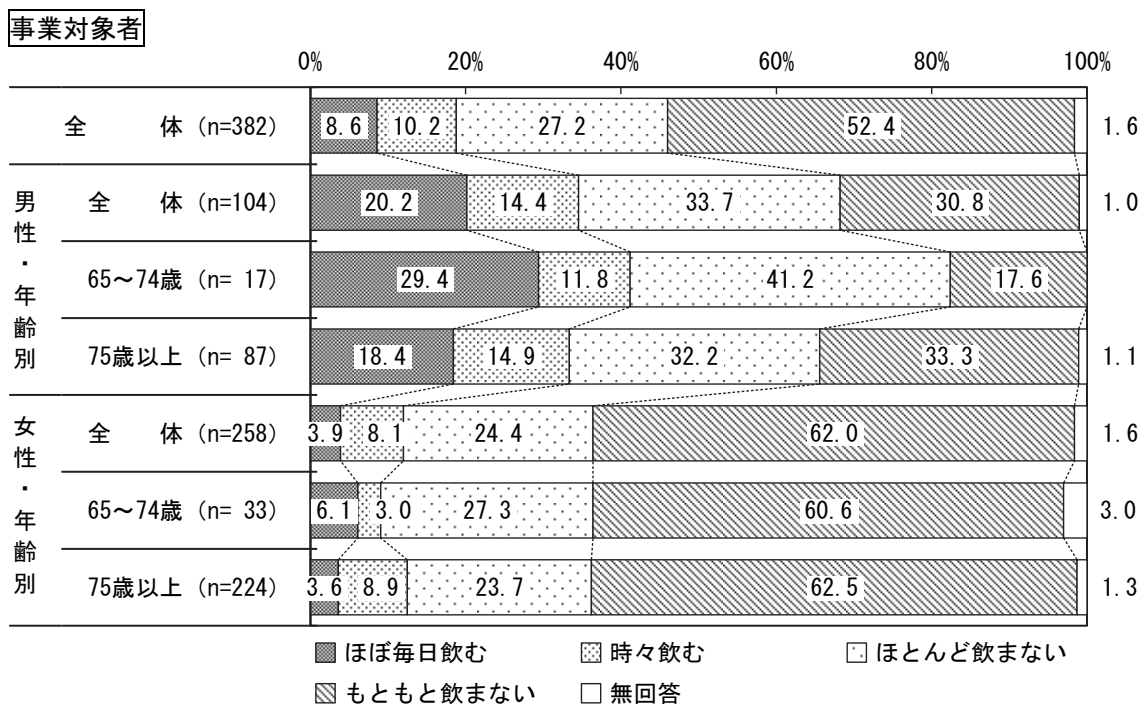
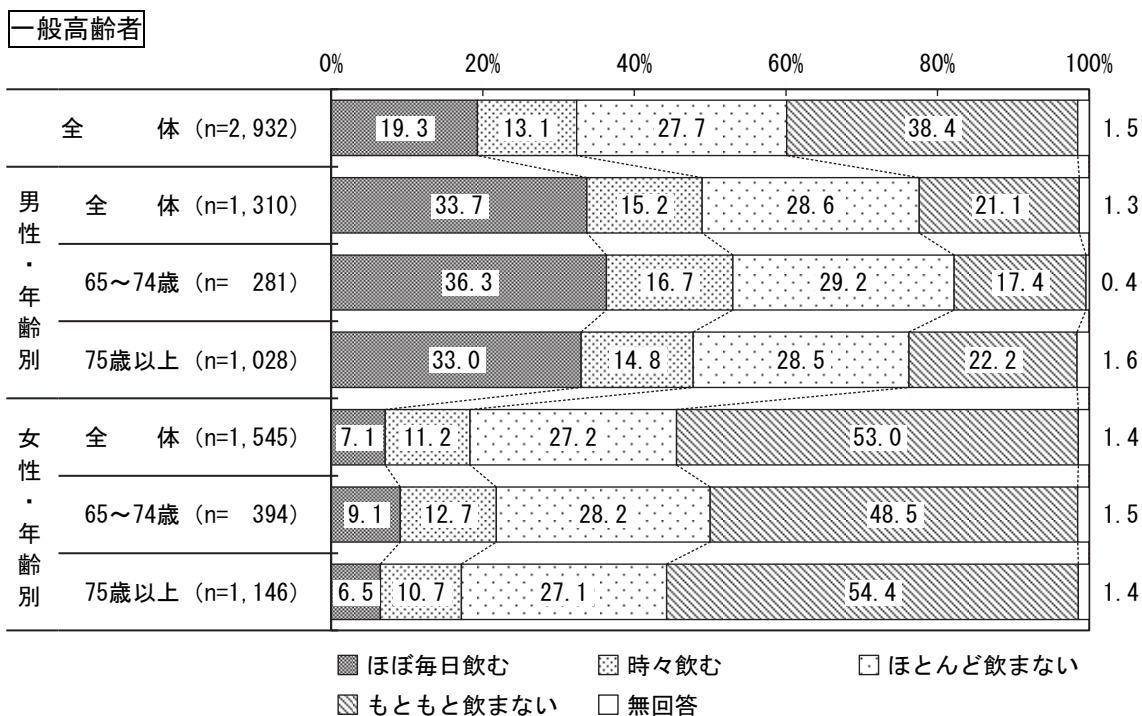


在宅要支援認定者等



お酒を飲むかたずねたところ、「ほぼ毎日飲む」は、一般高齢者では19.3%、事業対象者では8.6%、介護保険サービスの無受給者では9.1%、要支援利用者では6.4%となっています。これを性別にみると、いずれにおいても、女性に比べて男性が顕著に高くなっており、一般高齢者の男性は30%を超えています。

図表4-61 お酒を飲むか

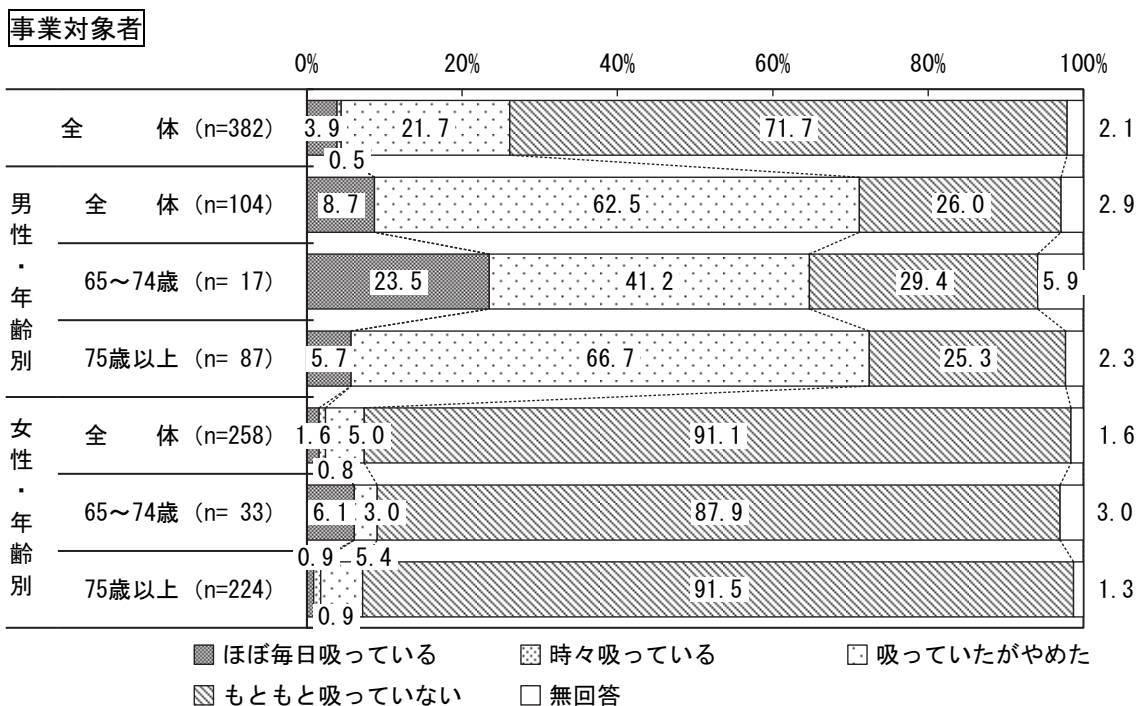
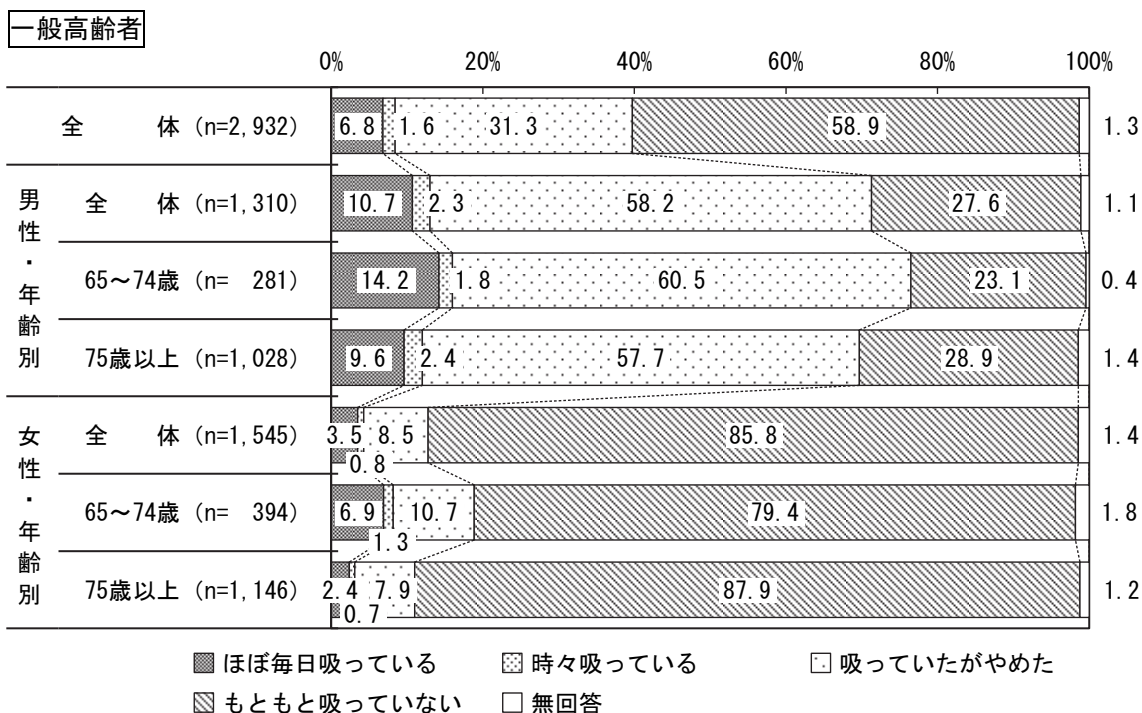


在宅要支援認定者等

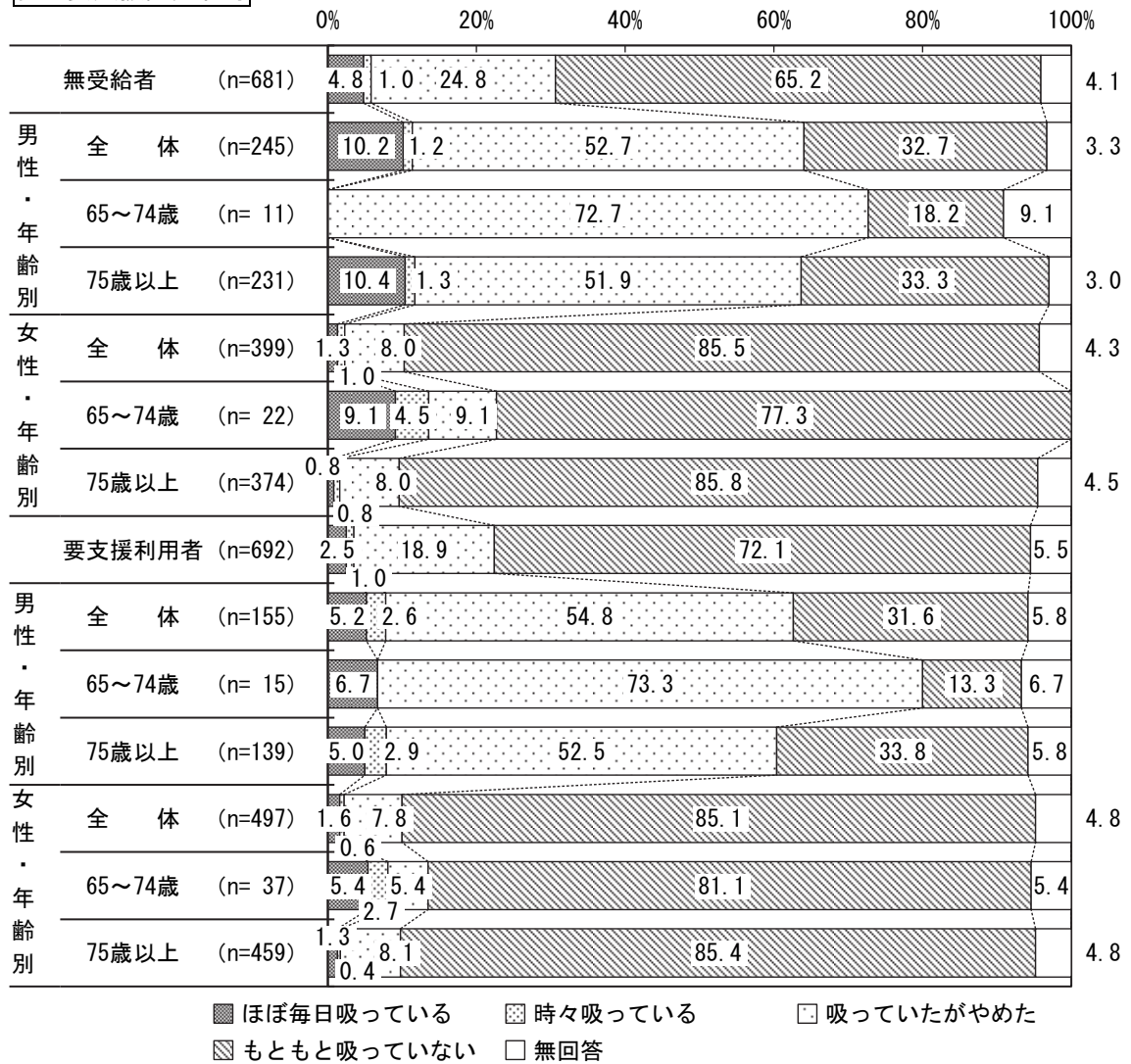


たばこを吸うかたずねたところ、「ほぼ毎日吸っている」は、一般高齢者では6.8%、事業対象者では3.9%、介護保険サービスの無受給者では4.8%、要支援利用者では2.5%と低くなっています。これを性別にみると、いずれにおいても、女性に比べて男性が高くなっています。

図表4-62 たばこを吸うか



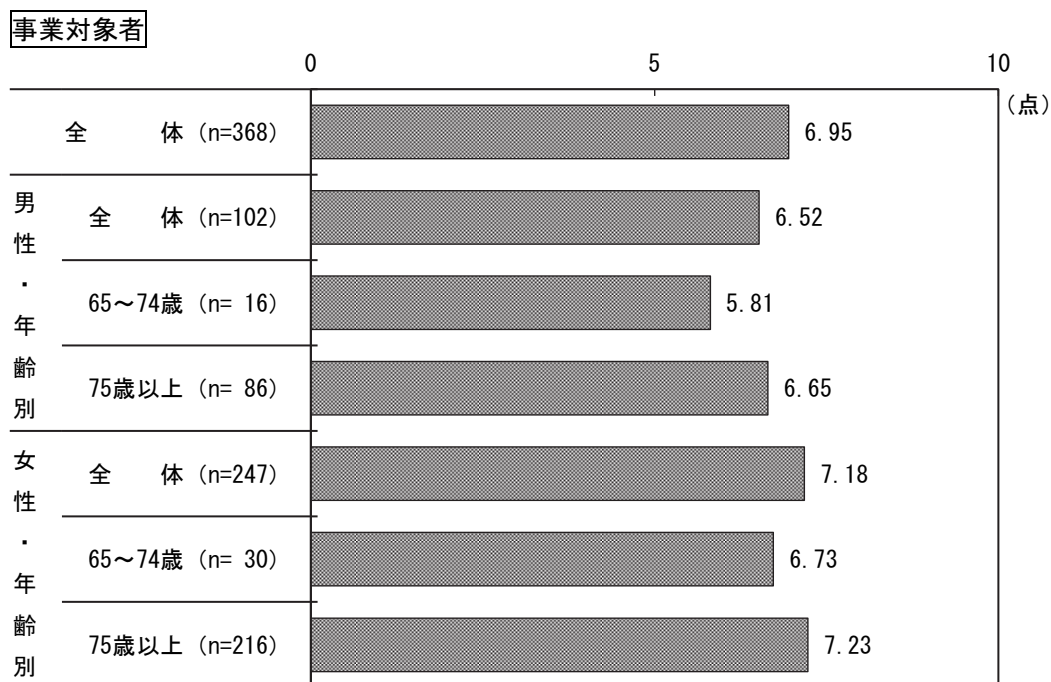
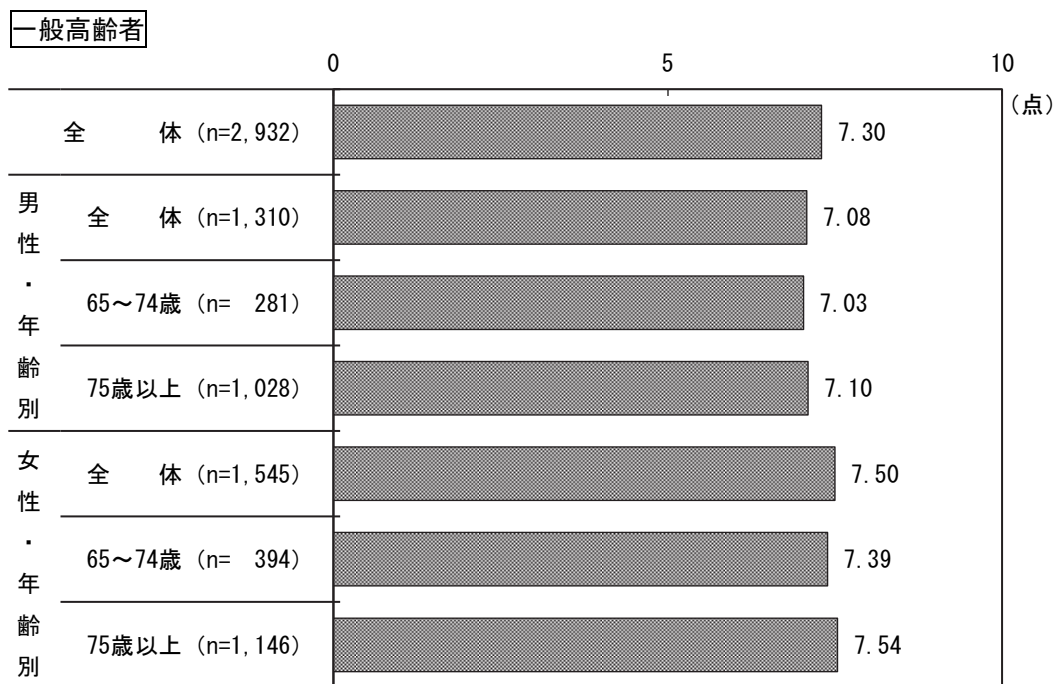
在宅要支援認定者等



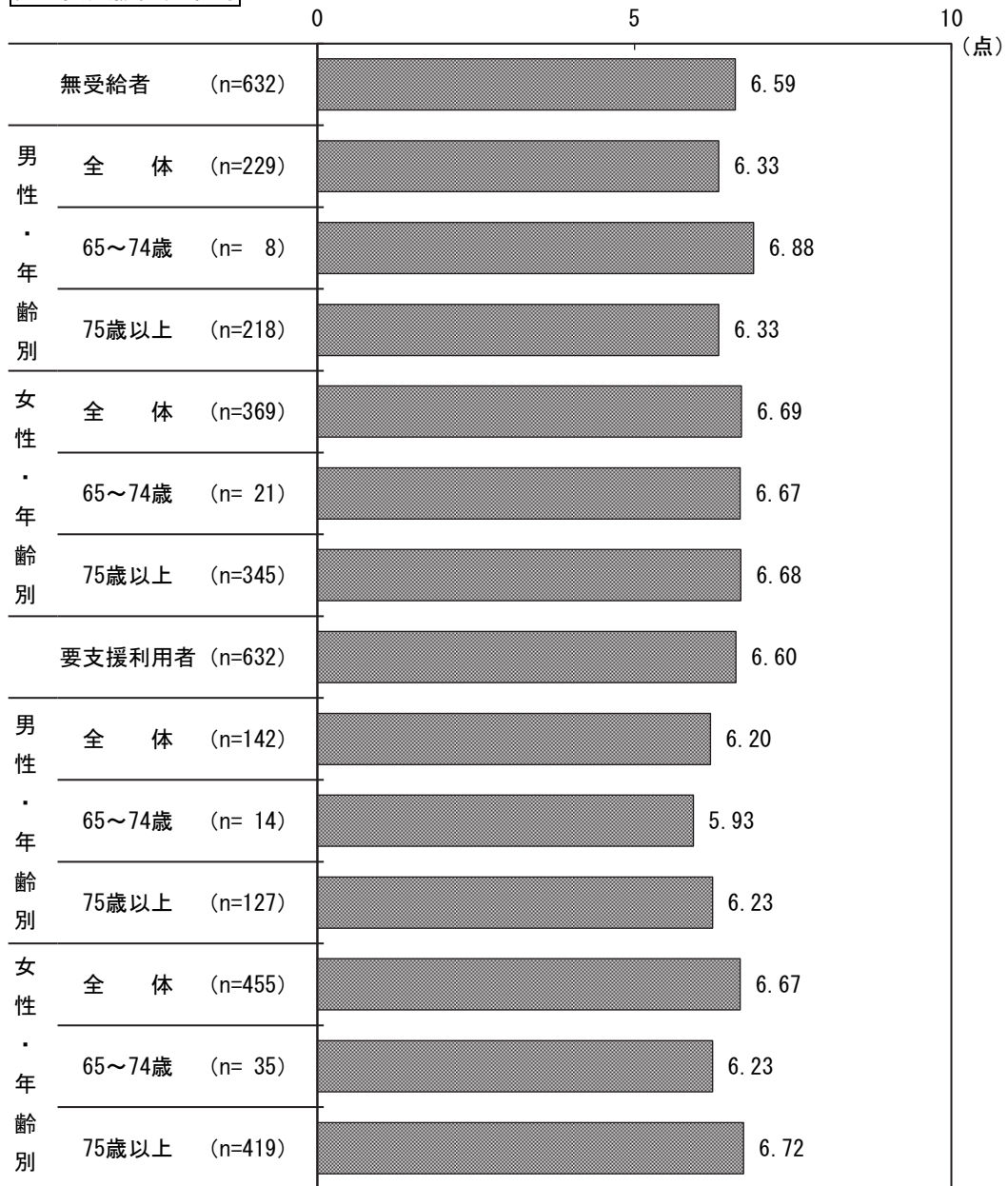
(2) 幸福感

どの程度幸せか、「0」（とても不幸）から「10」（とても幸せ）までの点数で表してもらい、平均値を求めた結果が図表4-63となります。一般高齢者では7.30点、事業対象者では6.95点、介護保険サービスの無受給者では6.59点、要支援利用者では6.60点となっています。これを性別にみると、事業対象者では、男性に比べて女性が低くなっています。

図表4-63 幸福感



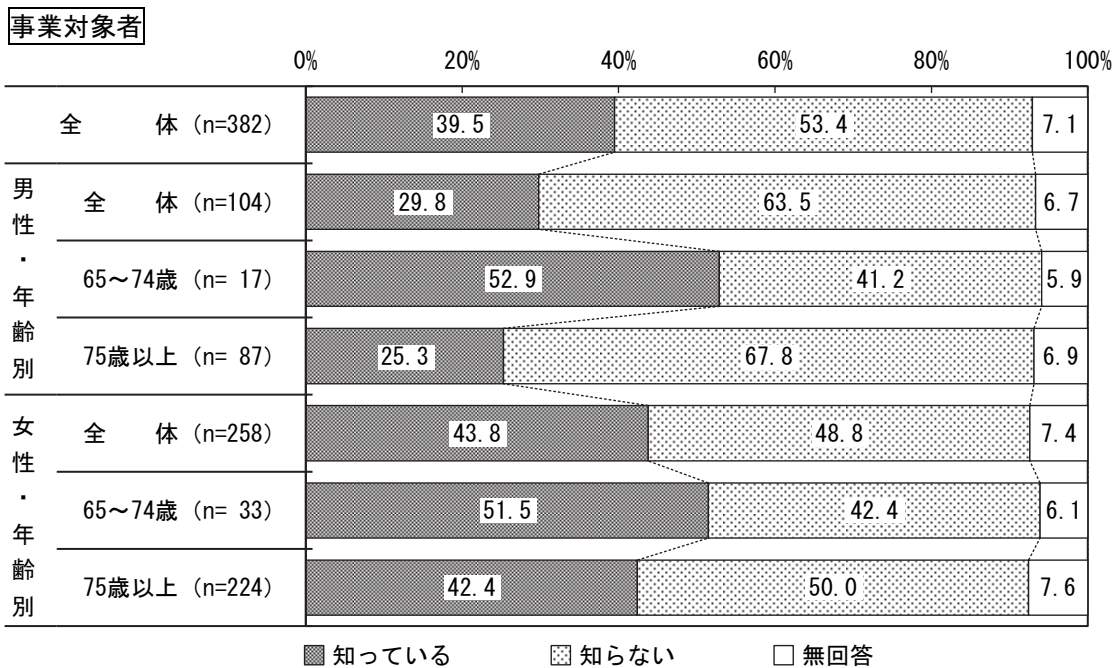
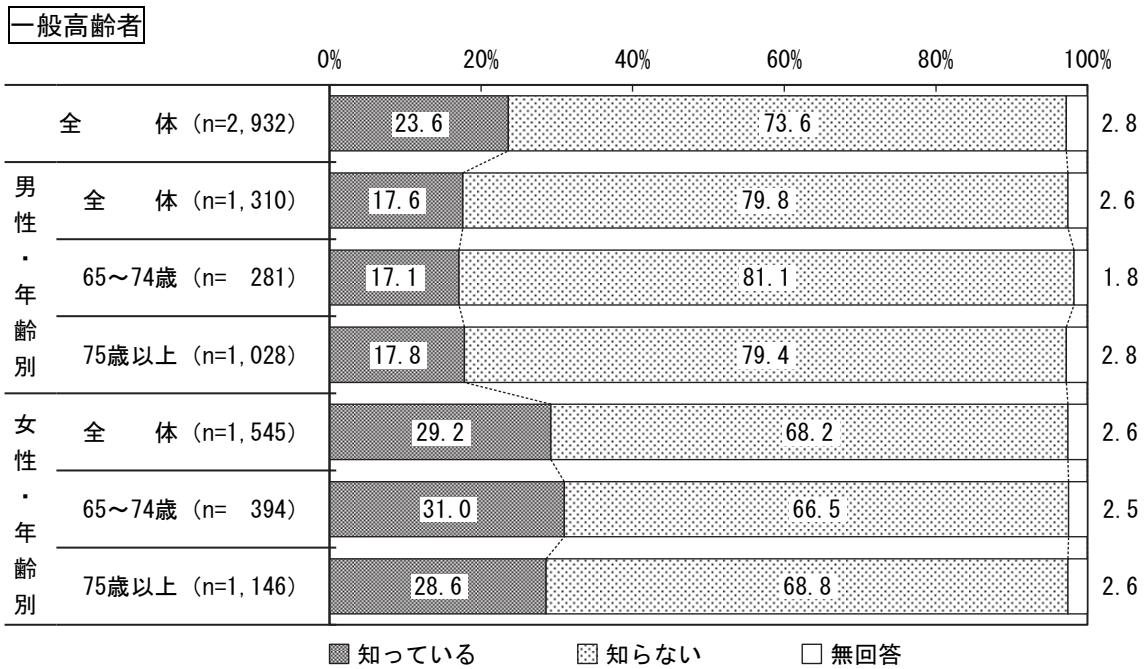
在宅要支援認定者等



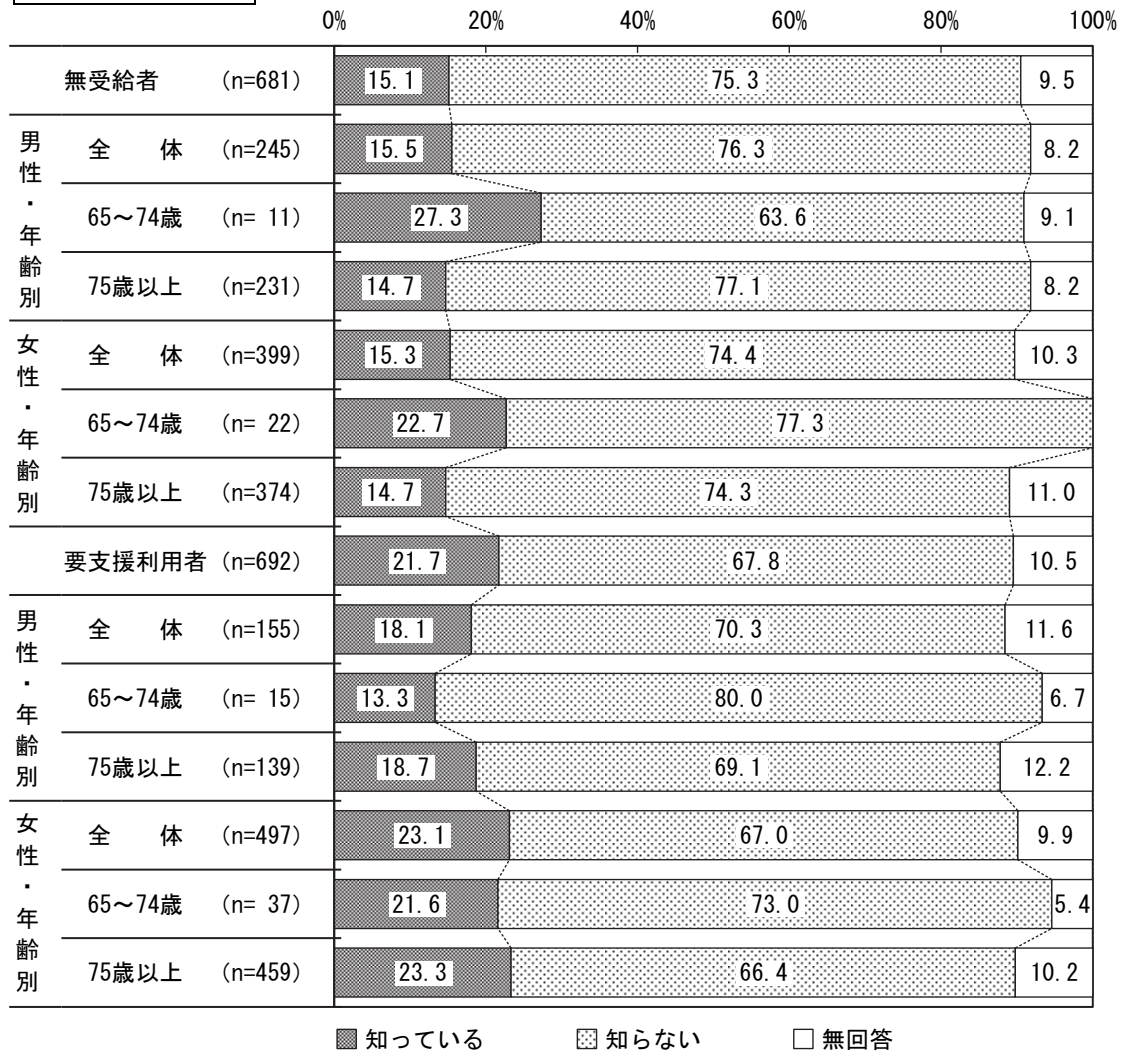
(3) フレイル予防

フレイル（健康な状態と要介護の状態の間で、身体的機能や認知機能等の低下が見られる状態）について、「知っている」は、一般高齢者では23.6%、事業対象者では39.5%、介護保険サービスの無受給者では15.1%、要支援利用者では21.7%にとどまっています。これを性別にみると、無受給者以外では、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-64 フレイルの認知度



在宅要支援認定者等

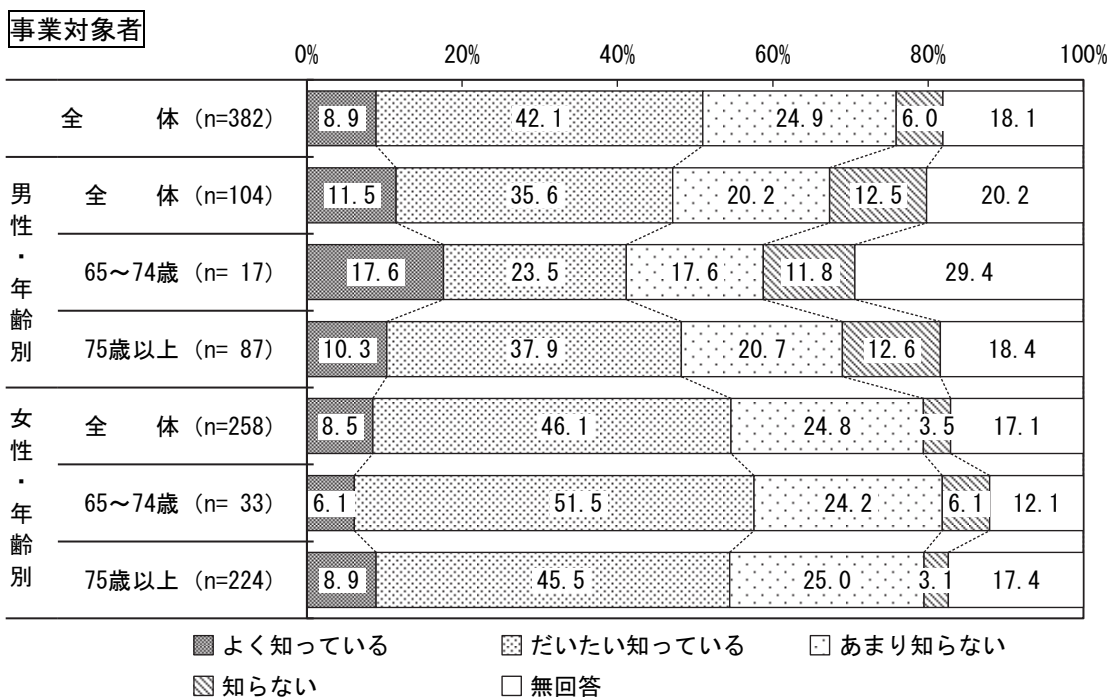
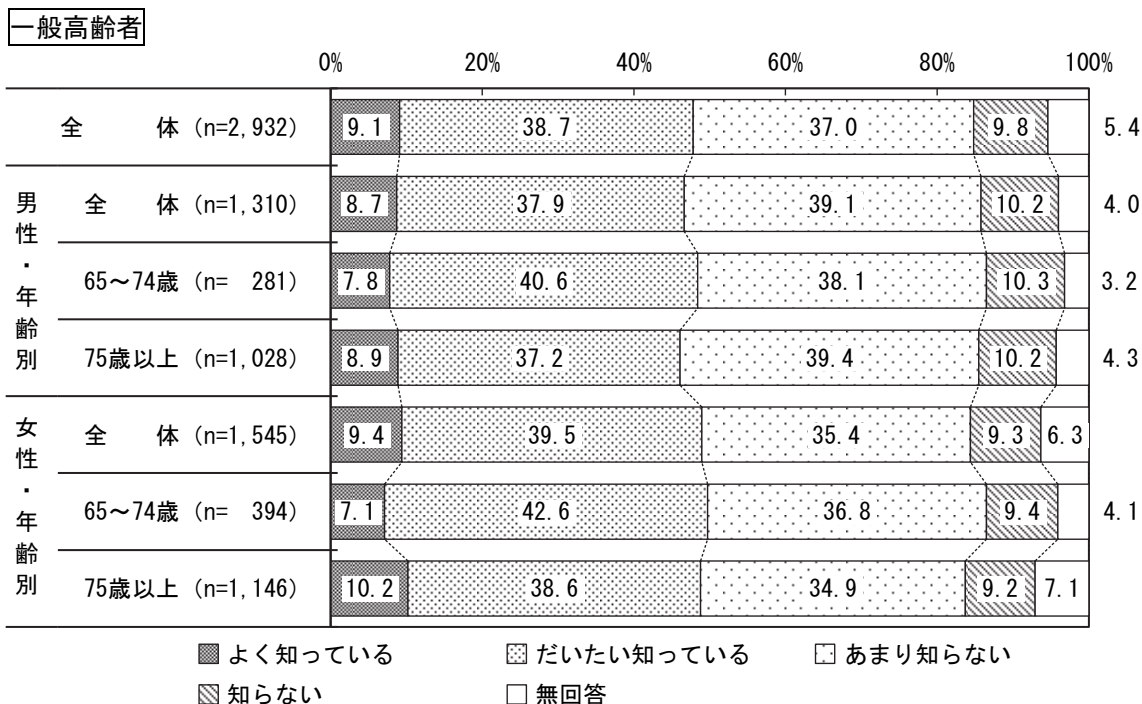


7 福祉サービス等の利用について

(1) 介護保険制度の認知度等

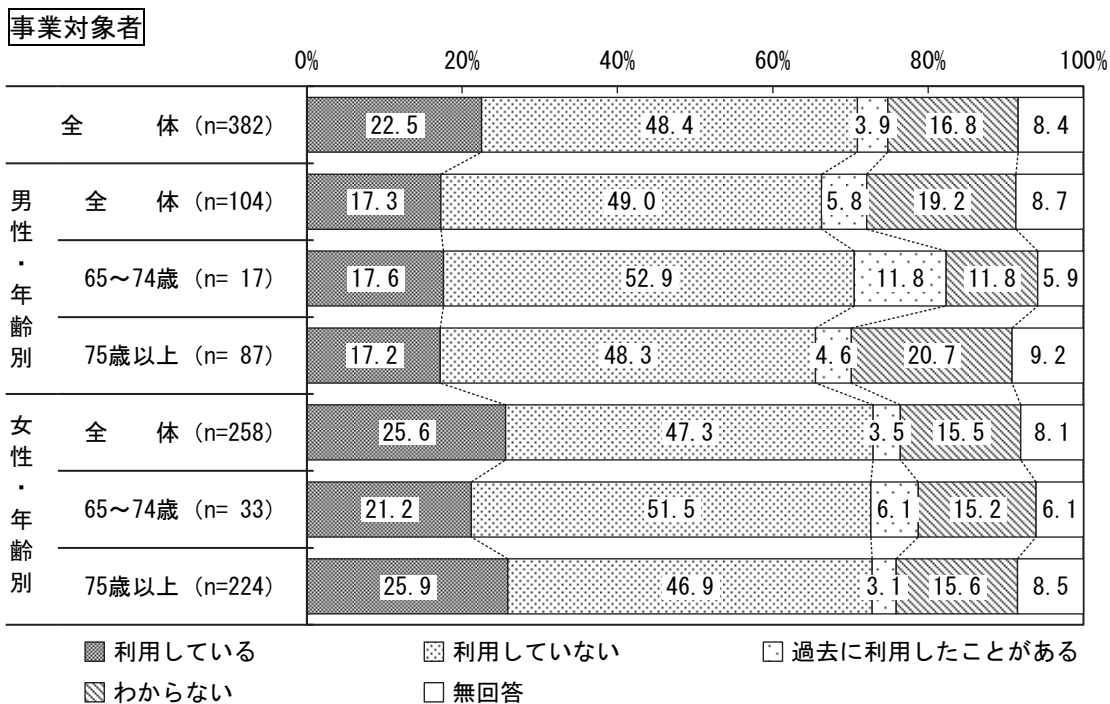
要支援・要介護認定を受けていない高齢者で、介護保険制度について《知っている》（「よく知っている」＋「だいたい知っている」）人は、一般高齢者で 47.8%、事業対象者で 51.0%となっています。これを性別にみると、事業対象者では、男性に比べて女性が 5ポイント以上高くなっています。

図表 4-65 介護保険制度の認知度



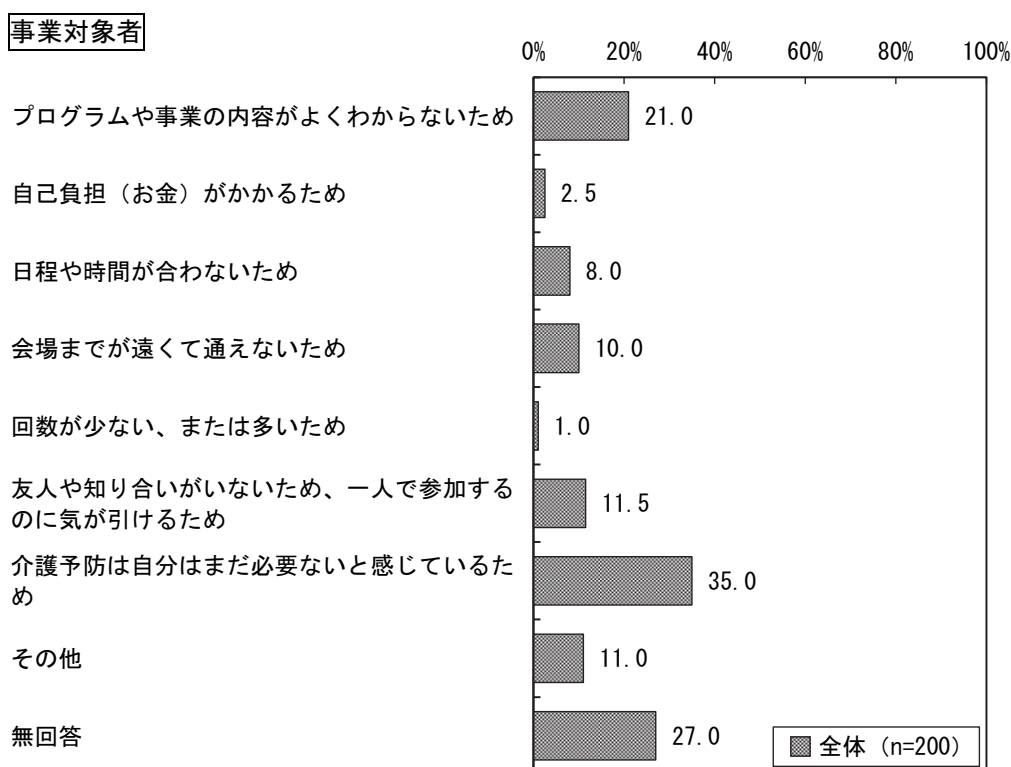
要支援・要介護認定を受けておらず、基本チェックリスト（日常生活に必要な機能が低下していないかアンケート形式で問うもの）において日常生活に何らかのリスク（危険）があると判定された人（事業対象者）が利用する介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況については、「利用していない」が48.4%を占め、「利用している」は22.5%となっています。「利用している」を性別にみると、男性に比べて女性が5ポイント高くなっています。

図表4-66 介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況



介護予防・日常生活支援総合事業を「利用していない」または「過去に利用したことがある」と答えた人に、今は利用していない理由をたずねたところ、「介護予防は自分はまだ必要ないと感じているため」が35.0%と最も高く、このほか、「プログラムや事業の内容がよくわからないため」が21.0%などとなっています。性別にみると、「プログラムや事業の内容がよくわからないため」は、女性に比べて男性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-67 介護予防・日常生活支援総合事業を利用していない理由



(単位：%)

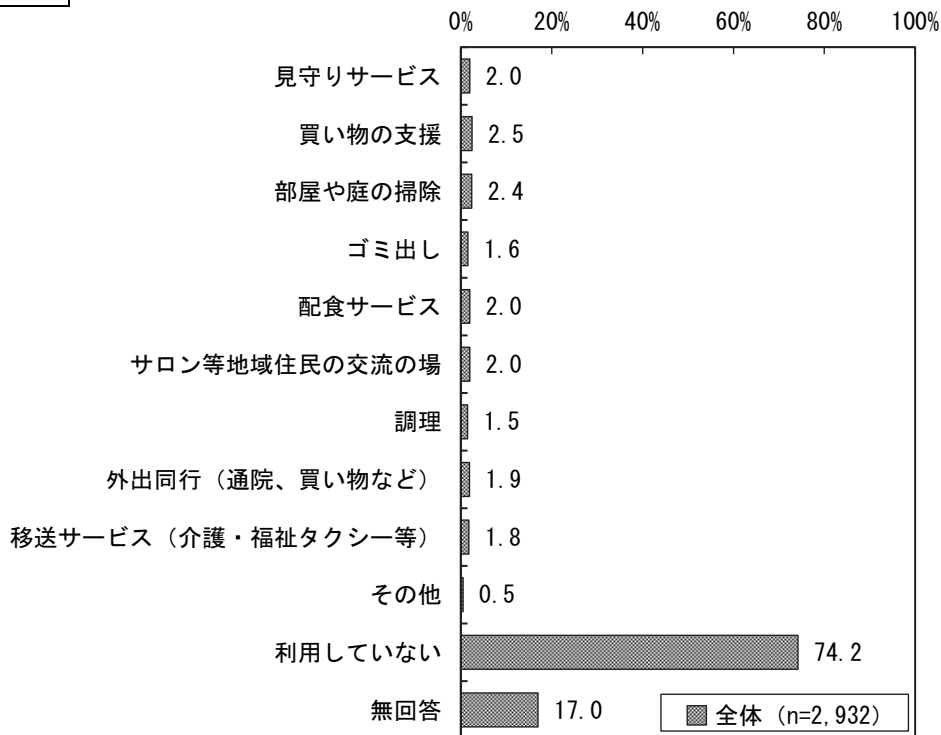
区 分		プログラムや事業の内容がよくわからないため	自己負担（お金）がかかるため	日程や時間が合わないため	会場までが遠くて通えないため	回数が少ない、または多いため	友人や知り合いがいないため、一人で参加するのに気が引けるため	介護予防は自分はまだ必要ないと感じているため	その他	無回答
男 性	全 体 (n= 57)	29.8	7.0	5.3	8.8	-	15.8	33.3	10.5	22.8
	65～74 歳 (n= 11)	36.4	9.1	-	9.1	-	27.3	27.3	9.1	36.4
	75 歳以上 (n= 46)	28.3	6.5	6.5	8.7	-	13.0	34.8	10.9	19.6
女 性	全 体 (n=131)	17.6	0.8	9.2	9.9	0.8	9.9	37.4	10.7	27.5
	65～74 歳 (n= 19)	26.3	-	10.5	5.3	-	5.3	52.6	5.3	15.8
	75 歳以上 (n=112)	16.1	0.9	8.9	10.7	0.9	10.7	34.8	11.6	29.5

(2) 介護保険サービス以外のサービス等の利用等

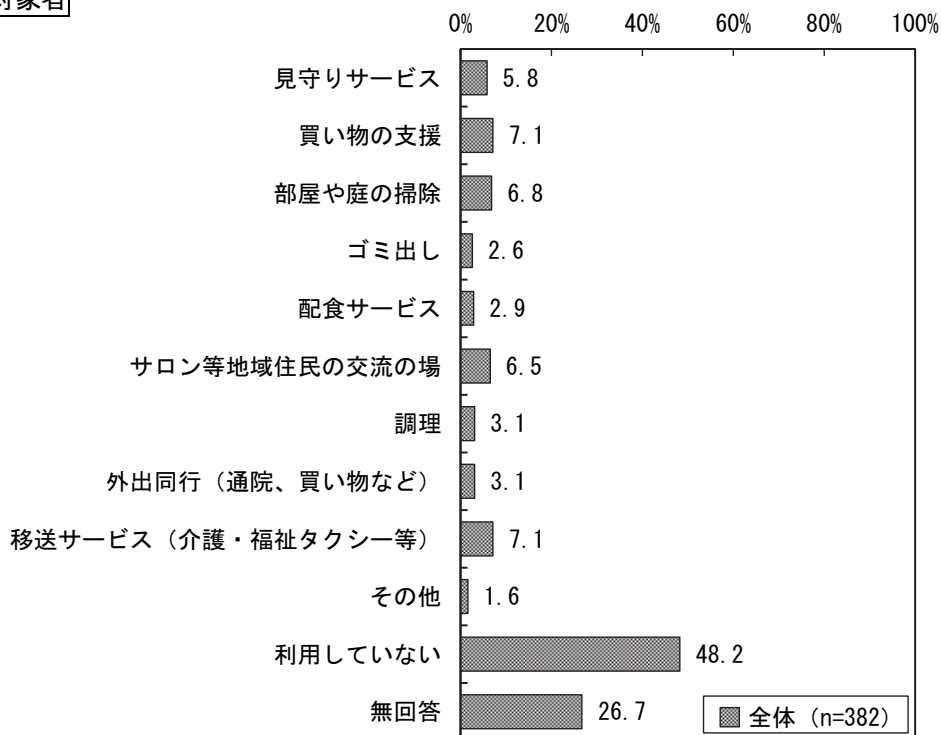
要支援・要介護認定を受けていない高齢者の介護保険サービス以外のサービス等の利用状況については、「利用していない」が一般高齢者で74.2%、事業対象者で48.2%となっており、利用しているサービス等で10%を超えるものはありません。

図表4-68 利用している介護保険サービス以外のサービス等（複数回答）

一般高齢者

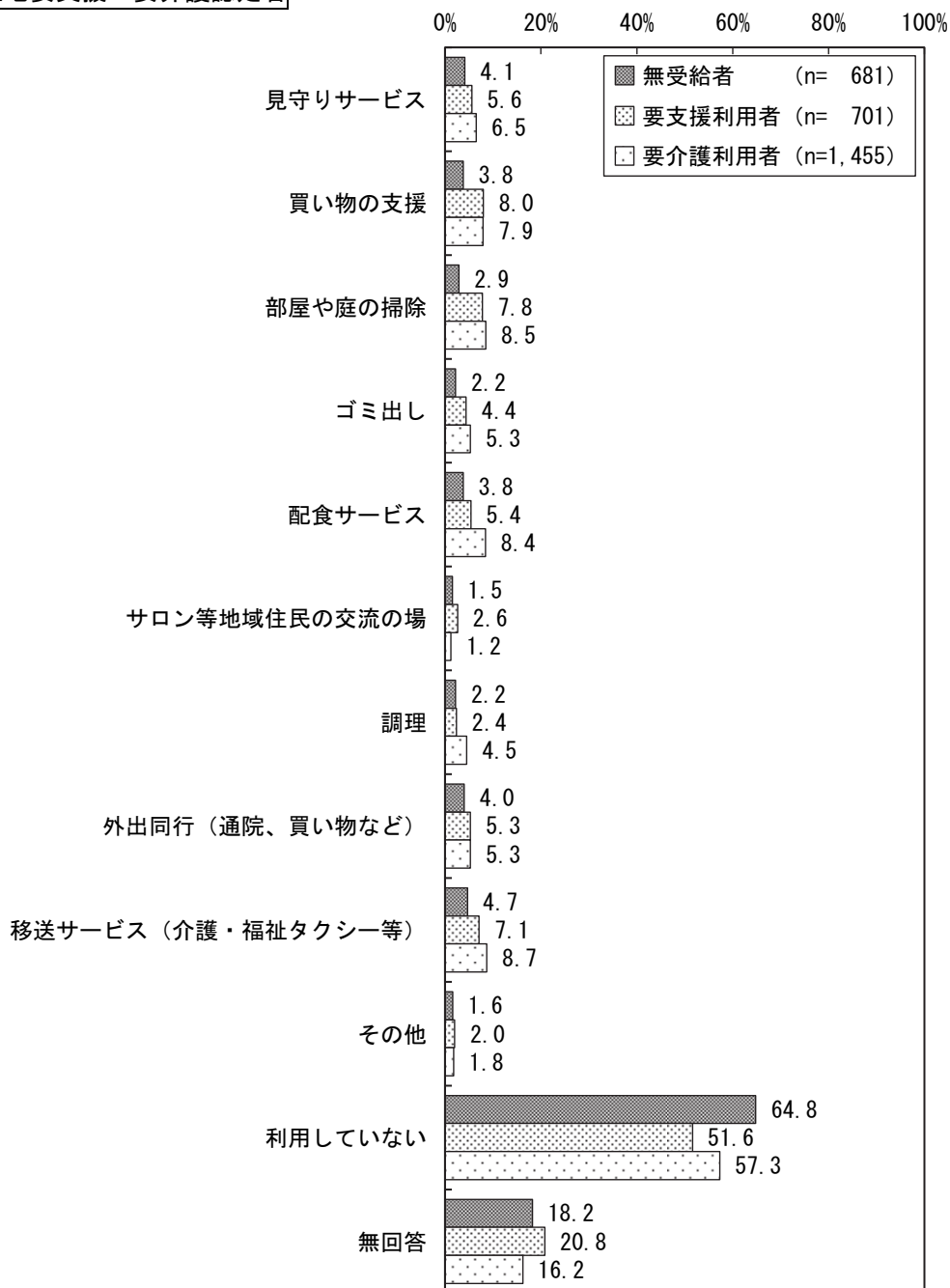


事業対象者



一方、要支援・要介護認定を受けている高齢者の介護保険サービス以外のサービス等の利用状況については、「利用していない」が無受給者で64.8%、要支援利用者が51.6%、要介護利用者が57.3%となっており、利用しているサービス等で10%を超えるものはありません。

在宅要支援・要介護認定者



性別にみると、「買い物の支援」は事業対象者と要支援利用者の男性、介護・福祉タクシー等の「移送サービス」は要介護利用者が、それぞれ10%程度あります。

図表4-69 利用している介護保険サービス以外のサービス等（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス （介護・福祉タクシー等）	その他	利用していない	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	2.3	2.1	2.2	1.6	2.5	1.2	1.6	1.3	1.4	0.7	76.9	15.3
	65～74歳 (n=281)	1.4	1.4	-	1.1	1.8	1.1	1.1	0.4	-	-	87.2	8.2
	75歳以上 (n=1,028)	2.5	2.2	2.8	1.8	2.7	1.3	1.8	1.6	1.8	0.9	74.1	17.1
女 性	全 体 (n=1,545)	1.8	2.8	2.5	1.6	1.6	2.4	1.4	2.4	2.1	0.4	72.7	17.9
	65～74歳 (n=394)	1.5	1.8	1.8	0.5	1.5	1.8	1.0	1.3	2.0	-	82.0	12.4
	75歳以上 (n=1,146)	1.8	3.1	2.8	2.0	1.7	2.6	1.5	2.8	2.2	0.5	69.6	19.7

事業対象者

(単位：%)

区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス （介護・福祉タクシー等）	その他	利用していない	無回答
男 性	全 体 (n=104)	7.7	10.6	5.8	1.9	1.9	2.9	4.8	3.8	1.9	1.0	46.2	29.8
	65～74歳 (n=17)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64.7	35.3
	75歳以上 (n=87)	9.2	12.6	6.9	2.3	2.3	3.4	5.7	4.6	2.3	1.1	42.5	28.7
女 性	全 体 (n=258)	5.4	5.8	7.4	3.1	3.5	8.5	2.7	3.1	9.3	1.9	48.4	24.8
	65～74歳 (n=33)	-	-	3.0	3.0	-	9.1	-	-	6.1	3.0	60.6	18.2
	75歳以上 (n=224)	6.3	6.3	8.0	3.1	4.0	8.5	2.7	3.6	9.8	1.8	46.9	25.9

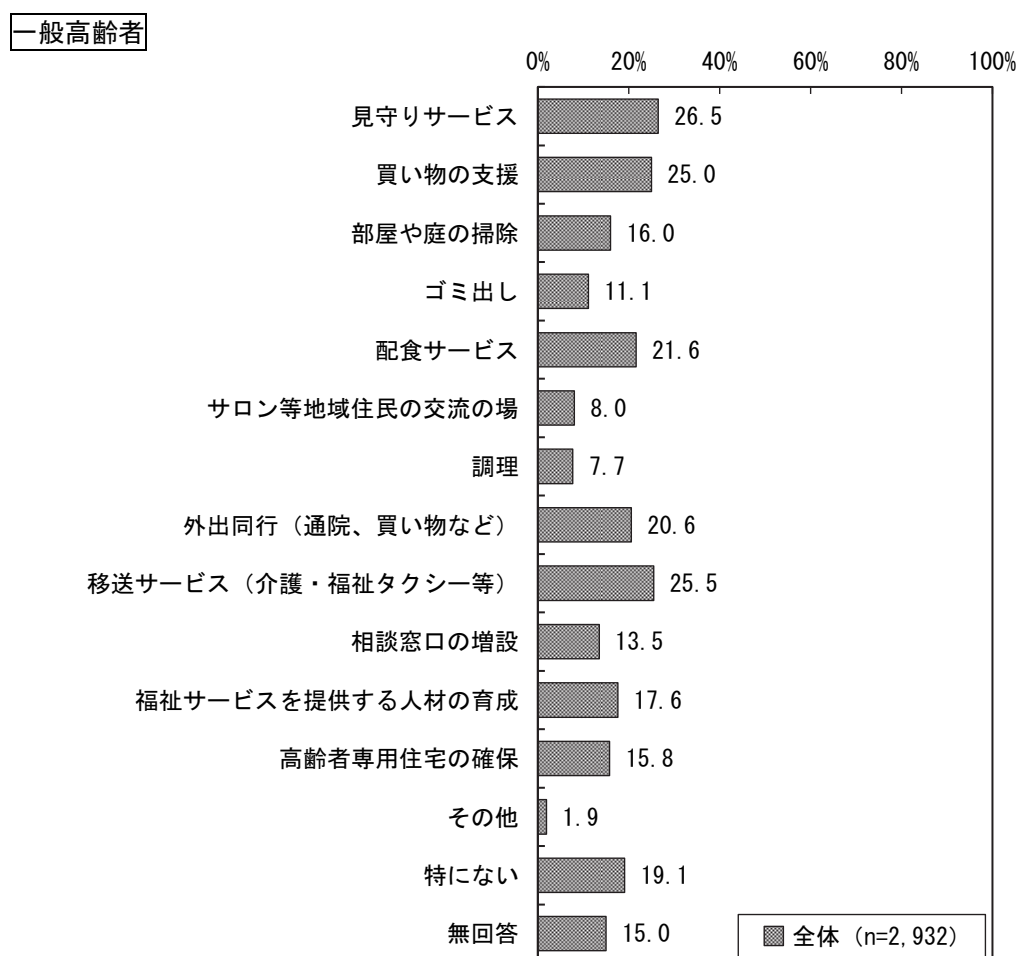
在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

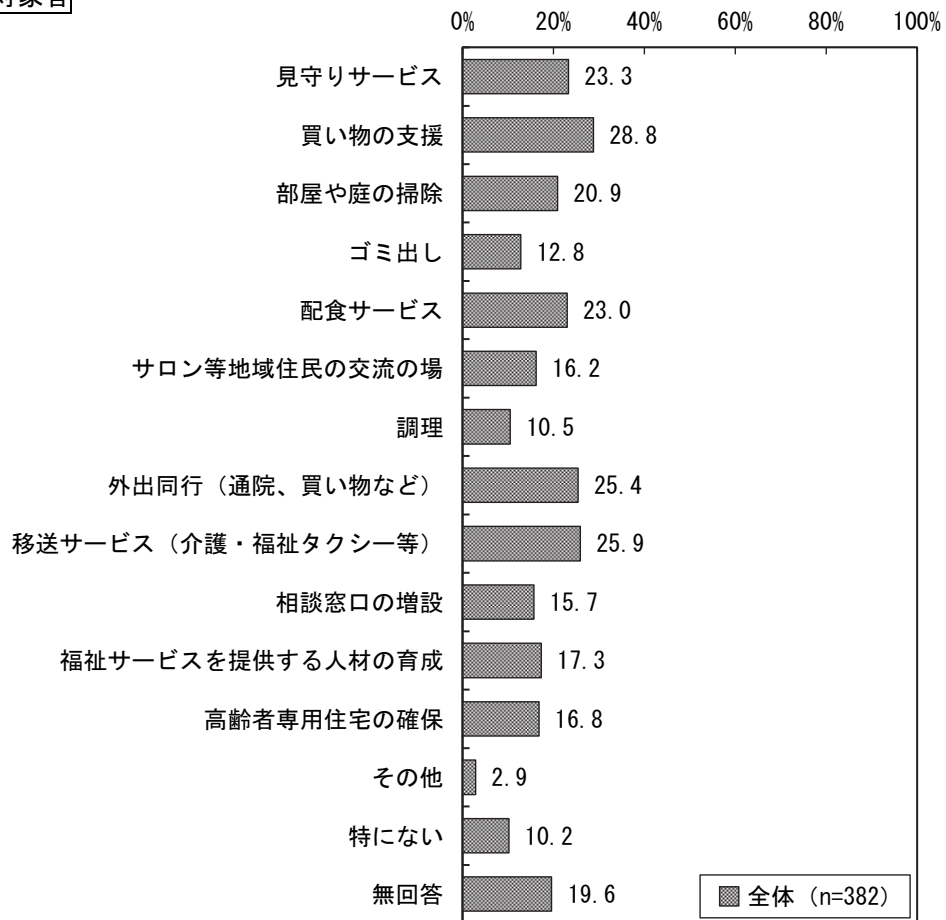
区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	その他	利用していない	無回答
無受給者													
男 性	全 体 (n=245)	4.9	4.1	3.7	2.4	3.7	1.2	2.0	4.5	3.7	1.2	64.5	18.8
	65～74歳 (n= 11)	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	72.7	18.2
	75歳以上 (n=231)	5.2	4.3	3.9	2.6	3.9	1.3	2.2	4.3	3.9	1.3	64.1	18.6
女 性	全 体 (n=399)	3.5	3.5	2.8	2.0	4.0	1.8	2.3	4.0	5.5	2.0	64.9	17.5
	65～74歳 (n= 22)	-	-	-	4.5	9.1	4.5	-	-	18.2	4.5	59.1	4.5
	75歳以上 (n=374)	3.7	3.7	2.9	1.9	3.7	1.6	2.4	4.3	4.8	1.9	65.0	18.4
要支援利用者													
男 性	全 体 (n=158)	7.0	10.1	7.0	5.1	4.4	1.3	3.8	6.3	4.4	3.8	49.4	22.8
	65～74歳 (n= 15)	20.0	6.7	6.7	6.7	-	-	-	6.7	-	6.7	60.0	6.7
	75歳以上 (n=142)	5.6	10.6	7.0	4.9	4.9	1.4	4.2	6.3	4.9	3.5	47.9	24.6
女 性	全 体 (n=503)	5.0	7.2	8.0	4.0	6.0	3.0	1.6	4.8	8.2	1.4	52.9	19.9
	65～74歳 (n= 39)	2.6	7.7	7.7	5.1	-	-	-	-	7.7	2.6	53.8	23.1
	75歳以上 (n=462)	5.2	7.1	8.0	3.9	6.5	3.2	1.7	5.2	8.2	1.3	52.6	19.7
うち小規模多機能利用者 (n= 9)		11.1	11.1	11.1	-	11.1	-	-	11.1	-	11.1	33.3	22.2
要介護利用者													
男 性	全 体 (n=466)	4.5	7.9	6.0	5.6	8.8	0.9	3.0	6.0	10.3	2.4	53.2	18.9
	65～74歳 (n= 34)	5.9	11.8	14.7	5.9	8.8	-	2.9	5.9	2.9	8.8	67.6	5.9
	75歳以上 (n=422)	4.3	7.6	5.0	5.7	8.8	0.9	3.1	5.9	10.4	1.4	53.3	19.7
女 性	全 体 (n=946)	7.5	7.6	9.4	5.4	8.2	1.5	5.3	4.8	8.1	1.5	60.3	14.0
	65～74歳 (n= 43)	9.3	14.0	9.3	11.6	14.0	-	7.0	7.0	9.3	2.3	48.8	14.0
	75歳以上 (n=897)	7.2	7.1	9.4	5.1	7.9	1.6	5.0	4.7	8.1	1.4	61.2	13.9
うち小規模多機能利用者 (n=112)		5.4	6.3	4.5	4.5	10.7	0.9	2.7	6.3	5.4	0.9	59.8	17.0
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 24)		25.0	16.7	20.8	12.5	16.7	-	12.5	20.8	20.8	4.2	29.2	12.5

今後、高齢者世帯が自立した日常生活を営む上で、充実が必要な介護保険サービス以外のサービス等としては、一般高齢者では「見守りサービス」(26.5%)、事業対象者と要支援利用者では「買い物の支援」(28.8%と30.5%)、介護保険サービスの無受給者では介護・福祉タクシー等の「移送サービス」(32.5%)、要介護利用者では通院、買い物などの「外出同行」(35.3%)が、それぞれ最も高くなっています。これらのサービス等は、いずれにおいても上位にあります。これら以外のサービス等では、「配食サービス」が一般高齢者と事業対象者、無受給者、「部屋や庭の掃除」が要支援・要介護利用者で比較的高くなっています。なお、「特にない」は、いずれにおいても、20%以下となっています。

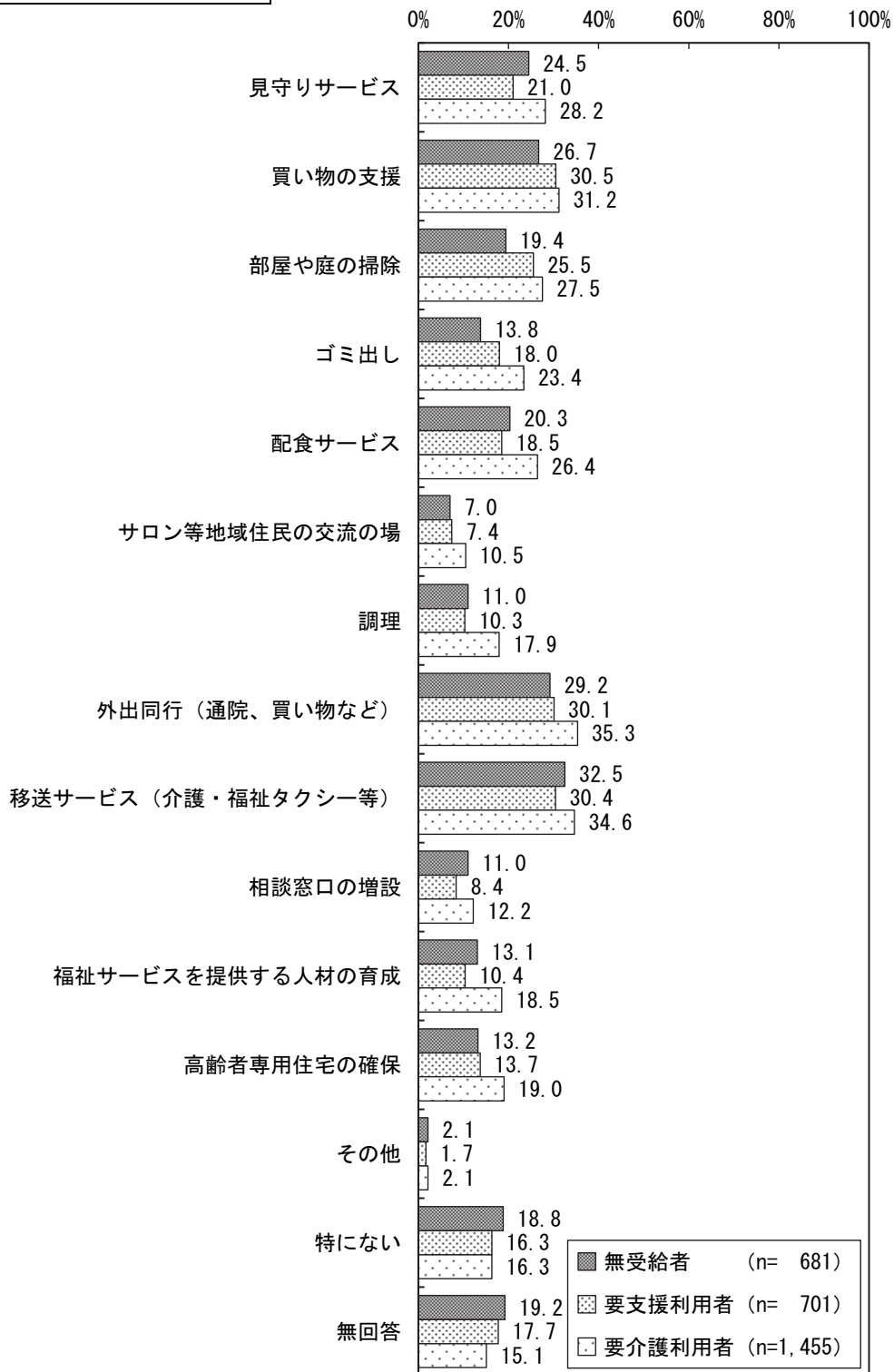
図表4-70 今後充実が必要な介護保険サービス以外のサービス等（複数回答）



事業対象者



在宅要支援・要介護認定者



性別にみると、事業対象者の「外出同行」と「移送サービス」では、男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-71 今後充実が必要な介護保険サービス以外のサービス等（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	相談窓口の増設	育成 福祉サービスを提供する人材の	高齢者専用住宅の確保	その他	特にない	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	27.9	23.1	15.8	10.5	22.9	7.2	8.8	17.2	24.4	14.7	17.0	15.4	2.1	20.6	13.0
	65～74歳 (n=281)	33.5	26.3	16.4	11.0	28.1	9.3	8.2	16.4	24.9	13.5	21.4	17.4	2.1	23.8	5.7
	75歳以上 (n=1,028)	26.4	22.2	15.7	10.4	21.4	6.6	8.9	17.4	24.2	15.0	15.9	14.9	2.0	19.7	15.0
女 性	全 体 (n=1,545)	25.6	27.3	16.4	11.9	21.0	8.7	6.9	24.1	26.8	12.9	18.3	16.4	1.9	17.7	15.8
	65～74歳 (n=394)	27.9	29.4	16.8	12.2	23.4	7.4	7.4	26.1	28.7	14.2	25.4	16.5	0.8	16.2	12.7
	75歳以上 (n=1,146)	24.9	26.7	16.4	11.9	20.2	9.2	6.7	23.5	26.3	12.6	16.0	16.4	2.3	18.2	16.8

事業対象者

(単位：%)

区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	相談窓口の増設	育成 福祉サービスを提供する人材の	高齢者専用住宅の確保	その他	特にない	無回答
男 性	全 体 (n=104)	26.9	30.8	17.3	13.5	24.0	11.5	9.6	17.3	15.4	17.3	14.4	17.3	2.9	7.7	24.0
	65～74歳 (n=17)	23.5	29.4	5.9	11.8	23.5	5.9	5.9	23.5	11.8	11.8	17.6	17.6	5.9	17.6	29.4
	75歳以上 (n=87)	27.6	31.0	19.5	13.8	24.1	12.6	10.3	16.1	16.1	18.4	13.8	17.2	2.3	5.7	23.0
女 性	全 体 (n=258)	22.9	27.9	22.5	13.2	22.9	17.8	11.6	29.1	30.6	15.5	19.4	16.3	3.1	11.2	17.8
	65～74歳 (n=33)	21.2	24.2	27.3	15.2	27.3	24.2	18.2	30.3	27.3	12.1	42.4	27.3	3.0	12.1	15.2
	75歳以上 (n=224)	22.8	28.1	21.9	12.9	21.9	17.0	10.3	28.6	31.3	16.1	16.1	14.7	3.1	11.2	18.3

在宅要支援・要介護認定者

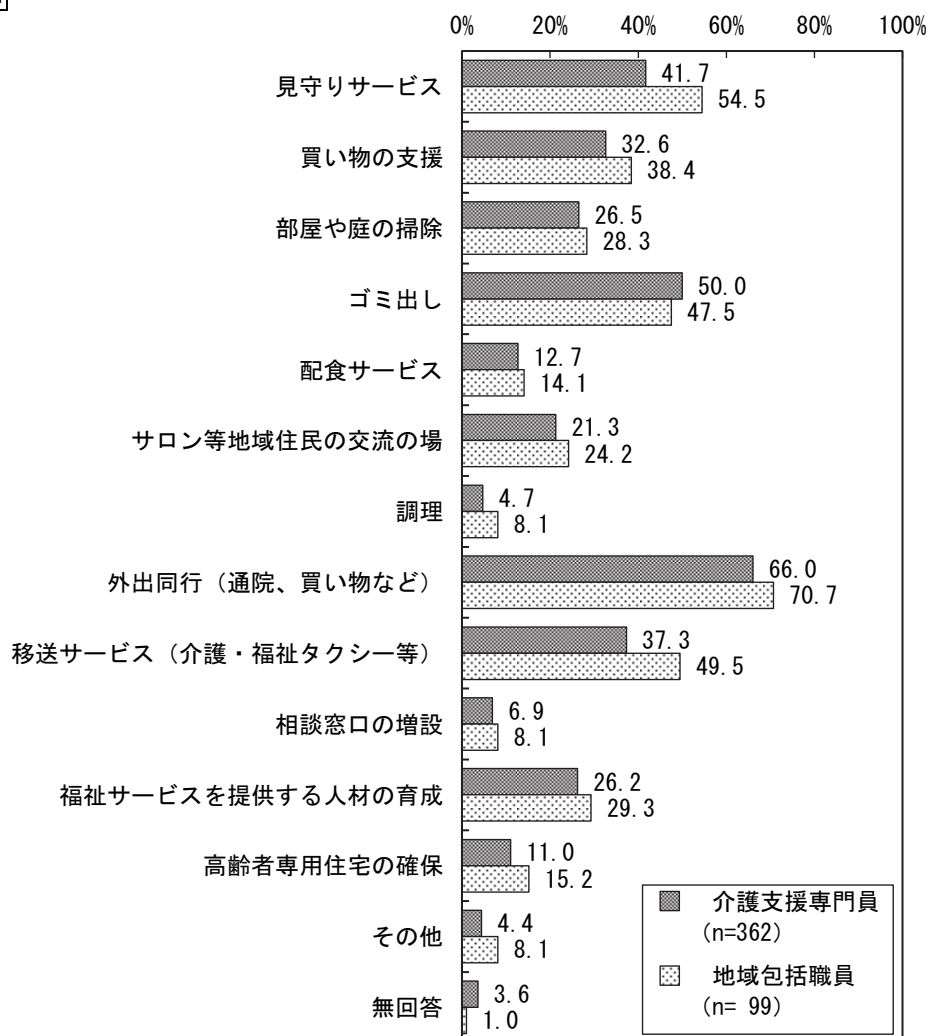
(単位：%)

区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行 (通院、買い物など)	福祉タクシー等	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	相談窓口の増設	福祉サービスの提供 する人材の育成	高齢者専用住宅の確保	その他	特になし	無回答
無受給者																	
男 性	全 体 (n=245)	23.3	24.1	18.0	14.3	22.4	4.9	12.7	28.6	31.0	10.2	13.9	9.0	1.6	18.0	22.0	
	65～74歳 (n=11)	18.2	-	18.2	9.1	45.5	-	-	18.2	72.7	9.1	27.3	9.1	-	-	18.2	
	75歳以上 (n=231)	23.4	25.5	18.2	14.7	21.6	5.2	13.4	29.4	29.4	10.4	13.4	9.1	1.7	18.6	22.1	
女 性	全 体 (n=399)	25.6	29.6	21.1	14.0	20.1	8.5	10.8	31.1	35.1	11.5	13.3	15.5	2.5	18.8	16.3	
	65～74歳 (n=22)	22.7	27.3	22.7	13.6	9.1	-	9.1	22.7	36.4	13.6	9.1	18.2	4.5	22.7	9.1	
	75歳以上 (n=374)	25.7	29.4	20.9	13.6	20.6	8.8	10.7	31.3	34.8	11.2	13.4	15.2	2.4	18.4	16.8	
要支援利用者																	
男 性	全 体 (n=158)	19.6	27.2	21.5	15.2	17.1	5.1	5.7	25.9	28.5	8.9	10.1	12.7	0.6	20.3	19.6	
	65～74歳 (n=15)	20.0	26.7	33.3	13.3	26.7	-	6.7	33.3	40.0	6.7	13.3	6.7	-	20.0	6.7	
	75歳以上 (n=142)	19.0	26.8	19.7	14.8	15.5	4.9	4.9	24.6	26.8	8.5	9.2	12.7	0.7	20.4	21.1	
女 性	全 体 (n=503)	21.3	31.4	26.6	18.7	19.1	8.3	10.9	31.2	30.8	8.2	9.9	14.5	2.2	15.9	16.3	
	65～74歳 (n=39)	7.7	33.3	25.6	25.6	17.9	2.6	7.7	30.8	35.9	5.1	5.1	10.3	2.6	15.4	17.9	
	75歳以上 (n=462)	22.3	31.2	26.6	18.0	19.0	8.9	11.0	31.4	30.5	8.4	10.4	14.7	2.2	15.8	16.2	
うち小規模多機能利用者 (n=9)		44.4	44.4	33.3	22.2	22.2	-	22.2	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	-	-	33.3	
要介護利用者																	
男 性	全 体 (n=466)	21.9	27.3	23.6	20.0	23.6	9.9	15.0	31.8	34.8	11.2	14.4	15.5	1.5	17.4	19.3	
	65～74歳 (n=34)	32.4	32.4	26.5	23.5	23.5	8.8	17.6	32.4	35.3	14.7	17.6	29.4	2.9	26.5	5.9	
	75歳以上 (n=422)	21.1	27.0	23.7	19.7	23.5	10.2	14.7	31.5	34.8	10.9	14.0	14.7	1.2	17.1	20.1	
女 性	全 体 (n=946)	31.2	33.7	29.5	25.3	28.4	10.9	19.8	37.4	35.3	12.8	20.6	21.0	2.3	16.0	12.2	
	65～74歳 (n=43)	27.9	39.5	34.9	34.9	44.2	7.0	18.6	39.5	41.9	14.0	20.9	20.9	9.3	14.0	16.3	
	75歳以上 (n=897)	31.5	33.6	29.3	24.9	27.8	11.0	19.8	37.5	35.1	12.6	20.7	21.1	2.0	15.9	11.9	
うち小規模多機能利用者 (n=112)		32.1	30.4	28.6	28.6	29.5	13.4	17.9	38.4	34.8	18.8	26.8	23.2	3.6	17.9	13.4	
うち定期巡回・随時対応利用者 (n=24)		41.7	37.5	37.5	33.3	25.0	16.7	29.2	45.8	33.3	33.3	37.5	12.5	8.3	4.2	12.5	

本市が充実すべき介護サービス以外のサービス等について、支援者にたずねたところ、介護支援専門員（ケアマネジャー）、地域包括支援センター職員とも、「外出同行」が最も高く、60%を超えています。これと「見守りサービス」、「移送サービス」などは高齢者と同様に上位にあります。支援者においては「ゴミ出し」も50%程度を占めて高くなっています。

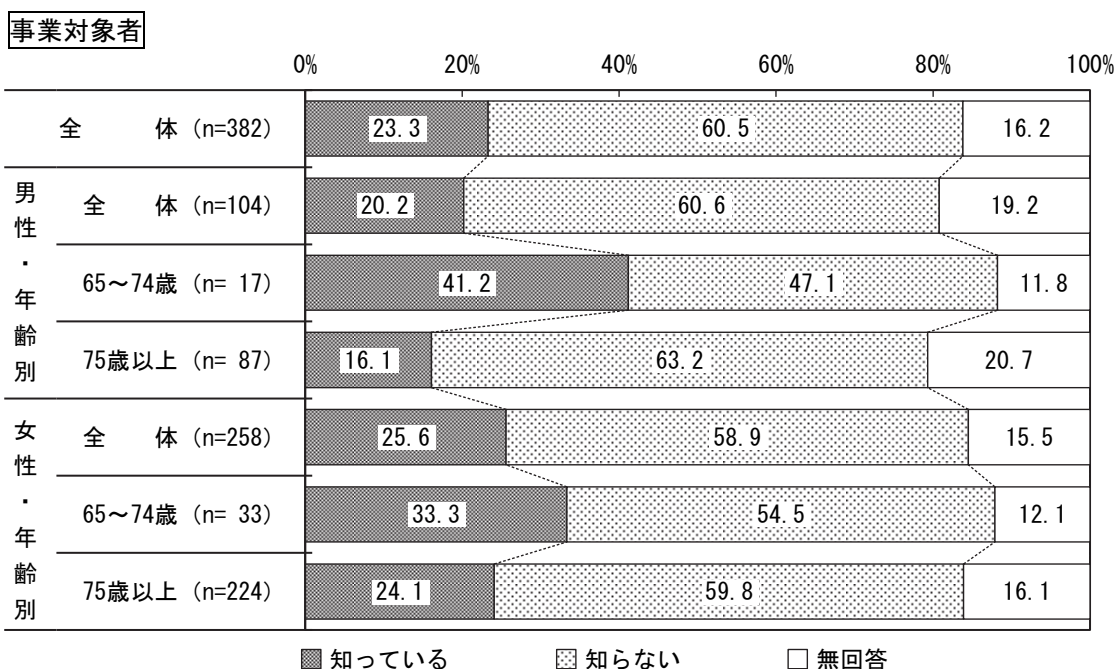
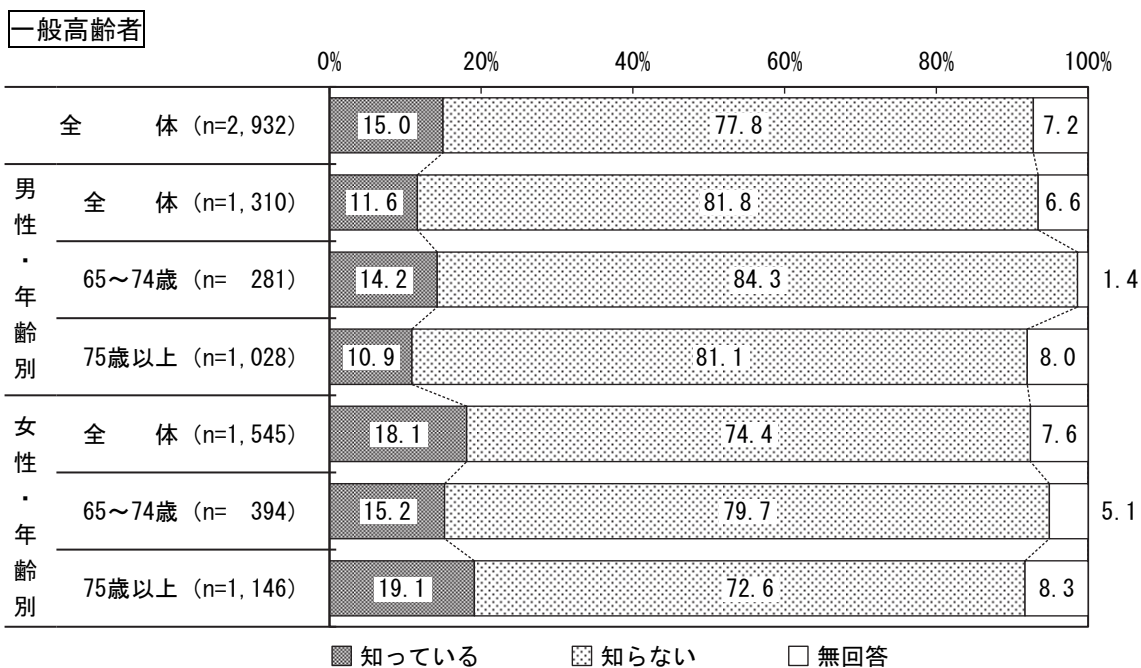
図表4-72 本市が充実すべき介護サービス以外のサービス等（複数回答）

支援者

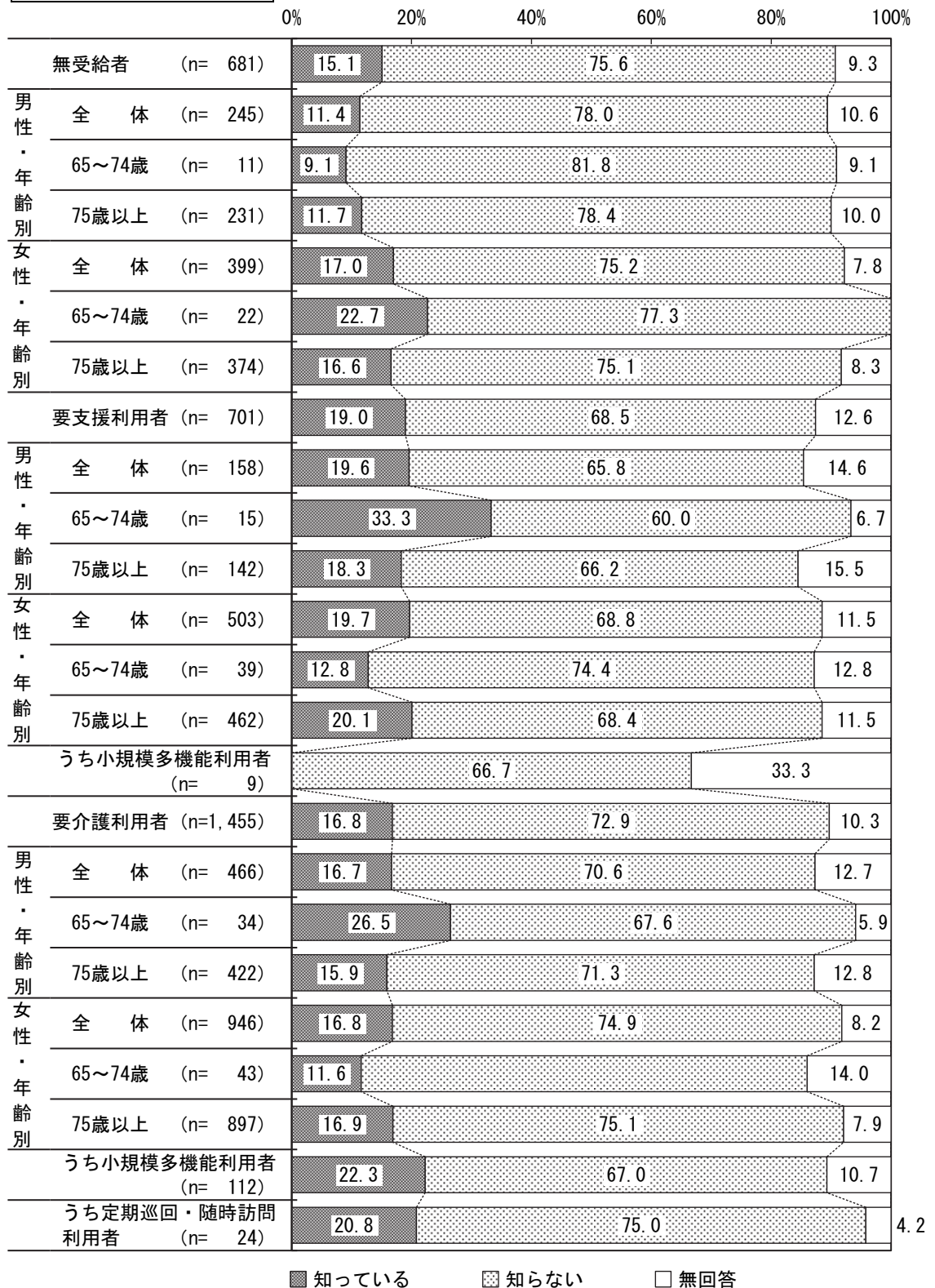


日常生活自立支援事業（認知症高齢者等に対して生活支援員が福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を行う事業）について、「知っている」は、一般高齢者では15.0%、事業対象者では23.3%、介護保険サービスの無受給者では15.1%、要支援利用者では19.0%、要介護利用者では16.8%にとどまっています。これを性別にみると、一般高齢者、事業対象者、無受給者では、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-73 日常生活自立支援事業の認知度

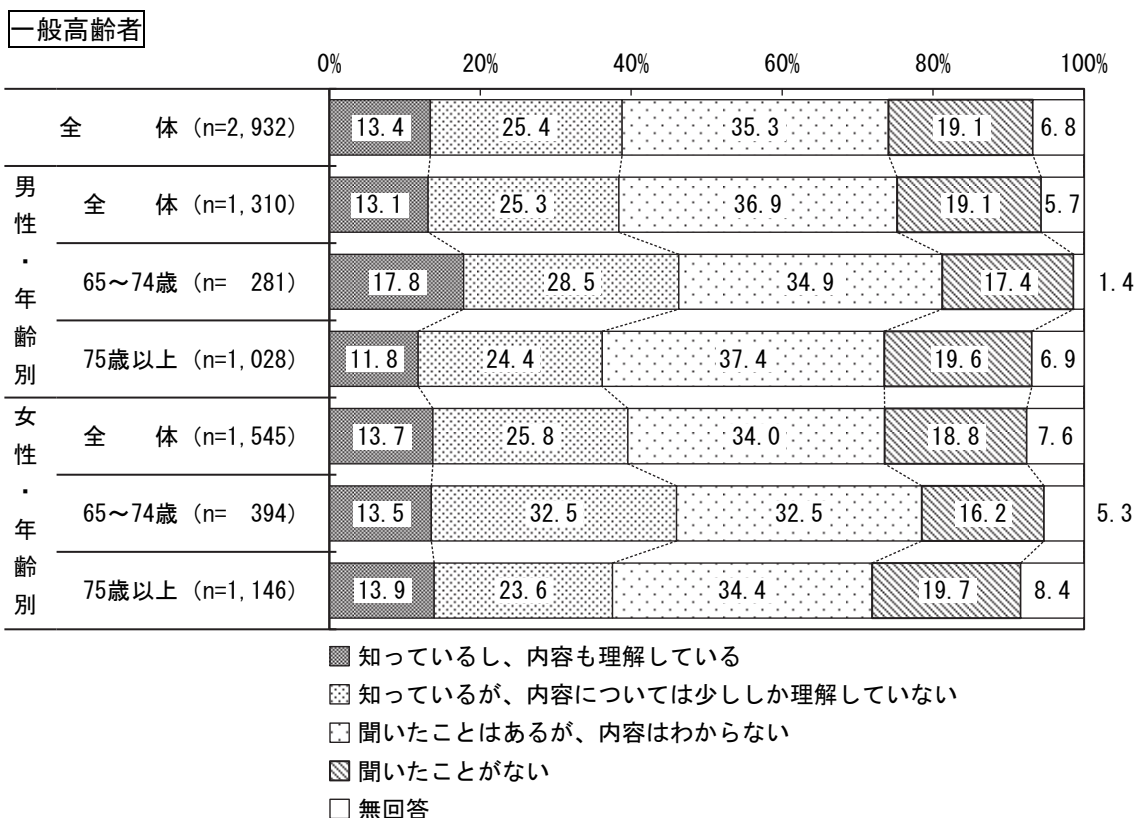


在宅要支援・要介護認定者

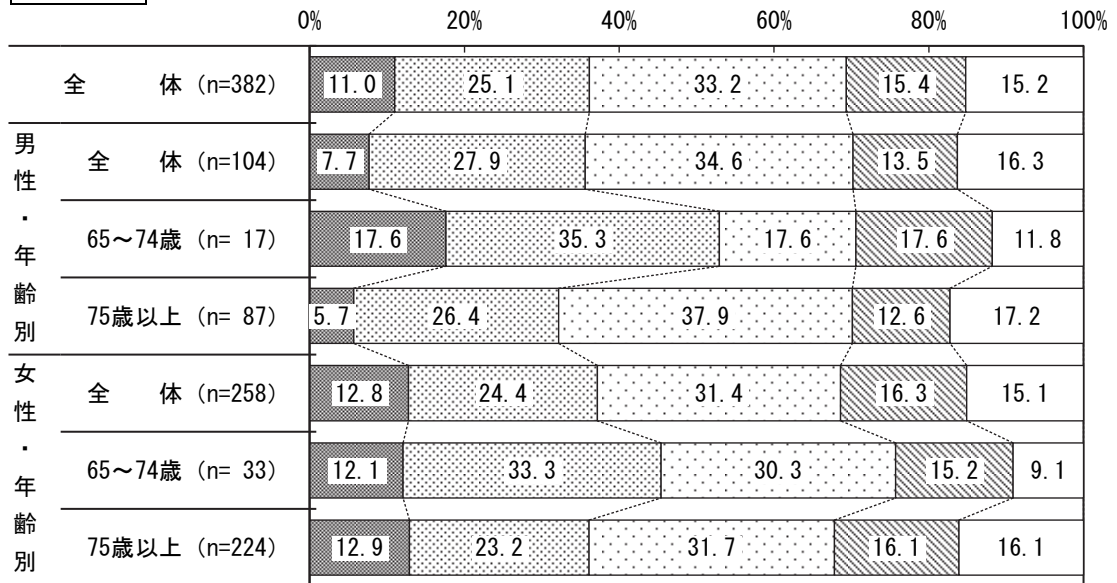


成年後見制度（認知症高齢者等が不利益を受けないように、本人の権利を守る援助者（成年後見人等）を選んで法律的に支援する制度）について、「知っている」は、一般高齢者では 38.8%、事業対象者では 36.1%、介護保険サービスの無受給者では 27.1%、要支援利用者では 31.2%、要介護利用者では 33.7%にとどまっています。これを性別にみると、無受給者では、男性に比べて女性が 5 ポイント程度高くなっています。

図表 4-74 成年後見制度の認知度



事業対象者



- 知っているし、内容も理解している
- ▨ 知っているが、内容については少ししか理解していない
- ▤ 聞いたことはあるが、内容はわからない
- ▧ 聞いたことがない
- 無回答

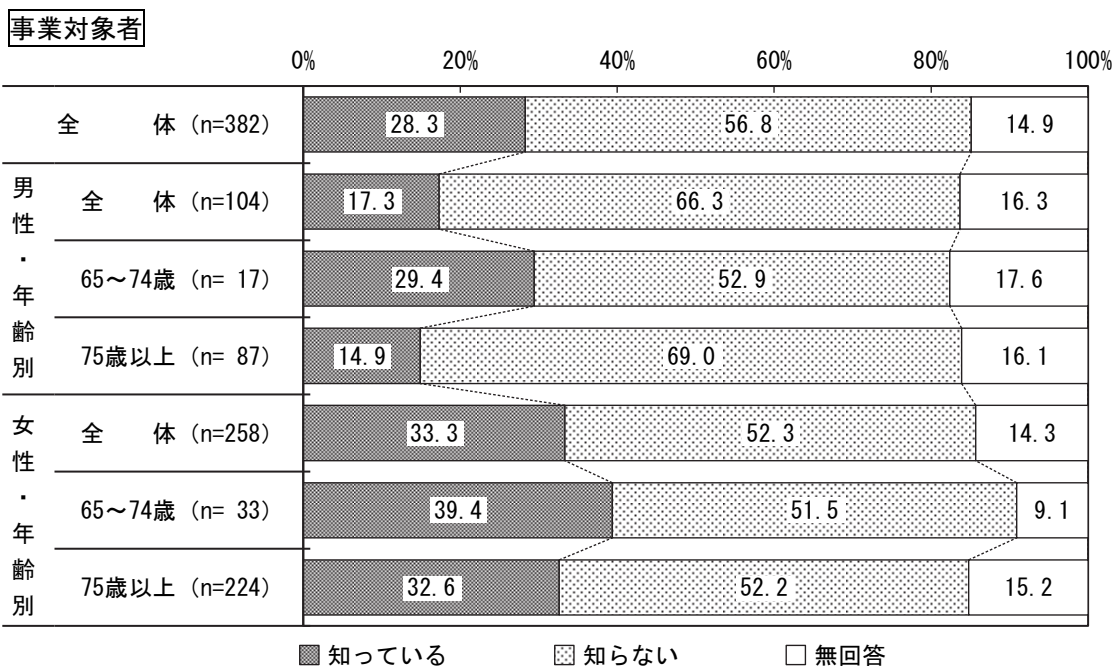
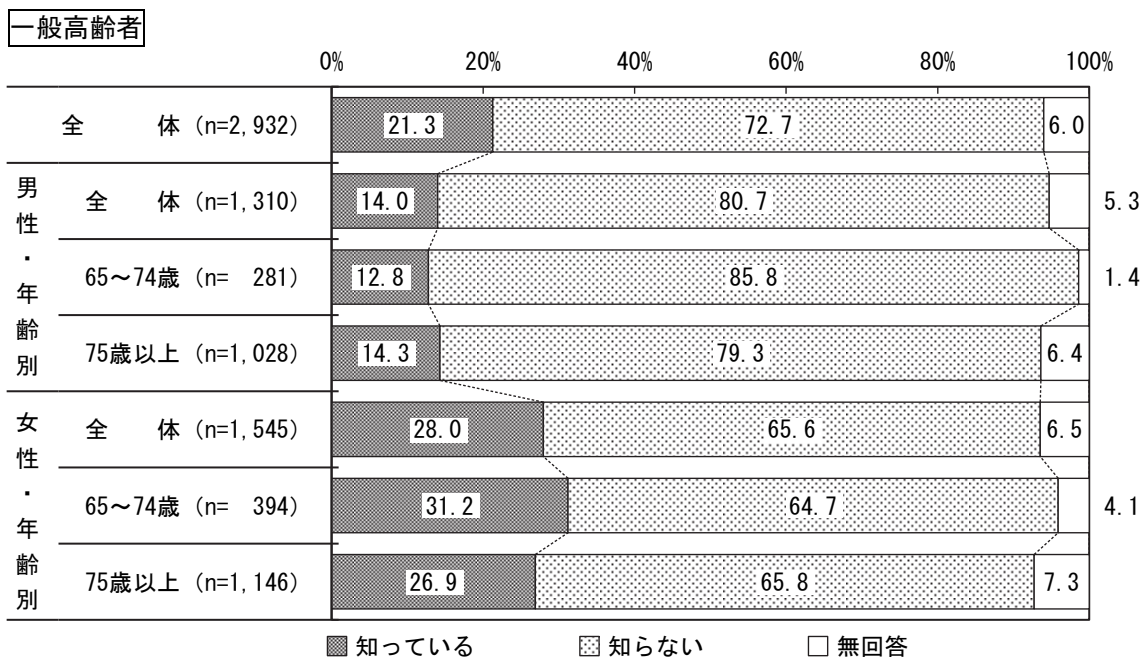
在宅要支援・要介護認定者



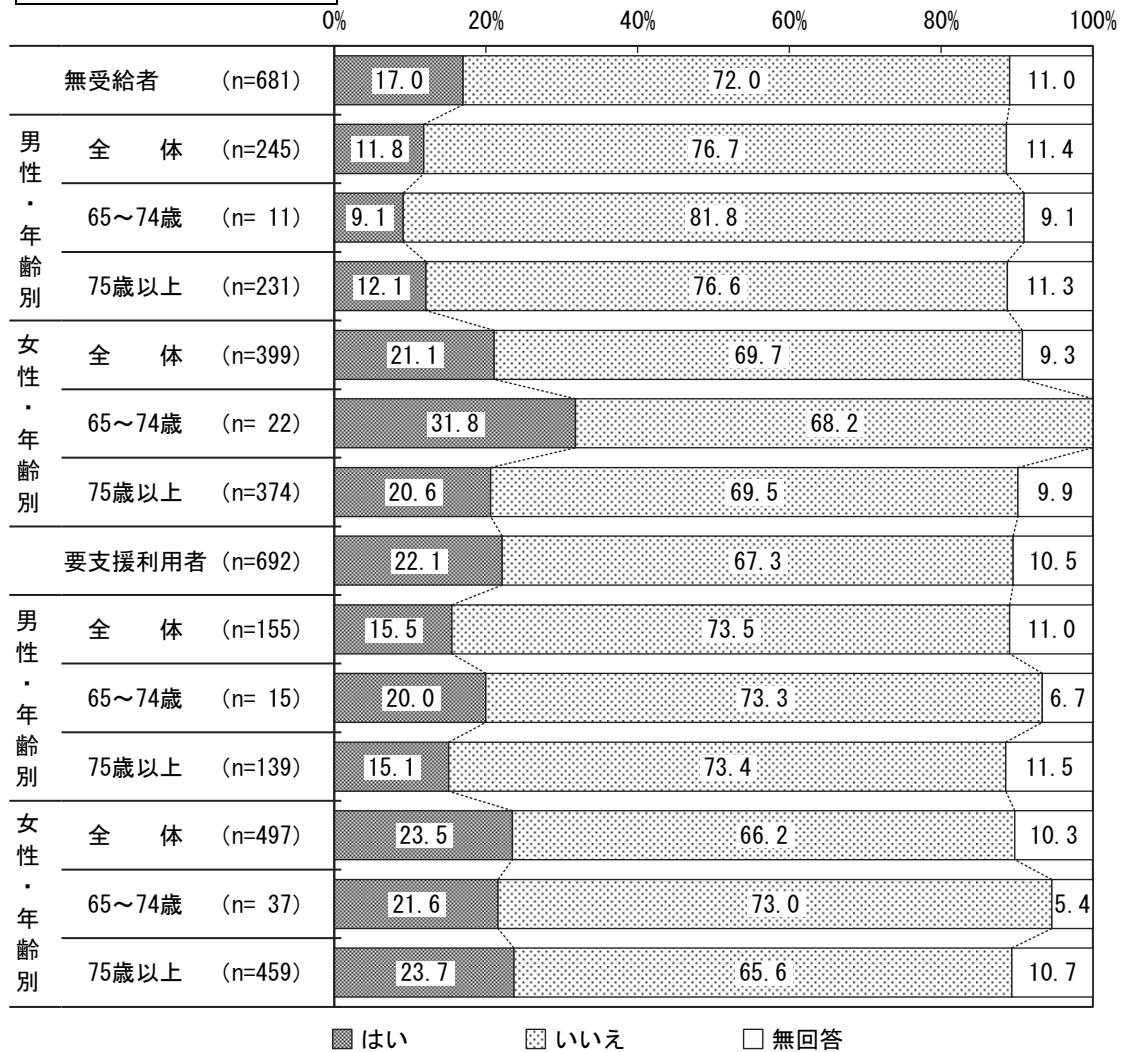
- 知っているし、内容も理解している
- ▨ 知っているが、内容については少ししか理解していない
- 聞いたことはあるが、内容はわからない
- ▩ 聞いたことがない
- 無回答

岐阜市のマイエンディングノート（自分の情報や希望等をわかりやすくまとめ、しっかりと残しておくことで、自分や家族の今後を助けるノート）について、「知っている」は、一般高齢者では 21.3%、事業対象者では 28.3%、介護保険サービスの無受給者では 17.0%、要支援利用者では 22.1%にとどまっています。これを性別にみると、いずれにおいても、男性に比べて女性が高くなっています。

図表 4-75 岐阜市マイエンディングノートの認知度



在宅要支援・要介護認定者

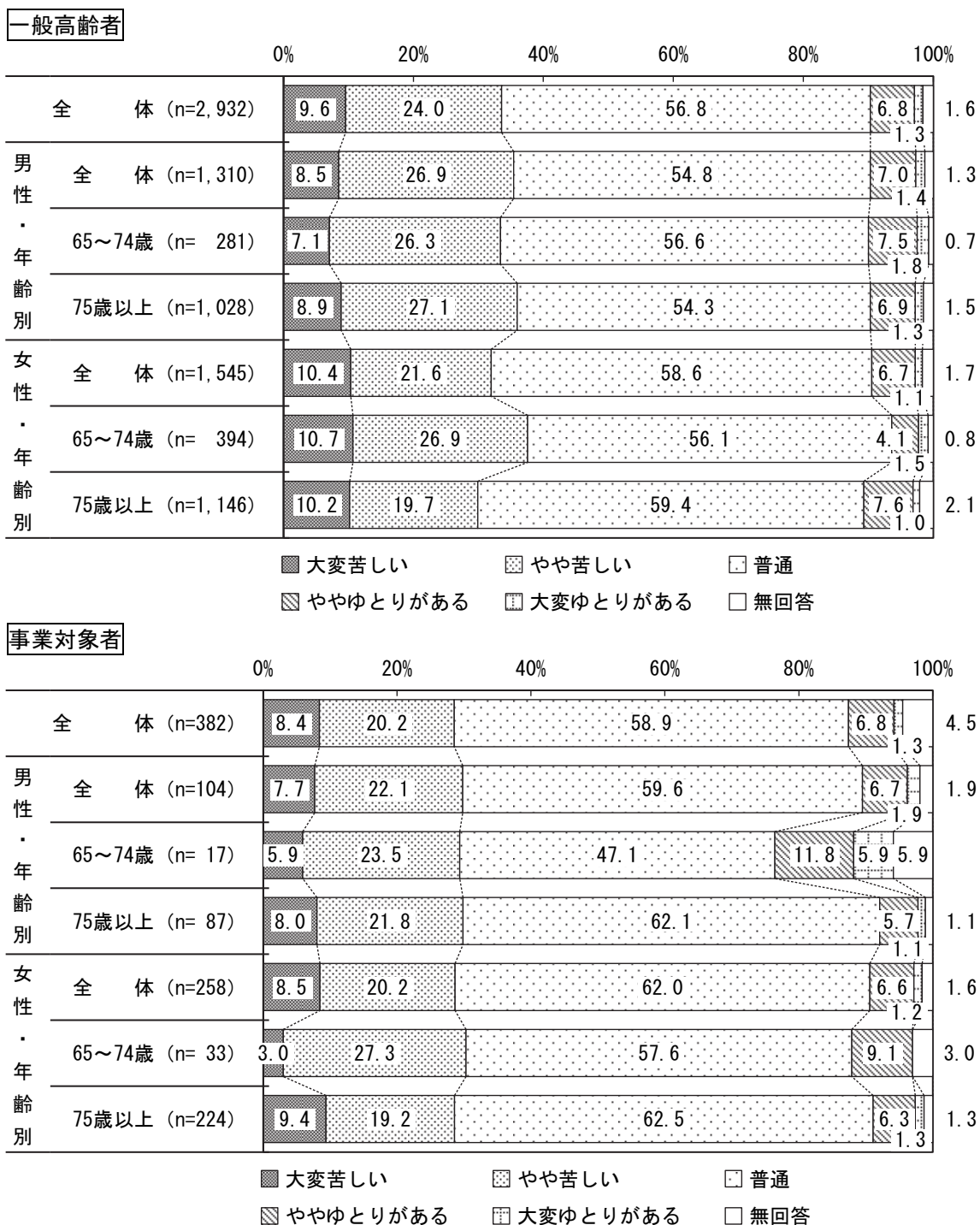


8 生活全般について

(1) 暮らしの状況

暮らしの状況を経済的にみてどうかたずねたところ、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせると、一般高齢者では 33.6%、事業対象者では 28.6%、介護保険サービスの無受給者では 34.8%、要支援利用者では 37.3%、要介護利用者では、36.9% となっています。

図表 4-76 暮らしの状況

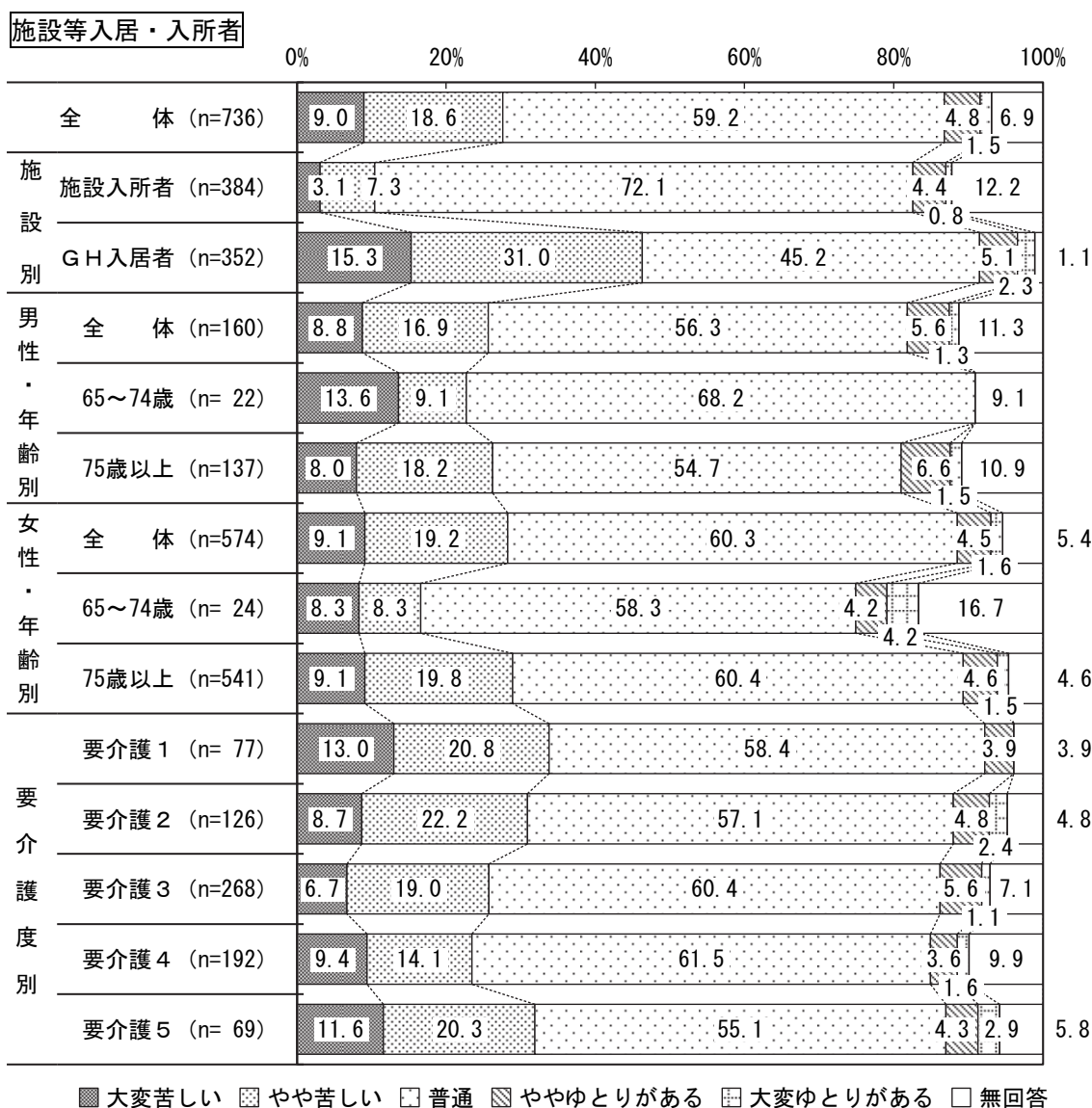


これを要支援・要介護度別にみると、要支援・要介護利用者では、重度ほど高い傾向がみられます。

在宅要支援・要介護認定者



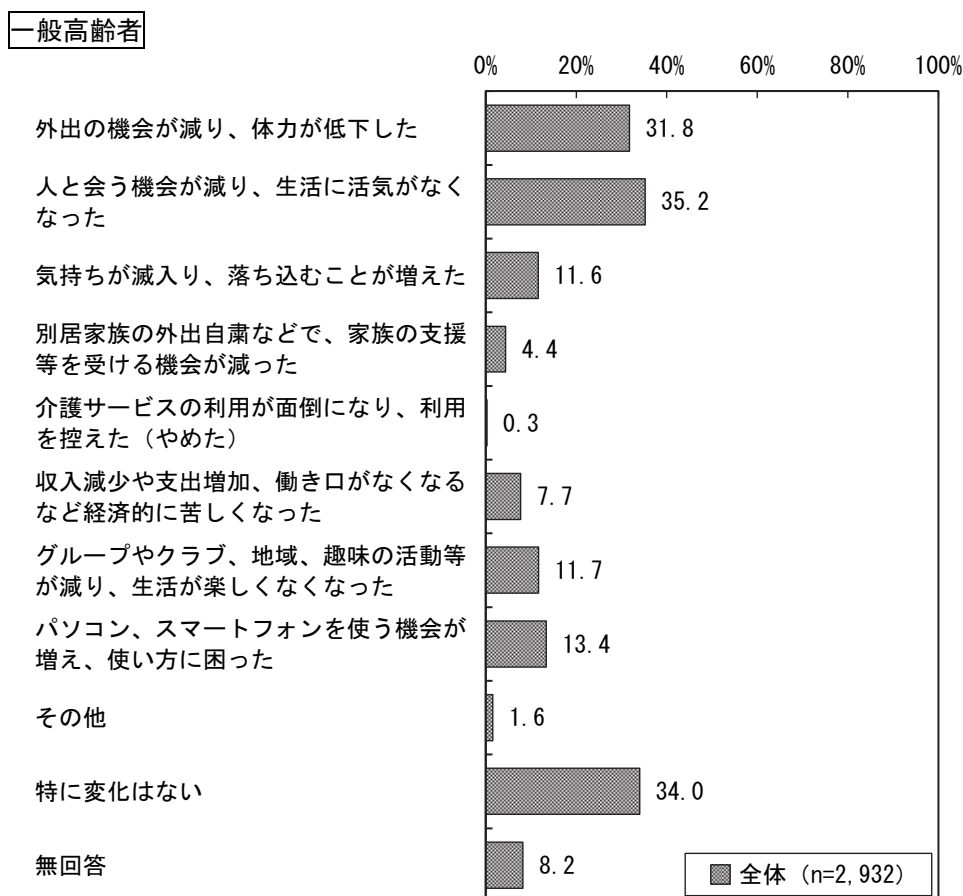
一方、施設等入居・入所者では、最重度の要介護5を除き、重度ほど低い傾向がみられます。



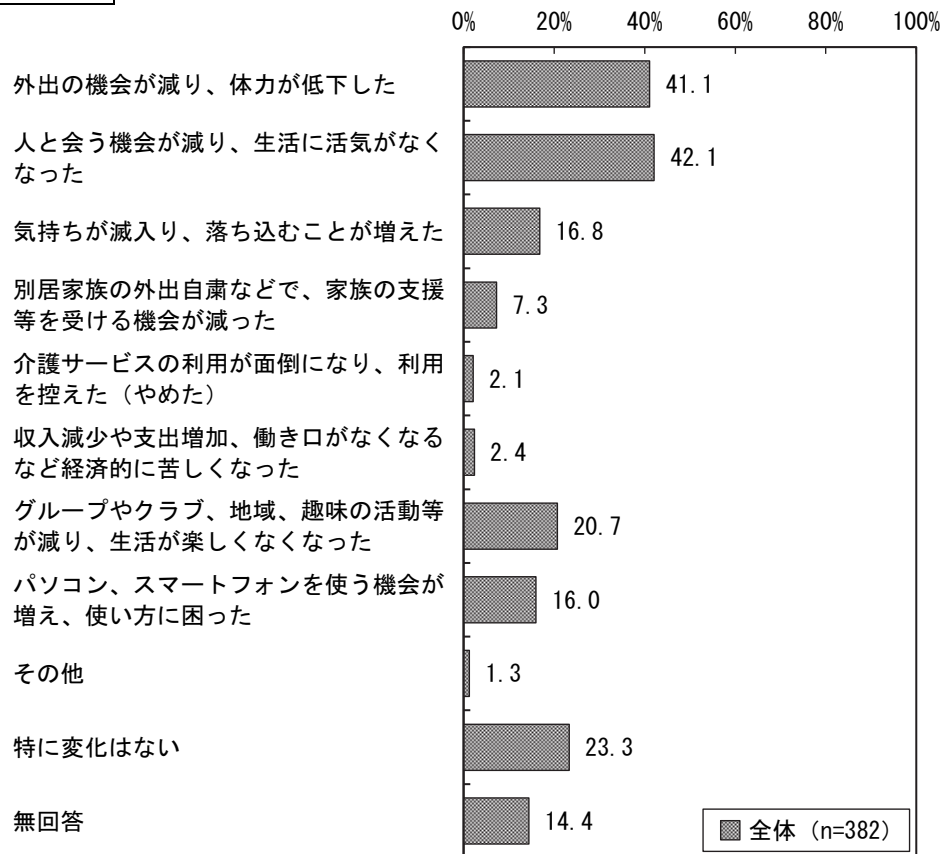
(2) 新型コロナウイルスの感染拡大による生活の変化

令和2年3月以降の新型コロナウイルスの感染拡大により心身の状態や環境に変化があったかたずねたところ、一般高齢者と事業対象者、要介護利用者では「人と会う機会が減り、生活に活気がなくなった」、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では「外出の機会が減り、体力が低下した」が、それぞれ最も高く、30%以上を占めています。なお、「特に変化はない」は、一般高齢者では34.0%、事業対象者では23.3%、無受給者では28.0%、要支援利用者では23.7%、要介護利用者では35.3%となっています。

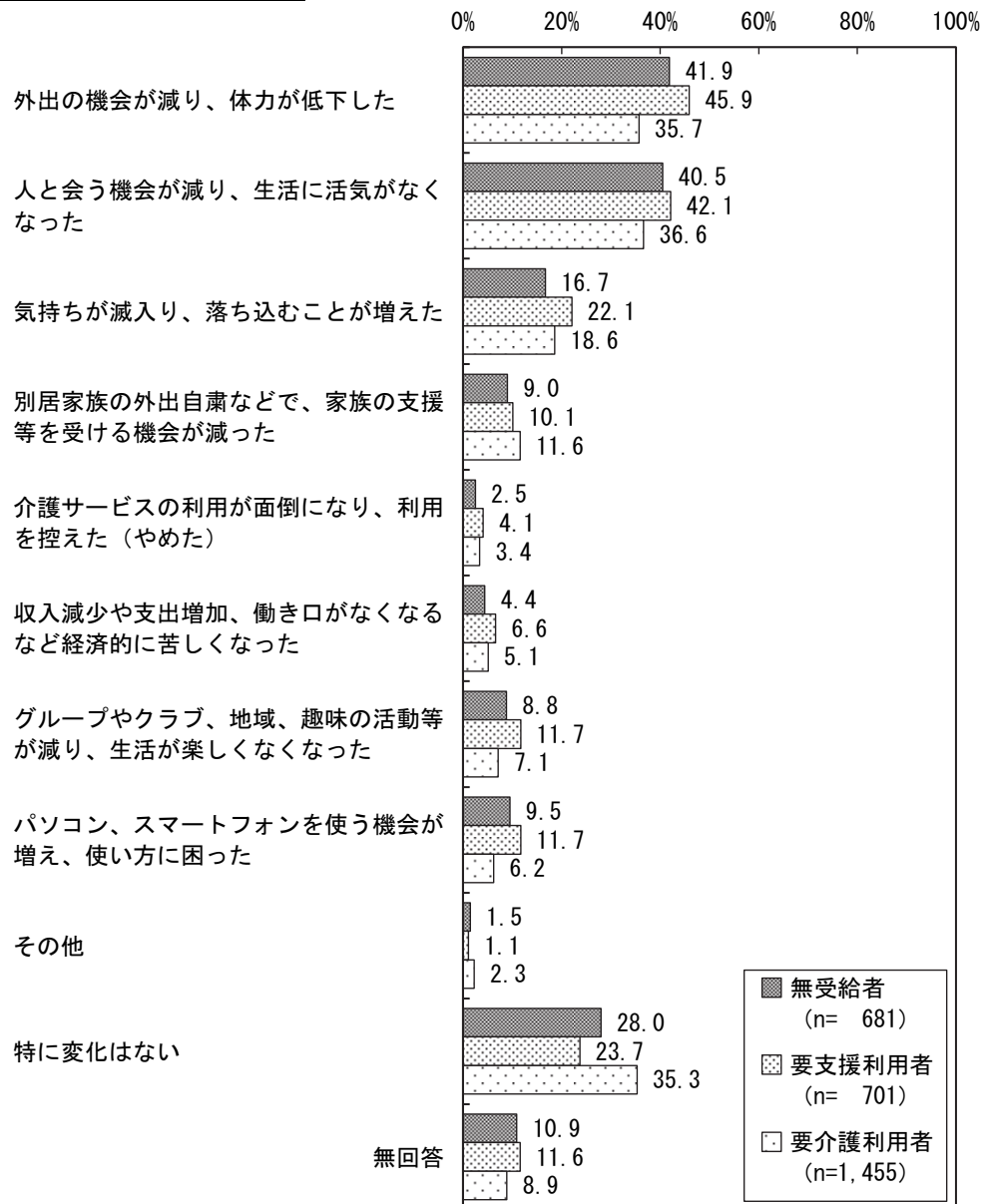
図表4-77 新型コロナウイルスの感染拡大による生活の変化（複数回答）



事業対象者



在宅要支援・要介護認定者



性別にみると、事業対象者の「気持ちが減入り、落ち込むことが増えた」、要支援利用者の「人と会う機会が減り、生活に活気がなくなった」では、男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-78 新型コロナウイルスの感染拡大による生活の変化（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		外出の機会が減り、体力が低下した	人と会う機会が減り、生活に活気がなくなった	気持ちが減入り、落ち込むことが増えた	別居家族の外出自粛などで、家族の支援等を受ける機会が減った	介護サービスの利用が面倒になり、利用を控えた(やめた)	収入減少や支出増加、働き口がなくなるなど経済的に苦しくなった	グループやクラブ、地域、趣味の活動等が減り、生活が楽しくなくなった	パソコン、スマートフォンを使う機会が増え、使い方に困った	その他	特に変化はない	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	28.3	32.1	9.3	3.1	0.2	7.5	11.0	13.7	1.8	38.5	7.4
	65～74歳 (n=281)	23.8	26.3	7.5	1.4	-	7.5	6.0	11.0	0.7	48.8	2.1
	75歳以上 (n=1,028)	29.6	33.7	9.8	3.6	0.2	7.5	12.4	14.5	2.0	35.6	8.9
女 性	全 体 (n=1,545)	34.2	38.3	13.4	5.5	0.4	7.8	12.5	13.2	1.6	30.9	8.4
	65～74歳 (n=394)	27.9	37.3	12.2	2.5	0.5	9.4	10.4	14.2	1.5	35.8	7.4
	75歳以上 (n=1,146)	36.4	38.6	13.8	6.5	0.3	7.3	13.3	12.9	1.6	29.2	8.6

事業対象者

(単位：%)

区 分		外出の機会が減り、体力が低下した	人と会う機会が減り、生活に活気がなくなった	気持ちが減入り、落ち込むことが増えた	別居家族の外出自粛などで、家族の支援等を受ける機会が減った	介護サービスの利用が面倒になり、利用を控えた(やめた)	収入減少や支出増加、働き口がなくなるなど経済的に苦しくなった	グループやクラブ、地域、趣味の活動等が減り、生活が楽しくなくなった	パソコン、スマートフォンを使う機会が増え、使い方に困った	その他	特に変化はない	無回答
男 性	全 体 (n=104)	38.5	42.3	9.6	9.6	2.9	2.9	14.4	11.5	-	23.1	17.3
	65～74 歳 (n= 17)	29.4	41.2	11.8	5.9	5.9	-	5.9	5.9	-	41.2	11.8
	75 歳以上 (n= 87)	40.2	42.5	9.2	10.3	2.3	3.4	16.1	12.6	-	19.5	18.4
女 性	全 体 (n=258)	42.2	42.2	20.2	7.0	1.9	1.6	23.3	16.7	1.9	23.3	14.0
	65～74 歳 (n= 33)	42.4	42.4	15.2	9.1	-	-	18.2	12.1	6.1	27.3	12.1
	75 歳以上 (n=224)	42.4	42.4	21.0	6.7	2.2	1.8	24.1	17.4	1.3	22.3	14.3

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		外出の機会が減り、体力が低下した	人と会う機会が減り、生活に活気がなくなった	気持ちが減入り、落ち込むことが増えた	別居家族の外出自粛などで、家族の支援等を受ける機会が減った	介護サービスの利用が面倒になり、利用を控えた(やめた)	収入減少や支出増加、働き口がなくなるなど経済的に苦しくなった	グループやクラブ、地域、趣味の活動等が減り、生活が楽しくなくなった	パソコン、スマートフォンを使う機会が増え、使い方に困った	その他	特に変化はない	無回答
無受給者												
男 性	全 体 (n=245)	39.6	39.2	12.2	8.6	1.6	4.1	8.6	9.0	2.4	26.9	13.1
	65～74 歳 (n= 11)	54.5	36.4	18.2	-	-	9.1	18.2	9.1	-	27.3	9.1
	75 歳以上 (n=231)	39.4	39.8	12.1	9.1	1.7	3.9	8.2	9.1	2.6	26.8	12.6
女 性	全 体 (n=399)	43.9	42.6	19.3	9.5	3.3	4.0	9.3	9.8	1.0	28.6	8.5
	65～74 歳 (n= 22)	50.0	40.9	31.8	-	-	-	9.1	4.5	-	36.4	-
	75 歳以上 (n=374)	43.9	42.8	18.7	10.2	3.5	4.3	9.4	10.2	1.1	27.8	9.1
要支援利用者												
男 性	全 体 (n=158)	42.4	34.8	15.8	8.9	4.4	5.7	8.9	10.1	1.3	25.3	13.9
	65～74 歳 (n= 15)	33.3	33.3	13.3	-	-	-	13.3	13.3	-	33.3	6.7
	75 歳以上 (n=142)	43.0	34.5	15.5	9.9	4.9	6.3	8.5	9.9	1.4	24.6	14.8
女 性	全 体 (n=503)	48.1	45.3	24.5	10.9	3.8	6.6	12.7	11.9	1.2	22.9	10.1
	65～74 歳 (n= 39)	56.4	35.9	20.5	10.3	-	5.1	17.9	5.1	2.6	30.8	10.3
	75 歳以上 (n=462)	47.6	46.3	24.9	11.0	4.1	6.7	12.3	12.6	1.1	21.9	10.2
うち小規模多機能 利用者 (n= 9)		33.3	22.2	-	22.2	-	-	-	22.2	-	22.2	33.3

(単位：%)

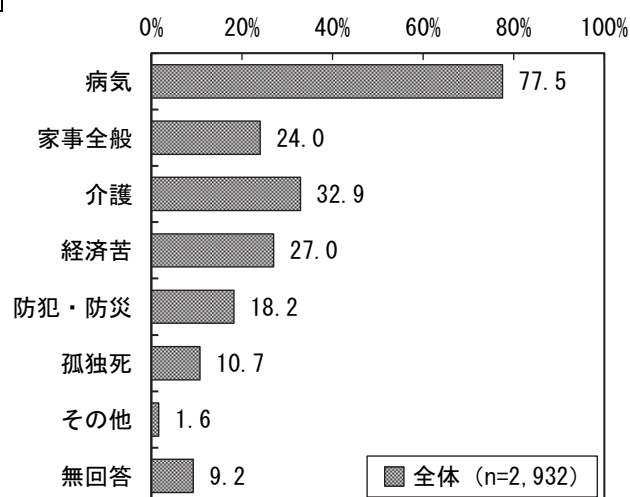
区 分		外出の機会が減り、体力が低下した	人と会う機会が減り、生活に活気がなくなった	気持ちが減入り、落ち込むことが増えた	別居家族の外出自粛などで、家族の支援等を受ける機会が減った	介護サービスの利用が面倒になり、利用を控えた(やめた)	収入減少や支出増加、働き口がなくなるなど経済的に苦しくなった	グループやクラブ、地域、趣味の活動等が減り、生活が楽しくなくなった	パソコン、スマートフォンを使う機会が増え、使い方に困った	その他	特に変化はない	無回答
要介護利用者												
男 性	全 体 (n=466)	33.5	35.8	17.6	10.9	3.0	7.3	7.1	7.5	1.9	33.0	11.6
	65～74 歳 (n= 34)	38.2	35.3	8.8	5.9	11.8	5.9	2.9	2.9	2.9	41.2	2.9
	75 歳以上 (n=422)	33.6	36.5	18.2	11.4	2.4	7.3	7.6	8.1	1.9	32.0	11.8
女 性	全 体 (n=946)	36.6	36.7	18.7	12.1	3.6	3.9	6.9	5.7	2.2	37.2	7.2
	65～74 歳 (n= 43)	44.2	44.2	25.6	14.0	4.7	14.0	11.6	14.0	4.7	27.9	9.3
	75 歳以上 (n=897)	36.2	36.3	18.3	11.8	3.5	3.3	6.7	5.1	2.1	37.6	7.1
うち小規模多機能 利用者 (n=112)		26.8	26.8	9.8	13.4	3.6	0.9	2.7	3.6	3.6	50.9	7.1
うち定期巡回・ 随時対応利用者 (n= 24)		29.2	58.3	16.7	20.8	4.2	-	4.2	-	8.3	25.0	4.2

(3) 今後不安に思うこと

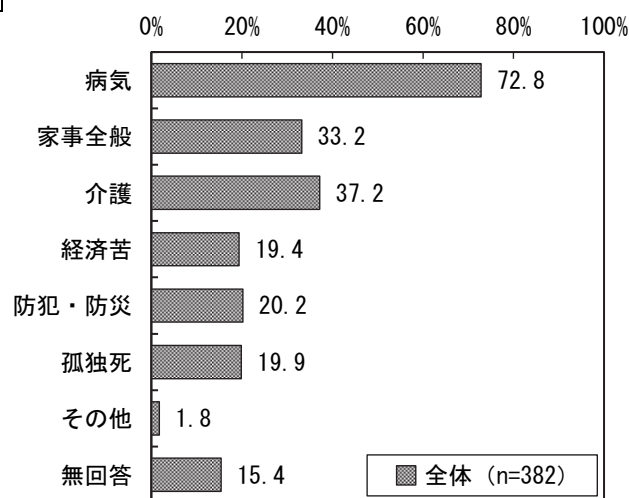
今後、生活する上で不安に思うことをたずねたところ、いずれにおいても「病気」が最も高く、70～80%程度を占めています。次いで高いのは、いずれにおいても「介護」で、30～40%程度となっています。

図表 4-79 今後不安に思うこと（複数回答）

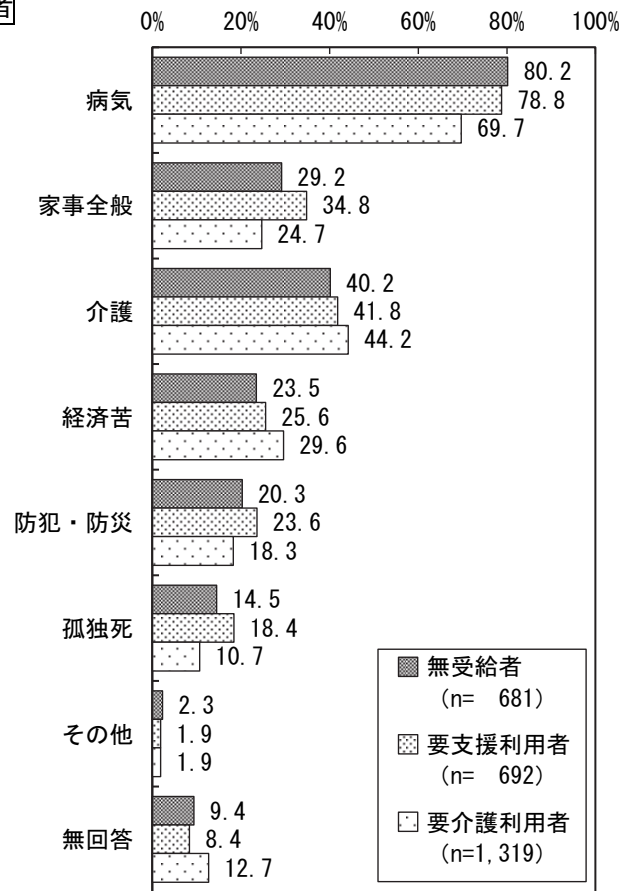
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援・要介護認定者



性別にみると、無受給者の「家事全般」では、男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-80 今後不安に思うこと（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		病気	家事全般	介護	経済苦	防犯・防災	孤独死	その他	無回答
男 性	全 体 (n=1,310)	77.8	22.6	32.9	28.4	14.7	8.4	1.5	8.9
	65～74歳 (n= 281)	80.1	22.1	28.1	31.7	14.6	8.2	0.7	3.6
	75歳以上 (n=1,028)	77.1	22.7	34.2	27.5	14.8	8.5	1.7	10.3
女 性	全 体 (n=1,545)	77.5	25.2	32.9	25.9	21.4	12.4	1.8	9.5
	65～74歳 (n= 394)	76.4	20.1	30.7	30.2	18.8	9.4	1.8	8.6
	75歳以上 (n=1,146)	77.9	27.1	33.7	24.4	22.2	13.4	1.8	9.8

事業対象者

(単位：%)

区 分		病気	家事全般	介護	経済苦	防犯・防災	孤独死	その他	無回答
男 性	全 体 (n=104)	72.1	28.8	40.4	25.0	14.4	14.4	-	19.2
	65～74歳 (n= 17)	64.7	23.5	41.2	17.6	11.8	23.5	-	17.6
	75歳以上 (n= 87)	73.6	29.9	40.2	26.4	14.9	12.6	-	19.5
女 性	全 体 (n=258)	72.5	34.1	36.4	17.4	23.3	22.5	1.9	14.7
	65～74歳 (n= 33)	66.7	36.4	39.4	15.2	27.3	18.2	3.0	21.2
	75歳以上 (n=224)	73.2	33.9	36.2	17.9	22.8	23.2	1.8	13.8

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		病気	家事全般	介護	経済苦	防犯・防災	孤独死	その他	無回答
無受給者									
男 性	全 体 (n=245)	83.3	23.3	39.6	23.3	17.1	11.8	1.2	9.4
	65～74 歳 (n= 11)	81.8	36.4	45.5	27.3	9.1	-	-	9.1
	75 歳以上 (n=231)	83.1	22.5	39.4	23.4	17.7	12.6	1.3	9.5
女 性	全 体 (n=399)	78.9	33.8	40.9	24.8	22.8	16.0	2.8	8.8
	65～74 歳 (n= 22)	72.7	36.4	40.9	45.5	13.6	13.6	13.6	-
	75 歳以上 (n=374)	79.1	34.0	41.2	23.8	23.5	16.3	2.1	9.4
要支援利用者									
男 性	全 体 (n=155)	77.4	28.4	40.6	18.7	21.3	19.4	2.6	10.3
	65～74 歳 (n= 15)	86.7	26.7	33.3	13.3	6.7	26.7	-	13.3
	75 歳以上 (n=139)	76.3	28.8	41.7	19.4	23.0	18.7	2.9	10.1
女 性	全 体 (n=497)	79.7	35.8	41.4	28.2	23.9	17.9	1.8	7.8
	65～74 歳 (n= 37)	83.8	37.8	32.4	24.3	32.4	2.7	2.7	5.4
	75 歳以上 (n=459)	79.3	35.7	42.3	28.3	23.1	19.2	1.7	8.1
要介護利用者									
男 性	全 体 (n=436)	69.7	24.1	44.3	33.5	18.1	9.4	1.1	14.4
	65～74 歳 (n= 31)	83.9	12.9	45.2	35.5	19.4	3.2	3.2	3.2
	75 歳以上 (n=396)	68.4	24.7	44.4	33.6	17.7	9.8	1.0	15.2
女 性	全 体 (n=843)	70.1	25.3	45.3	27.4	18.7	11.4	2.4	11.3
	65～74 歳 (n= 39)	66.7	41.0	56.4	53.8	25.6	12.8	-	15.4
	75 歳以上 (n=800)	70.5	24.5	45.0	26.3	18.5	11.4	2.5	10.8

岐阜市高齢者等実態調査報告書

発行年月	令和5年3月
発行者	岐阜市福祉部 〒500-8701 岐阜市司町40番地1 TEL 058-265-4141（代表） FAX 058-267-6015
